

iTeroエレメント[®] 2 iTeroエレメント[®] フレックス iTeroエレメント[®] 2プラス

口腔内スキャナ

取扱説明書



it starts with iTero[™]

著作権

© 2022 Align Technology, Inc.無断転載複製禁止

この説明書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。

この説明書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアは、販売およびサービス契約に基づいて提供され、その契約の条項に従ってのみ使用することができます。

本書のいかなる部分も、アライン・テクノロジー社による書面での事前許可なしに、顧客による通常の利用目的以外で、複製、複写、検索システムへの保管、転送(電子または機械的)を行うことはできません。

日本語版

PN 219899 改訂A
2022年10月更新

特許

www.aligntech.com/patents

商標

Align、Invisalign、ClinCheckおよびiTeroは、Align Technology, Inc.またはその子会社や関連会社の商標またはサービスマークであり、米国およびその他の国々で登録されています。

本マニュアルに記載されているその他の商標または登録商標は、それぞれの権利所有者に帰属するものです。

グローバルヘッドクォーター**Align Technology, Inc.**

410 North Scottsdale Road,
Suite 1300, Tempe,
Arizona 85281,
USA

www.aligntech.com

電話番号: +1 (408) 470-1000
FAX: +1 (408) 470-1010

カスタマーサポート

電話番号: +1 (800) 577-8767
Eメール: iterosupport@aligntech.com

Align Technology Ltd.

1 Yitzhak Rabin Rd.,
Petach Tikva, 4925110,
Israel

電話番号: +972 (3) 634-1441
FAX番号: +972 (3) 634-1440

**Align Technology B.V.**

Herikerbergweg 312
1101 CT, Amsterdam
The Netherlands

禁忌

てんかんと診断された人は、iTerоスキャナの閃光によりてんかん発作を発生するリスクがあります。そのような人に対し、操作中にシステムが発する点滅ライトが目に入るような行為は避けてください。

準拠

クラス1レーザー準拠

本装置は、「21 CFR 1040.10」および「IEC 60825-1」に準拠しています。



CSA準拠

本装置は、次のカナダと米国のCSA規格に準拠しています：UL規格番号60601-1 - 医療用電気機器パート1: 安全に関する一般要件。



FCCコンプライアンス

本装置は、FCC規則第15部に準拠しており、その操作は次の2つの条件に従うものとします。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こさないと考えられています。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となり得る干渉を含め、受けるあらゆる干渉を容認しなければなりません。



FCC警告

製造元によって明示的に承認がされていない改造をデバイスに加えると、FCC規則に従って本製品を運用する権限が無効化される場合があります。

安全性に関する準拠

本装置は、次の安全性規格に準拠しています：

IEC 60601-1 医療用電気機器 - 第1部: 基本的安全性と本質的性能に関する一般要件。

EMCコンプライアンス

この製品は、次のEMC規格に準拠しています：

IEC 60601-1-2 医療用電気機器 - 第1-2部: 基本的安全性と本質的性能のための一般要件 - 担保規格: 電磁気現象 - 要件と試験。

ANATEL準拠

本装置は、番号 ANATEL 02563-15-06534のもと、ANATEL解像度n° 242/2000に準拠しています。

CEコンプライアンス

本装置は、医療機器の理事会指令 (EU) 2017/745に準拠しています。



放出されたスキャナ放射の性質

- **電磁放射 (EMR)** - 本説明書に従って使用した場合、iTeroスキャナの電磁放射のレベルはパーソナルコンピューターのレベルと同様であり、国際標準IEC60601-1-2に準拠しています。
- **レーザーおよびLED放射** - 本説明書に従って使用した場合、iTeroスキャナのレーザーおよびLED放射のレベルは、目やその他の人体組織に損傷を与えることはなく、国際規格IEC62471およびIEC60825-1に準拠しています。

記号

iTeroエレメント 2およびiTeroエレメント2プラスのハードウェアコンポーネント、または本説明書およびその他のiTeroエレメントの関連資料には、次の記号が表示されている場合があります。



取扱説明書に従ってください。



BF装着部タイプ。



電気廃棄物と電子機器の分別収集が必要です。電気電子機器廃棄物 (WEEE) に関する欧州指令に準拠し、本製品を家庭や地方自治体の廃棄物として処分することはお控え下さい。本機器にはWEEE素材が含まれています。

EARNサービスにお問い合わせください。

オンラインリクエストフォームへのリンク: <http://b2btool.earn-service.com/aligntech/select>



注意 - この記号がデバイスに表示されている場合は必ず、本マニュアル内の安全関連情報を参照してください。



再利用しないでください。

"Rx only"

注意: 米国連邦法により、この器具の売買は認定を受けた歯科医師、矯正歯科医、または歯科医療従事者に限定されています。本システムは処方医療機器であり、有資格のヘルスケアプロバイダーのみが操作する必要があります。



医療機器メーカー。



カタログ番号



シリアル番号。



交流。



乾燥した状態を保つ



バッチコード。



大気圧の制限。



湿度制限。



取扱い注意。慎重に取り扱ってください。



この面を上にしてください。



IEC 60417-5031: 直流。



ワンド(走査ユニット)。



機器固有識別子。



製造国(製造日を含む)。



温度制限。



医療機器。



使用方法については、電子説明書を参照してください。



USBソケット。



電池。



IEC 60417-5009: 待機。



踏まないでください。



EUにおける正規代理店。



中国向けRoHS準拠。



CEマーク。

安全上の注意事項

本システムの使用を開始する前に、ユーザーは安全性に関する説明をお読みください。

- 電源供給** 医療グレードの電源を介して、電力がシステムに供給されます。iTeroエレメント2プラスカート設定スキャナでは、電源はホイールスタンドのベースに格納されています。iTeroエレメント2プラスモバイル設定スキャナでは、電源は外部にあります。
- バッテリー電源**
- 充電 — スキャナのバッテリーは、電源に次のような時間接続するとフル充電されます：2時間 (iTeroエレメント 2) または 2.5時間 (iTeroエレメント 2プラス)。
 - ホイールスタンドまたはバッテリーをフル充電すると、ホイールスタンドまたはカート設定スキャナでは、最大30分間、またモバイル設定スキャナでは10分間スキャンを行うことができます。
警告： カート設定スキャナには"2"ホイールスタンド設定とモバイル設定スキャナには1つのバッテリーパックが付属しています。スクリーンが破損した場合、バッテリーが爆発する恐れがあります。落下したり、破損が見つかった場合は、スキャナを使用せず、カスタマーサポートにお問い合わせください。
 - バッテリーの充電には、システムに接続されている元のAC/DCアダプターのみを使用してください。
 - 警告：** リチウムイオンバッテリーは、故障するとヒス雑音、膨張、電解質漏れを起こします。電解質は、引火性の高い有機溶媒 (六フッ化リン酸リチウム) 中のリチウム塩で構成されています。燃焼電解質は、近接する可燃物を発火させる恐れがあります。
やけどの恐れがありますのでご注意ください。
 - スクリーンは、本マニュアルに記載されている環境条件に従って保管および操作してください。スキャナをラジエーターや暖炉などの極端に高温の熱源にさらさないでください。
 - バッテリーを取り外した状態でデバイスを操作しないでください！ バッテリーは、製品の使用目的以外には使用しないでください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示および地域の要件に従って廃棄してください。
 - バッテリーは、Alignが提供するものと同じタイプのバッテリーとのみ交換してください。
- 電氣的危険警告**
- 感電を避けるために、外部パネルとカバーを取り外さないでください。内部にはユーザーが整備できる部品はありません。iTeroエレメント2プラス スキャナでは、カスタマーサポートから要求された場合のみ、システム障害が発生した時に診断パネルのカバーを開くことができます。
 - 感電のリスクを避けるため、保護アースの付いていない主電源にスキャナを接続しないでください。
- iTeroエレメント フレックス:**
- iTeroエレメント フレックススキャナには、ワンド用の電源を備えたハブが装備されています。システムの破損や感電のリスクを回避するために、システムを濡れた表面に置いたり、踏んだりしないでください。
 - ハブデバイスは、IEC 60950-1およびIEC 62368-1で承認されていないラップトップパソコンには接続しないでください。ラップトップパソコンとその付属品は、患者から少なくとも1.5m離れた場所に配置する必要があります。患者をスキャンしている間は、ラップトップパソコンまたはその付属品に触れないよう注意して下さい。これらの指示に従わない場合、感電する可能性があります。
- 電気に関する注意事項**
- 感電のリスクを避けるため、タッチスクリーンの背面にあるUSBソケットには、アライン・テクノロジー社が承認していないWebカメラを接続しないでください。
 - iTeroワンド 以外は、ハブのUSBソケットに接続しないでください。
 - 感電を避けるため、アライン・テクノロジー社が供給していない電源ケーブルをシステムに接続しないでください。

- 無線LAN**
- システムは無線LANユニットを装備しています。
 - 製品を使用する際は、高周波曝露の要件に確実に準拠するために、コンピューティングユニットとすべての人の身体との間に少なくとも20cmの分離距離を維持してください。
- 安全性の種類**
- 感電に対する保護の種類：クラス1。
 - 感電に対する保護の程度：タイプBF。
 - 有害な影響を生じる水の侵入からの保護の程度：普通。
 - 可燃性の混合麻酔薬との併用には適しません。
 - 操作モード：連続。
- 処方医療機器**
- 本システムは処方医療機器であり、有資格のヘルスケアプロバイダーのみが操作する必要があります。
- スキャナの注意事項**
- ワンドは、赤色レーザー光（680nmクラス1）と白色LED光、を放射します。ワンドを通常通り使用した場合、人間の目に対する危険はありません。ワンドを患者の目に直接向けて照らさないでください。
 - ワンドケーブルや電源ケーブルにねじれや結び目ができないようにし、ケーブルを引っ張ったり踏んだりするのは避けてください。
 - システムを使用しない場合は、レンズ面をクレードルに向けてワンドをクレードルに納め、いかなる場合でもレーザービームや白色LED光の点滅が直接目に入らないようにしてください。目に入った場合、目に損傷を与える可能性があります。
 - 目の損傷を防ぐために、ワンドの先端が患者の口腔外にある間は、スキャン操作を開始しないでください。
 - 目の損傷を防ぐために、スキャン操作の実行中にワンドをクレードルに置かないようにして下さい。
 - 感電や怪我を避けるために、スキャナの誤動作が発生した場合、または物理的な破損が見受けられる場合は、装置を使用しないでください。カスタマーサポートに連絡してください。
- 洗浄と消毒**
- 交差汚染を防ぐため、次に示す内容を必ず行ってください：
- 各患者セッションの前に [ワンドの洗浄と消毒](#) で説明されているように、ワンドを洗浄および消毒し、ワンドスリーブで説明されているように、[ワンドスリーブを装着する](#) を交換します。
 - 各患者のセッションの後に手袋を取り外して交換します。
 - 破れたり、汚れたり、一旦外した手袋は廃棄してください。
 - ある患者から別の患者の治療に移る時は、ワンドスリーブを交換します。患者間でのワンドスリーブの交換を行わないと、不注意によるある患者から別の患者への微生物やその他の汚染物質の伝播を引き起こす可能性があります。
 - ワンドスリーブは、汚染された医療廃棄物の処分に関する標準的な取扱手順または地方の法規則に準じた手順で廃棄してください。
- 開梱と設置**
- 本システムの開梱と設置は、アライン・テクノロジー社の指示に従って行ってください。詳細は [組み立て方法](#) を参照してください。
- 注：スキャナボックスが損傷している場合、またはボックスのShockDotインジケーターがアクティブになっている場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。

- 作業環境**
- 部屋から部屋へシステムを移動するときには、損傷を防ぐため細心の注意を払ってください。
 - ワンドとコンピューティングユニットの通気口を塞がないようにしてください。
 - 本システムは屋内専用です。直射日光、過度の高温または多湿な環境にさらさないでください。
 - iTeroエレメント フレックスのみ:システムが、極端に温度が高い/低い、または高湿度の環境からオフィスに持ち込まれた場合は、内部の結露を避けるために機器が室温に戻るまで起動せずに保管してください。
- 電磁干渉対策**
- 本装置は、IEC60601-1-2の規格に準拠した医療機器の要件を満たしていることが試験で確認されています。この規格は、一般的な医療装置における有害な干渉に対して妥当な防護を提供するために策定されたものです。
- 本装置を、周波数送信機器やその他の電氣的ノイズ源(携帯電話、モバイル双方向ラジオ、電気製品、無線自動識別装置など)の近くに配置しないでください。干渉ソースの近接性や強度が原因で高レベルの干渉が発生し、このデバイスの性能に悪影響を与える可能性があります。この場合、ユーザーの介入後または自動回復により、デバイスを操作モードに戻すことができます。
- 一般**
- 備考:**
- 本装置に改造を加えないでください。
 - 組み立て後、コンピューティングユニットをスタンドから取り外さないでください。
- インシデント通知**
- iTeroデバイスに関連する重大なインシデントは、Align Technology Ltd、およびユーザーと患者がいる加盟国の管轄当局に報告する必要があります。

目次

1	iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、およびiTeroエレメント2プラス 口腔内スキャナの概要	1
1.1	使用目的/用途	2
1.2	使用の適応	2
1.3	禁忌	2
1.4	対象となる患者グループ	2
1.5	対象ユーザー	2
1.6	使用環境	2
1.7	臨床的利点	2
1.8	iTeroエレメント 2およびiTeroエレメント2プラスハードウェア	3
1.8.1	iTeroエレメント 2ホイールスタンド設定	3
1.8.2	iTeroエレメント フレックス	4
1.8.3	iTeroエレメント2プラスカート設定	5
1.8.4	iTeroエレメント2プラスモバイル設定	6
1.8.5	iTero エレメント ワンド	7
1.9	本説明書について	8
2	組み立て方法	9
2.1	iTeroエレメント 2 スキャナの組み立て	10
2.2	iTeroエレメント フレックススキャナの組み立て	14
2.2.1	iTeroエレメント フレックスソフトウェア	14
2.3	iTeroエレメント2プラス スキャナの組み立て – カート設定	16
2.4	iTeroエレメント2プラススキャナの組み立て – モバイル設定	21
2.4.1	初期組み立て	22
2.4.2	クリニック内でのスキャナの移動	24
2.4.3	運搬用ケースの使用	24
2.4.4	オプションの運搬用保護カバー	27
2.4.5	VESAマウント	27
3	はじめに	30
3.1	スキャナアプリケーションへの初ログイン	30
3.2	スキャナの登録 – Make it Mine (設定を開始する) プロセス	30
4	スキャナの操作	37
4.1	スキャナへのログイン	37
4.1.1	パスワードのリセット	41

4.1.2	Windowsセキュリティ更新プログラムのインストール	43
4.2	スキャナからのログアウト	48
4.3	スキャナのシャットダウン	49
4.4	スキャナの移動	49
4.4.1	iTerоエレメント 2ホイールスタンド設定 スキャナの移動	49
4.4.2	iTerоエレメント フレックス口腔内スキャナの輸送	49
4.4.3	iTerоエレメント 2プラスカート設定 スキャナの移動	50
4.4.4	診療所内でのiTerоエレメント 2プラス モバイル設定 スキャナの持ち運び	51
4.4.5	診療所外でのiTerоエレメント 2プラス モバイル設定 スキャナの運搬	52
4.5	ユーザーインターフェース	53
4.5.1	スキャナツールバー	56
4.5.2	タッチスクリーンのジェスチャー	59
4.6	スキャナの設定	60
4.6.1	デバイス設定の定義	61
4.6.2	ユーザー設定	65
4.6.3	システム情報設定	71
5	新しいスキャンを開始する	77
5.1	ワンドスリーブを装着する	77
5.2	スキャンプロセスの開始	78
5.3	Rxの入力	79
5.3.1	研究モデル/iRecord手順のRxの記入	82
5.3.2	Invisalign手順のためのRxの入力	83
5.3.3	固定性補綴処置向けのRxの入力	85
5.3.4	インプラント計画の手順のRxの記入	98
5.3.5	義歯/取り外し可能な処置のためのRxの記入	101
5.3.6	アプライアンス手順のためのRxの入力	104
5.4	患者管理	105
5.4.1	新しい患者を追加する	105
5.4.2	既存の患者を検索する	106
5.4.3	患者の詳細を編集する	108
5.4.4	新規スキャンウィンドウからの患者の詳細の消去	110
5.5	患者のスキャン	111
5.5.1	スキャンガイダンス	111
5.5.2	スキャンのベストプラクティス	113
5.5.3	スキャンオプション	113

5.5.4	スキャンを編集する	116
5.6	スキャンの表示	116
5.6.1	スキャンセグメント不十分の通知	117
5.6.2	スキャンタイマーの使用	119
5.7	スキャンの送信	119
5.8	Viewer (ビューア) での作業	123
5.9	ワンドスリーブの取り外し方	126
6	患者ページの操作	128
6.1	患者の検索	128
6.2	患者の詳細の表示	130
6.3	既存患者の新しいスキャンの作成	131
6.4	Rxの表示	133
6.5	Viewer (ビューア) での過去のスキャンの表示	134
7	オーダーページの使用	136
7.1	返品されたオーダーの処理	139
8	メッセージの表示	140
9	MyiTeroでの作業	141
10	iTeroスキャナの機能とツール	142
10.1	iTero TimeLapse (タイム・ラプス) を使用した前回のスキャンとの比較	142
10.2	Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)	146
10.3	Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ)	146
10.4	Invisalign Progress Assessment (プログレス・アセスメント)	146
10.5	Invisalign Goシステム	147
10.6	編集ツール	148
10.6.1	セグメントの削除	148
10.6.2	部分削除	150
10.6.3	スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示	152
10.6.4	自動クリーンアップの無効化	153
10.7	消しゴムツールの使用	155
10.8	咬合クリアランスツールの使用	157
10.9	エッジトリミングツールの使用	161
10.10	支台歯分離ツールの使用	163
10.11	マージンラインツールの操作	167
10.11.1	マージンラインを自動的に定義する	167
10.11.2	マージンラインを手動で設定する	169

10.12	スナップショットツールの使用	169
11	お手入れとメンテナンス	175
11.1	ワンドおよびケーブルの取り扱い	175
11.2	ワンドの洗浄と消毒	175
11.2.1	洗浄と消毒前の準備	176
11.2.2	ワンドの洗浄と消毒	177
11.2.3	乾燥 - ワンド本体	178
11.2.4	保管とメンテナンス	178
11.3	クレードルの洗浄と消毒	179
11.3.1	洗浄と消毒前の準備	179
11.3.2	クレードルの洗浄と消毒	180
11.3.3	乾燥 - クレードル	181
11.3.4	保管とメンテナンス	182
11.4	スキャナのタッチスクリーンとホイールスタンドのハンドルの洗浄と消毒	182
11.5	通常の洗浄	182
11.6	承認済みの洗浄および消毒用品	183
A	LANネットワークのガイドライン	184
A.1	はじめに	184
A.2	準備	184
A.3	ルーターのガイドライン	185
A.4	インターネット接続ガイドライン	185
A.5	ファイアウォール	185
A.6	Wi-Fiのヒント	185
A.7	推奨されるAlignホスト名	186
B	EMC表示	187
B.1	EMC表示 - iTerоエレメント 2およびiTerоエレメント フレックス	187
B.2	EMC表示 - iTerоエレメント2プラス	190
C	iTerоエレメント 製品セキュリティホワイトペーパー	193
D	システム仕様	196
D.1	iTerоエレメント 2 システム仕様	197
D.2	iTerоエレメント フレックスシステムの仕様	198
D.3	iTerоエレメント 2プラスシステム仕様	199

図表目次

図 1: iTeroエレメント2口腔内スキャナーの正面図	3
図 2: iTeroエレメント 2口腔内スキャナーの背面図	4
図 3: iTeroエレメント フレックス口腔内スキャナー	4
図 4: iTeroエレメント2プラスカート設定口腔内スキャナーの正面図	5
図 5: iTeroエレメント2プラスカート設定口腔内スキャナーの背面図	6
図 6: iTeroエレメント2プラスモバイル設定口腔内スキャナーの正面図	6
図 7: iTeroエレメント2プラスモバイル設定口腔内スキャナーの背面図	7
図 8: iTero エレメント ワンド	7
図 9: プロテクトスリーブ	8
図 10: 使い捨てスリーブ	8
図 11: クレードルからワンドを取り外す	20
図 12: スキャナーの移動	20
図 13: メインハンドルを持ってスキャナーを持ち上げないでください	20
図 14: 電源パックを空中にぶら下げない	29
図 15: スクリーンを45度以上傾けない	29
図 16: Welcome(ようこそ)画面	30
図 17: 利用可能なネットワークのリストを表示する接続ページ	31
図 18: セキュリティキーの入力	31
図 19: スキャナーがインターネットに接続され、オンラインになります	32
図 20: Alignとの通信の検証	32
図 21: タイムゾーンを選択	33
図 22: システムを登録してセットアップをカスタマイズします	33
図 23: iTeroサブスクリプションパッケージの例	34
図 24: 使用許諾契約	34
図 25: アップデートの確認	35
図 26: システムが登録済みで準備完了	35
図 27: ログインウィンドウ	37
図 28: 予期しないシャットダウン通知	38
図 29: パスワードはマスクされています	39
図 30: iTeroホーム画面	40
図 31: 「パスワードを忘れた」ボタン	41
図 32: パスワードを忘れた場合のEメールフィールド	41

図 33: セキュリティ回答フィールド	42
図 34: セキュリティ更新プログラムウィンドウ-スケジュールオプション	43
図 35: スキャナをAC電源に接続します	44
図 36: インストール進行中	44
図 37: インストールが正常に完了しました。	45
図 38: セキュリティの更新 – 更新プログラムをインストールするまでの残りの日数	45
図 39: セキュリティの更新 – 最終日	46
図 40: セキュリティ更新プログラム通知 - ログインウィンドウ	47
図 41: セキュリティ更新プログラム通知 - ホーム画面	48
図 42: iTeroエレメント フレックス付属のキャリーケース内に梱包された口腔内スキャナー	50
図 43: スキャナの移動	51
図 44: 診療所内の部屋間でスキャナを持ち運ぶ	52
図 45: 診療所間でのスキャナの運搬	52
図 46: iTeroホーム画面	53
図 47: バッテリー残量	53
図 48: eマニュアルとカスタマーサポート ボタンのあるヘルプオーバーレイ	55
図 49: スキャナツールバー	56
図 50: バッテリー残量	57
図 51: Eマニュアルとカスタマーサポート ボタンのあるヘルプオーバーレイ	58
図 52: 設定ウィンドウ	60
図 53: 明るさの設定	61
図 54: 音量設定	61
図 55: 近くにあるWi-Fiネットワークのリスト	62
図 56: クリニックWi-Fiネットワークへの接続	63
図 57: ネットワークを削除または切断	63
図 58: タイムゾーン設定	64
図 59: スキャン設定ウィンドウ	65
図 60: スキャン範囲のみを強調表示	67
図 61: Rx設定ウィンドウ	68
図 62: 署名設定ウィンドウ	70
図 63: 言語設定ウィンドウ	71
図 64: ログイン設定ウィンドウ	72
図 65: 診断ウィンドウ	73
図 66: ライセンス情報ウィンドウ	74
図 67: システム情報ウィンドウ – iTeroエレメント2プラス	75

図 68: 「エクスポートの設定」ウィンドウ – エクスポートされたファイルの削除	76
図 69: 新しいスリーブをゆっくりと所定の位置にスライドさせます	77
図 70: 空のRxフォームと進行状況ツールバーを表示するNew Scan(新しいスキャン)ウィンドウ	78
図 71: 新しいスキャンウィンドウ	80
図 72: 必要な手順の選択	81
図 73: オーダーおよびスキャンオプション領域 – 研究モデル/iRecord手順	83
図 74: オーダー領域 – Invisalign手順	84
図 75: スキャンオプションと歯列図領域 – 固定性補綴処置	86
図 76: 固定性補綴治療オプションのリスト	87
図 77: 治療設定ウィンドウ – オンレイ修復	87
図 78: 選択した歯と治療情報領域 – オンレイ修復	88
図 79: 治療設定ウィンドウ – クラウン修復	89
図 80: 追加情報領域 – クラウン修復処置	90
図 81: 選択した歯と治療情報領域 – クラウン修復処置	91
図 82: 同じ治療タイプが必要な歯から修復処置の設定をコピーする	91
図 83: 治療設定ウィンドウ – インプラント支持修復	92
図 84: 修復タイプ領域の拡大	93
図 85: クラウン領域の拡大	93
図 86: 治療設定ウィンドウ – ブリッジ修復	94
図 87: ブリッジの範囲とその範囲に含まれる歯	94
図 88: ブリッジ治療オプションのリスト	95
図 89: ブリッジ。修復 – ポンティック設定	95
図 90: 追加情報エリア – ブリッジ修復	96
図 91: ブリッジ治療オプション – インプラント支持	97
図 92: 修復タイプ領域の拡大	97
図 93: クラウン領域の拡大	98
図 94: インプラント計画手順のタイプ	98
図 95: インプラント計画手順 – 外科用ガイド歯のための歯列図	99
図 96: インプラントを必要とする歯の定義	100
図 97: インプラントの位置ウィンドウ	100
図 98: サポートの歯とインプラントを行う歯が、「歯列図」と「治療情報」領域に表示されます。	101
図 99: 義歯/取り外し可能な処置のタイプ	102
図 100: 義歯に含まれる歯の定義 – 完全義歯インプラント支持処置のタイプ	102
図 101: インプラント支持設定ウィンドウ	103
図 102: アプライアンス手順のタイプ	104

図 103:新しい患者の追加	105
図 104:同じ詳細の患者が存在することを通知するメッセージ	106
図 105:新しいスキャンウィンドウの患者領域 – 既存の患者の検索	106
図 106:検索フィールドを備えた患者検索ウィンドウ	107
図 107:検索フィールドの検索基準と一致する患者のリスト	107
図 108:必要な患者の選択	108
図 109:「新しいスキャン」ウィンドウの「患者」領域に表示された選択した患者	108
図 110:新しいスキャンウィンドウの患者エリア–患者の編集	109
図 111:患者の編集ウィンドウと更新ボタン	109
図 112:同じ詳細の患者がすでに存在するというメッセージ	110
図 113:患者の詳細ボタンを消去	110
図 114:消去確認メッセージ	111
図 115:推奨スキャンシーケンス–下顎	112
図 116:ワンドガイダンス	112
図 117:追加スキャンに関するフィードバックがある場合とない場合のスキャン不足領域 –モノクロ	113
図 118:追加のスキャンフィードバックがある場合とない場合のスキャン不足領域 –カラーモード	114
図 119:カラーおよびモノクロモードで表示されるモデル	114
図 120:反対側の歯列弓をタップするか、矢印をタップして選択します	115
図 121:編集ツール	116
図 122:スキャン欠落メッセージと、赤で強調表示されている欠落セグメント	118
図 123:ツールバーのスキャンタイマーボタンとスキャン時間	119
図 124:治療情報の不足に関する通知	120
図 125:治療情報領域で入力漏れのあるフィールドが赤で強調表示	120
図 126:送信の確認ウィンドウ	121
図 127:ビューアに表示されるInvisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)の進行状況	122
図 128:患者のプロファイルページに表示されるInvisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)の進行状況	122
図 129:「オーダー」ページの「過去のオーダー」ペインのViewer (ビューア) オプション	123
図 130:患者のプロファイルページのViewer(ビューア) オプション	123
図 131:1ウィンドウビューでのモデル	124
図 132:2ウィンドウビューでのモデル	125
図 133:5ウィンドウビューでのモデル	125
図 134:ワンドスリーブの取り外し方	126
図 135:ワンドのレンズ	127
図 136:新しいスリーブをゆっくりと所定の位置にスライドさせます	127

図 137: 患者ページ	128
図 138: 患者の検索	129
図 139: 検索条件に一致する患者の表示	129
図 140: 患者のプロファイルページ	130
図 141: 患者のプロファイルページ – New Scan(新しいスキャン)オプション	131
図 142: 患者の詳細がすでに入力されたNew Scan(新しいスキャン)ウィンドウ	132
図 143: 患者のプロファイルページ – Rxオプションの表示	133
図 144: Rxの詳細ウィンドウ	134
図 145: 患者のプロファイルページ – Viewer(ビューア)オプション	135
図 146: Viewer(ビューア)に表示されたスキャン画像	135
図 147: オーダーページ	137
図 148: 現在のオーダーペイン – オプション	137
図 149: 過去のオーダーペイン – オプション	138
図 150: オーダーの返品を通知するオーダーボタン	139
図 151: 「進行中」ペインに表示された返品されたオーダー	139
図 152: メッセージページ	140
図 153: iTero TimeLapse (タイム・ラプス) – 比較するスキャンデータの選択	143
図 154: スキャンデータ間の変化を強調表示で示すiTero TimeLapse (タイム・ラプス) ウィンドウ	143
図 155: アニメーションウィンドウに表示される最初のスキャンの対象領域	144
図 156: アニメーションウィンドウに表示される2回目のスキャンの対象領域	144
図 157: iTero TimeLapse (タイム・ラプス) スケールオプション	145
図 158: Progress Assessment (プログレス・アセスメント) ウィンドウ	147
図 159: 編集ツール	148
図 160: セグメント削除ツール	149
図 161: 部分削除ツール	150
図 162: 展開された部分削除ツール	151
図 163: 選択領域の削除	151
図 164: 穴埋めガイド線表示ツール	152
図 165: スキャンが必要な領域は赤で強調表示 – 穴埋めガイド線表示ツール	153
図 166: 自動クリーンアップツール	154
図 167: 余分な画像を含むスキャン画像	154
図 168: 消しゴムツール	155
図 169: 消しゴムツールのオプション	155
図 170: 修正する領域をマーク	156
図 171: 選択した領域が削除され、スキャンツールが有効化	156

図 172: 赤でマークされた削除済みエリア	157
図 173: 対合歯間の咬合間隙	158
図 174: 咬合間隙範囲オプション	159
図 175: Viewer (ビューア)に表示される咬合間隙ツールと一覧	160
図 176: エッジトリミングツール	161
図 177: エッジトリミングツールオプション	161
図 178: トリミングする領域をマーク	162
図 179: 選択した領域が強調表示され、確認アイコンが有効化	162
図 180: 選択した領域を削除	163
図 181: 支台歯の中心にある緑色のヒント	164
図 182: 支台歯分離は高解像度で表示	164
図 183: 支台歯分離ツールのオプション	165
図 184: スキャンを低解像度で表示	165
図 185: 支台歯分離を選択する前に	166
図 186: 支台歯は高解像度で表示	166
図 187: モデル表示が咬合の表示に移動し、支台歯を拡大します	167
図 188: マージンラインツールオプション	168
図 189: 支台歯にマージンラインが付けられています	168
図 190: マージンラインツールオプション	169
図 191: 表示モード – スナップショットツールを使用	170
図 192: スクリーンをキャプチャすると、スクリーンキャプチャのサムネイルが表示される	170
図 193: 注釈ツールバーのスクリーンショット	171
図 194: 注釈ツールバー	171
図 195: スクリーンショットにテキストを追加	172
図 196: 注釈付きのスクリーンショット	172
図 197: スクリーンショットと注釈がMyiTerorにアップロードされることの通知	173
図 198: 注釈の破棄に関する確認	173
図 199: スクリーンショットがMyiTerorにアップロードされることの通知	174
図 200: MyiTerorの「オーダー」ページからスクリーンショットをダウンロードするオプション	174
図 201: スリーブ右のものを装着していないワンド:	176
図 202: CaviWipes1を使用してゴミを取り除く	177
図 203: 柔らかい毛のブラシを使用して汚れやシミを取り除く	177
図 204: IPAでワンドのレンズを拭く	178
図 205: iTerorエレメント 2クレードルを拭く	180
図 206: iTerorエレメント フレックスクレードルを拭く	180

図 207: iTeroエレメント2プラスカート設定クレードルを拭く	180
図 208: iTeroエレメント2プラスモバイル設定クレードルを拭く	180
図 209: iTeroエレメント2クレードルにブラシをかける	181
図 210: iTeroエレメント フレックスクレードルにブラシをかける	181
図 211: iTeroエレメント2プラスカート設定クレードルにブラシをかける	181
図 212: iTeroエレメント2プラスモバイル設定クレードルにブラシをかける	181

1 iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、およびiTeroエレメント2プラス口腔内スキャナの概要

iTeroエレメント 2口腔内スキャナには、ホイールスタンドとラップトップ (iTeroエレメント フレックス)の2つの設定があります。

iTeroエレメント 2ホイールスタンド設定スキャナは、双方向のタッチスクリーンディスプレイと使いやすいワンドを備えたモニターで利用可能な、一体型システムを提供します。スキャン中に患者の歯牙の画像をスクリーン上で見ることができます。スキャン完了時には咬合の様子を分析することができます。

iTeroエレメント フレックスは、最低限のシステム要件を満たすラップトップパソコンがあれば、ワンドのみの設定としても使用が可能です。これにより、究極の機動性と、患者を診察する場所を問わず、献身的なケアを提供する自由が提供されます。

イメージングシステムのiTeroエレメント2プラスファミリーは、アライン・テクノロジー社の最新世代の口腔内スキャナであり、カートとモバイルの2つの設定で提供されます。

明るいフルHDタッチスクリーンディスプレイは、没入型で魅力的な体験のための広い視覚化角度を備えており、その強力なコンピューティングパワーにより、よりスムーズで直感的なスキャン体験が可能になります。カート設定のエルゴノミクスとエレガンスは、あなたの治療を強化し、診療ブランドイメージを高めます。専用の運搬用ケースを備えたモバイル設定は、プロフェッショナルで便利なオフィス間の携帯性を可能にします。

このオール・イン・ワン・システムは、患者の経験とあなたの生産性をより高いレベルに引き上げるように設計されており、最終的には、作業をより簡単にしつつ、診療を向上させるのに役立ちます。

弊社のウェブサイト <http://www.itero.com> では、iTeroサービスを利用することにより、患者の満足度及び事業を発展させる方法を紹介しています。

1.1 使用目的/用途

iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックスおよびiTeroエレメント2プラス システムは、次の機能と用途を備えた口腔内スキャナです：

- スキャナの光学印象 (CAD / CAM) 機能は、歯と口腔組織のトポグラフィ画像を記録するために使用することを目的としています。iTeroから生成されたデータは、歯科用品 (アライナー、歯列矯正器、器具など) および付属品の製造に組み合わせて使用することができます。
- iTeroソフトウェアは、歯牙、口腔内の軟部組織および構造、ならびに咬合関係の3Dデジタル印象を取得する際にiTeroスキャナと併せて使用されます。本ソフトウェアは、データの処理、データ統合の簡易化、歯科修復物、歯列矯正装置、支台歯、付属品のCAD/CAM製作のためのデータのエクスポートを制御します。スキャンデータに加えて、患者や症例のさまざまな情報をインポート/エクスポートしたり、シミュレーション目的で使用することができます。その他の機能は、システムの検証とサービス、および順序管理ツールとして使用することが可能です。

1.2 使用の適応

iTeroエレメント スキャナは、歯列矯正治療計画およびフォローアップ、補綴治療計画および/または通常の歯科評価に使用することを目的としています。

1.3 禁忌

てんかんと診断された人は、iTeroスキャナの閃光によりてんかん発作を発生するリスクがあります。そのような人に対し、操作中にシステムが発する点滅ライトが目に入るような行為は避けてください。

1.4 対象となる患者グループ

このシステムは、思春期前、思春期、および成人に分類される患者に使用できます。

1.5 対象ユーザー

本システムは処方医療機器であり、トレーニングを受けたヘルスケアプロバイダーのみが操作する必要があります。

1.6 使用環境

プロフェッショナルヘルスケアおよび在宅医療施設の環境。

1.7 臨床的利点

デジタル印象は、従来の印象と比べて、患者の快適さおよびプロセスの速度を向上させます。

1.8 iTeroエレメント 2およびiTeroエレメント2プラスハードウェア

iTeroエレメント 2 スキャナには2つのモデルがあります：

- [iTeroエレメント 2ホイールスタンド設定](#)
- [iTeroエレメント フレックス](#)

iTeroエレメント2プラス スキャナには2つの設定があります：

- [iTeroエレメント2プラスカート設定](#)
- [iTeroエレメント2プラスモバイル設定](#)

1.8.1 iTeroエレメント 2ホイールスタンド設定

システムの正面図



- A フルHDタッチスクリーン
- B 電源スイッチ
- C LED電源
- D ワンド
- E クレードル
- F ホイールスタンド

図 1: iTeroエレメント2口腔内スキャナーの正面図

システムの背面図



- A ワンドコネクタ
- B ワンドケーブル
- C スクリーン電源ケーブル

図 2: iTeroエレメント 2口腔内スキャナーの背面図

1.8.2 iTeroエレメント フレックス



- A ラップトップパソコンのタッチスクリーン
- B iTeroエレメント フレックスハブ:
- C ワンドとクレードル

図 3: iTeroエレメント フレックス口腔内スキャナー

1.8.3 iTeroエレメント2プラスカート設定

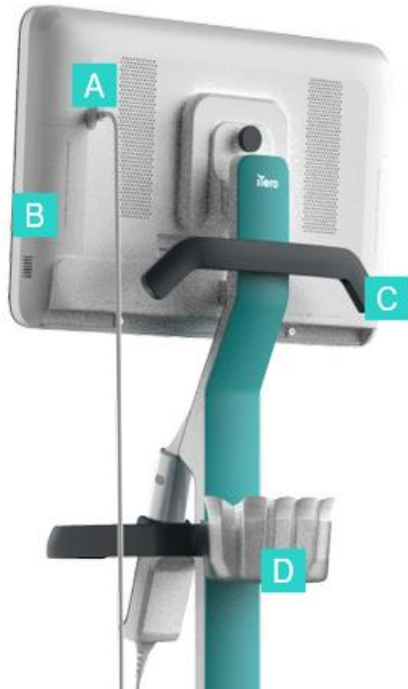
正面図



- A フルHDタッチスクリーン
- B 電源スイッチ
- C メインハンドル
- D ワンド
- E クレードル
- F ホイールスタンド

図 4: iTeroエレメント2プラスカート設定口腔内スキャナの正面図

背面図



- A ワンドコネクタ
- B 診断パネル
(サポート目的のみ)
- C 上部ハンドル
- D 新スリーブ用バスケット

図 5: iTeroエレメント2プラスカート設定口腔内スキャナの背面図

1.8.4 iTeroエレメント2プラスモバイル設定

正面図



- A フルHDタッチスクリーンコンピューティングユニット
- B ワンド
- C クレードル

図 6: iTeroエレメント2プラスモバイル設定口腔内スキャナの正面図

背面図

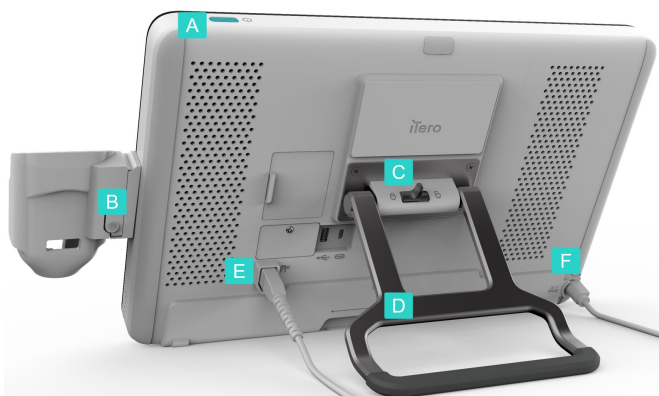


図 7: iTeroエレメント2プラスモバイル設定口腔内スキャナの背面図

- A 電源スイッチ
- B クレードルリリースボタン
- C ロッキングラッチ
- D 持ち運びハンドル/スタンド
- E ワンドケーブル
- F 電源ケーブル

1.8.5 iTero エlement ワンド

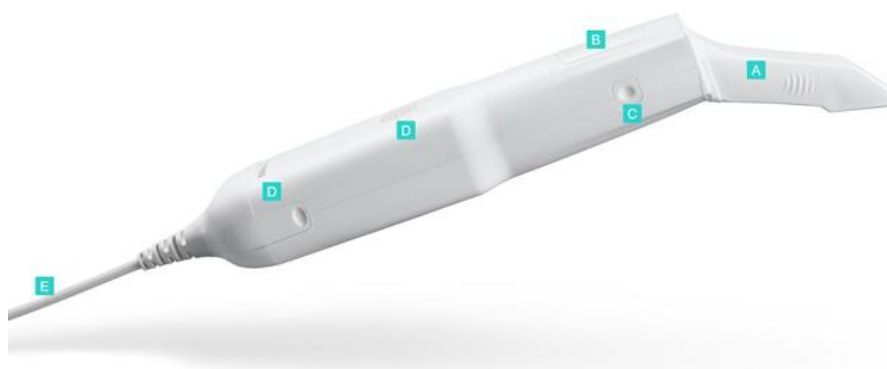


図 8: iTero エlement ワンド

- A 使い捨てスリーブ
- B タッチパッド
- C サイドボタン: スキャン、オン/オフ、タッチパッドの有効化
- D 通気口
- E 着脱可能USBコネクタ付きワンドケーブル

1.8.5.1 ワンドスリーブ

ワンドスリーブには2種類あります：

- **プロテクトスリーブ(青)** スキャナを使用しない時に、ワンドのレンズを保護するために使用します。
- **使い捨てスリーブ**: スキャン中に使用。患者をスキャンする前に、で説明されているように、新しい使い捨てスリーブを取り付けます [ワンドスリーブを装着する](#)。

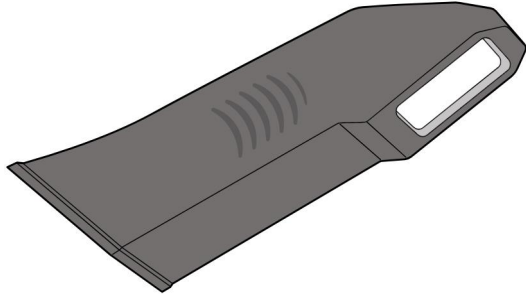


図 9: プロテクトスリーブ

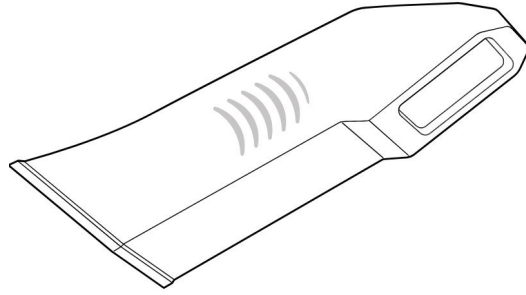


図 10: 使い捨てスリーブ

1.9 本説明書について

このマニュアルはiTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、およびiTeroエレメント2プラス 口腔内スキャナおよびソフトウェアの一般情報と概要について説明します。

さらに、本書ではシステムの組み立て方法、iTeroエレメント フレックスシステムへのソフトウェアのインストール方法、システムの起動と終了、システムの洗浄と消毒方法、患者ごとのワンドスリーブの交換方法についての説明を記載しています。

2 組み立て方法

このセクションでは、新しいスキャナの組み立て方法について説明します。

- [iTeroエレメント 2 スキャナの組み立て](#)
- [iTeroエレメント フレックススキャナの組み立て](#)
- [iTeroエレメント2プラス スキャナの組み立て – カート 設定](#)
- [iTeroエレメント2プラススキャナの組み立て – モバイル設定](#)

2.1 iTeroElement 2 スキャナの組み立て

以下の手順に従って、iTerоElement 2 ホイールスタンドスキャナ設定を組み立ててください。



AC電源



バッテリー



クリック



DC電源



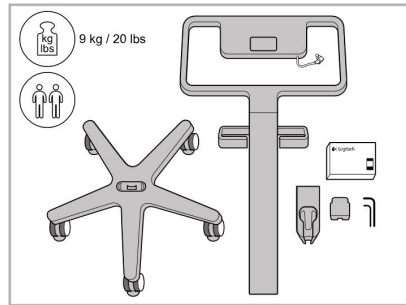
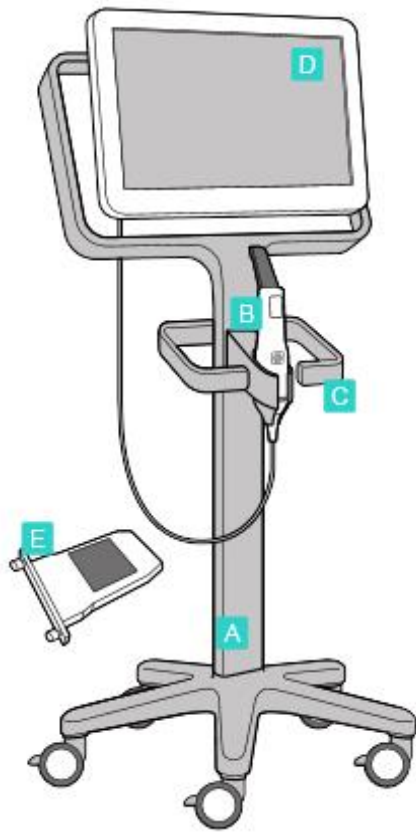
電源ボタン



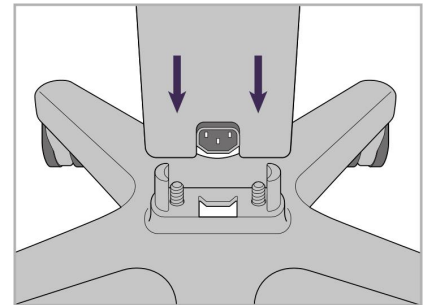
ワンド



設置には2人必要です

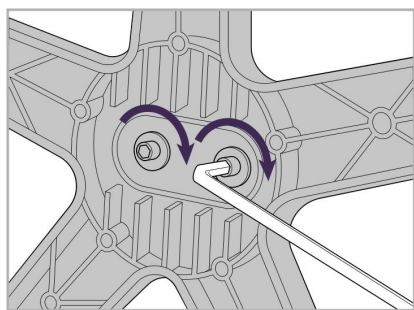


1. 箱の内容物を確認します。

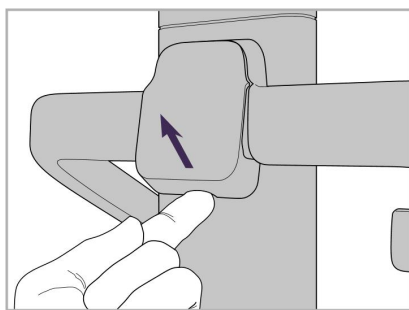


2. 支柱をホイールスタンドに接続します。

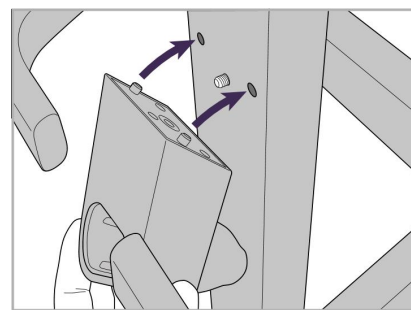
- A ホイールスタンド
- B ケーブル付きワンド
- C ワンドクレードル
- D HD タッチスクリーン
- E 外部バッテリー



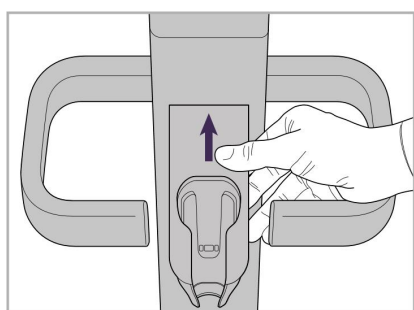
3. 大きい六角レンチを使って2つのめじを締め付けます。



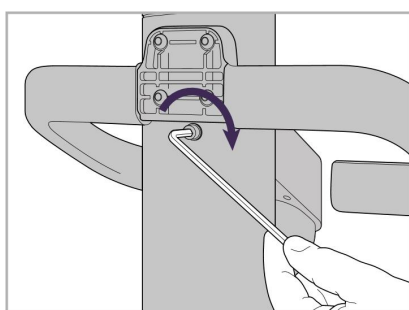
4. ハンドルの背面からカバーを取り外します。



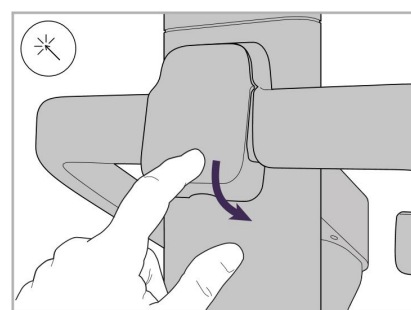
5. ワンドクレードルをホイールスタンドの前面に取り付けます。



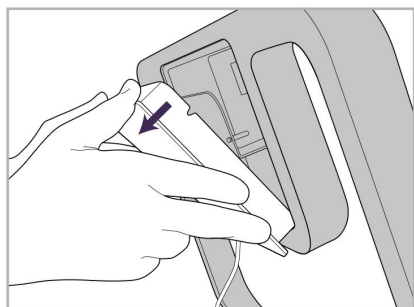
6. クレードルを握ります。



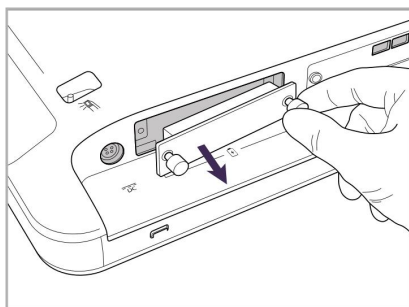
7. ワンドクレードルの背面にある六角ねじを小さいレンチを使って締め付けます。



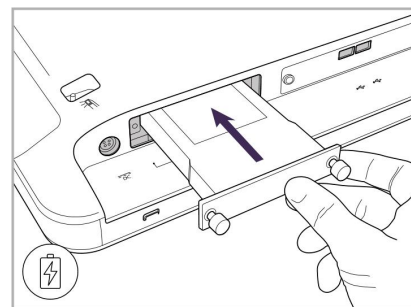
8. ハンドルの背面のカバーを再度取り付けます。



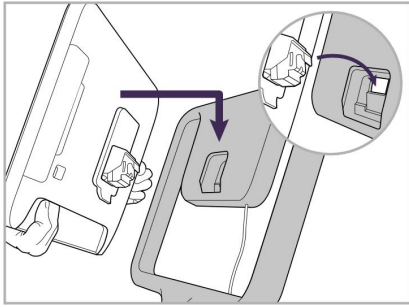
9. の背面から磁気カバーを取り外します。ホイールスタンドフレーム。



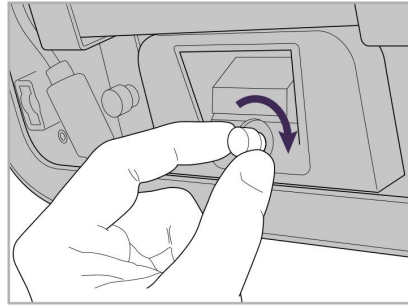
10. バッテリーカバーを取り外します。



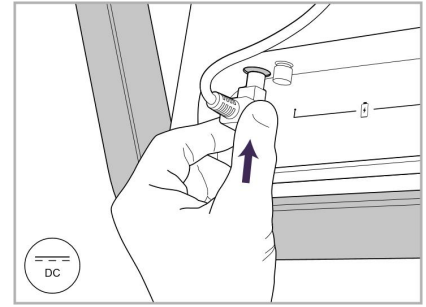
11. バッテリーをバッテリースロットに入れ、蝶ねじを締め付けます。



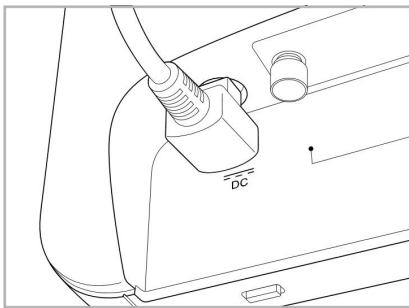
12. HDタッチスクリーンを持ち上げて取り付けます。



13. スキャナを回転させ、蝶ねじを締め付けてHDスクリーンを固定します。



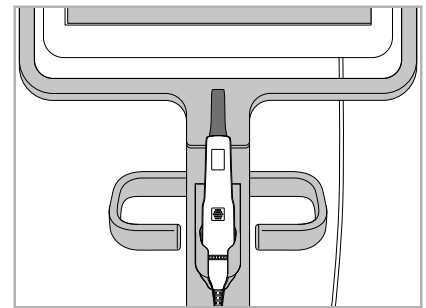
14. 電源ケーブルをDCというラベルの付いたポートにつなぎます。



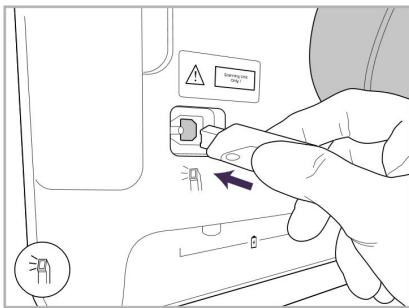
電源ケーブルが挿入された状態。



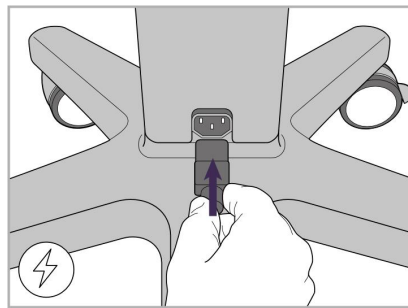
15. マグネット式のカバーを取り付けます。



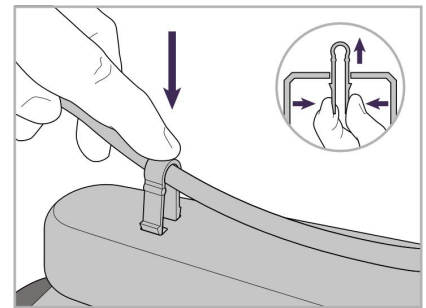
16. ワンドをクレードルに置きます。



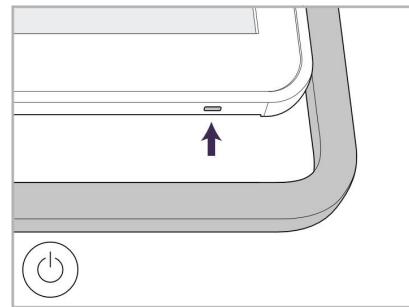
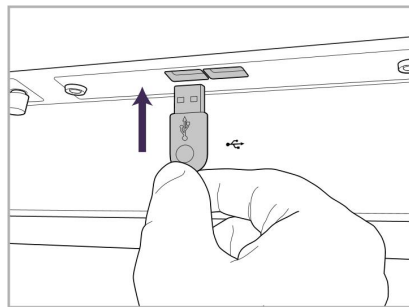
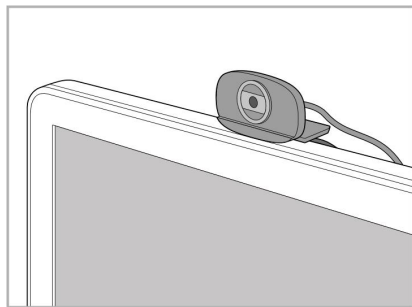
17. ワンドケーブルをHDタッチスクリーンの背面に取り付けます。



18. 電源ケーブルをホイールスタンドの底面に取り付けます。



19. ホイールスタンドの底面にケーブルを配置し、クリップで固定します。



20. リモートトレーニングまたはサポートセッション用のWebカメラをHDタッチスクリーン上に配置します。

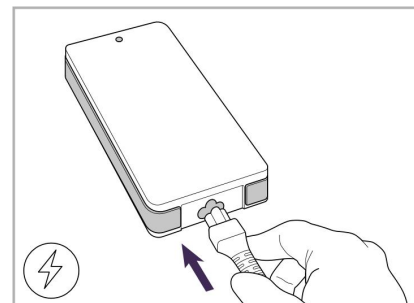
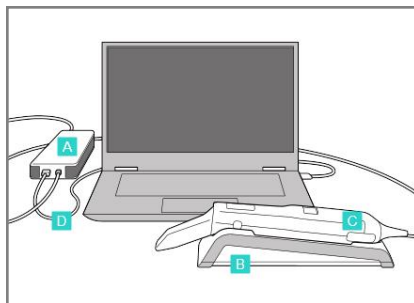
21. WebカメラをHDタッチスクリーンの底面のUSBソケットポートに差し込みます。

22. 電源ケーブルをAC電源コンセントに差し込み、電源ボタンを押してスキャナーをオンにします。

2.2 iTerоエレメント フレックススキャナの組み立て

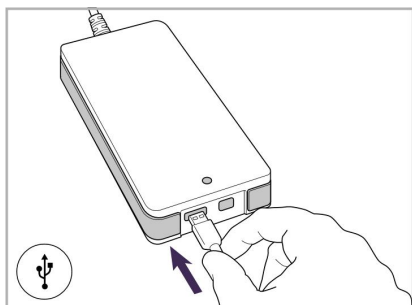
以下の手順に従って、iTerоエレメント フレックススキャナを組み立ててください。

- A ハブおよびハブ電源ケーブル
- B クレードル
- C ワンドおよびワンドケーブル
- D ラップトップパソコンとハブ接続用 USBケーブル

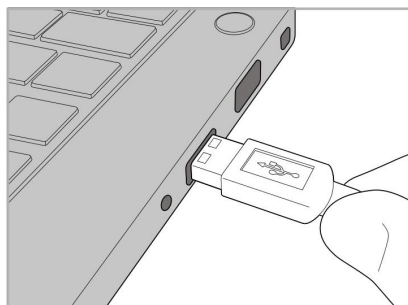


1. ワンドをクレードルに置きます。

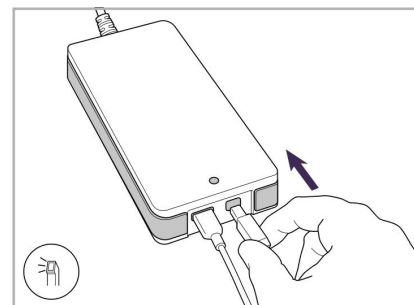
2. ハブの電源ケーブルをハブに接続します。



3. USBケーブルをハブに接続します。



4. USBケーブルをラップトップパソコンに接続します。



5. ワンドケーブルをハブに接続します。

6. ハブの電源ケーブルをAC電源コンセントに差し込みます。

備考:

- ハブは常に壁のAC電源に接続されている必要があります。
- 口腔内スキャン中は、ラップトップパソコンは壁のAC電源に接続されている必要があります。

2.2.1 iTerоエレメント フレックスソフトウェア

新しいiTerоエレメント 2システムにはソフトウェアがインストールされていますが、iTerоエレメント フレックスシステムには、ソフトウェアをダウンロードして、インストールする必要があります。

備考:

- iTerоソフトウェアをインストールする前に、利用可能なすべてのWindowsアップデートをインストールしてください。新しいWindowsコンピューターでは、アップデートは自動的に更新されます。
- 互換性のあるウイルス対策プログラム(Norton、McAfee、またはESET)のいずれかがインストールされていることを確認します。

iTeroエレメント フレックスシステムのソフトウェアを適切にインストールして設定するには、次のことを確認してください:

- ワンドがクレードル内に固定され、ハブに接続されていること
- ハブがラップトップパソコンに接続されていること
- ソフトウェアのインストール中、パソコンが壁のAC電源に接続されていること

iTeroソフトウェアをインストールするには:

1. 利用可能なすべてのWindowsアップデートをインストールします。
 - a. Windows更新プログラムを確認するには、「**ウィンドウズ設定**」ウィンドウ(Windowsキー + I)を開き、「**更新とセキュリティ**」をクリックします。
 - b. 「**Windows Update**」をクリックします。
 - c. 「**更新情報を確認**」をクリックし、ソフトウェアを更新できるかどうかを確認します。
2. 登録したEメールの受信トレイで、ダウンロード手順が記載された「あなたのiTeroが発送されました」というタイトルの受信メールを探してください。
3. リンクをクリックしてソフトウェアのダウンロードページにアクセスするか、download.itero.comを参照してください。
4. ウェブサイトで、「**開始**」ボタンをクリックします。**FirstTimeInstaller.exe**ファイルがダウンロードされます。
5. ダウンロードしたインストールファイルを実行し、画面の指示に従ってiTeroソフトウェアのインストールを完了します。「**Welcome(ようこそ)**」画面が表示されます。[スキャナの登録 – Make it Mine \(設定を開始する\) プロセス](#)の説明に従って続行します。

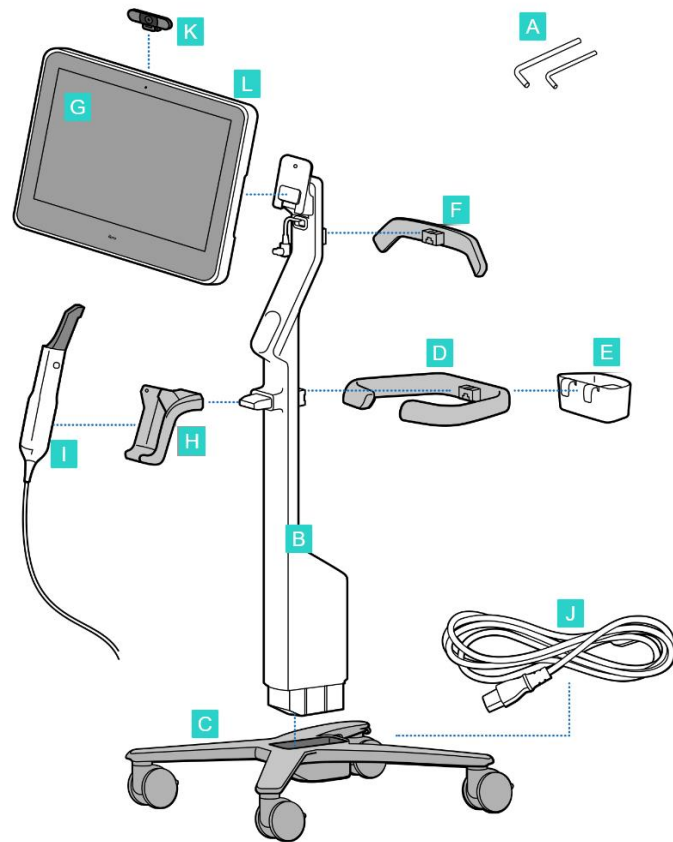
2.3 iTeroエレメント2プラス スキャナの組み立て - カート設定

スキャナのパッケージは、シンプルかつ簡単な組み立てプロセスを提供するように設計されています。

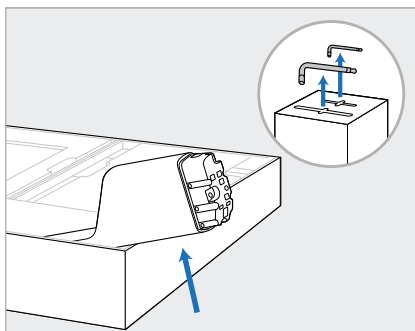
以下の手順に従って、スキャナを組み立ててください。

さらにヘルプが必要な場合は、iTeroサポートにお問い合わせください。

- A アーレンキー 2個
(支柱上部の白いフォーム内)
- B 支柱
- C ホイールスタンド
- D メインハンドル
(付属品箱内)
- E 新スリーブ用バスケット
(付属品箱内)
- F 上部ハンドル
(付属品箱内)
- G フルHDタッチスクリーンコンピューティングユニット
- H クレードル
- I ワンド
- J 電源ケーブル
- K ウェブカメラ
- L 電源スイッチ

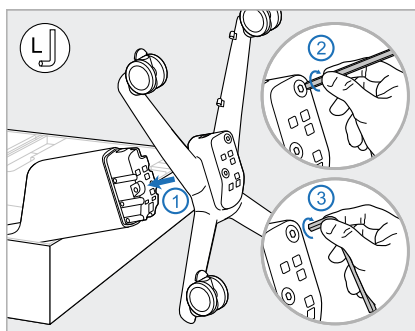


注意: システムまたは付属品に損傷が見つかった場合は、スキャナを組み立てたり使用したりせずに、iTeroサポートに連絡してください。

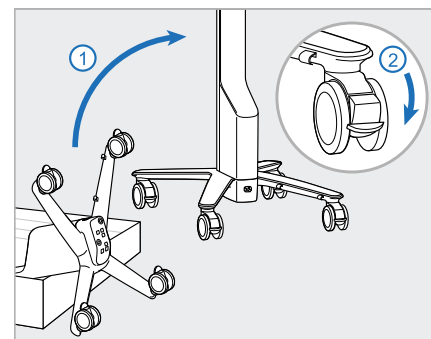


1. すべての発泡スチロール製カバーを箱から取り外します。
注：2つのアレンキー(A)は、支柱(B)を覆う発泡スチロールの上部にあります。

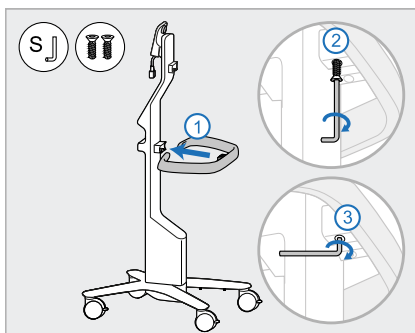
2. 支柱(B)を持ち上げ、少し引き出して、箱の縁に置きます。



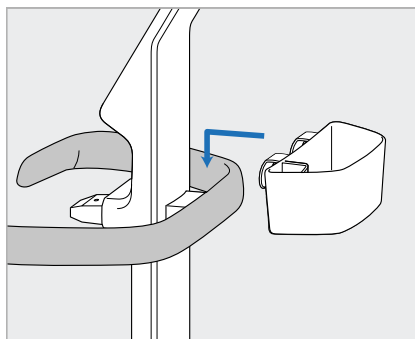
3. ホイールスタンド(C)を支柱(B)の端に取り付け、最初に大きなアレンキーの長い方を使用して、次に短い方を使用して締めます。



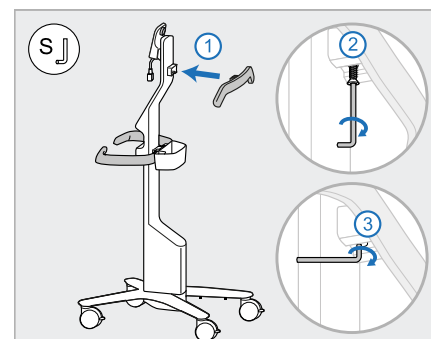
4. ホイールスタンドを直立させ、少なくとも2つのホイールをロックします。



5. メインハンドル(D)と2本のネジをアクセサリボックスから取り出します。
メインハンドルを取り付け、最初に小さなアレンキーの長い方、次に短い方を使用して締めます。

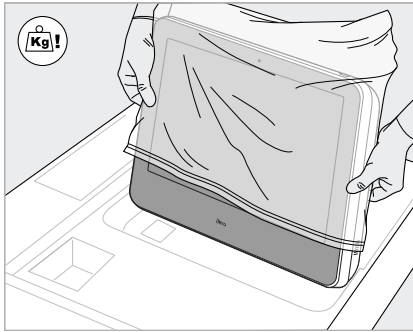


6. スリーブバスケット(E)をアクセサリボックスから取り出し、メインハンドル(D)の背面に取り付けます。

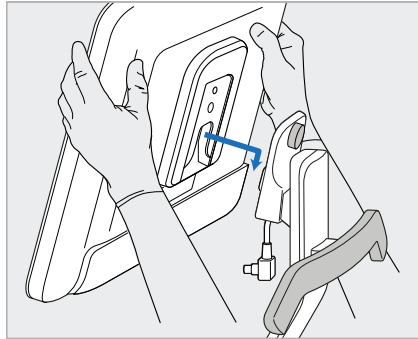


7. アクセサリボックスから上部ハンドル(F)を取り出し、プルタブを取り外してネジを取り出します。

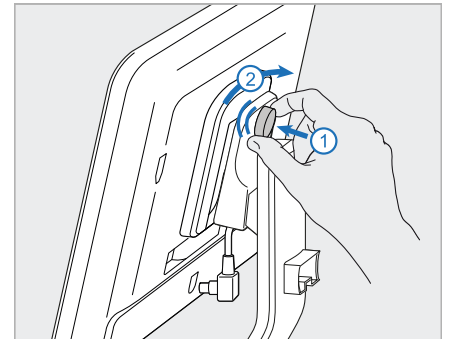
8. 上部ハンドル(F)を支柱(B)に取り付け、最初に小さなアレンキーの長い方、次に短い方を使用して締めます。



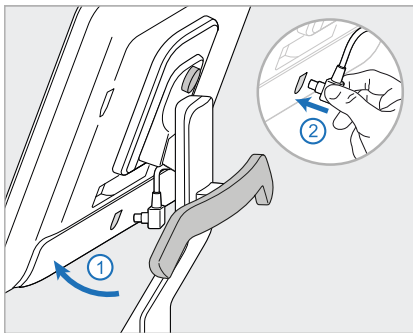
9. 保護包装材料からコンピューティングユニット (G) を慎重に取り出します。
注: コンピューティングユニットは重いので、慎重に持ち上げてください。



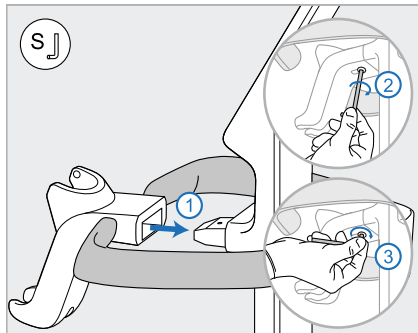
10. ホイールスタンドの後ろに立ち、コンピューティングユニット (G) を金属性のヒンジに取り付け、押し下げます。
注: コンピューティングユニットがスクリーンケーブルを押していないことを確認してください。その場合は、ケーブルを横に動かします。



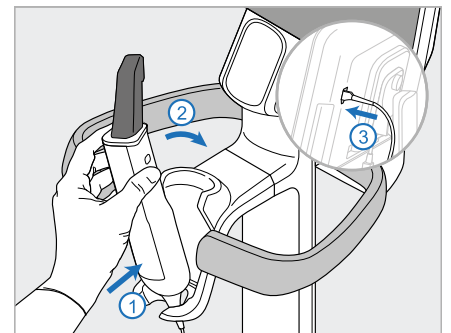
11. ネジを押して締めて、コンピューティングユニット (G) を取り付けます。



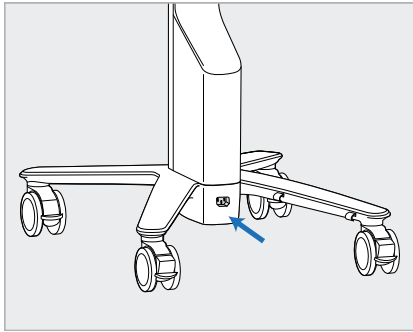
12. ケーブルコネクタが覆われている場合は、カバーを取り外します。画面を上に向け、スクリーンケーブルを接続します。



13. クレードル (H) を支柱 (B) に取り付け、最初に小さなアレンキーの長い方、次に短い方を使用して締めます。を使用して締めます。

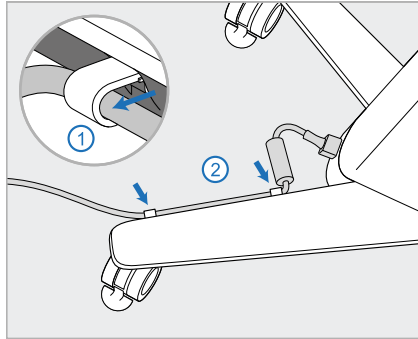


14. ワンドのベース (1) をクレードル (H) に挿入し、軽く押し、ワンドがクレードルに完全に挿入され、固定されていることを確認します。
15. ワンドケーブルをスクリーン (G) の背面に取り付けます。

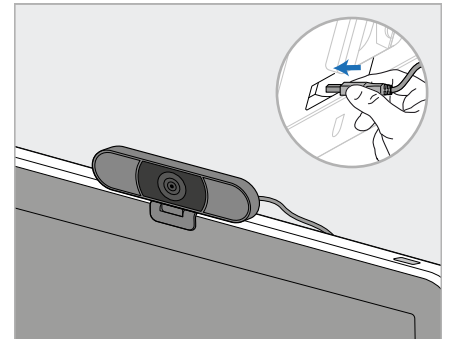


16. 電源ケーブル(J)をホイールスタンドの底面に取り付けます。

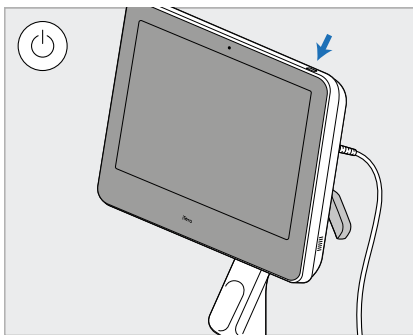
警告: 保護アースリードを備えた付属の電源ケーブルのみを使用してください。



17. 電源ケーブル(J)を2つのケーブルクリップに固定し、完全に挿入されていることを確認します。



18. リモートトレーニングまたはサポートセッションの場合は、スクリーンの上にWebカメラ(K)を設置し、スクリーンの背面にあるUSBポートに接続します。
注: Webカメラは、トレーニングまたはサポートセッションのたび切断する必要があります。



19. 電源ケーブル(J)をコンセントに差し込み、電源ボタン(L)を押してスキャナをオンにします。

備考:

- 使用するたびに、必ずワンドをクレードルに戻してください。
- ワンド、クレードル、およびその他のシステムコンポーネントは、[お手入れとメンテナンス](#)に記載されているように、各患者への使用前に洗浄および消毒する必要があります。
- スキャナがコンセントから簡単に取り外せる位置に配置されていることを確認してください。

ワンドをクレードルから取り外すには、まずワンドの上部を手前に引いてから、クレードルからそと取り外します。

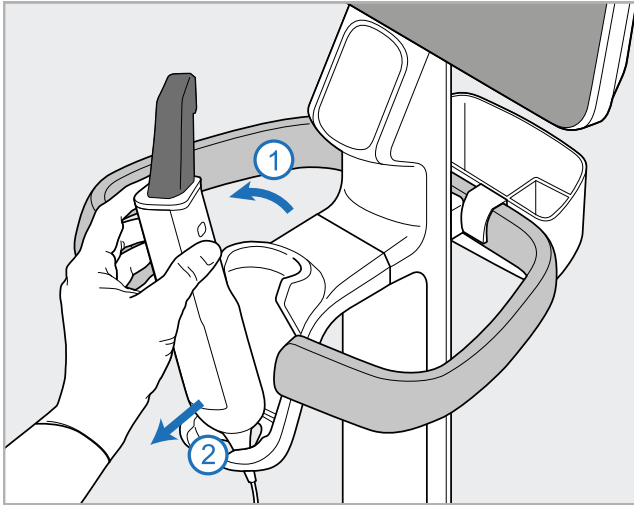


図 11: クレードルからワンドを取り外す

スキャナを移動するときは、電源ケーブルを慎重に上部ハンドルに巻き付けてから、上部ハンドルを使用してスキャナを押します。

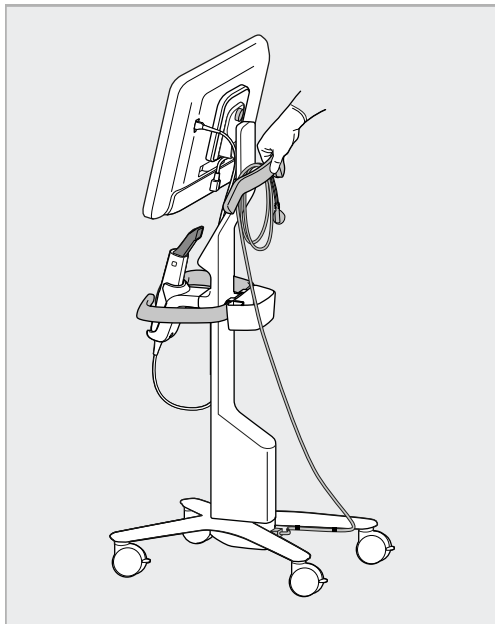


図 12: スキャナの移動

スキャナを持ち上げる必要がある場合は、上部ハンドルと支柱を持ってください。メインハンドルを持ってスキャナを持ち上げないでください。

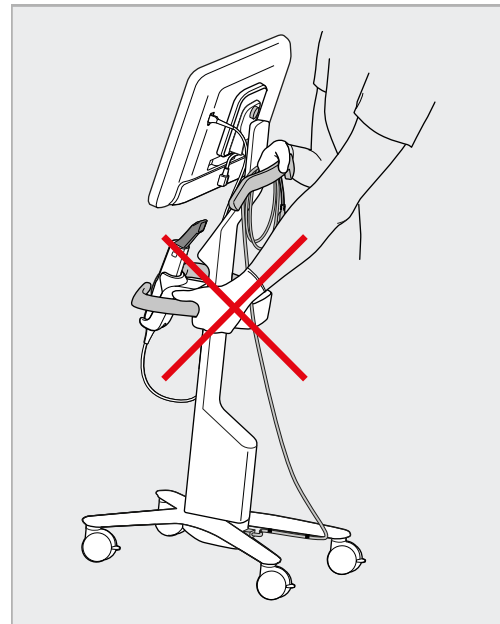


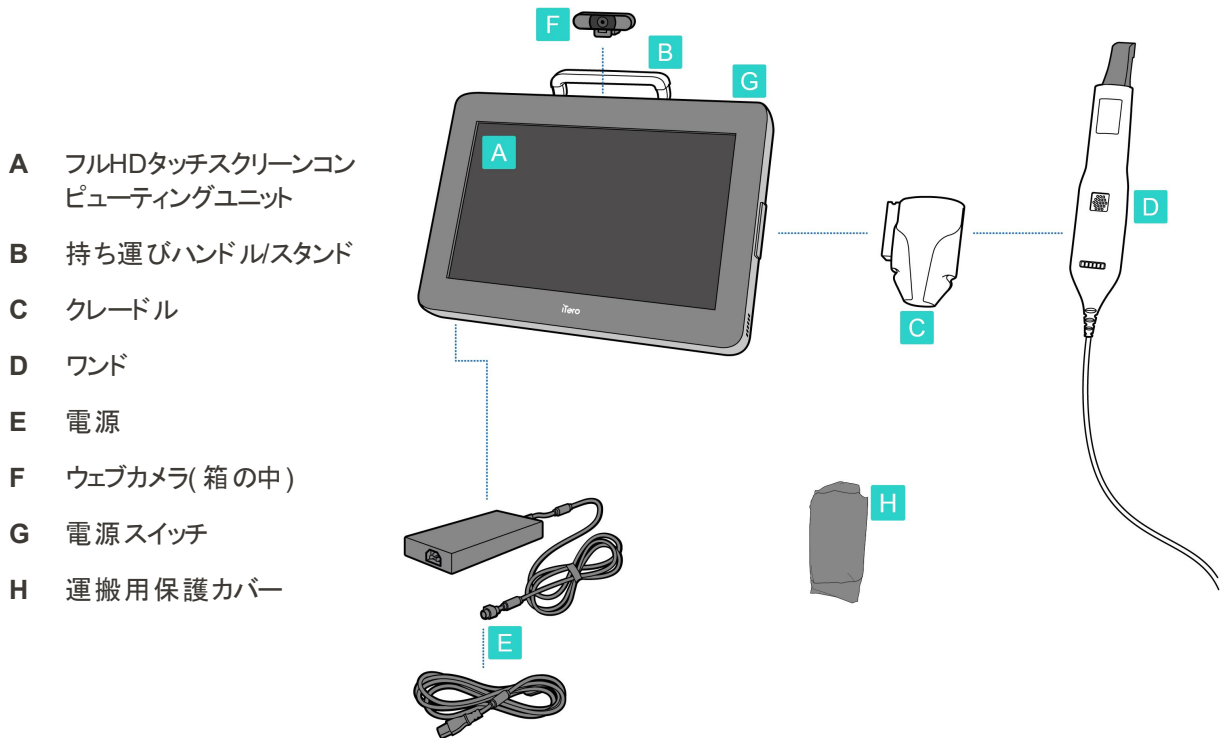
図 13: メインハンドルを持ってスキャナーを持ち上げないでください

2.4 iTeroエレメント2プラススキャナの組み立て – モバイル設定

スキャナのパッケージは、シンプルかつ簡単な組み立てプロセスを提供するように設計されています。

以下の手順に従って、スキャナを組み立ててください。

さらにヘルプが必要な場合は、iTeroサポートにお問い合わせください。

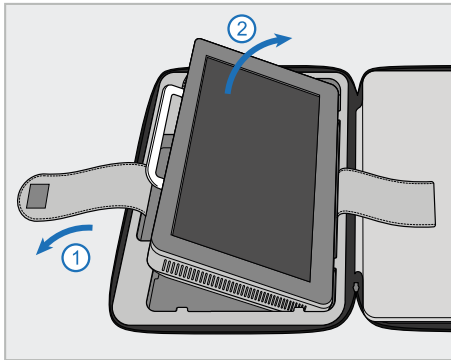


注意: システムまたは付属品に損傷が見つかった場合は、スキャナを組み立てたり使用したりせずに、iTeroサポートに連絡してください。

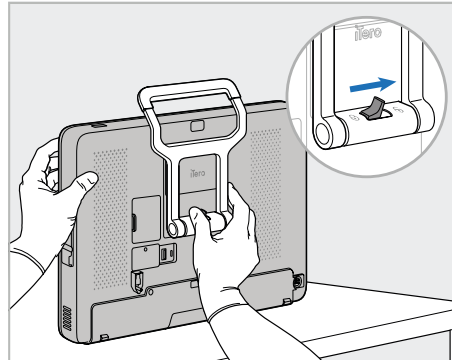
このセクションでは、次の方法について説明します。

- スキャナの組み立て、詳細は [初期組み立て](#)
- クリニック内でのスキャナの移動、詳細は [クリニック内でのスキャナの移動](#)
- 輸送前にスキャナを運搬用ケースに梱包する、詳細は [運搬用ケースの使用](#)
- オプションの保護カバーで運搬用ケース保護する、詳細は [オプションの運搬用保護カバー](#)
- VESAマウントにスキャナを載せる、詳細は [VESAマウント](#)

2.4.1 初期組み立て

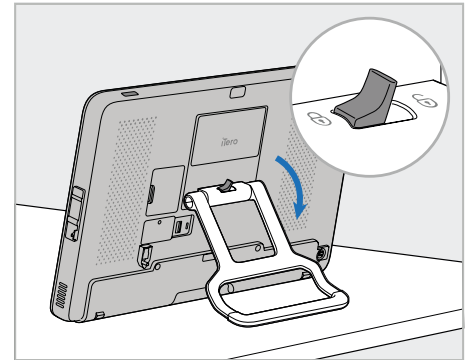


1. コンピューティングユニット (A)を保持しているストラップを外し、ハンドル (B)を持って取り出します。

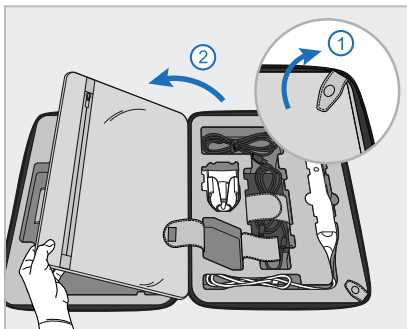


2. コンピューティングユニット (A)を滑らかな面に置き、片手で持ちます。

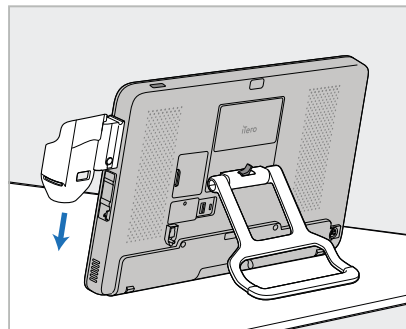
コンピューティングユニットを保持している間、カチッと音がするまでロックラッチを右にスライドさせて、ハンドル (B)のロックを解除します。



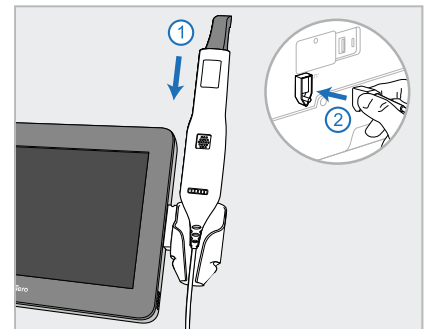
3. ハンドル (B)を立ち位置まで下げます。ハンドルを引き上げて、ハンドルが所定の位置にしっかりとロックされていることを確認します。



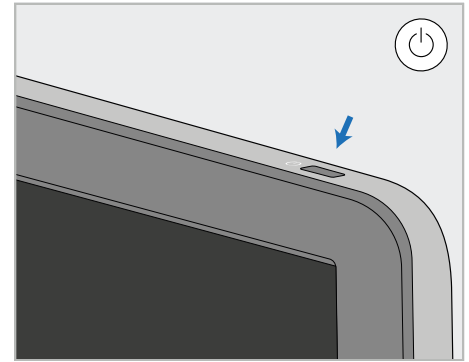
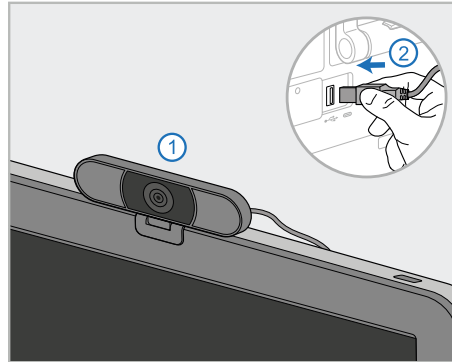
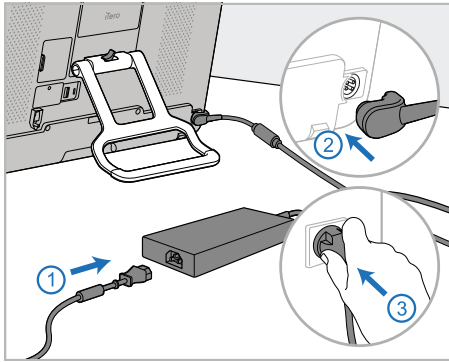
4. 留め具を外し仕切りを開いて、残りのスキャナコンポーネントを取り出します。



5. カチッと所定の位置に収まるまで、コンピューティングユニット (A)の側面にあるスライダーのクレードル (C)を下にスライドさせます。クレードルがしっかりと固定されており、引っ張っても取れないことを確認してください。



6. ワンド (D)をクレードル (C)に置き、ワンドケーブルをコンピューティングユニット (A)の背面にあるマーク (M)の付いたポートに接続します。



7. 電源ケーブルを電源 (E) に接続します。その後、ケーブルの片側をコンピューティングユニット (A) の背面に接続し、もう一方の側を電源コンセントに接続します。

警告: 保護アースリードを備えた付属の電源ケーブルのみを使用してください。

注: 誤ってケーブルにつまつかないようにケーブルを安全な方法で配置してください。

8. リモートトレーニングまたはサポートセッションの場合は、コンピューティングユニット (A) の上にWebカメラ (F) を設置し、コンピューティングユニットの背面にあるUSBポートに接続します。

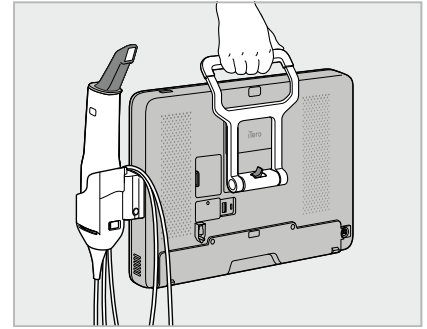
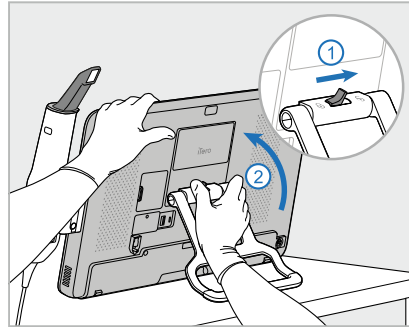
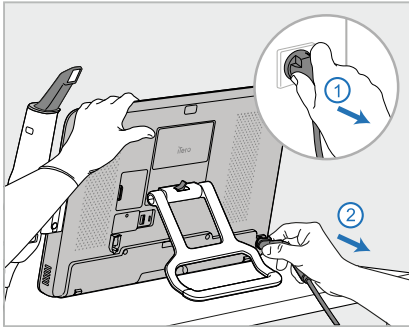
注: Webカメラはスキャナボックスに梱包されています。

9. 電源ボタン (G) を押してスキャナの電源を入れます。

備考:

- Webカメラは、トレーニングまたはサポートセッションのたびに切断する必要があります。
- 使用するたびに、必ずワンドをクレードルに戻してください。
- ワンド、クレードル、およびその他のシステムコンポーネントは、[お手入れとメンテナンス](#)に記載されているように、各患者への使用前に洗浄および消毒する必要があります。
- スキャナがコンセントから簡単に取り外せる位置に配置されていることを確認してください。

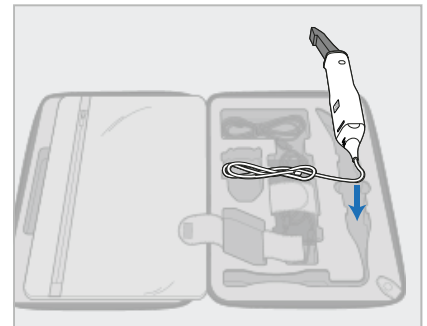
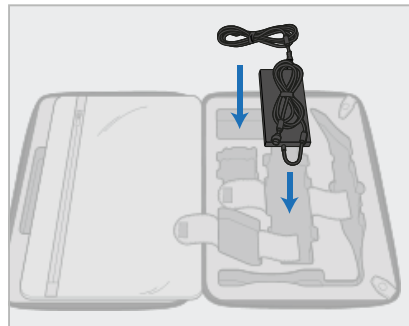
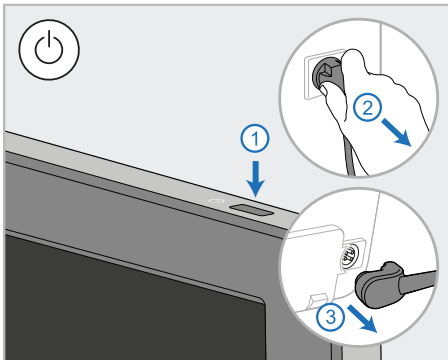
2.4.2 クリニック内でのスキャナの移動



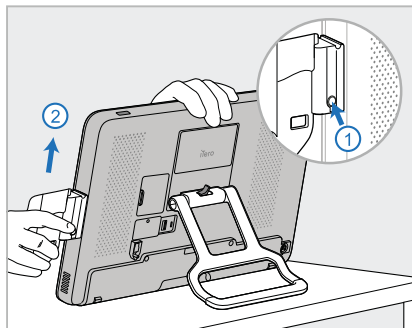
1. ワンド (D)がクレードル (C) にしっかりと配置されていることを確認します。
2. 電源ケーブル (E) を主電源から外し、次にコンピューティングユニット (A) の背面から外します。
3. コンピューティングユニット (A) を片手で持ちながら、ロッキングラッチを右にスライドさせてハンドル (B) のロックを解除し、ハンドルを持ち運び位置に移動します。
4. 簡単かつ安全に持ち運べるよう、ワンドケーブルをクレードル (C) に緩く巻き付けます。

2.4.3 運搬用ケースの使用

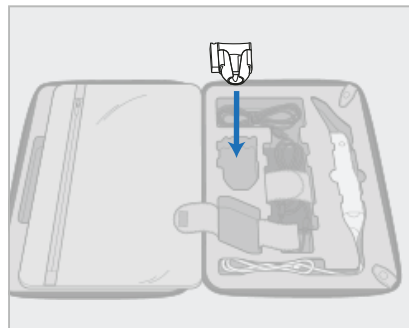
スキャナを輸送する前に、付属の運搬用ケースに梱包してください。



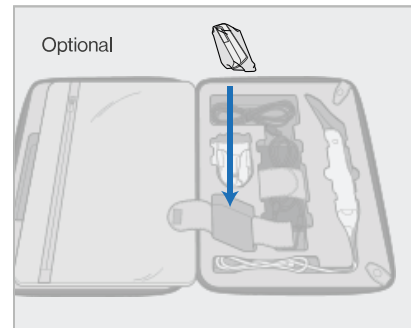
1. スキャナの電源を切り、電源ケーブル (E) を主電源から外し、次にコンピューティングユニット (A) の背面から外します。
2. 梱包を簡単にするために、最初に電源パック (E) を運搬用ケース内の指定された区画に入れます。ケーブルの薄い部分を束ねて電源装置の上に置き、次にケーブルの厚い部分を束ねて運搬用ケース内の区画に入れます。
3. ワンド (D) を取り外し、運搬用ケース内の区画に入れます。



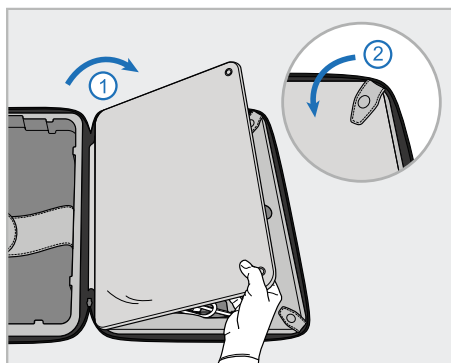
4. 片手でコンピューティングユニット (A) を持ちながら、リリースボタンを押してクレードルを引き上げ、クレードル (C) を取り外します。



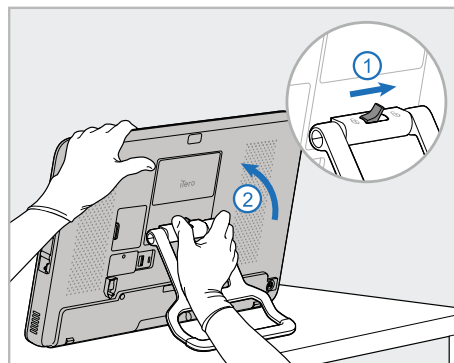
5. クレードル (C) を運搬用ケースに入れます。



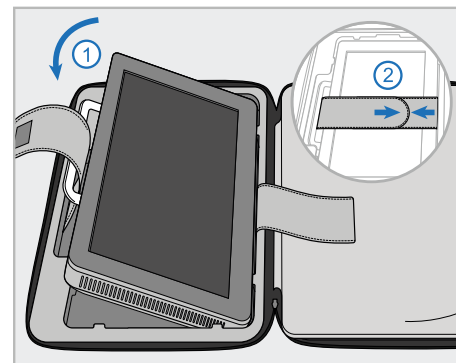
6. オプション: 運搬用保護カバー (H) の代わりに、クレードル (C) の横の区画に新しいスリーブを入れます。



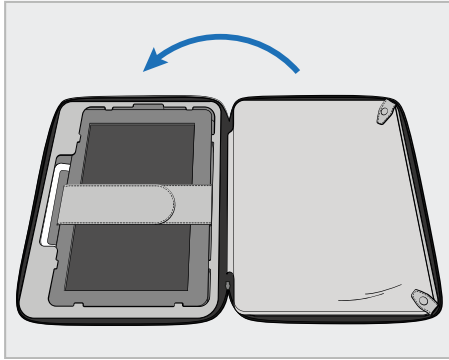
7. 仕切りを動かしてスキャナのコンポーネントを覆い、留め具で仕切りを固定します。



8. ロックラッチを右にスライドさせてスタンド (B) のロックを解除してから、持ち運び用ポジションに移動します。



9. コンピューティングユニット (A) を運搬用ケースの区画に入れます。外側のストラップをハンドル (B) に通し、ストラップを閉じて、しっかりと固定されていることを確認します。



10. 固定された仕切り側を持ち上げて運搬用ケースを閉じ、チャックを閉めます。

これで、スキャナを持って移動する準備が整いました。

必要に応じて、オプションの運搬用保護カバー(H)を使用してください、詳細は[オプションの運搬用保護カバー](#)。

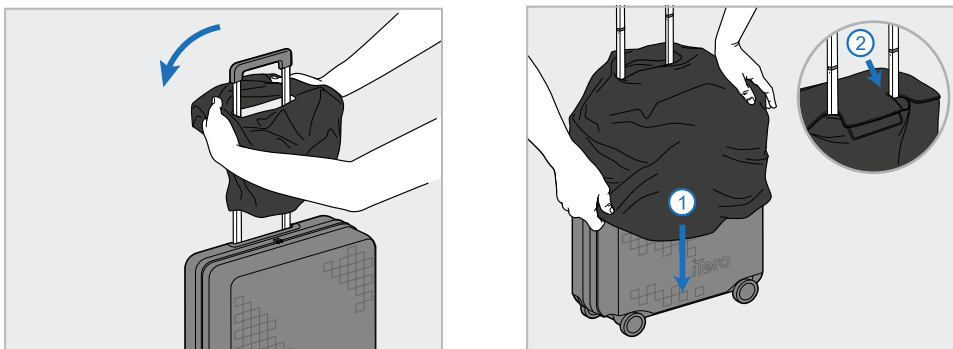
備考：

- 運搬用ケースの取り扱いには注意が必要です。
- スキャナが極度の高温に達するのを防ぐために、運搬用ケースを直射日光の下に放置しないでください。
- 湿気からシステムコンポーネントを保護するために、運搬用ケースが乾燥状態で保管されていることを確認してください。
- スキャナが、極端に温度が高い/低い、または高湿度の環境からオフィスに持ち込まれた場合は、内部の結露を避けるために機器が室温に戻るまで起動せずに保管してください。
- さまざまな輸送条件によって引き起こされる恐れのあるスキャナの損傷を防ぐために、飛行機で旅行するときは荷物として運搬用ケースを預けないでください。

2.4.4 オプションの運搬用保護カバー

運搬用ケースには、摩耗や悪天候から保護するのに役立つオプションの保護カバーが付属として付いています。

注：保護カバーは雨に対する一定レベルの保護を提供しますが、防水性ではありません。



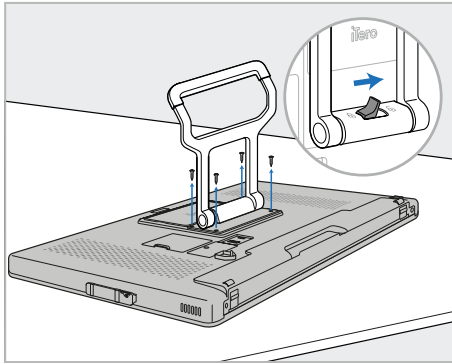
1. VELCRO®のフラップを開き、保護カバー(H)を運搬用ケースハンドルに滑り込ませます。
2. 運搬用ケースを覆うように引き下げてから、VELCRO®フラップを閉じます。

2.4.5 VESAマウント

スキャナは、サードパーティのVESAベースのマウントソリューションを用いてスキャナーをマウントするために使用できる、標準の100mm VESAマウントインターフェイスを提供します。

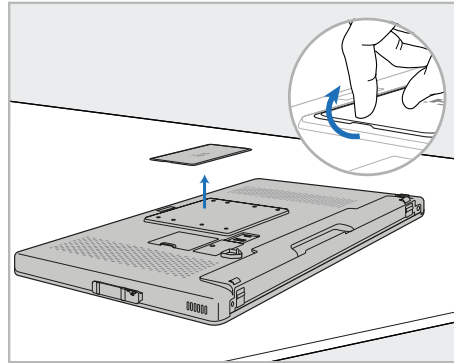
備考：

- 選択したVESAマウントソリューションが、以下のスキャナ仕様をサポートしていることを確認してください。
 - VESA 100mm
 - 最小重量：6kg(コンピューティングユニット、ワンド、クレードルを含む)。
推奨重量：9kg。
- スキャナがすでに組み立てられている場合は、[運搬用ケースの使用](#)の説明に従って、電源ケーブルとクレードルを取り外す必要があります。
- コンピューティングユニットをVESAマウントに接続する作業(以下の手順3)は、2人で行うことをお勧めします。

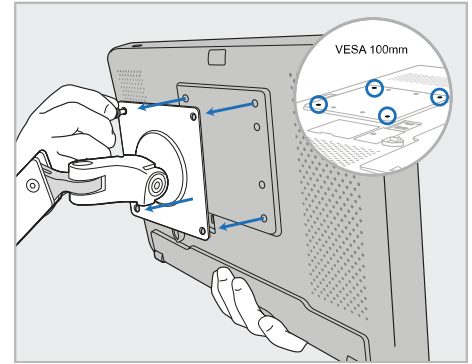


1. コンピューティングユニット (A) を下向きにして、滑らかで平らな面に置きます。

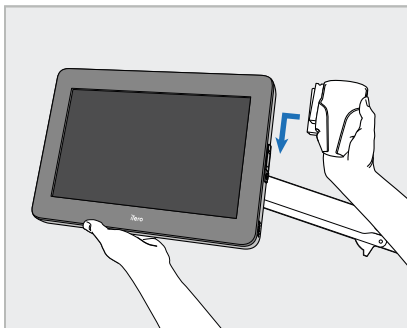
必要に応じて、ハンドル(B)を持って動かしながら、プラスドライバーで4本のネジを外します。



2. iTeroの背面カバープレートを取り外して、VESAのネジ穴を露出させます。(カバープレートとネジは運搬用ケースに保管することをお勧めします。)

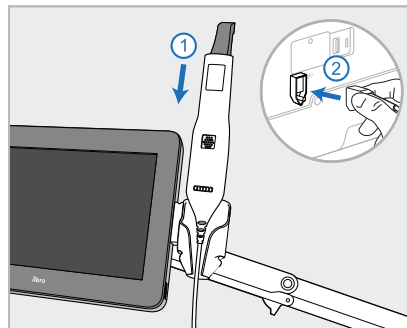


3. マウントソリューションに付属のネジを使用して、コンピューティングユニット (A) を外部 VESA マウント (VESA 100) に接続します。
オプション: 必要に応じて、Align から 3m の電源ケーブルを購入できます。

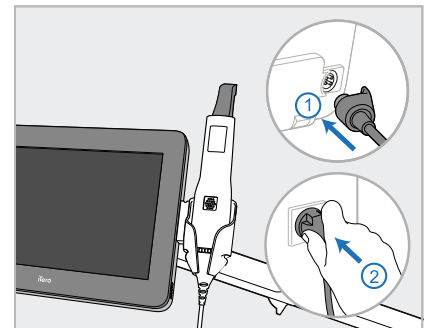


4. 片手でコンピューティングユニット (A) を支えながら、カチッと所定の位置に収まるまで、コンピューティングユニット (A) の側面にあるスライダーのクレードル (C) をスライドさせます。

クレードルがしっかり固定されており、引っ張っても取れないことを確認してください。



5. ワンド (D) をクレードル (C) に置き、ワンドケーブルをコンピューティングユニット (A) の背面にあるマーク (P) の付いたポートに接続します。



6. 電源ケーブル (E) をコンピューティングユニット (A) の背面に接続し、次に主電源に接続します。

備考:

- 電源パックが床またはテーブルの上に置かれ、空中にぶら下がっていないことを確認してください。

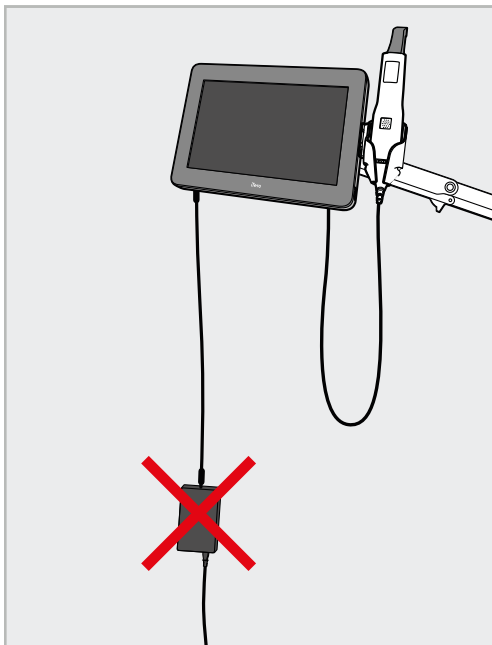


図 14: 電源パックを空中にぶら下げない

- ワンドがクレードルから滑り落ちないように、スクリーンを45度以上傾けないでください。

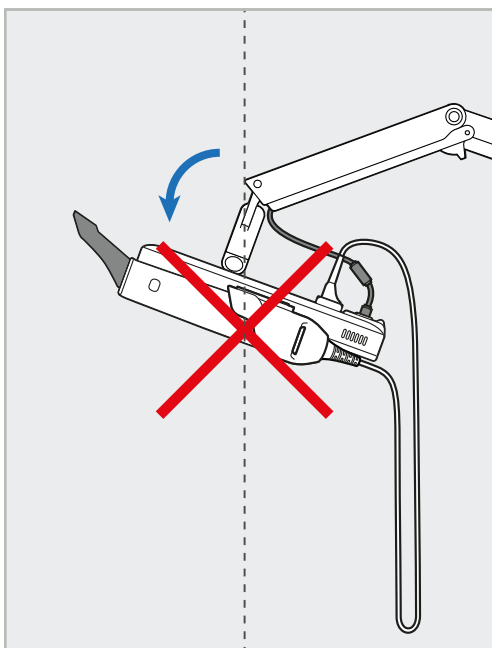


図 15: スクリーンを45度以上傾けない

3 はじめに

3.1 スキャナアプリケーションへの初ログイン

初めてスキャナの電源を入れると、「Welcome(ようこそ)」画面が表示されます：

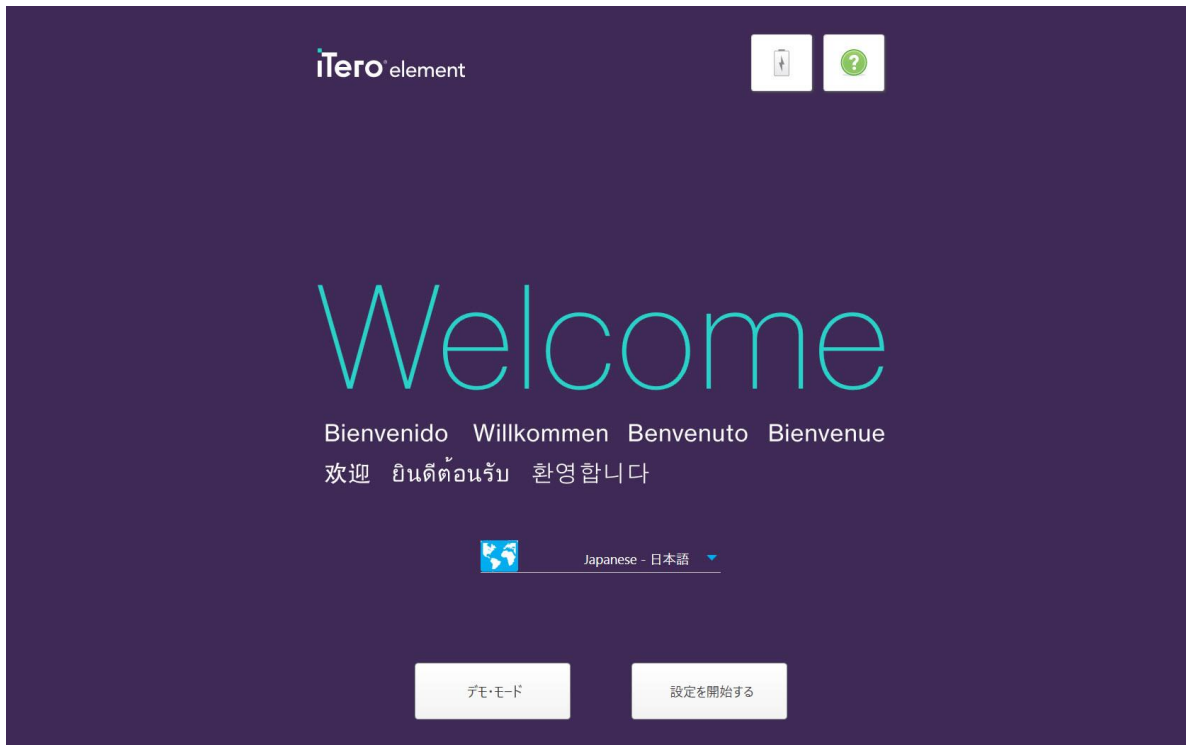


図 16: Welcome(ようこそ)画面

必要な言語を選択し、「Make It Mine (設定を開始する)」オプションを選択します。

3.2 スキャナの登録 – Make it Mine (設定を開始する)プロセス

スキャナを登録するには、以下の詳細情報が必要です：

- ユーザー名
- ユーザーパスワード
- Company ID(会社ID)

iTerоの担当者から、ログイン認証情報とMake it Mine (設定を開始する)のプロセスの詳細についてのEメールが届きます。

スキャナを登録するには：

1. ようこそページで、言語を選択します。

2. 「Make It Mine (設定を開始する)」をタップします。

「接続」ページが表示され、使用可能なネットワークのリストが表示されます。



図 17: 利用可能なネットワークのリストを表示する接続ページ

3. リストの中からクリニックネットワークを選択し、「接続する」をタップします。

ネットワークセキュリティキーの入力を求められます。



図 18: セキュリティキーの入力

4. セキュリティキーを入力し、「接続する」をタップします。
スキャナがインターネットに接続され、オンラインになります。



図 19: スキャナがインターネットに接続され、オンラインになります

5. 「次へ」をタップします。
Alignとの通信が検証されます。



図 20: Alignとの通信の検証

6. 検証が完了したら、「次へ」をタップします。
「タイムゾーン」ページが表示されます。



図 21: タイムゾーンの選択

7. デフォルトのタイムゾーンが正しい場合は「次へ」をタップ、ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択して「適用する」をタップします。
「システムの登録」ページが表示されます。



図 22: システムを登録してセットアップをカスタマイズします

8. メールアドレス、パスワード、およびCompany IDを提供されたフィールドに入力します。システムが登録されたら、「登録」をタップし、それから「次へ」をタップします。

「スキャナの設定」ページが表示され、iTeroサブスクリプションパッケージが表示されます。



図 23: iTeroサブスクリプションパッケージの例

9. 「次へ」をタップします。

「使用許諾契約」ページが表示されます。



図 24: 使用許諾契約

10. 使用許諾契約の内容を確認し、それに同意した上でチェックボックスを選択し、「次へ」をタップします。システムがアップグレードをチェックし、必要に応じて最新バージョンにアップグレードされます。



図 25: アップデートの確認

11. 「次へ」をタップします。システムが登録され、準備完了となります。



図 26: システムが登録済みで準備完了

12. 「iTeroエレメントへのログイン」をタップして、システムにログインします。
「ログイン」ウィンドウが表示されます。システムへのログインの詳細については、[スキャナへのログイン](#)を参照してください。

4 スキャナの操作

4.1 スキャナへのログイン

スキャナの電源が入ると、「ログイン」ウィンドウが表示されます。



図 27: ログインウィンドウ

iTeroスキャナにログインする際は、MyAligntechアカウント情報をご用意ください。その際には、ドクター名、アカウントのメールアドレス、パスワードが必要となります。すべての必須フィールドに入力した後、「ログイン」ボタンをタップします。

備考:

- 注: すべてのWindowsセキュリティパッチが最新であることを確認するため、セキュリティ更新プログラムがインストール可能になるとすぐに通知が表示されます。これらのセキュリティ更新プログラムのインストールスケジュールの詳細については、[Windowsセキュリティ更新プログラムのインストール](#)を参照してください。

- 前回スキャナの電源を正しく切らなかった場合は、そのことを通知するメッセージが表示され、「I UNDERSTAND (了解)」をタップしてメッセージを確認するまで表示されたままになります。スキャナのシャットダウンの詳細については、[スキャナのシャットダウン](#)を参照してください。



図 28: 予期しないシャットダウン通知

スキャナにログインするには:

1. **ドクター名** ドロップダウンリストからユーザー名を選択します。
2. myaligntech.comへの登録時に使用したメールアドレスを入力します。前回のログインセッションで「**ログイン情報を保存する**」チェックボックスを選択した場合、メールアドレスが自動的に表示されます。
3. **パスワード**を入力します。

テキストはアスタリスクとしてマスクされています。



The screenshot shows a login form titled "ログイン" (Login). It contains three input fields: "ドクター名" (Doctor Name) with a dropdown arrow, "ユーザー (Email)" (User (Email)), and "パスワード" (Password). The password field is highlighted with a red border and contains seven asterisks (*****). Below the fields is a checkbox labeled "ログイン情報を保存する" (Save login information) which is checked. At the bottom, there are three buttons: "アカウントを作成する" (Create account), "パスワードを忘れた" (Forgot password), and "ログイン" (Login).

図 29: パスワードはマスクされています

パスワードを忘れた場合は、[パスワードのリセット](#)で説明されているように、パスワードをリセットできます。

4. メールアドレスを記憶させるには、システムの「**ログイン情報を保存する**」チェックボックスをオンにします。スキャナにアクセスするには、引き続きパスワードを入力する必要があります。
5. 「**ログイン**」をタップします。

iTerоホーム画面が表示されます。

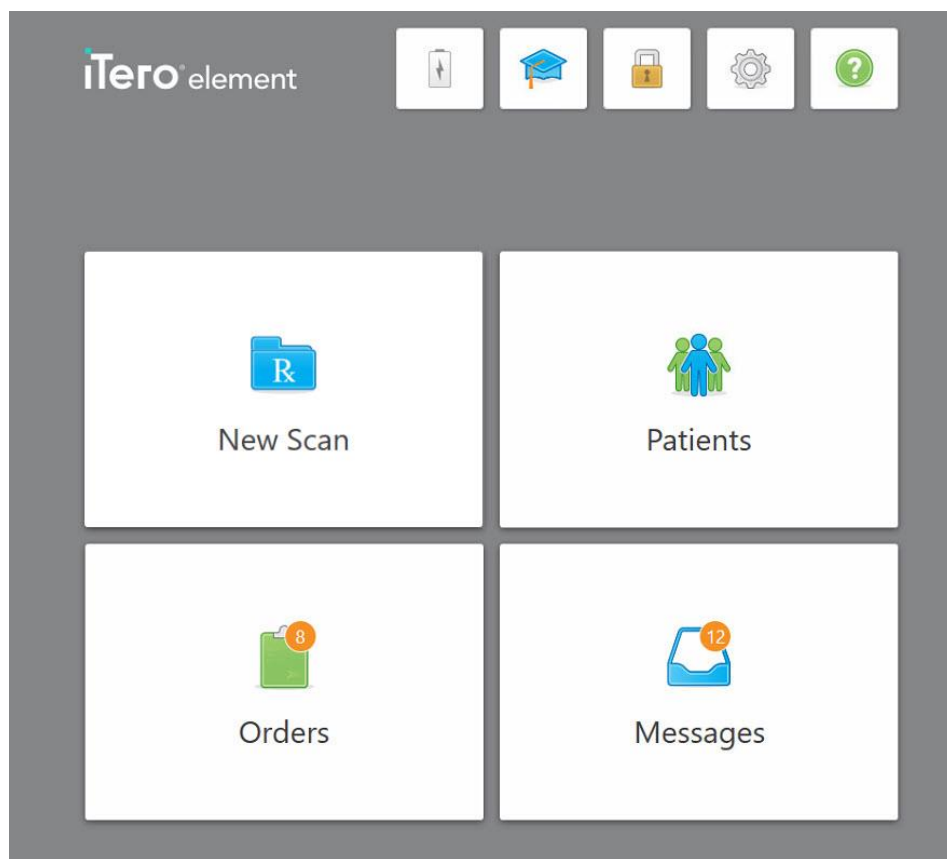


図 30: iTeroホーム画面

4.1.1 パスワードのリセット

必要に応じて、パスワードをリセットできます。

パスワードをリセットするには:

1. 「ログイン」ウィンドウで、「パスワードを忘れた」をタップします。

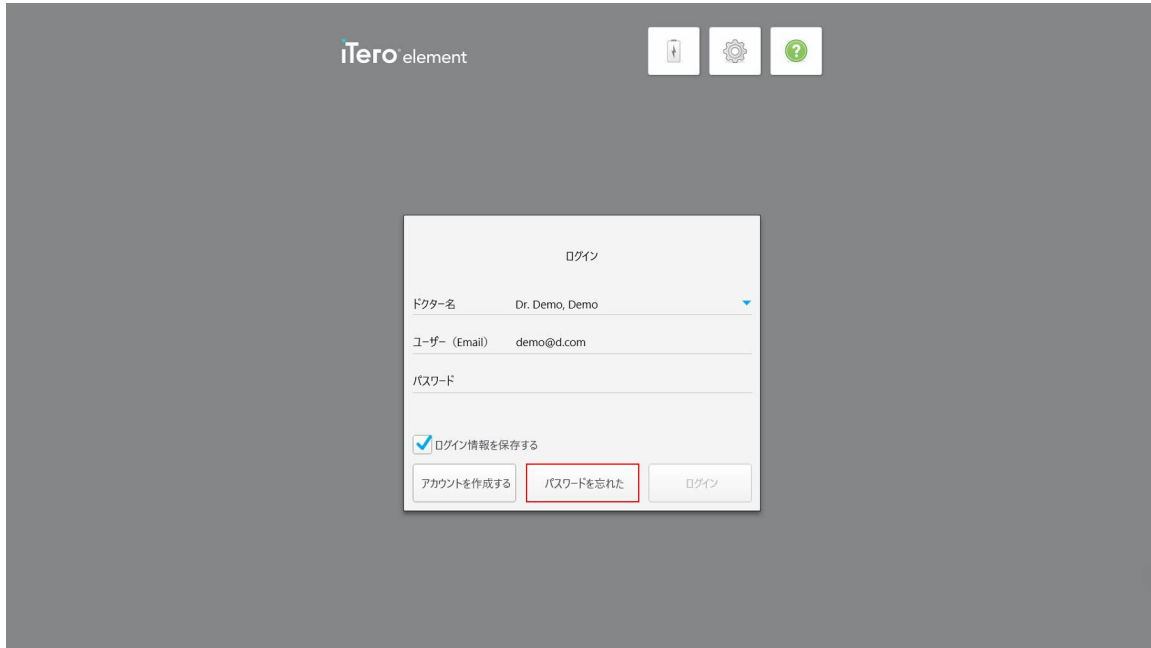


図 31: 「パスワードを忘れた」ボタン

次の操作を説明するウィンドウが表示されます。

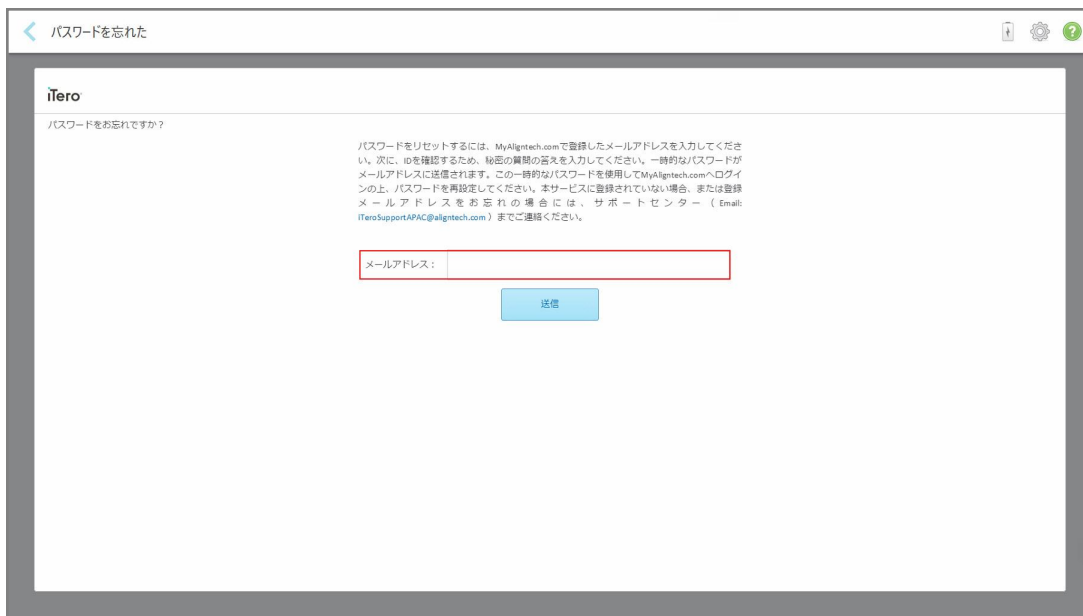


図 32: パスワードを忘れた場合のEメールフィールド

2. メールアドレスフィールドに、myaligntech.comへの登録に使用したメールアドレスを入力します。
3. 「送信」をタップします。
あらかじめ決められたセキュリティの質問が表示されます。

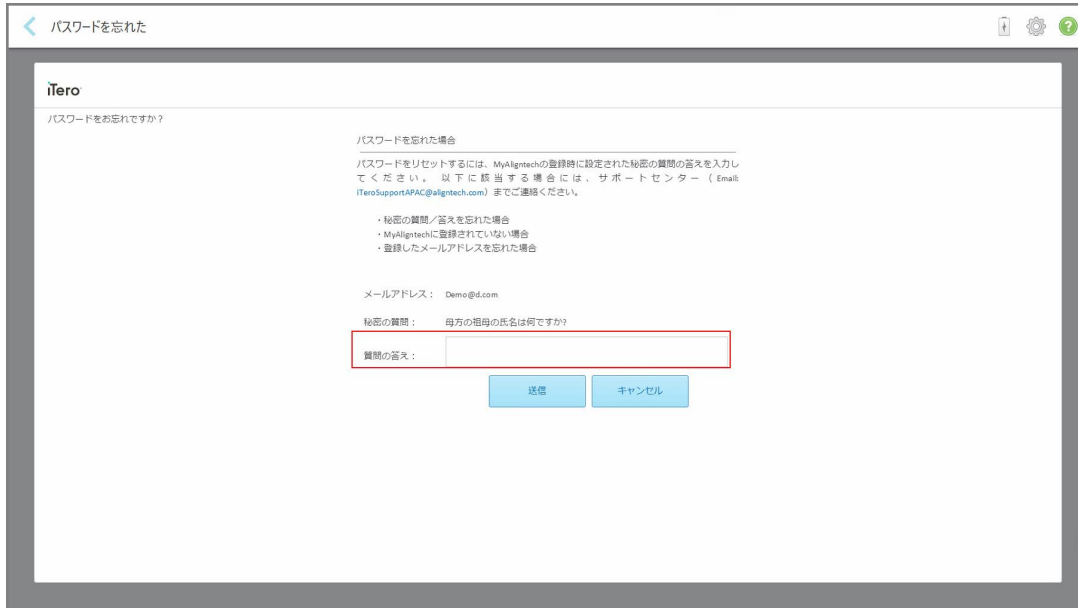


図 33: セキュリティ回答フィールド

4. セキュリティ保護用の質問への回答を入力します。
一時的なパスワードが送信されます。
5. [iTeroパスワードポリシー](#)で説明されているiTeroパスワードポリシーに従って、一時パスワードを使用してmyaligntech.comにログインし、パスワードをリセットします。
6. 登録済みのメールアドレスがわからない場合は、iTeroカスタマーサポートにお問い合わせください。

4.1.1.1 iTeroパスワードポリシー

パスワードを変更する場合は、新しいパスワードが次の基準を満たしていることを確認してください。

- 長さを8文字以上にする
- スペースを入れない
- 大文字を1文字以上含める
- 小文字を1文字以上含める
- 数字を1つ以上含める
- オプション: パスワードには特殊文字を含めることができます(例: !, #, \$, %, ^)

4.1.2 Windowsセキュリティ更新プログラムのインストール

スキャナの継続的なサイバーセキュリティをサポートするために、iTeroソフトウェアがアップグレードされるたびに、関連するWindowsセキュリティ更新プログラムをスキャナにダウンロードし、7日以内にインストールする必要があります。

Windowsのセキュリティアップデートがダウンロードされると、スキャナにログインするときに「セキュリティアップデート」ウィンドウが表示され、これらのアップグレードに関する通知が表示され、アップデートをインストールする時間をスケジュールできるようになります。アップデートは、最大7日間までの1日ごと、または即座に、または同日の夜以降に延期することができます。

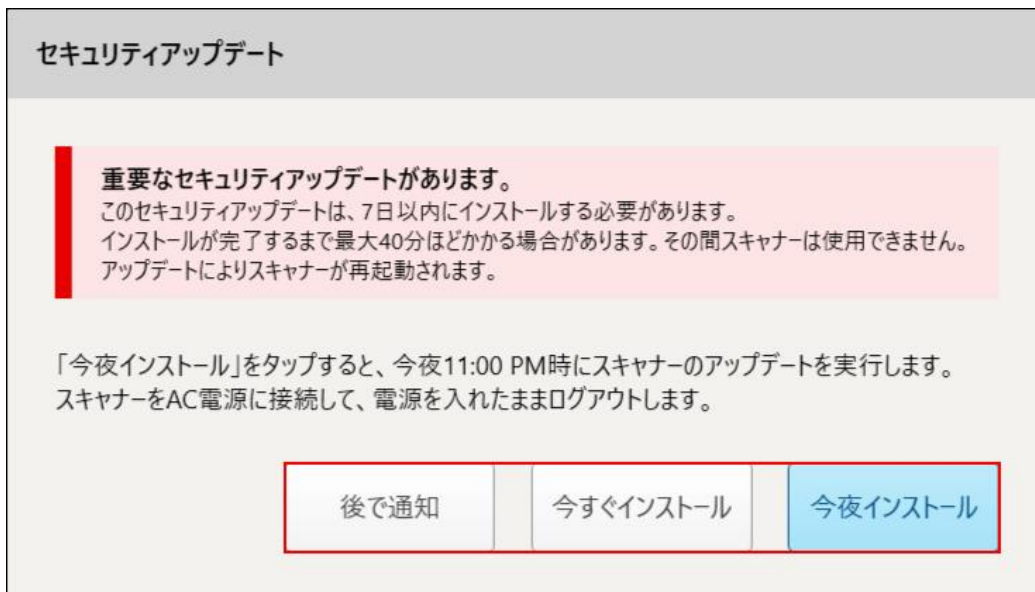


図 34: セキュリティ更新プログラムウィンドウ - スケジュールオプション

セキュリティ更新プログラムをインストールするには、スキャナをAC電源に接続して電源を入れ、ログアウトする必要があります。

備考:

- アップデートのインストールには約40分かかります。その間、スキャナは使用できません。
- インストールが開始されると、一時停止またはキャンセルすることはできません。
- メッセージを無視して更新を7日間以内にインストールしない場合、次回スキャナを再起動したときに自動的にインストールされます。

セキュリティ更新プログラムのインストールをスケジュールするには:

1. 「セキュリティ更新プログラム」ウィンドウで、次のスケジュールオプションのいずれかをタップします。
 - **後で再通知**: インストールは最大7日間延期されます。詳細については、[を参照してください後で再通知 - ソフトウェア更新プログラムのインストールを延期する。](#)
 - **今すぐインストール**: ソフトウェアの更新は直ちにインストールされます。
 - **今夜インストール**: ソフトウェアの更新はその日の午後11時にインストールされます。詳細については、[を参照してください今夜インストール - その日の夜にセキュリティ更新プログラムをインストールする。](#)

2. インストールが行われる前に、スキャナがAC電源に接続され、電源が入っていること、およびログアウトしていることを確認してください。

スキャナがAC電源に接続されていない場合は、接続するように求められます。

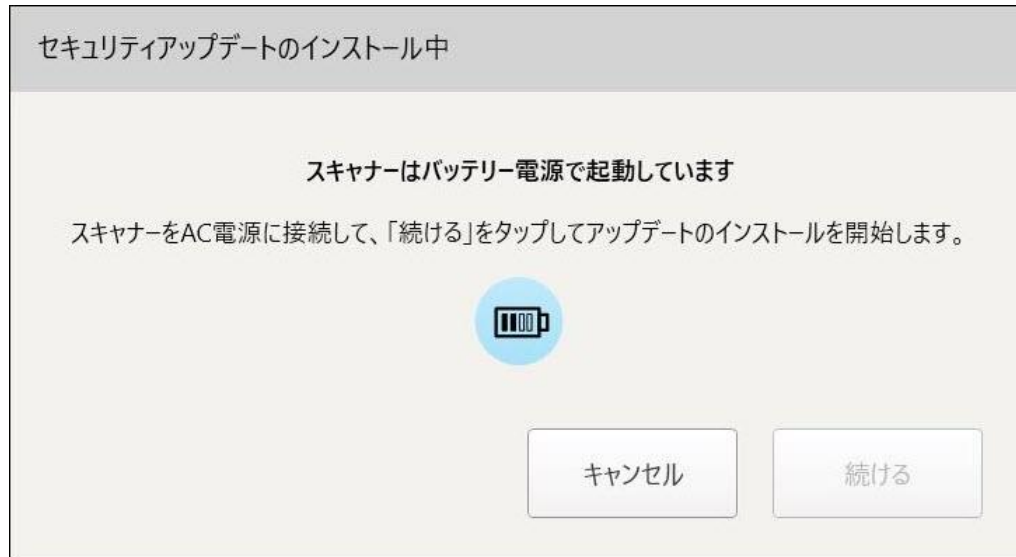


図 35: スキャナをAC電源に接続します

- スキャナを接続し、「続行」をタップします。

インストールが開始され、インストールの進行状況を示すメッセージが表示されます。



図 36: インストール進行中

注意: セキュリティ更新プログラムのインストール中は、スキャナのプラグを抜いたり、再起動したり、電源を切ったりしないでください。

セキュリティ更新プログラムがインストールされると、成功通知が表示され、スキャナが再起動します。

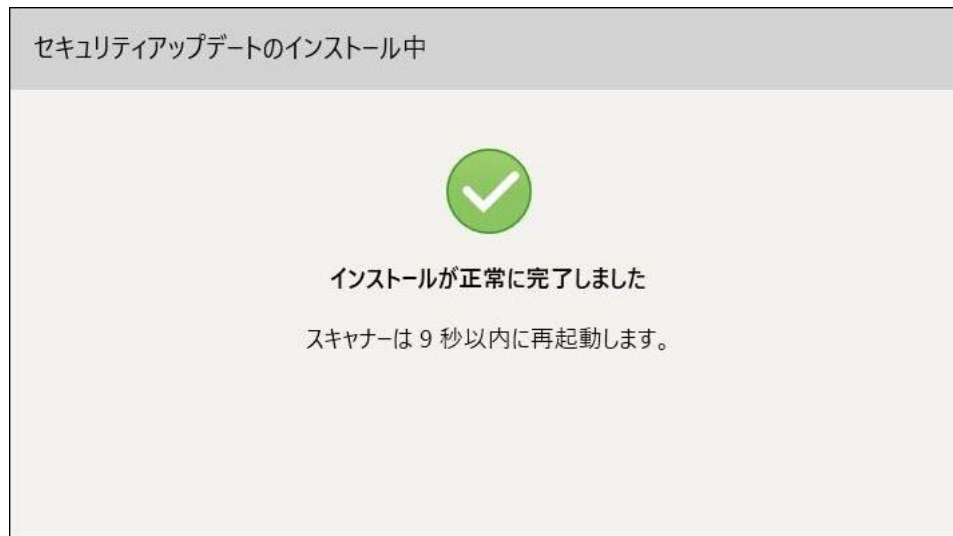


図 37: インストールが正常に完了しました。

4.1.2.1 後で再通知 – ソフトウェア更新プログラムのインストールを延期する

セキュリティ更新プログラムのインストールを最大1週間延期できます。毎日、通知にはセキュリティ更新プログラムをインストールするまでの残り日数が表示されます。アップデートを延期するか、直ちにインストールするか、その日の夜の更新をスケジュールするかを選択できます。

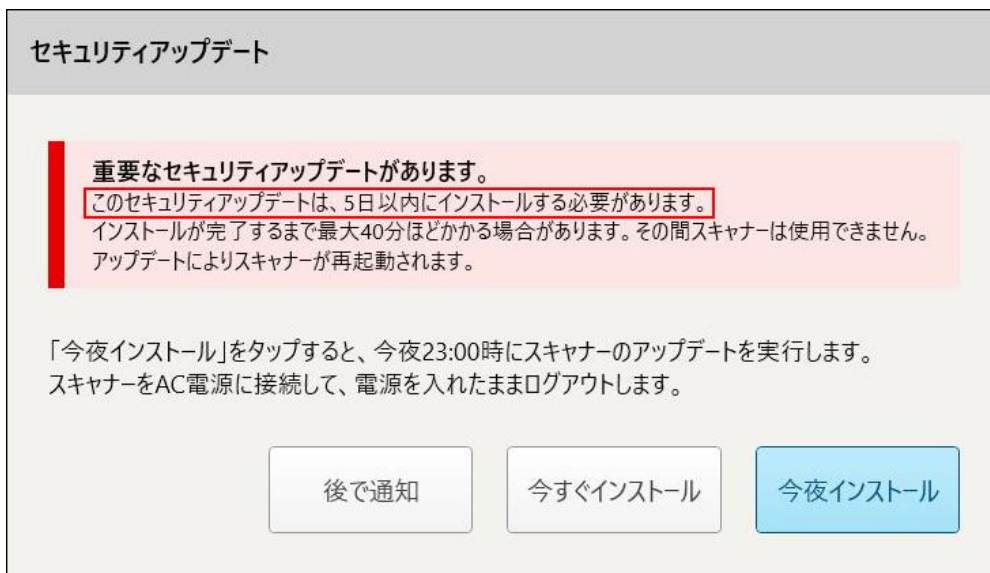


図 38: セキュリティの更新 – 更新プログラムをインストールするまでの残りの日数

7日目には、セキュリティ更新プログラムをインストールする必要があります。直ちにインストールするか、または後でその日の夜にインストールをスケジュールするかを選択できます。詳細は下記を参照してください。

注：メッセージを無視して更新をインストールしない場合、次回スキャナを再起動したときに自動的にインストールされます。

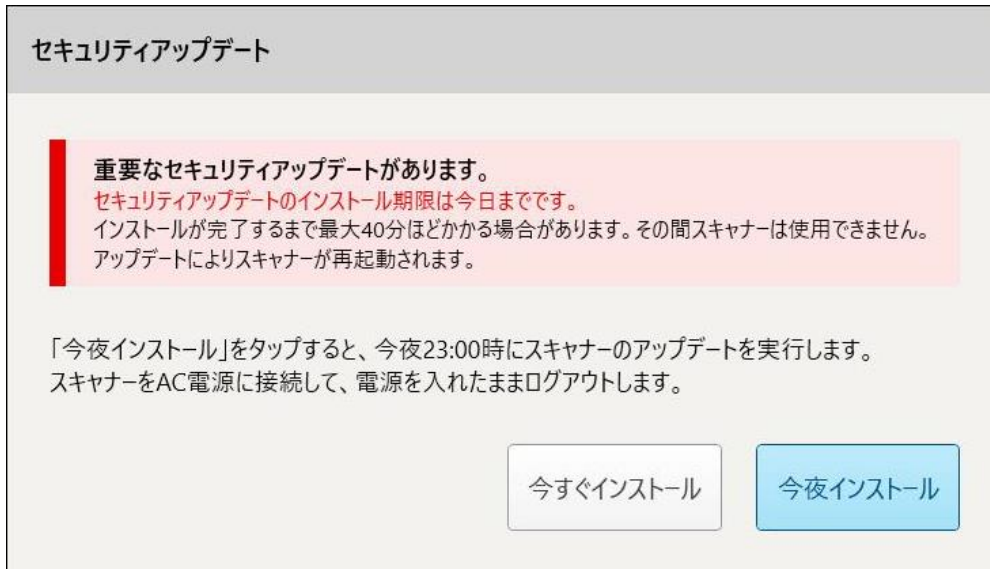
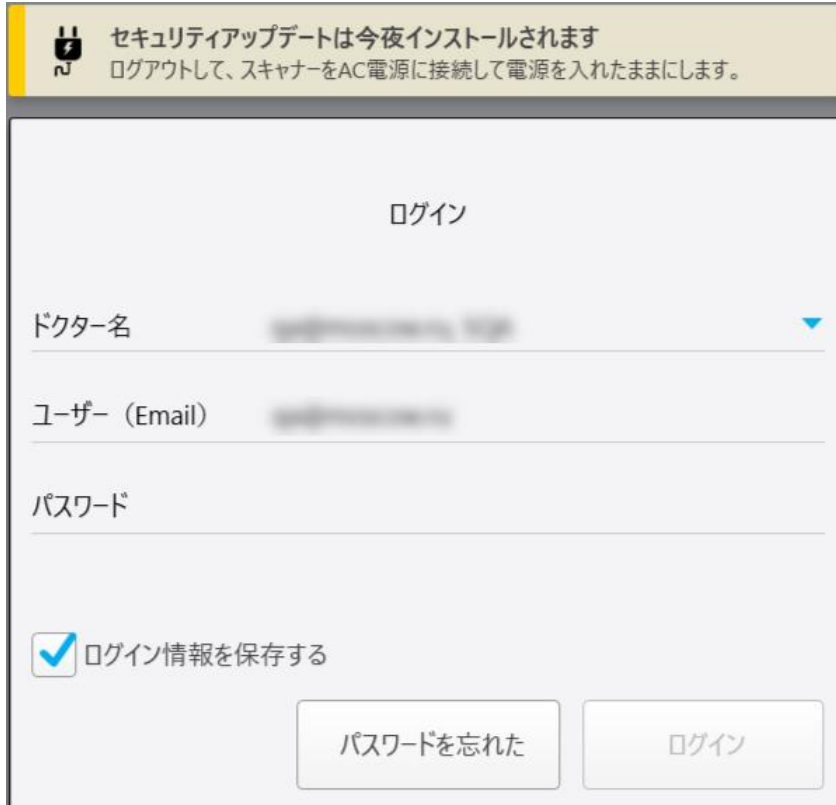


図 39: セキュリティの更新 - 最終日

4.1.2.2 今夜インストール – その日の夜にセキュリティ更新プログラムをインストールする

その夜にセキュリティ更新プログラムをインストールする場合、スキャナの「ログイン」ウィンドウとホーム画面の上にバナーが表示され、スキャナをAC電源に接続して電源を入れ、ログアウトする必要があることが通知されます。



The screenshot shows a notification banner at the top with a yellow background and a speaker icon. The text in the banner reads: "セキュリティアップデートは今夜インストールされます" (Security update will be installed tonight) and "ログアウトして、スキャナをAC電源に接続して電源を入れたままにします。" (Log out and keep the scanner connected to AC power with the power on). Below the banner is a login window titled "ログイン" (Login). It contains three input fields: "ドクター名" (Doctor name) with a dropdown arrow, "ユーザー (Email)" (User (Email)), and "パスワード" (Password). There is a checkbox labeled "ログイン情報を保存する" (Save login information) which is checked. At the bottom, there are two buttons: "パスワードを忘れた" (Forgot password) and "ログイン" (Login).

図 40: セキュリティ更新プログラム通知 - ログインウィンドウ

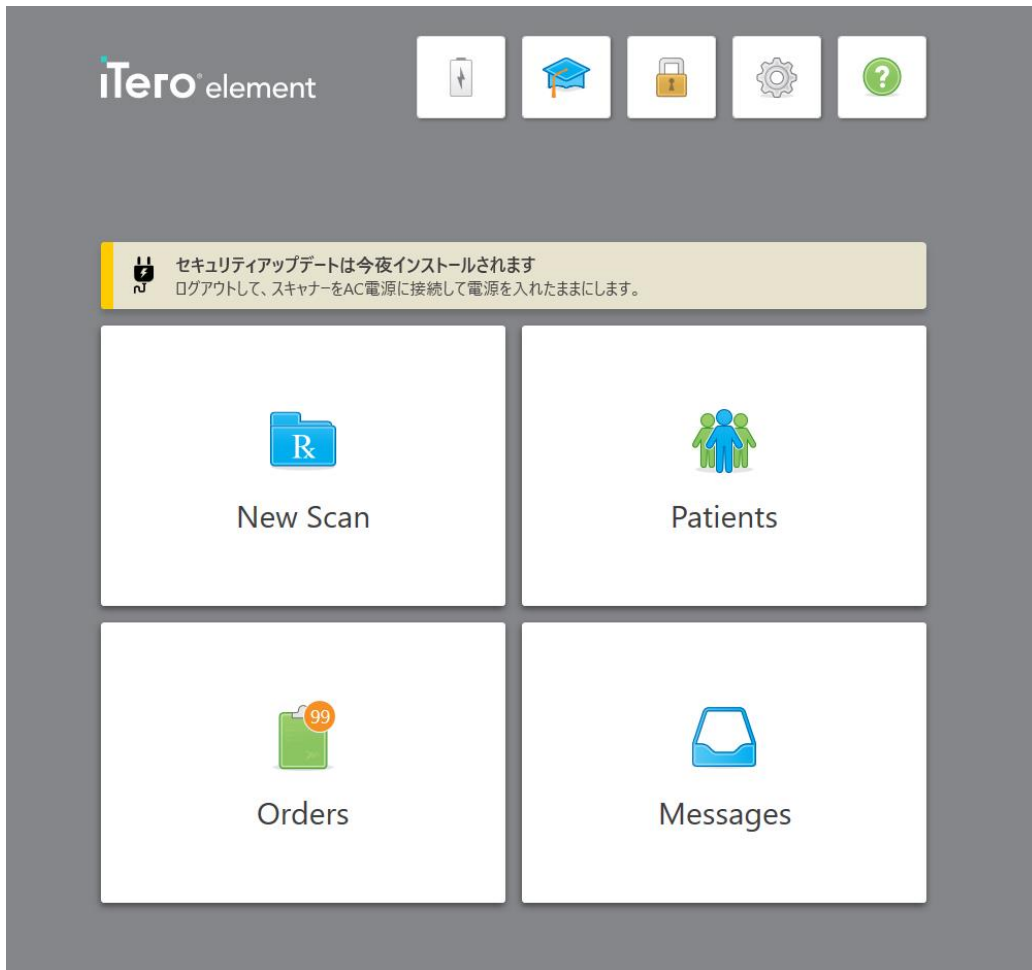




図 41: セキュリティ更新プログラム通知 - ホーム画面

4.2 スキャナからのログアウト

患者情報を保護するために、使用時以外はスキャナからログアウトしてください。パスワードはシステムに記憶されません。

デフォルトでは、事前定義された非アクティブ期間が過ぎると、ログアウトされます。これは、**ログイン**設定で定義できます。詳細については[ログインの設定](#)を参照してください。

スキャナからログアウトするには:

-  をタップして、ホーム画面に戻ります。
-  をタップして、システムからログアウトします。

「ログイン」ウィンドウが表示され、次のユーザーがシステムにログインできるようになります。

4.3 スキャナのシャットダウン

ソフトウェアの更新をインストールするため、終業時にはシステムの電源を切ることを推奨します。

注：スキャナの電源を正しく切らない場合は、次回ログオンするときに、そのことを通知するメッセージが表示され、メッセージを確認するまで表示されたままになります。バッテリーを使い切ったり、電源ボタンを4秒以上押し続けることにより、誤って電源のシャットダウンが引き起こされることがあります。

スキャナの電源を切るには：

- システムの電源を切るには、電源ボタンを押してください。電源ボタンは、iTeroエレメント 2システムの画面右下、およびiTeroエレメント2プラスシステムの画面右上にあります。

警告： ボタンを4秒以上押し続けると、ハードリセットがアクティブになり、グレースクリーンやブルースクリーンなどの問題が発生することがあります。

4.4 スキャナの移動

4.4.1 iTeroエレメント 2ホイールスタンド設定スキャナの移動

スキャナは、オフィス内の部屋から別の部屋へ移動させることができます。

注：システムを確実に保護するためにも、2人でスキャナを移動させることをお勧めします。

部屋から部屋へスキャナを移動するには：

1. ワンドがクレードルにしっかりと配置されていることを確認します。
2. システムを壁のコンセントから抜きます。
3. システムを新しい場所に移動し、電源を壁のコンセントに差し込みます。

4.4.2 iTeroエレメント フレックス口腔内スキャナーの輸送

システムを最大限に保護するために、システムをオフィス外に持ち運ぶ際は、以下の手順に従うことをお勧めします：

1. 青いプロテクトスリーブをワンドに取り付けます。

2. システムをオフィスの外に移動する際は、すべてのアイテムを付属のキャリーケースに入れます。



図 42: iTerоエレメント フレックス付属のキャリーケース内に梱包された口腔内スキャナー

3. 湿気からシステムコンポーネントを保護するために、ケースが乾燥状態で保管されていることを確認してください。

4.4.3 iTerоエレメント2プラスカート設定スキャナの移動

スキャナは、オフィス内の部屋から別の部屋へ、座ったまま患者と一緒に移動できます。

部屋から部屋へスキャナを移動するには:

1. ワンドがクレードルにしっかりと配置されていることを確認します。
2. システムを壁のコンセントから抜き、ケーブルがホイールに引っ掛からないように、電源ケーブルを上部ハンドルに慎重に巻き付けます。
3. 上部のハンドルを使用して、システムを新しい場所に移動し、電源を壁のコンセントに差し込みます。

注：スキャナを持ち上げる必要がある場合は、上部ハンドルと支柱を持ってください。

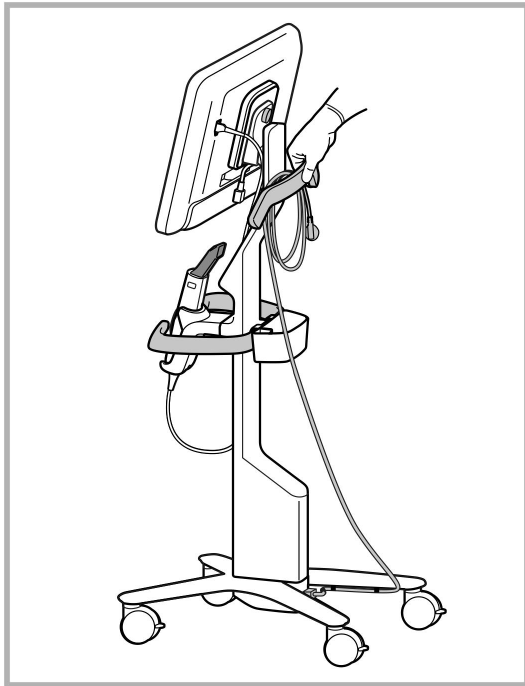


図 43: スキャナの移動

座った状態でカート設定スキャナを移動するには:

- メインハンドルを使用してスキャナを移動します。
- スクリーンの高さは、座っているときに人間工学に基づいたエクスペリエンスを実現するように最適化されています。必要に応じて、スクリーンの傾きを調整できます。

注：スキャナが転倒したりケーブルが破損したりするのを防ぐために、ワンドまたはワンドケーブルを掴んでスキャナを移動しないでください。

4.4.4 診療所内での iTeroエレメント2プラス モバイル設定スキャナの持ち運び

モバイル設定スキャナは、診療所内の部屋間で持ち運んだり、診療所間で運搬することができます。

スキャナを持ち運ぶときは、常にハンドルを持ち運び位置に動かし、ワンドケーブルをクレードルに巻き付けてください。

診療所内でモバイル設定スキャナを持ち運ぶには:

1. ワンドがクレードルにしっかりと配置されていることを確認します。
2. 電源ケーブルを主電源から外し、次にコンピューティングユニットの背面から外します。
3. コンピューティングユニットを片手で持ちながら、ロッキングラッチをスライドさせてハンドルのロックを解除し、ハンドルを持ち運び位置に移動します。詳細については、[クリニック内でのスキャナの移動](#)を参照してください。

4. 簡単かつ安全に持ち運べるよう、ケーブルをクレードルに緩く巻き付けます。

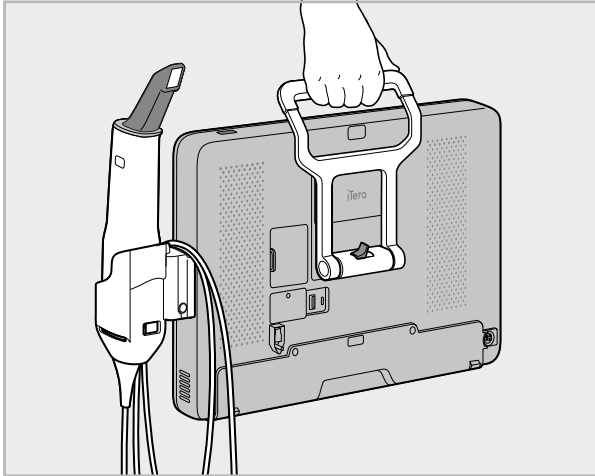


図 44: 診療所内の部屋間でスキャナを持ち運ぶ

4.4.5 診療所外での iTeroエレメント2プラス モバイル設定スキャナの運搬

診療所間でモバイル設定スキャナを運搬するときは、必ず付属の運搬用ケースにスキャナを梱包してください。詳細については、[運搬用ケースの使用](#)を参照してください。

診療所間でスキャナを運搬するには:

1. スキャナの電源を切ります。
2. 電源ケーブルを主電源から外し、次にコンピューティングユニットの背面から外します。
3. スキャナのコンポーネントを取り外し、運搬用ケースの指定された区画に梱包します。詳細については、[運搬用ケースの使用](#)を参照してください。
4. 運搬用ケースの仕切りを閉じて固定し、閉じた仕切り側を持ち上げて運搬用ケースを閉じ、チャックを閉めます。



図 45: 診療所間でのスキャナの運搬

5. 必要に応じて、運搬用ケースを摩耗や悪天候から保護するために、オプションの保護カバーを使用してください。詳細については、[オプションの運搬用保護カバー](#)を参照してください。

4.5 ユーザーインターフェース

iTero のシステムは、補綴または歯列矯正を目的としたデジタルスキャンを実行するための直感的なユーザーインターフェースを提供しています。スキャン中に画面の指示に回答する際には、タッチスクリーンとワンドボタンを使用します。

使用できるタッチスクリーンジェスチャのリストについては、[タッチスクリーンのジェスチャー](#)を参照してください。

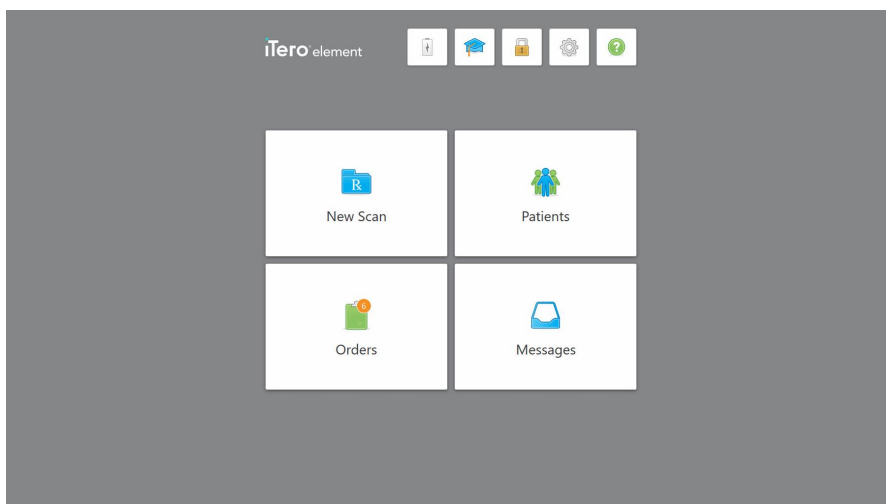


図 46: iTeroホーム画面

次のボタンがホーム画面に表示されます:



外部バッテリーの状態を表示します。

- 稲妻マークは、スキャナが電源に接続されており、バッテリーが充電中であることを示します。
- バッテリー駆動時は、電池アイコンに残量が表示されます。バッテリー残量が

25% 以下になると電池アイコンが赤色で表示されます。

- バッテリー残量を表示するには、「バッテリー」アイコンをタップします。

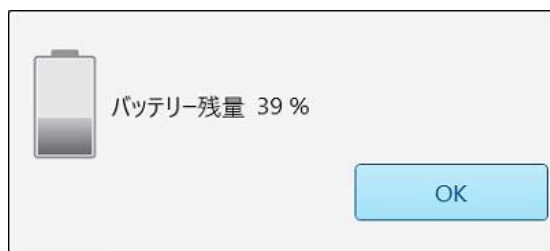


図 47: バッテリー残量



ラーニングセンター: iTeroスキャナのトレーニング資料と教育ビデオにアクセスするには、「ラーニングセンター」アイコンをタップします。



スキャナからのログアウトで説明されているように、スキャナが使用されていない時は「**ロック:**」アイコンをタップし、アカウントからログアウトします。これは、歯科診療がHIPAAに準拠していること、およびすべての医療情報が安全であることを確実にします。

ヒント: 意図しないエントリを避けるために、清掃中はシステムをロックする必要があります。



設定: ワンド設定、ローカライゼーション、ユーザー設定など、スキャナの設定を調整するには、「設定」アイコンをタップします。詳細については、[スキャナの設定](#)を参照してください。



ヘルプ: ヘルプをタップすると、ナビゲーションの機能とツールを支援するヒント付きの半透明のヘルプオーバーレイが表示されます。

このビューでは、「ヘルプ」ボタンは、eマニュアルとカスタマーサポートの2つの新しいボタンに変わります。

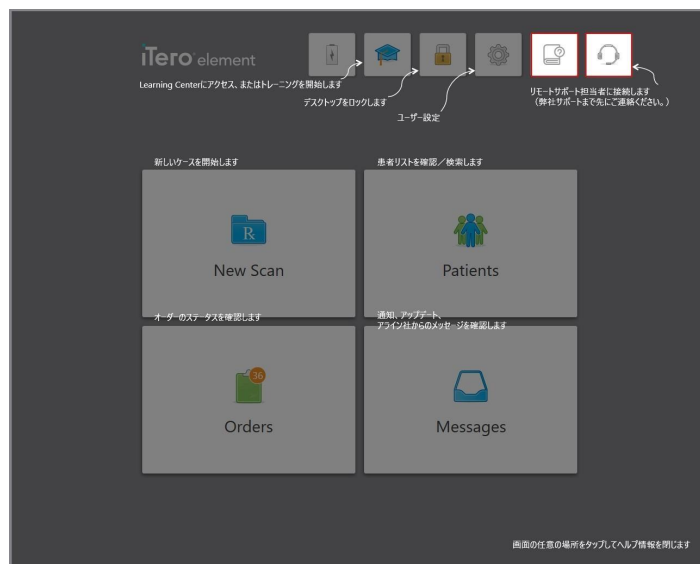


図 48: eマニュアルとカスタマーサポートボタンのあるヘルプオーバーレイ

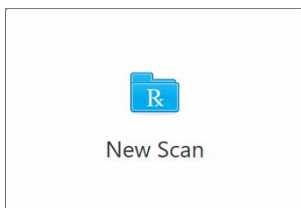


タップして関連する電子マニュアルにアクセスします。

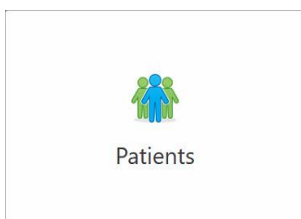


カスタマーサポートからのリモートアシスタンスをタップします。カスタマーサポートはすべてのヘルプオーバーレイから利用できます。

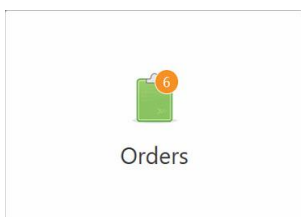
注: リモートで接続する前に、カスタマーサポートに連絡してください。



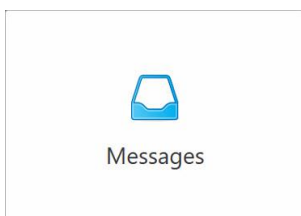
新しいスキャン: タップして「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウを開き、新しいスキャンを開始する前にRxを入力します。詳細については、[新しいスキャンを開始する](#)を参照してください。



患者: 「患者」ページをタップして、iTerоシステムに登録されているすべての患者のリストと、該当する場合は、チャート番号、生年月日、最終スキャン日を表示します。詳細については、を参照してください [患者ページの操作](#)。



オーダー: すべてのオーダーのリストを表示するには、「Orders(オーダー)」アイコンをタップします。詳細については、[オーダーページの使用](#)を参照してください。



メッセージ: アライン・テクノロジー社からのメッセージを表示するには「Messages(メッセージ)」アイコンをタップします。詳細については、を参照してください [メッセージの表示](#)。

「バッテリー」と「設定」ボタンは各スキャナウィンドウにも表示されます。詳細は[スキャナツールバー](#)。

4.5.1 スキャナツールバー

次のツールバーは、各スキャナウィンドウの上部に表示されます:



図 49: スキャナツールバー

中央の4つのボタンは、スキャンプロセスのステータスを示します。ボタンをタップして、スキャンフローをナビゲートします。



タップして、ホーム画面に戻ります。

新しいスキャン

スキャンプロセスの現在のステージを表示します。これは、ツールバーに関連する強調表示されたボタンでも示されます。



タップしてNew Scan(新しいスキャン)ウィンドウに戻り、Rxを表示します。詳細は[Rxの入り](#)を参照してください。



タップしてスキャンモードに移動し、患者をスキャンします。詳細は[患者のスキャン](#)を参照してください。




タップして表示モードに移動し、スキャンされた画像を表示します。詳細は[スキャンの表示](#)を参照してください。



タップしてスキャンした画像をラボまたはチェアサイドのミリングマシンのソフトウェアに送信します。詳細は[スキャンの送信](#)を参照してください。



外部バッテリーの状態を表示します。

- 稲妻マークは、スキャナが電源に接続されており、バッテリーが充電中であることを示します。
- バッテリー駆動時は、電池アイコンに残量が表示されます。バッテリー残量が25%以下になると電池アイコンが赤色で表示されます .
- バッテリー残量を表示するには、「バッテリー」アイコンをタップします。

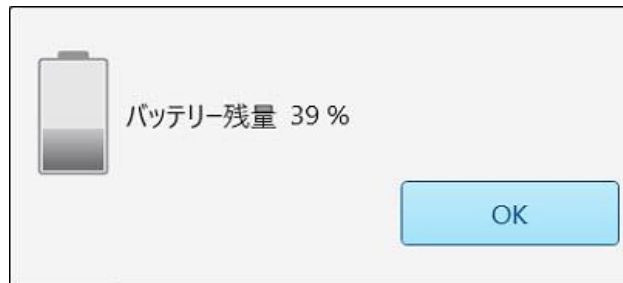


図 50: バッテリー残量



ワンド設定、ローカライゼーション、ユーザー設定など、スキャナの設定を調整するには、「設定」アイコンをタップします。

「設定」の詳細については、[スキャナの設定](#)を参照してください。



ヘルプをタップすると、機能やツールのナビゲーションを支援するヒント付きの半透明のヘルプオーバーレイが表示されます。

このビューでは、「ヘルプ」ボタンは、eマニュアルとカスタマーサポートの2つの新しいボタンに変わります。



図 51: Eマニュアルとカスタマーサポートボタンのあるヘルプオーバーレイ



タップして関連する電子マニュアルにアクセスします。



カスタマーサポートからのリモートアシスタンスをタップします。カスタマサポートはすべてのヘルプオーバーレイから利用できます。

注: リモートで接続する前に、カスタマーサポートに連絡してください。

4.5.2 タッチスクリーンのジェスチャー

iTeroソフトウェアはタッチスクリーン(マルチタッチとも呼ばれる)ジェスチャーをサポートしています。これらのジェスチャーは、マルチタッチデバイスを操作するために使用されるあらかじめ定義されている動作です。

一般的なタッチスクリーンジェスチャーの例：



Tap



Double tap



Long press



Scroll



Rotate



Swipe



Pan



Zoom out



Zoom in

4.6 スキャナの設定

スキャナ設定を使用すると、スキャナの使用時にデフォルトで表示される設定とあなたの設定を定義できます。

スキャナの設定をするには:



1.  ボタンをタップします。
「設定」ウィンドウが表示されます。



図 52: 設定 ウィンドウ

2. 定義する設定をタップします。
 - [デバイス設定の定義](#)
 - [ユーザー設定](#)
 - [システム情報設定](#)関連するウィンドウが開きます。
3. 必要な変更を行い、 をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.1 デバイス設定の定義

デバイス設定では、スキャナの明るさ、音量、Wi-Fi、タイムゾーン設定を定義できます。

4.6.1.1 デフォルトの明るさの設定


デフォルトの明るさ設定を定義するには、「明るさ」ボタンをタップし、スライダーを必要な明るさレベルに移動してから、 をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。



図 53: 明るさの設定

4.6.1.2 デフォルトの音量設定



デフォルトのシステムボリュームを設定するには、「音量」ボタンをタップし、スライダーを最適な音量レベルに移動させてから、 をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。



図 54: 音量設定

システムサウンドに加えて、音量設定はラーニングセンター  からのコンテンツの音量を定義します。

4.6.1.3 Wi-Fiの設定

スキャナをクリニックのWi-Fiネットワークに初めて接続する時には、パスワードを追加する必要があります。その後、デフォルトでスキャナは自動的に接続されます。異なるWi-Fiネットワークに接続する場合は、新しいネットワークを選択し、関連するパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークに再接続するには:

1. 「Wi-Fi」ボタンをタップします。

近くにあるWi-Fiネットワークのリストが表示されます。



図 55: 近くにあるWi-Fiネットワークのリスト

2. クリニックネットワーク、例えばPegasus-5などを選択し、[接続する]をタップします。

- 開いたウィンドウにネットワークセキュリティキー(パスワード)を入力し、「接続」をタップします。

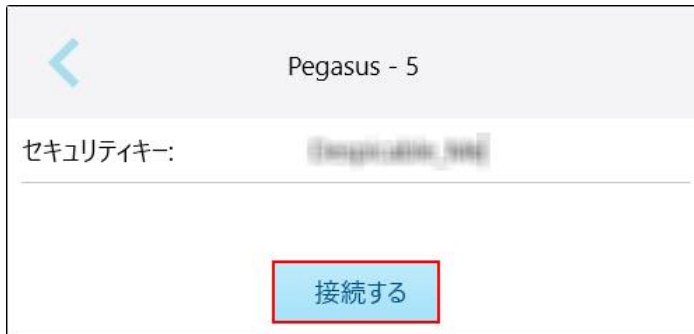


図 56: クリニックWi-Fiネットワークへの接続

スキャナがWi-Fiネットワークに接続され、ステータスが「接続しました」に変わります。

- ネットワークに自動的に接続したくない場合は、接続しているネットワークをタップし、「削除」をタップします。次に接続する際には必要なネットワークを選択し、Wi-Fiパスワードを入力する必要があります。



図 57: ネットワークを削除または切断

- ネットワークから切断するには、「切断」をタップします。
- ◀ をタップして設定を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.1.4 タイムゾーンの設定


タイムゾーンを設定するには、「タイムゾーン」ボタンをタップし、ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択し、 をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。



図 58: タイムゾーン設定

注: タイムゾーン設定にアクセスできるのは、スキャナにログオンしている場合のみです。

4.6.2 ユーザー設定

ユーザー設定を使用すると、各ユーザーは、特定のユーザーがスキャナにログインした時にデフォルトで表示される設定を定義できます。

4.6.2.1 スキャンの設定

患者をスキャンする際に考慮されるデフォルト設定を定義できます。

スキャンの設定をするには:

1. 「スキャンの設定」ボタンをタップします。

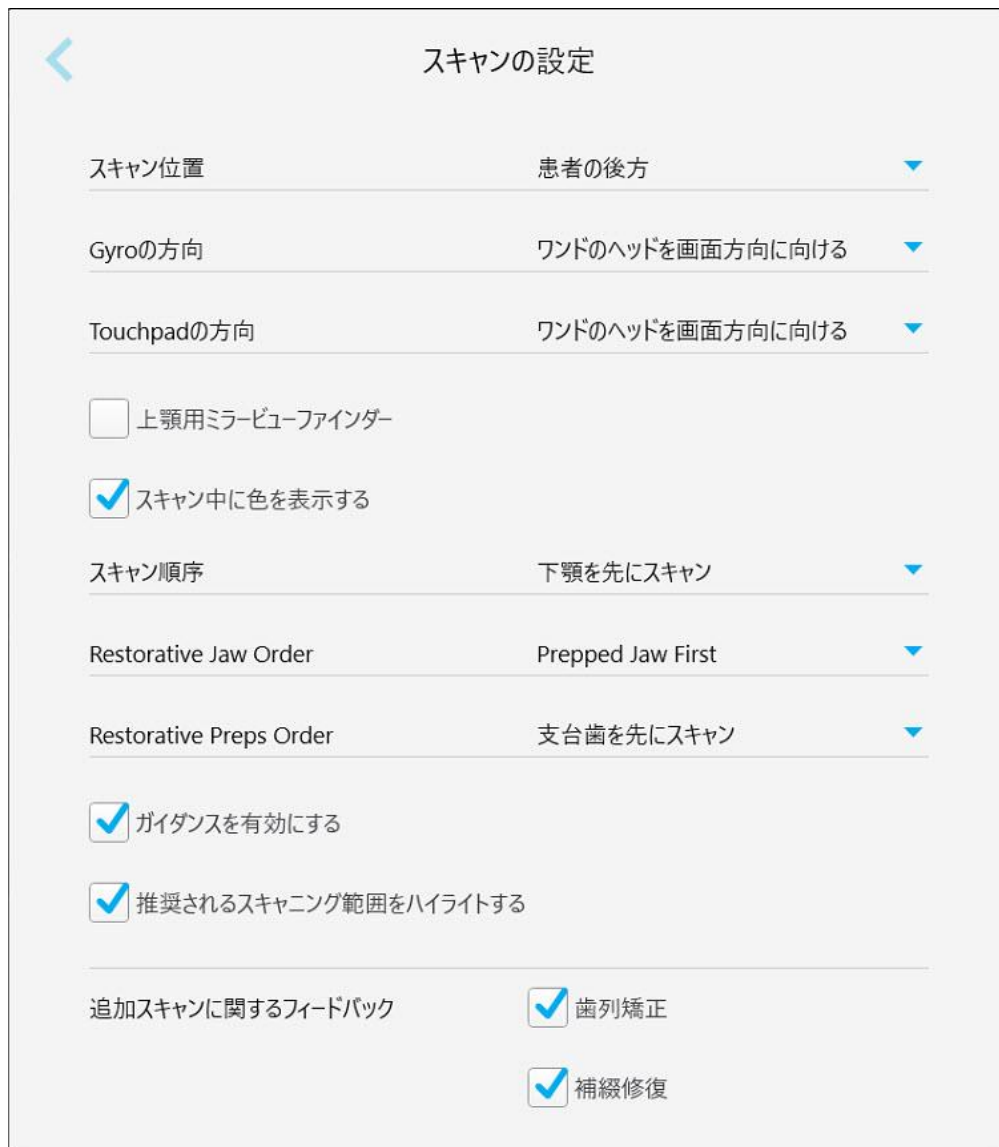


図 59: スキャン設定 ウィンドウ

2. 「スキャンの設定」ウィンドウからデフォルトのスキャン設定を選択します。

スキャン設定	スキャンオプション
スキャン位置	患者をスキャンの際の位置を選択します： <ul style="list-style-type: none"> • 患者の後方 • 患者の前方
Gyro(ジャイロ)の方向	デフォルトのジャイロの向きを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • ワンドのヘッドを画面方向に向ける • ワンドのベースを画面方向に向ける
タッチパッドの方向	デフォルトのタッチパッドの向きを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • ワンドのヘッドを画面方向に向ける • ワンドのベースを画面方向に向ける
上顎用ミラービューファインダーチェックボックス	上顎をスキャンする際のビューファインダーの方向を定義するには、このチェックボックスを選択します。
スキャン中に色を表示するチェックボックス	デフォルトでスキャン中に3Dモデルをカラーで表示するには、このチェックボックスを選択します。
スキャン順序	スキャンする順序を選択します： <ul style="list-style-type: none"> • 上顎を先にスキャン • 下顎を先にスキャン
補綴修復する顎の順序	固定性補綴処置についてスキャンする順序を選択します： <ul style="list-style-type: none"> • 対顎を先にスキャン • 治療中の顎を最初に実施
補綴修復治療の順序	固定性補綴処置において、支台歯と歯列弓をスキャンする順序を選択します： <ul style="list-style-type: none"> • 支台歯を先にスキャン • 歯列弓を先にスキャン • ガイダンスなし
ガイダンスを有効にするチェックボックス	スキャンガイダンス で説明されているように、スキャン時にガイダンスを表示するには、このチェックボックスをオンにします。

スキャン設定

推奨されるスキャン範囲をハイライトする チェックボックス

スキャンオプション

ナビゲーションコントロールのスキャン範囲のみを強調表示するには、このチェックボックスをオンにします。

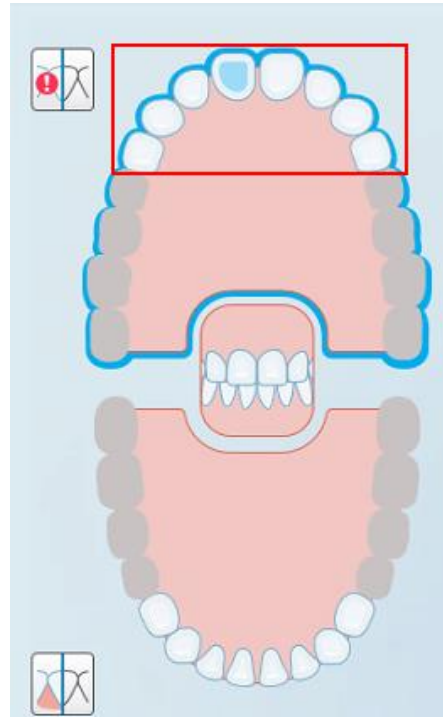


図 60: スキャン範囲のみを強調表示

追加スキャンに関するフィードバック

[追加スキャンに関するフィードバック](#)で説明されているように、関連するチェックボックスを選択して、スキャン中にスキャン不足部位の領域を表示します。

- 歯列矯正
- 補綴修復

3.  をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.2.2 Rx設定の定義

「スキャンの詳細」ウィンドウを開いて新しいRxを入力する際にデフォルトで表示される設定を定義できます。

Rx設定を定義するには:

1. 「Rx設定」ボタンをタップします。



図 61: Rx設定ウィンドウ

2. 「Rx設定」ウィンドウからデフォルトのRx設定を選択します。

Rx設定	Rxオプション
歯牙ID	デフォルトの歯牙IDを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • FDI • ADA • Quadrant(象限)
シェードシステム	デフォルトのシェードシステムを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • VITA Lumin • VITApan 3D Master • その他
実施手順	デフォルトの言語を選択します： <ul style="list-style-type: none"> • アプライアンス • 義歯/取り外し可能 • 固定性補綴 • インプラント計画 • Invisalign • 研究モデル/iRecord • 設定なし <p>注：使用可能な手順のリストは、iTeroサブスクリプション/パッケージに応じて変わります。</p>

3.  をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.2.3 署名の設定

ラボやクラウドにデータを送信する際に表示されるデフォルト設定を定義できます。

署名の設定をするには:

1. 「署名設定」ボタンをタップします。

図 62: 署名設定ウィンドウ

2. デフォルトの署名設定を定義します。

署名設定	署名オプション
ライセンス	ライセンス番号を追加します。
署名	署名を追加します。
署名の使用方法	次の署名オプションのいずれかを選択します: <ul style="list-style-type: none"> • 署名を保存してすべてのRxで使用する。 • 署名を保存しない(Rxごとに署名を設定する)。 • この機能を無効にする(このユーザーのみ)。

3.  をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.2.4 言語の設定


「言語」ボタンをタップし、ドロップダウンリストから希望する言語を選択し、 をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。



図 63: 言語設定ウィンドウ

4.6.3 システム情報設定

システム設定により、ログインの設定、診断の実行、ライセンスの表示、システム情報の表示、サーバーからの新しい更新の同期、およびエクスポート設定を行うことができます。

4.6.3.1 ログインの設定

プライバシーおよびセキュリティ規制に準拠するために、事前に設定された非アクティブ期間が経過すると、スキャナからログアウトされます。デフォルトでは、この時間は1時間に設定されていますが、必要に応じて変更できます。

備考:


- 患者のプライバシーを保護するために、非アクティブ期間をデフォルトの1時間を超えないようにすることが推奨されます。
- スキャナがスキャンモードの間は、スキャナからログアウトできません。

非アクティブ期間を定義するには:

1. 「ログインの設定」ボタンをタップします。
「ログインの設定」ウィンドウが表示されます。



図 64: ログイン設定ウィンドウ

2. ユーザーがスキャナからログアウトするまでの非アクティブ期間を選択します。(最小時間:10分、最大時間:8時間)
3. 非アクティブなログアウト期間が経過する前にシステムを再起動する場合、ユーザーのパスワードを記憶させるには、「再起動後自動ログオンする」チェックボックスをオンにします。
4.  をタップして変更を保存し、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.3.2 診断の実行

「診断」ボタンをタップして、ネットワーク接続と速度を確認します。

システム診断を実行するには:

1. 「診断」ボタンをタップします。
ネットワーク接続と速度がチェックされます。



図 65: 診断ウィンドウ

2.  をタップして、「設定」ウィンドウに戻ります。

4.6.3.3 ライセンス


「ライセンス」ボタンをタップして、スキャナにインストールされているサードパーティ・ソフトウェア・コンポーネントのリストを表示し、 をタップして「設定」ウィンドウに戻ります。



図 66: ライセンス情報 ウィンドウ

4.6.3.4 システム情報


「システム情報」ボタンをタップして、現在インストールされているソフトウェアバージョンとハードウェアのシリアル番号とIDの詳細を表示し、 をタップして「設定」ウィンドウに戻ります。



図 67: システム情報 ウィンドウ - iTeroエレメント2プラス

4.6.3.5 同期の設定

「同期の設定」ボタンをタップして、サーバーからの新しい更新(新しいソフトウェアオプションなど)を同期します。

4.6.3.6 エクスポートの設定

エクスポートされたファイルを削除するまで保持する期間を定義できます。さらに、エクスポートしたファイルのローカルネットワークアドレスを太字(「\」で始まる)で表示できます。このアドレスには、ローカルネットワーク内の任意のコンピュータからアクセスできます。


注: 必要に応じて、MyiTeroからいつでもファイルをエクスポートできます。

エクスポート設定を編集するには:

1. 「エクスポートの設定」ボタンをタップします。
2. エクスポートされたファイルを削除するまでの日数を選択します。デフォルトでは、これは30日に設定されています。



図 68: 「エクスポートの設定」ウィンドウ - エクスポートされたファイルの削除

3. 必要に応じて、「**すぐにエクスポートデータを消去する**」をクリックして、エクスポートされたファイルをすぐに削除します。
4.  をタップして、「設定」ウィンドウに戻ります。

5 新しいスキャンを開始する

新しいスキャンを開始する前に、次のことを行う必要があります。

- ワンドに塵がついていないかどうかを確認します。塵がついている場合は、[ワンドの洗浄と消毒](#)の説明にあるように、洗浄および消毒のプロセスを繰り返します。
- 以下に説明するように、二次汚染を防止するために新しいワンドスリーブを取り付けます。
注意:破損が見つかった場合は、スリーブを使用せず、カスタマーサポートにお問い合わせください。
- 「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウのRxフォームに入力します。
 - [新しい患者を追加する](#)の説明に従って、新しい患者の詳細をiTeroシステムに入力するか、[既存の患者を検索する](#)の説明に従って、既存の患者を検索します。
 - 必要な処置の詳細を入力します。詳細については、[Rxの入力](#)を参照してください。

5.1 ワンドスリーブを装着する

ワンドスリーブを装着するには:

1. ワンドから青いプロテクトスリーブをそと取り外します。
2. 新しいスリーブを、ワンドの先端にカチッと音がするところまでゆっくりとスライドさせてはめ込みます。

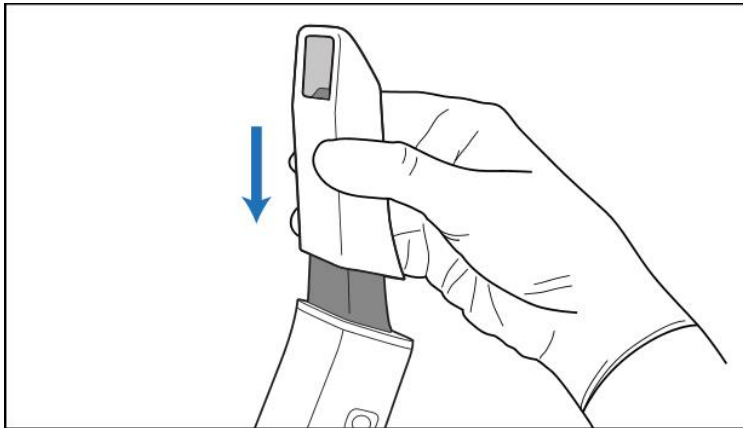
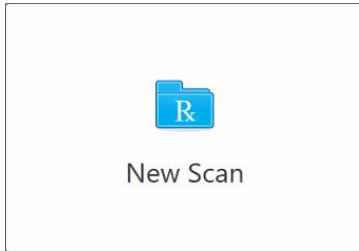


図 69: 新しいスリーブをゆっくりと所定の位置にスライドさせます

5.2 スキャンプロセスの開始

ホーム画面で、「新しいスキャン(新しいスキャン)」ボタンをタップして、スキャンプロセスを開始します。



「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウと、進行状況を示すツールバーが表示されます。

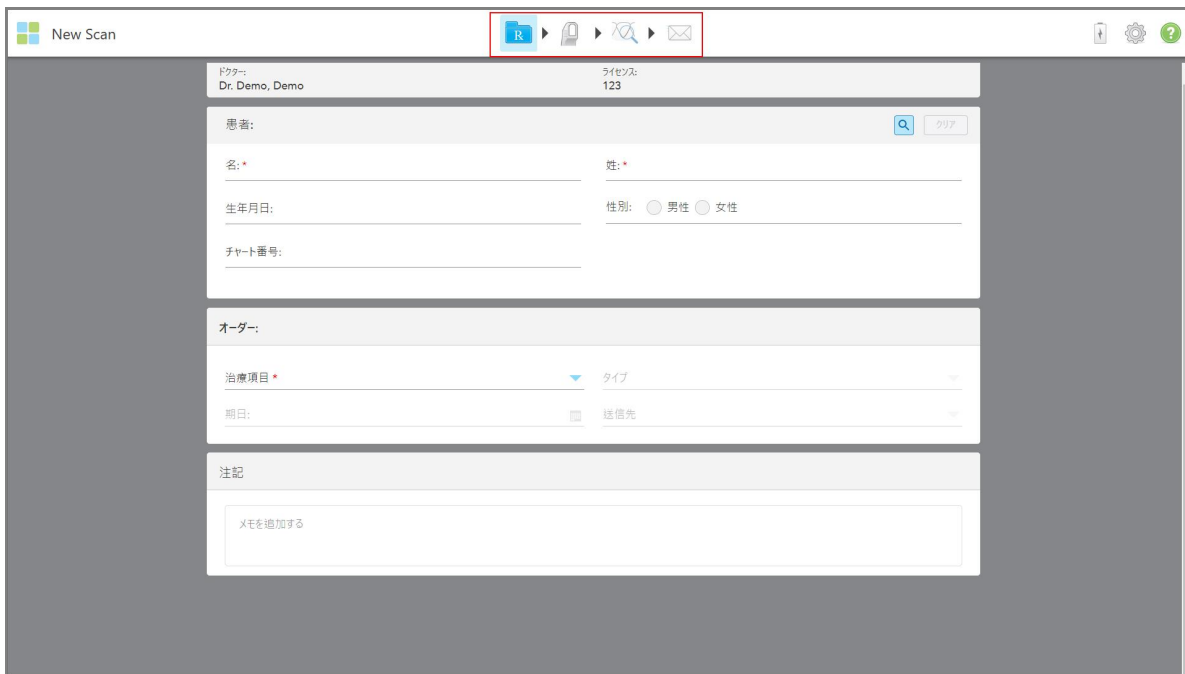


図 70: 空のRxフォームと進行状況ツールバーを表示するNew Scan(新しいスキャン) ウィンドウ

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウには、Rxフォームが表示されます。このフォームは、次のセクションで構成されています。

- **ドクター:** 医師の名前とライセンス番号を表示します。
- **患者:** iTeroシステムへの新しい患者の追加や、治療を処方する既存の患者の検索をすることができます。患者の詳細が表示されたら、それを編集したり、「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウから消去することができます。詳細については、[患者管理](#)を参照してください。
- **オーダー:** Invisalignなど、必要とする処置の詳細を設定できます。
- **スキャンオプション:** たとえば、オーダーに複数咬合スキャンを含めるかどうかなど、トグルボタンをオンにすることができます。

- **注記:** 患者の治療に関する特定のメモをラボに入力できます。たとえば、配送または製造などに関する特別な指示を記入することができます。メモ領域外の任意の場所をタップして、メモを追加します。各メモには、メモの作成者がタイムスタンプ付きで表示され、編集および削除することができます。

オーダー領域で選択された処置と処置タイプに応じて、追加領域とオプションが表示される場合があります。

スキャンプロセスには、ツールバーに表示される次の手順が必要です:



[Rxの入力](#)



[患者のスキャン](#)



[スキャンの表示](#)



[スキャンの送信](#)

現在の進行状況はツールバーで強調表示されます。

5.3 Rxの入力

スキャンプロセスの最初のステップは、Rx(処方)フォームの入力です。「新しいスキャン」ウィンドウには、すべての修復物および歯列矯正アプリケーションのニーズを満たす、シンプルで直感的なワークフローがあります。ラボとの効率的なコラボレーションを可能にし、ラボが生産に必要とするすべての情報を確実に含めることで、やり取りの回数を削減します。

患者の詳細を入力した後、必要な手順と手順の種類に関する詳細を入力することができます。必要に応じて、スキャンに関するラボ向けのメモを入力します。赤いアスタリスクでマークされたフィールドはスキャン前の入力が必要不可欠です。

固定性補綴および義歯/取り外し可能な処置に関する注意:一部のフィールドは、スキャン後、スキャンを送信する前にのみ必須になります。

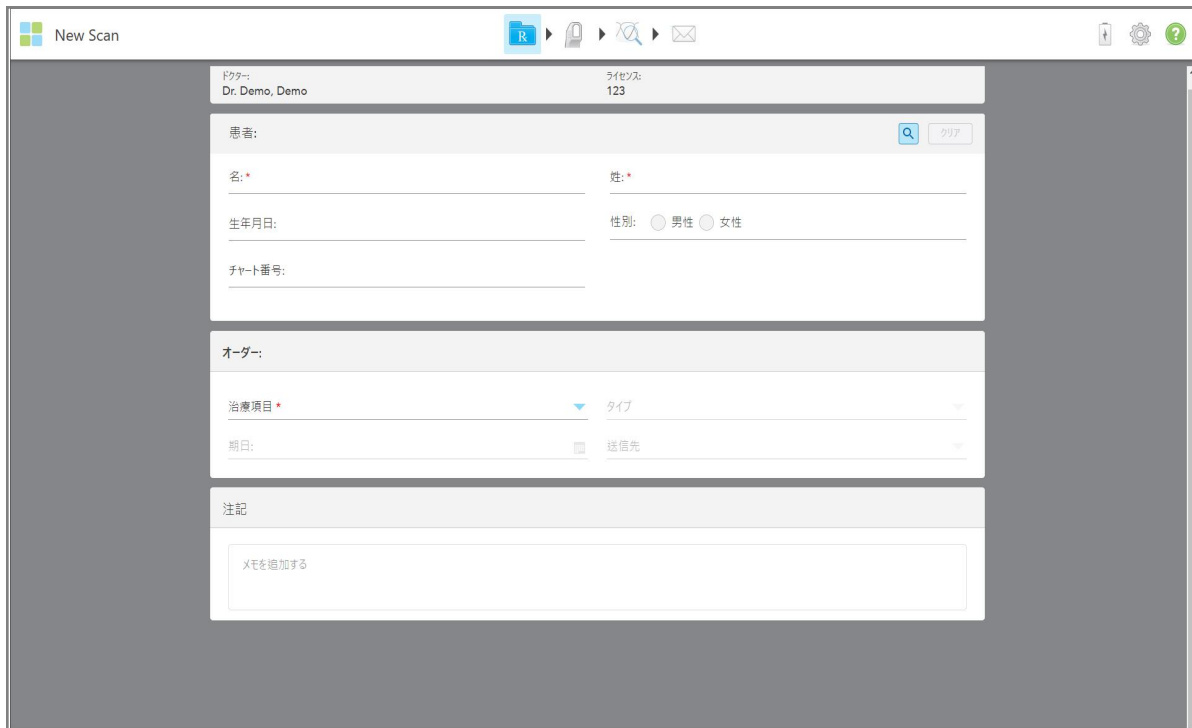


図 71: 新しいスキャンウィンドウ

Rxに入力するには:

1. 「患者」領域に、新しい患者の名と姓を入力します。
必要に応じて、患者の生年月日、性別、一意のチャート番号を入力します。
もしくは

[既存の患者を検索する](#)で説明されているように、 をタップして既存の患者を検索します。

2. 「オーダー」領域の「手順」のドロップダウンリストから、必要な手順を選択します。

注: 表示される手順のリストは、iTeroサブスクリプションパッケージによって異なります。


図 72: 必要な手順の選択

補綴サブスクリプションパッケージまたは矯正サブスクリプションパッケージがあるかどうかに応じて、以下の手順がデフォルトで使用可能です:

- **研究モデル/iRecord:** 修正を加えていない単純なスキャン。法律で義務付けられているように、石膏モデルを保存する代わりに、主に研究目的および参照のために使用されます。iCastとしてスキャンすることもでき、Invisalign Doctor Site (ドクターサイト)で利用できます。詳細については、を参照してください [研究モデル/iRecord手順のRxの記入](#)。
- **Invisalign:** リテーナーを含むすべてのInvisalign治療の基本スキャン。詳細については、を参照してください [Invisalign手順のためのRxの入力](#)。
- **固定性補綴:** クラウンやブリッジなど、すべての修復治療のスキャン。詳細については、を参照してください [固定性補綴処置向けのRxの入力](#)。
- **インプラント計画:** ラボから手術ガイドを注文できます。詳細については、を参照してください [インプラント計画の手順のRxの記入](#)。
- **義歯/取り外し可能な処置は、** 部分的および完全な義歯の包括的な計画と製造を可能にします。詳細については、を参照してください [義歯/取り外し可能な処置のためのRxの記入](#)。
- **アプライアンス:** ナイトガードや無呼吸/睡眠家電など、さまざまな歯科用アプライアンスの処方箋を作成できます。詳細については、を参照してください [アプライアンス手順のためのRxの入力](#)。

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウの「Order(オーダー) </g>」と「Scan Options(スキャンオプション)」領域が、選択した手順に従って表示されます。

3. 該当する場合は、「タイプ」のドロップダウンリストから、必要な手順のタイプを選択します。
注: 手順のタイプは、研究モデル/iRecord および固定性補綴手順には関連していません。
4. 必要に応じて、「期日」フィールドでカレンダーをタップし、ラボからの義歯の期日を選択します。
5. 必要に応じて、「送信先」ドロップダウンリストから、スキャンの送信先のラボ、またはチェアサイドのソフトウェアを選択します。何も選択しない場合、スキャンはMyiTeroにのみ送信されます。
6. 選択した手順に応じて、関連する追加の詳細を入力します。

7. 「スキャンオプション」領域で、必要に応じて、選択した処置に応じて、次のトグルボタンをオン/オフにします。
 - **マルチバイト**: マルチバイトスキャンが必要な場合は、「マルチバイト」のトグルボタンをオンにします。これにより、必要に応じて2つのバイトを確保でき、アプライアンスの製造のために、包括的な噛み合わせ情報をラボに提供することができます。
研究モデル/iRecordからのInvisalignの処置では、最初の咬合面は両側スキャンすることが推奨されます。最初の咬合面のみがClinCheckソフトウェアで使用されます。
 - **前処理スキャン**: 関連する歯牙の治療前に患者をスキャンする場合は、「前処理スキャン」のトグルボタンをオンにします。この場合、患者は歯牙の治療の前後の2回スキャンする必要があります。前処理スキャンにより、ラボは元の解剖学的形態を新しい補綴物にコピーできます。
8. 選択した処置と処置の種類に応じて、表示される追加領域、たとえば、**歯列図領域**または**義歯の詳細領域**のような関連する詳細を入力します。
9. 必要に応じて、「メモ」領域に患者の治療に関する特定のメモをラボに入力します。たとえば、配送または製造などに関する特別な指示などです。メモ領域外の任意の場所をタップして、メモを追加します。各メモには、メモの作成者がタイムスタンプ付きで表示され、編集および削除することができます。
10. ツールバーにある  をタップして、スキャンモードに移動し、患者をスキャンします。詳細はを参照してください [患者のスキャン](#)。

5.3.1 研究モデルiRecord手順のRxの記入

研究モデルiRecordの手順には、追加の変更なしに簡単なスキャンが必要です。

Invisalignの医師の場合、すべてのスキャンデータはInvisalign Doctor Site (医師専用サイト) にアップロードされ、ClinCheckソフトウェアで利用できます。

研究モデルiRecord手順のRxを記入するには:

1. 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
2. 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから [Study Model (研究モデル)/iRecord] を選択します。

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウが展開され、「スキャンオプション」エリアが表示され、次のように表示されます。

図 73: オーダーおよびスキャンオプション領域 - 研究モデル/iRecord手順

- 必要に応じて、「Ortho Model/iCast(オルソモデル/iCast)」トグルボタンをオンにして、デジタル歯科症例をオーダーします。
- [Rxの入力](#)に記載されているように、ステップ5から処方箋に入力し続けます。

5.3.2 Invisalign手順のためのRxの入力

Invisalign手順は、リテーナーを含むすべてのInvisalignオーダーのRxを作成するために使用されます。アライナーが患者の歯牙に完全にフィットするように、データに抜けのないスキャンを行う必要があります。

Invisalign手順のRxを入力するには:

- 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
- 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから「Invisalign」を選択します。

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウが次のように表示されます。

図 74: オーダー領域 – Invisalign手順

3. 「タイプ」ドロップダウンリストから、iTerоサブスクリプションパッケージに応じて、必要なInvisalign手順のタイプを選択します。
 - Invisalign Aligners – Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) は、**Invisalign Aligners** 手順タイプでのみ使用できます。Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) の詳細については、を参照してください [Invisalign Outcome Simulator Pro \(アウトカム・シミュレータ・プロ\)](#)。
 - Invisalign First Aligners(ファースト・アライナー)
 - Invisalign First Palatal Expander (第一口蓋拡張器)

注： 過剰な軟組織は、スキャン中にモデルのエッジ周辺から自動的に削除されません。必要に応じて、画面を押してから自動クリーンアップツールをタップして、自動クリーンアップを有効にすることができます。詳細については、を参照してください [自動クリーンアップの無効化](#)。
 - Vivera リテーナー – 治療後も歯の位置を維持します。ブラケットがまだ残っている場合は、iTerоソフトウェアによって削除されます。Viveraリテーナーはブラケットを除去する際に提供されます。
 - Invisalignリテーナー
4. Invisalign Aligner (アライナー)、First Aligner (ファーストアライナー)、First Palatal Expanders (第一口蓋拡張器) の場合、**治療ステージ**を選択できます。
 - 初期記録 – 最初のInvisalign治療スキャン。デフォルトでは、Current Aligner #(現在のアライナー#) は0に設定されています。
 - 進行記録 – 進行中の治療における複数回のスキャン。さらに、「**Current Aligner #**」フィールドに患者の現在のアライナー番号を入力します。

- 最終記録 – 治療が完了したときに行われるスキャン。さらに、「**Current Aligner #**」フィールドに患者の現在のアライナー番号を入力します。
5. に記載されているように、ステップ8から処方箋に入力し続けます [Rxの入力](#)。
- 詳細については、Invisalignのドキュメントを参照してください。

5.3.3 固定性補綴処置向けのRxの入力

固定性補綴処置は、クラウン、ブリッジ、ベニヤ、インレイ、オンレイ、インプラント支持による修復など、さまざまな修復をカバーします。固定性補綴処置を選択する場合、修復が必要な歯牙、必要な修復の種類、修復の材料、シェードなどを選択する必要があります。

注意：一部のフィールドは、患者をスキャンする前に必須ではありませんが、スキャンデータを送信する前に入力する必要があります。

固定性補綴処置のRxを入力するには：

1. 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
2. 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから「Fixed Restorative(固定性補綴)」を選択します。

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウが展開され、「スキャンオプション」領域と歯牙の数とイラストが表示された「歯列図」領域がウィンドウに表示されます。

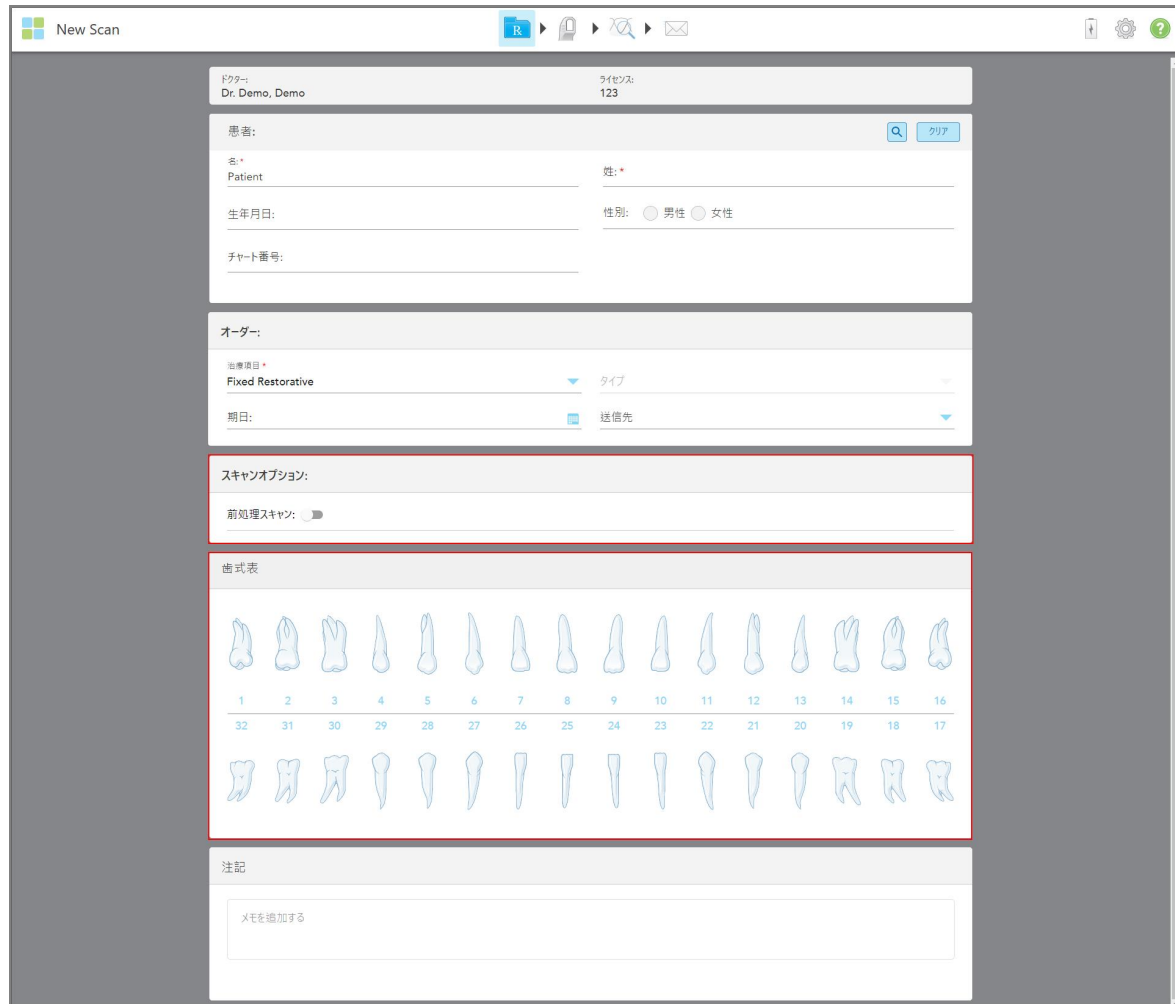


図 75: スキャンオプションと歯列図領域 – 固定性補綴処置

3. 必要に応じて、「期日」フィールドでカレンダーをタップし、ラボからの修復物の期日を選択します。
4. 必要に応じて、「送信先」ドロップダウンリストから、スキャンの送信先のラボ、またはチェアサイドのソフトウェアを選択します。
5. 「スキャンオプション」領域で、必要に応じて次のトグルボタンをオン/オフにします。
 - **前処理スキャン**: 関連する歯牙の治療前に患者をスキャンする場合は、「前処理スキャン」のトグルボタンをオンにします。この場合、患者は歯牙の治療の前後の2回スキャンする必要があります。前処理スキャンにより、ラボは元の解剖学的形態を新しい補綴物にコピーできます。
6. 「歯列図」領域で、修復する歯牙をタップします。

選択した歯牙について利用可能なオプションのリストが表示されます。

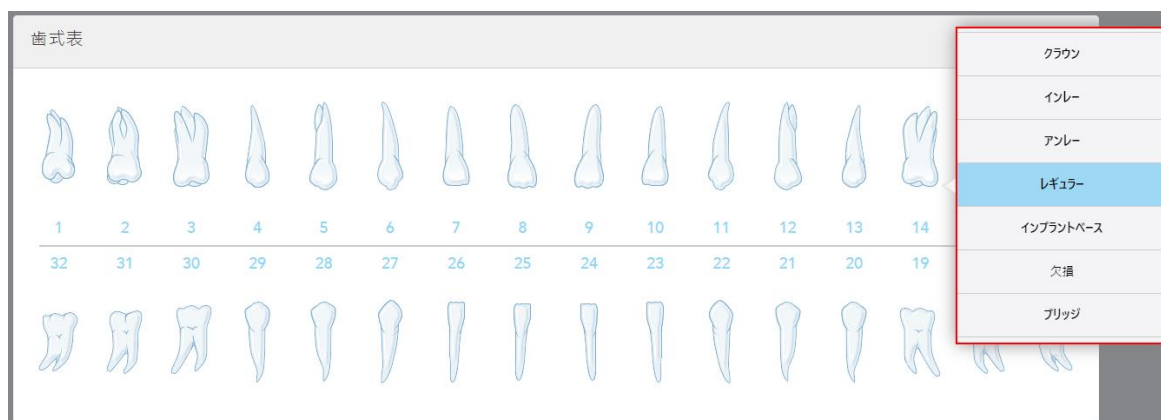


図 76: 固定性補綴治療オプションのリスト

7. 必要な治療オプションを選択します。

選択した固定性補綴治療オプションに応じて、治療ウィンドウが表示されます。

注: 治療オプションはスキャンデータを送信する前に必須ですが、スキャン後に入力することができます。




図 77: 治療設定ウィンドウ- オンレイ修復

8. 選択した治療オプションに従って、各歯牙に関連する治療設定を選択します。

- [クラウン](#)、詳細は[クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物](#)
- [インレイ/オンレイ](#)(臼歯および小臼歯にのみ関連)、詳細は[クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物](#)
- [インプラント支持](#)、詳細は[インプラント支持修復](#)

注: インプラントのアバットメントがすでに口腔内に取り付けられている場合は、ドロップダウンリストから「クラウン」を選択します。

- [ベニヤ/ラミネート](#) (切歯および前臼歯にのみ関連)、詳細は[クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物](#)
 - [ブリッジ](#)、詳細は[ブリッジ修復](#)
- 加えて、
- 欠落している歯牙がある場合は、「**Missing(欠落)**」をタップします
 - 修復プランを削除するには、「**Regular(通常)**」をタップします
9.  をタップして選択内容を保存し、「新しいスキャン」ウィンドウに戻ります。
- 選択した歯が強調表示され、選択した治療オプションが、「**歯列図**」領域の下の「**治療情報**」領域に表示されます。

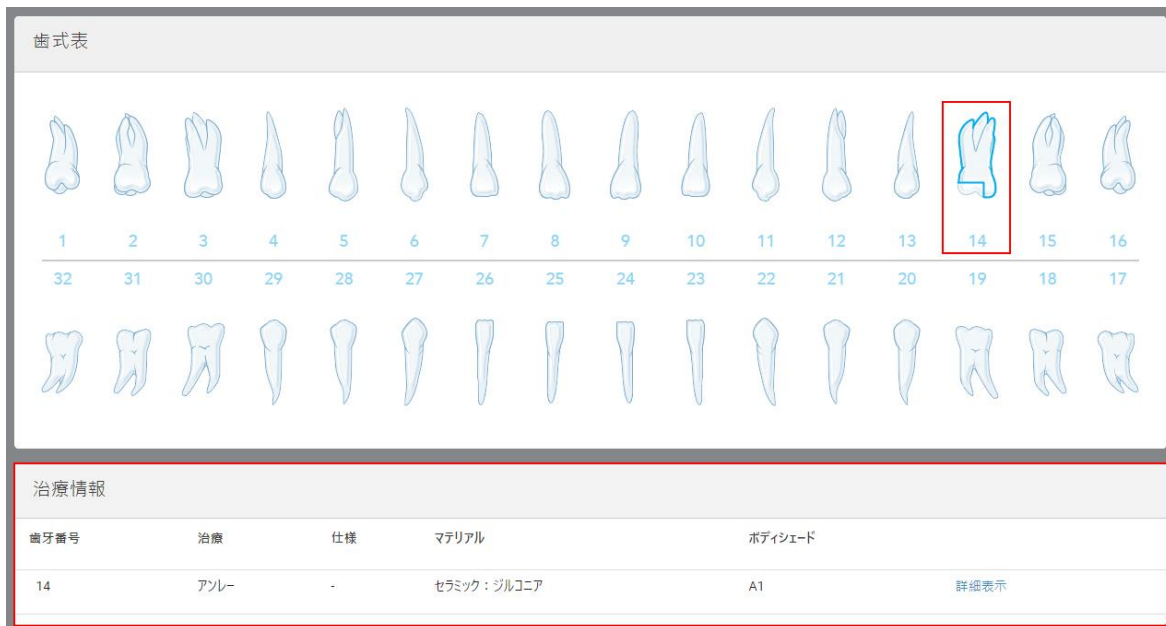


図 78: 選択した歯と治療情報領域 - オンレイ修復

- スキャンを送信する前に、「**詳細を表示**」をタップして特定の歯の設定を編集することで、選択した治療オプションをいつでも変更できます。
10. 必要に応じて、「**メモ**」領域に患者の治療に関する特定のメモをラボに入力します。たとえば、配送または製造などに関する特別な指示などです。**メモ**領域外の任意の場所をタップして、メモを追加します。各メモには、メモの作成者がタイムスタンプ付きで表示され、編集および削除することができます。

5.3.3.1 クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物

下記の手順に従って、クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物のRxを記入してください。

注: 複数の歯牙を修復する必要がある場合は、同じ修復タイプを必要とする各歯牙に対して治療設定をコピーできます。

クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、またはオンレイの修復物のRxを入力するには:

1. 歯列図で、修復が必要な歯牙をタップし、ドロップダウンリストから必要な治療オプションを選択します。例、**歯冠**。
クラウン治療設定ウィンドウが表示されます。

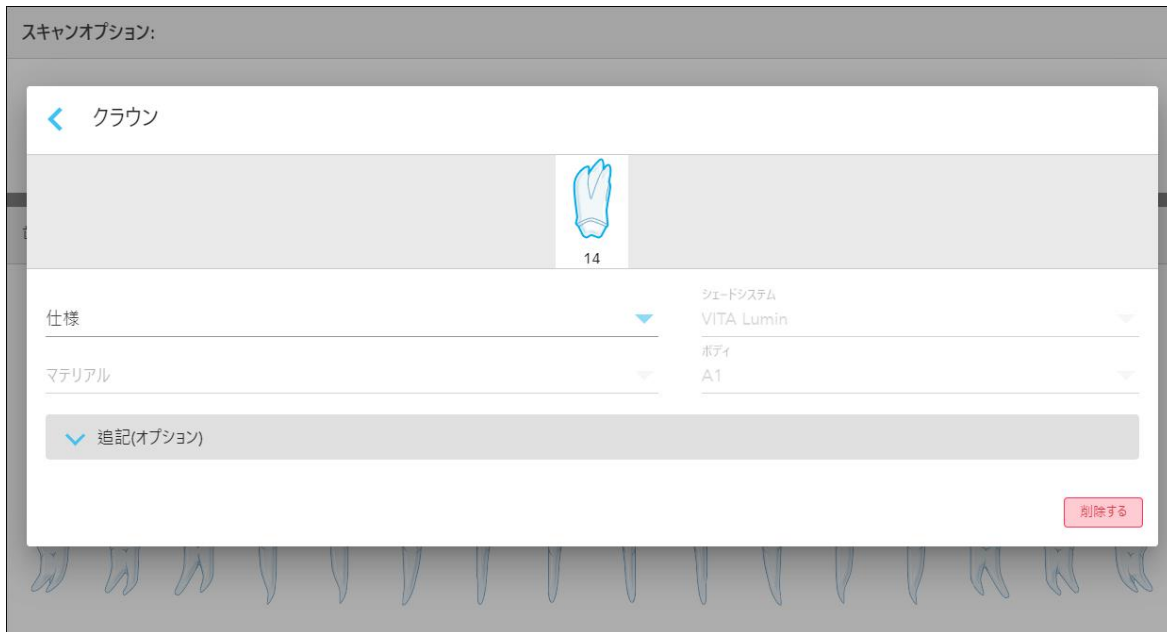


図 79: 治療設定ウィンドウー クラウン修復

2. ドロップダウンリストから次の必須設定を選択します。
 - a. **仕様**: 製造するクラウンの種類。
注: クラウン治療にのみ関連。必要なクラウンの種類を選択したら、残りのオプションを選択できます。
 - b. **マテリアル**: 選択された仕様に応じた修復物を製造する材料。これは、修復の対象となるすべての歯にコピーすることができます。
 - c. **シェードシステム**: 修復物のシェードを選択するために使用されるシステム。
 - d. **ボディ**: 修復物本体領域のシェード。



3. 必要に応じて、 をタップして「追加情報」領域を展開し、追加のオプション設定を表示します。



図 80: 追加情報領域 - クラウン修復処置

- **プレパレーションデザイン(頬側および舌側)**: 準備中にユーザーが作成したフィニッシュライン(マージンライン)の形状。頬側と舌側の両方でこれを選択することができます。
 - **マージンデザイン(頬側および舌側)**: 選択された金属ベースのクラウンに必要なセラミックと金属の境界の関係のタイプ。頬側と舌側の両方でこれを選択する必要があります。これは、金属補綴物にのみ関係します。
 - **切歯**: 修復物の切縁領域のシェード。
 - **歯肉**: 修復物の歯肉領域のシェード。
 - **スタンプシェード**: 支台歯のシェード。
4.  をタップして選択内容を保存し、「新しいスキャン」ウィンドウに戻ります。

選択した治療オプションが、「歯列図」領域の下の「治療情報」領域に表示されます。スキャンを送信する前に、「詳細を表示」をタップして特定の歯の設定を編集することで、選択した治療オプションをいつでも変更できます。

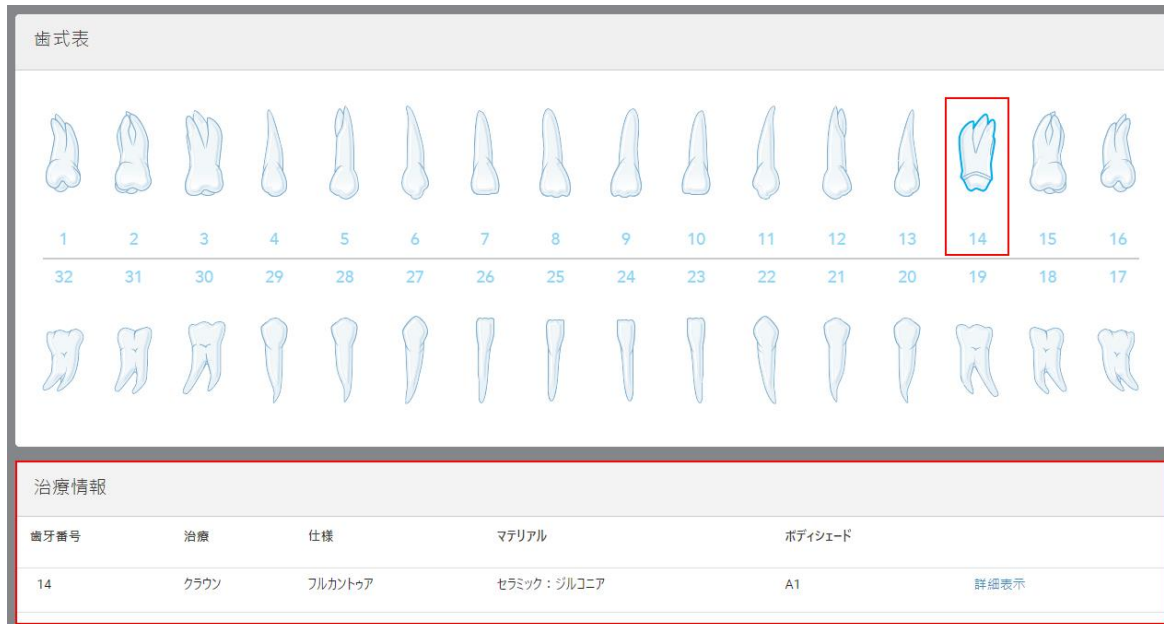


図 81: 選択した歯と治療情報領域 - クラウン修復処置

5. 治療を必要とする歯ごとにこの手順を繰り返します。

歯が既に治療設定を定義している歯と同じ治療を必要とする場合は、歯牙をタップし、ドロップダウンリストにある「歯からコピー#」を選択して設定をコピーすることができます。

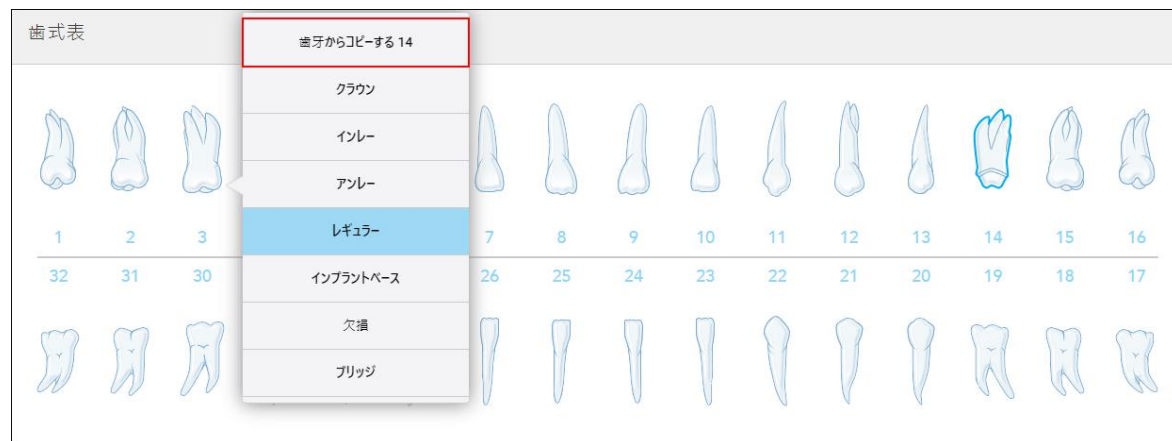


図 82: 同じ治療タイプが必要な歯から修復処置の設定をコピーする

治療設定はその歯にコピーされ、「歯列図」領域の下の「治療情報」領域に表示されます。

6. 「新しいスキャン」ウィンドウに詳細を入力します。詳細は[固定性補綴処置向けのRxの入力](#)。

5.3.3.2 インプラント支持修復

インプラント支持修復は、[固定性補綴処置向けのRxの入力](#)に記載されている固定性補綴処置の一部として作成されます。

固定性補綴処置のRxを記入した後、以下のインプラント支持の修復処置を継続します。

注: インプラントのアバットメントがすでに存在する場合は、[クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物](#)に記載されているように、**クラウン修復**を選択する必要があります。

インプラント支持修復のRxを記入するには:

1. **歯列図**で、インプラントのアバットメントを必要とする歯をタップし、ドロップダウンリストから「**インプラントベース**」を選択します。

「**インプラント支持**」治療の設定ウィンドウが表示されます。

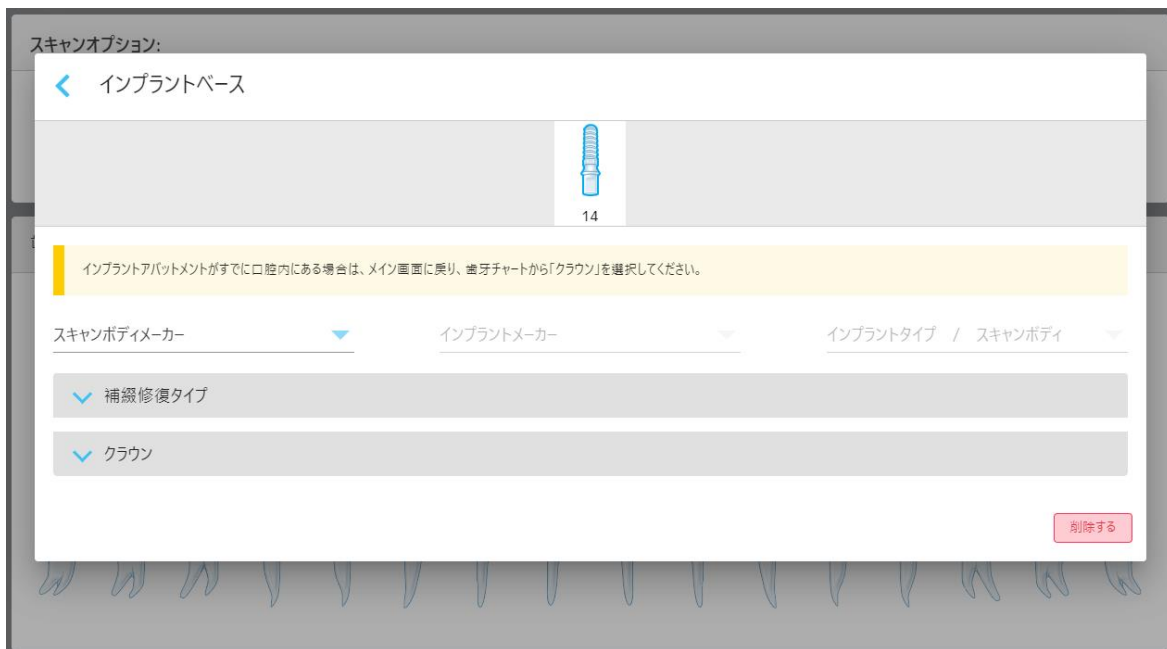



図 83: 治療設定ウィンドウ- インプラント支持修復

2. 関連するドロップダウンリストからスキャン本体メーカー、インプラントメーカー、およびインプラントタイプ/スキャン本体を選択します。

3.  をタップして「修復タイプ」領域を展開し、関連するドロップダウンリストから修復のタイプ、アバットメントタイプ、およびアバットメント材料を選択します。チタンベースが所定の位置にある場合は、**Ti-Base**トグルボタンをオンにします。

これらのオプションはスキャン後に選択できますが、スキャンデータを送信する前に選択する必要があります。

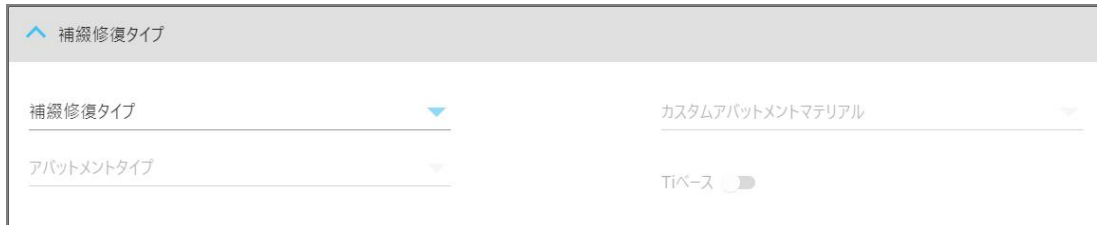




図 84: 修復タイプ領域の拡大

4.  をタップして「クラウン」エリアを展開し、で説明されているように、関連するドロップダウンリストから必要な設定を選択します [クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物](#)。

これらのオプションはスキャン後に選択できますが、スキャンデータを送信する前に選択する必要があります。



図 85: クラウン領域の拡大

5.  をタップして選択内容を保存し、「新しいスキャン」ウィンドウに戻ります。
6. 「新しいスキャン」ウィンドウに詳細を入力します。詳細は [固定性補綴処置向けのRxの入力](#)。

5.3.3.3 ブリッジ修復

以下の手順に従って、ブリッジ修復のRxを入力します。

ブリッジ修復のRxに入力するには:

1. 「歯列図」領域で、ブリッジに含める歯の1つをタップし、ドロップダウンリストから「ブリッジ」を選択します。
ブリッジ治療設定ウィンドウが表示されます。

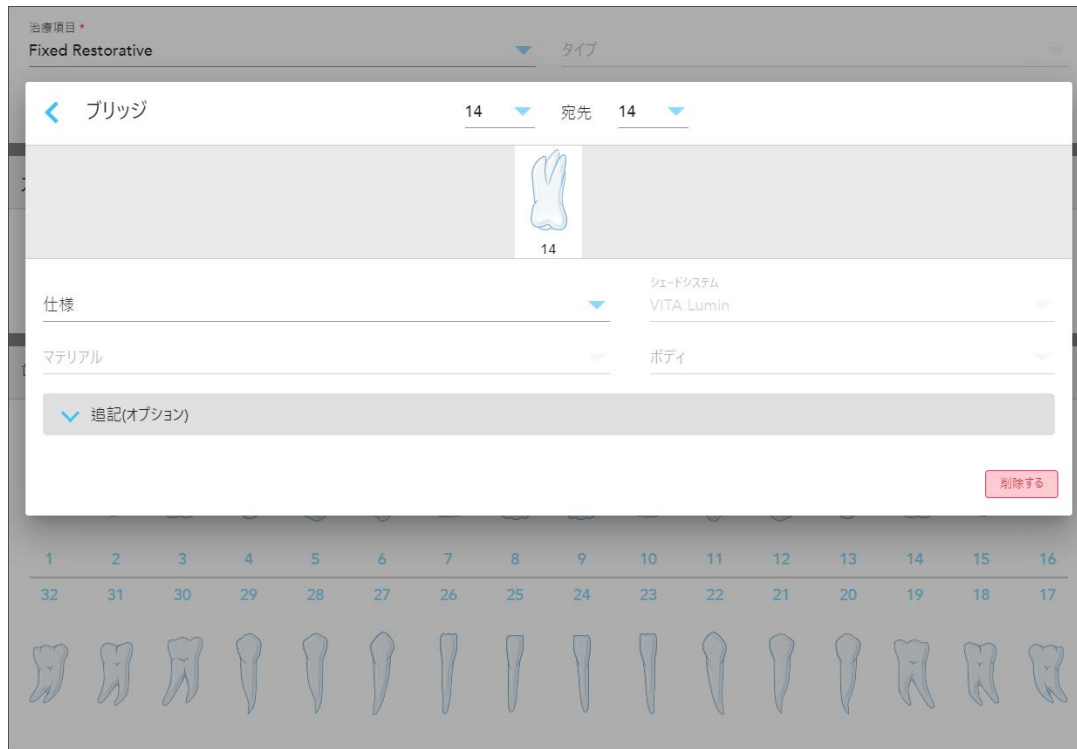


図 86: 治療設定ウィンドウーブリッジ修復

2. ウィンドウ上部の矢印で、ブリッジに含める歯の範囲を選択します。
ブリッジに含まれる歯が表示されます。



図 87: ブリッジの範囲とその範囲に含まれる歯

3. 歯の範囲内の各歯をタップし、リストからブリッジ治療オプションを選択します。

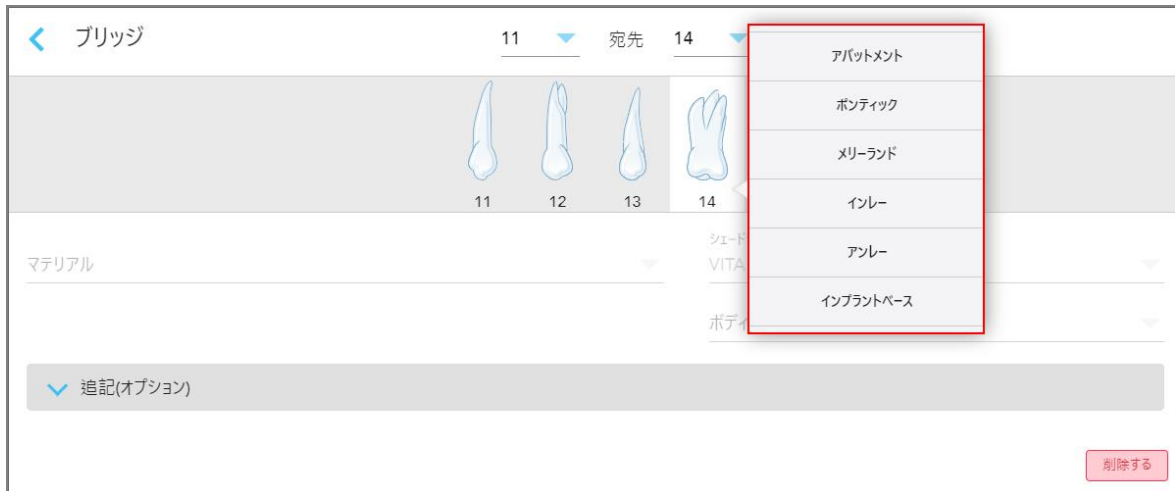


図 88: ブリッジ治療オプションのリスト

4. インプラントベース以外のすべてのオプションの場合:

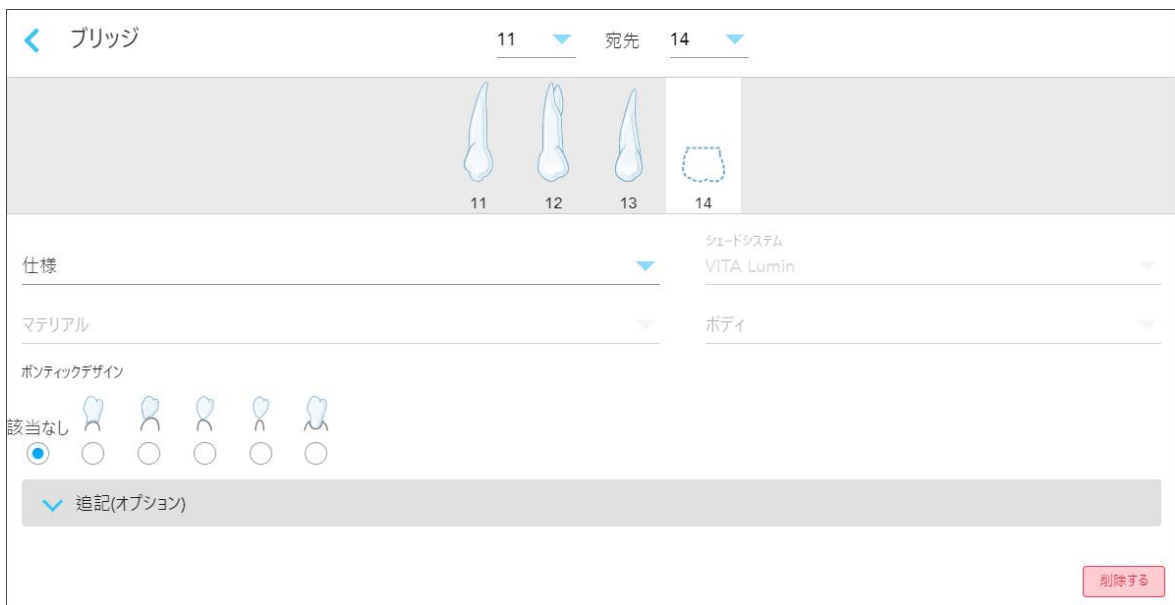


図 89: ブリッジ。修復 – ボンテック設定

- 仕様:** 製造する修復物の種類。
- マテリアル:** 修復物を製造する材料。これは、修復の対象となる各歯牙に自動的にコピーされます。
- シェードシステム:** 修復物のシェードを選択するために使用されるシステム。
- ボディ:** 修復物本体領域のシェード。
- ボンテックデザイン:** ボンテックがブリッジ治療オプションとして選択されている場合にのみ関連します。

5. 必要に応じて、 をタップして「追加情報」領域を展開し、その他オプション設定を表示します。




図 90: 追加情報エリア - ブリッジ修復

- **プレパレーションデザイン(頬側および舌側)**: 準備中にユーザーが作成したフィニッシュライン(マージンライン)の形状。頬側と舌側の両方でこれを選択することができます。
- **マージンデザイン(頬側および舌側)**: 選択された金属ベースのクラウンに必要なセラミックと金属の境界の関係のタイプ。頬側と舌側の両方でこれを選択する必要があります。これは、金属補綴物にのみ関係します。
- **切歯**: 修復物の切縁領域のシェード。
- **歯肉**: 修復物の歯肉領域のシェード。
- **スタンプシェード**: 支台歯のシェード。

6. 「インプラント支持」を選択した場合、ブリッジ治療オプションは次のように表示されます。



図 91: ブリッジ治療オプション – インプラント支持

- ドロップダウンリストからスキャン本体メーカー、インプラントメーカー、およびインプラントタイプ/スキャン本体を選択します。
-  をタップして「修復タイプ」領域を展開し、関連するドロップダウンリストから修復のタイプ、アバットメントタイプ、およびアバットメント材料を選択します。チタンベースが所定の位置にある場合は、**Ti-Base**トグルボタンをオンにします。

これらのオプションはスキャン後に選択できますが、スキャンデータを送信する前に選択する必要があります。

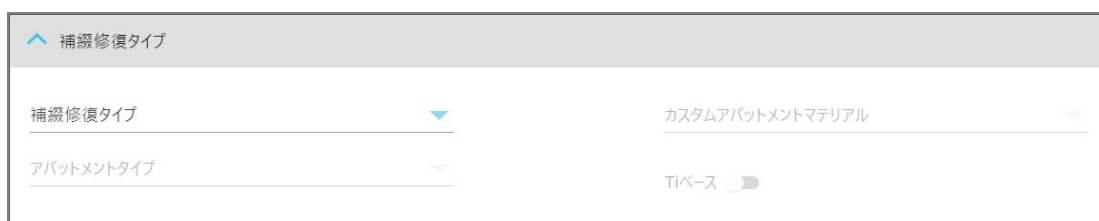




図 92: 修復タイプ領域の拡大

-  をタップして「クラウン」エリアを展開し、で説明されているように、関連するドロップダウンリストから必要な設定を選択します クラウン、ベニヤ、ラミネート、インレイ、オンレイの修復物。

これらのオプションはスキャン後に選択できますが、スキャンデータを送信する前に選択する必要があります。

図 93: クラウン領域の拡大

7.  をタップして選択内容を保存し、「新しいスキャン」ウィンドウに戻ります。
8. 「新しいスキャン」ウィンドウに詳細を入力します。詳細は[固定性補綴処置向けのRxの入力](#)。

5.3.4 インプラント計画の手順のRxの記入

インプラント計画手順は、外科用ガイドの処方要件に関するラボとの効率的なコミュニケーションを可能にします。必要に応じて、ご使用のチェアサイドのソフトウェアにオーダーを送信し、exoplan™または他のチェアサイドのプランニングソフトウェアに途切れなく直接インポートすることもできます。

インプラント計画のRxを記入するには:

1. 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
2. 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから「Implant Planning(インプラント計画)」を選択します。
3. 「タイプ」ドロップダウンリストから、必要な外科用ガイドのタイプを選択します。

図 94: インプラント計画手順のタイプ

「新しいスキャン」ウィンドウが展開され、「歯列図」領域が表示されます。

The screenshot shows the 'New Scan' window with the following sections:

- Doctor:** Dr. Demo, License: 123
- Patient:**
 - Name: Patient
 - Birth Date:
 - Chart Number:
 - Sex: Male Female
- Order:**
 - Treatment Item: Implant Planning
 - Type: Surgical Guide Tooth Supported
 - Date:
 - Destination:
- Dental Chart (歯式表):** A grid of 16 tooth icons arranged in two rows of eight, numbered 1 through 16.
- Notes (注記):** A text input field with the placeholder text 'メモを追加する'.

図 95: インプラント計画手順 - 外科用ガイド歯のための歯列図

- 必要に応じて、「期日」フィールドでカレンダーをタップし、計画の期日を選択します。
- 必要に応じて、「送信先」ドロップダウンリストから、スキャンの送信先のラボ、またはチェアサイドのソフトウェアを選択します。

6. 「歯列図」領域で、インプラントする各歯を選択し、ドロップダウンリストから「インプラントの位置」を選択します。
- 手順タイプとして「外科用ガイド歯のサポート」を選択した場合は、各サポート歯を選択し、その後ドロップダウンリストから「サポート歯」を選択することもできます。サポートする歯は、歯の下に線がある「歯列図」の領域に表示されます。

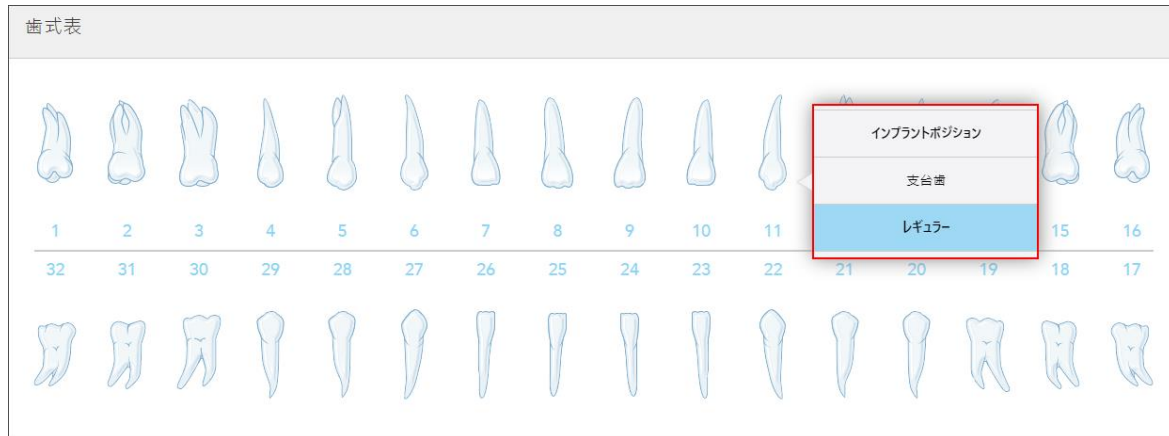



図 96: インプラントを必要とする歯の定義

インプラントする歯を選択すると、「インプラントの位置」ウィンドウが表示されます。



図 97: インプラントの位置ウィンドウ

7. ドロップダウンリストからインプラントメーカーを選択します。
8.  をタップして変更内容を保存し、「New Scan (新しいスキャン)」ウィンドウに戻ります。

インプラントを行う歯とサポートの歯(該当する場合)が、「歯列図」領域に表示されます。サポートの歯はその下に線があり、インプラントを行う歯は点線で示されています。

関連する各歯の詳細は、「歯列図」領域の下の「治療情報」領域に表示されます。

歯式表



治療情報

歯牙番号	治療	仕様	マテリアル	ボディシェード
8	支台歯	-	-	- 詳細表示
9	インプラントポジション	-	-	- 詳細表示
10	インプラントポジション	-	-	- 詳細表示
11	インプラントポジション	-	-	- 詳細表示
12	支台歯	-	-	- 詳細表示

図 98: サポートの歯とインプラントを行う歯が、「歯列図」と「治療情報」領域に表示されます。

- 必要に応じて、「メモ」領域に患者の治療に関する特定のメモをラボに入力します。たとえば、配送または製造などに関する特別な指示などです。メモ領域外の任意の場所をタップして、メモを追加します。各メモには、メモの作成者がタイムスタンプ付きで表示され、編集および削除することができます。

5.3.5 義歯/取り外し可能な処置のためのRxの記入

義歯/取り外し可能な処置は、部分的および完全な義歯の包括的な計画と製造を可能にします。

注意: 一部のフィールドは、患者をスキャンする前に必須ではありませんが、スキャンデータを送信する前に入力する必要があります。

義歯/取り外し可能な処置のRxを記入するには:

- 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
- 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから「義歯/取り外し可能」を選択します。

3. 「タイプ」ドロップダウンリストから、必要な義歯タイプを選択します。

オーダー:

治療項目*
Denture/Removable

期日:

Denture Details:

Stage

Mould:

Upper Denture Lower Denture

タイプ*

Partial Denture/Framework

Immediate Denture

Full Denture Tissue Based

Full Denture Implant Based

VITA Lumin

Teeth Shade

歯肉

図 99: 義歯/取り外し可能な処置のタイプ

4. 必要に応じて、「期日」フィールドでカレンダーをタップし、ラボからの義歯の期日を選択します。
5. 必要に応じて、「送信先」ドロップダウンリストから、スキャンの送信先のラボ、またはチェアサイドのソフトウェアを選択します。
6. 必要に応じて、「義歯の詳細」領域で、該当するドロップダウンリストから義歯のステージ(完全な組織支持および完全なインプラント支持の術式タイプにのみ関連)、型、および歯科用シェードおよび歯肉シェードを含むシェードシステムを選択します。

上部/下部義歯: 該当する歯列弓のトグルボタンは、歯列図領域の歯の適応に応じて自動的にオンになります。

7. 「スキャンオプション」領域で、必要に応じて次のトグルボタンをオン/オフにします。
8. 「歯列図」領域で、選択した処置のタイプに従って、義歯に含める歯を定義します。この領域は、完全義歯組織ベースの処置タイプには関連していません。

歯式表

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 14 15 16

32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17

インプラントベース

欠損

図 100: 義歯に含まれる歯の定義 - 完全義歯インプラント支持処置のタイプ

- 部分的な義歯/フレームワーク- 関連する歯をタップして、**クラスプ**または**欠損**を選択します。
- 即時義歯 - 各関連する歯をタップし、**クラスプ**または**除去する**を選択します。

- 完全義歯インプラントベース-関連する歯をタップし、インプラント支持または欠損を選択します。「インプラントベース」を選択すると、「インプラント支持」設定ウィンドウが表示されます。すべてのフィールドへの入力が必要で

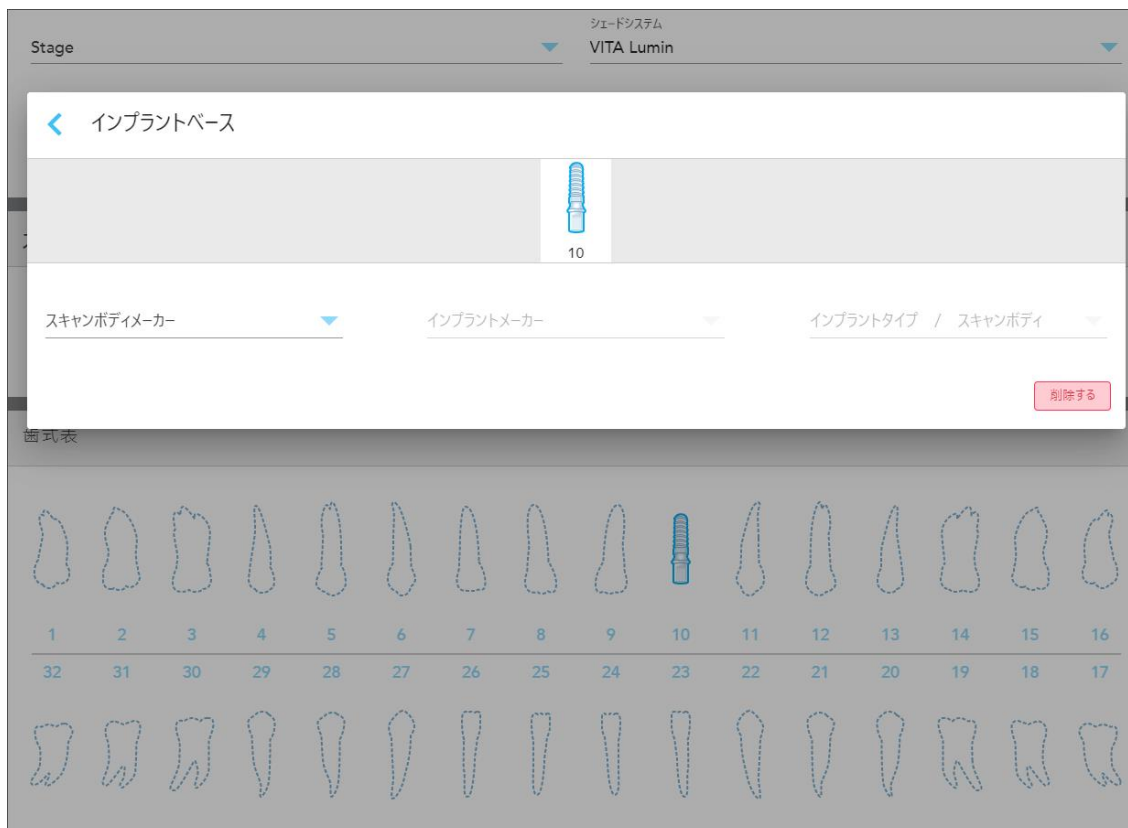




図 101: インプラント支持設定ウィンドウ

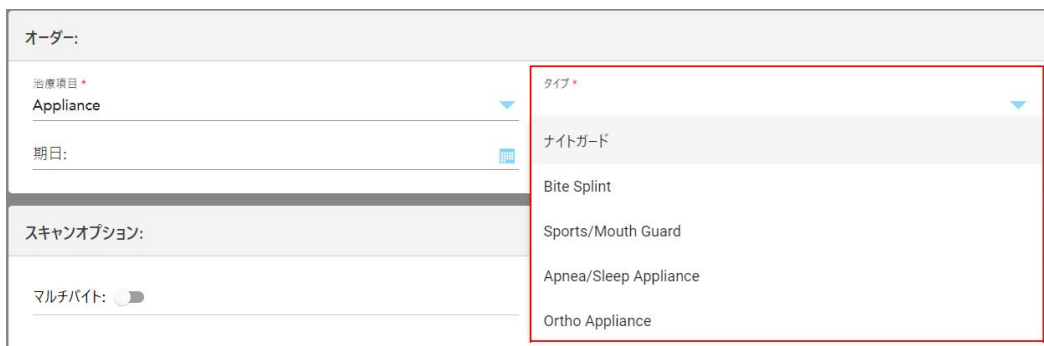
- 各インプラント支持の歯について、関連するドロップダウンリストからスキャン本体メーカー、インプラントメーカー、およびインプラントタイプ/スキャン本体を選択します。
 -  をタップして変更内容を保存し、「New Scan (新しいスキャン)」ウィンドウに戻ります。
- 「治療情報」領域には、各歯のすべての適応が表示されます。必要に応じて、「詳細を表示」をタップして各歯の詳細を編集します。
 - 必要に応じて、「メモ」領域に患者の治療に関する特定のメモをラボに入力します。たとえば、配送または製造などに関する特別な指示などです。メモ領域外の任意の場所をタップして、メモを追加します。各メモには、メモの作成者がタイムスタンプ付きで表示され、編集および削除することができます。
 - ツールバー上の  をタップして、スキャンモードに移動します。詳細は [患者のスキャン](#) を参照してください。
注：過剰な軟組織は、スキャン中にモデルのエッジ周辺から自動的に削除されません。必要に応じて、画面を押してから自動クリーンアップツールをタップして、自動クリーンアップを有効にすることができます。詳細については、[自動クリーンアップの無効化](#) を参照してください。

5.3.6 アプライアンス手順のためのRxの入力

アプライアンスの手順では、ナイトガードや睡眠アプライアンスなど、さまざまな歯科用アプライアンスの処方箋を作成できます。

アプライアンス手順のRxを記入するには:

1. 「患者」領域で、[既存の患者を検索する](#)に記載されているように、患者の詳細を入力するか、既存の患者を検索します。
2. 「Order (オーダー)」領域で、「Procedure (手順)」のドロップダウンリストから「Appliance(アプライアンス)」を選択します。
3. 「タイプ」ドロップダウンリストから、必要なアプライアンスのタイプを選択します。必要なアプライアンスがリストされていない場合は、「Ortho(オルソ)アプライアンス」を選択し、ウィンドウの下部にある「メモ」領域に要件を入力します。



The screenshot shows a software interface for entering a prescription. On the left, under the 'Order' section, the 'Treatment Item' (治療項目) is set to 'Appliance'. Below it, there is a 'Date' (期日) field and a 'Scan Option' (スキャンオプション) section with a 'Multi-bite' (マルチバイト) toggle switch. On the right, a dropdown menu for 'Type' (タイプ) is open, displaying a list of appliance types: 'Night Guard' (ナイトガード), 'Bite Splint', 'Sports/Mouth Guard', 'Apnea/Sleep Appliance', and 'Ortho Appliance'. The 'Ortho Appliance' option is currently selected and highlighted.

図 102: アプライアンス手順のタイプ

4. [Rxの入力](#)に記載されているように、ステップ5から処方箋に入力し続けます。

5.4 患者管理

「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウの「患者」セクションから患者のデータ管理プロセスを制御します。

- 新しい患者を追加する。詳細は[新しい患者を追加する](#)
- 既存の患者を検索する。詳細は[既存の患者を検索する](#)
- 患者の詳細を編集する。詳細は[患者の詳細を編集する](#)
- 新規スキャンウィンドウから患者を消去する。詳細は[新規スキャンウィンドウからの患者の詳細の消去](#)

5.4.1 新しい患者を追加する

Rxの入力中に、新しい患者を追加できます。「スキャン」ウィンドウに移動すると、患者の詳細が保存され、後で編集することができます。詳細は[患者の詳細を編集する](#)を参照してください。

さらに、MyiTeroまたは歯科プログラム管理サービス(DPMS)ソフトウェアを使用して新しい患者を追加することもできます。

新しい患者を追加するには:

1. 「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウの「患者」領域で、患者の名と姓を入力します。
2. 必要に応じて、患者の生年月日をDD/MM/YYYY形式で入力し、患者の性別を選択し、患者のチャート番号として一意の識別子を入力します。

新しい患者の詳細が「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウの「患者」領域に表示されます。

The screenshot shows the 'New Scan' window with the following patient information entered:

- Doctor: Dr. Demo, Demo
- License: *
- Patient Name: Patient
- Surname: Demo
- Birth Date: 08/10/1983
- Gender: Male Female
- Chart Number: 123

Below the patient information, there are fields for 'Treatment Item', 'Type', 'Date', and 'Destination'. At the bottom, there is a 'Notes' section with a 'Add memo' button.

図 103: 新しい患者の追加

注: 既存の患者を追加しようとする、「名」、「姓」、および「チャート番号」フィールドが強調表示され、同じ詳細を持つ患者がすでに存在することを通知するメッセージが表示されます。

The screenshot shows a patient entry form with the following fields: 患者: (Patient), 名: * (Name), 姓: * (Surname), 生年月日: (Date of Birth), and チャート番号: (Chart Number). The 名 and 姓 fields contain 'Patient2' and 'Demo' respectively. A yellow warning banner at the bottom states: '同じ情報を持つ患者が既に存在します: Demo, Patient2 既存の患者データを開くか、または新しく患者データを作成してください' (A patient with the same information already exists: Demo, Patient2. Do you want to open existing patient data or create new patient data?).

図 104: 同じ詳細の患者が存在することを通知するメッセージ

- 新しい患者と既存の患者が同一人物である場合は、「**既存の患者を読み込む**」をタップします。
- 新しい患者と既存の患者が別の人物である場合は、強調表示されたフィールド(名、姓、またはチャート番号)を編集して、新しい患者を作成します。

患者の詳細が「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウに表示されます。

5.4.2 既存の患者を検索する

既存の患者を検索する場合、検索条件に一致する患者のリストを表示するには、検索フィールドに患者の名前を3文字以上入力する必要があります。

さらに、[患者の検索](#)で説明されている「患者」ページから患者を検索できます。

既存の患者を検索するには:

- 「新しいスキャン」ウィンドウの「患者」領域で、 をタップします。

The screenshot shows the same patient entry form as in Figure 104, but with a red box highlighting the search icon (magnifying glass) in the top right corner of the form area.

図 105: 新しいスキャンウィンドウの患者領域 - 既存の患者の検索

「患者を検索する」ウィンドウが表示されます。

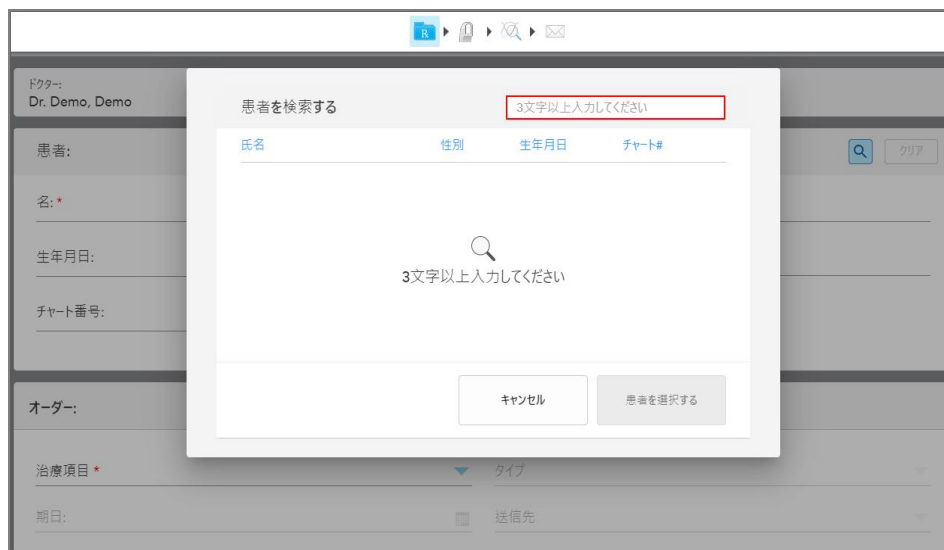


図 106: 検索フィールドを備えた患者検索ウィンドウ

- 「患者を検索する」ウィンドウで、検索フィールドに少なくとも3文字を入力して、検索条件に一致する患者のリストを表示します。

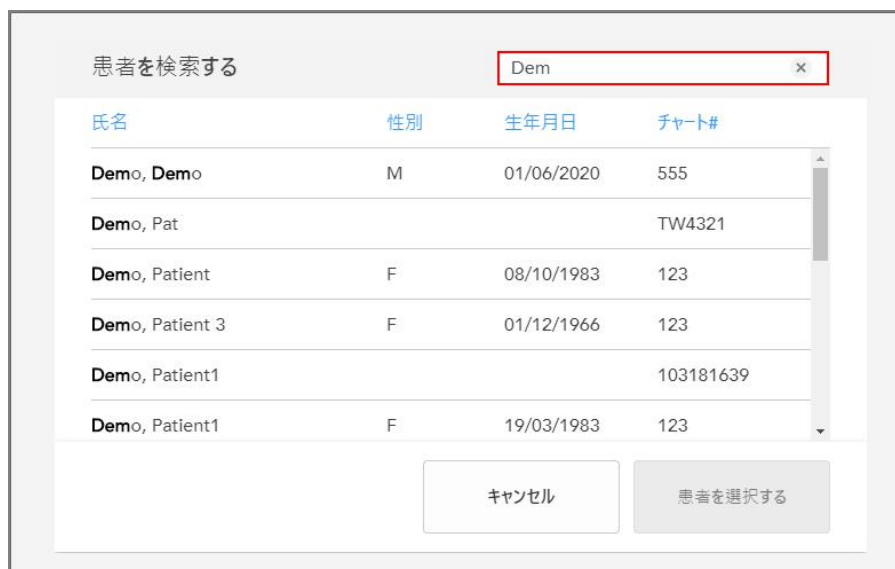


図 107: 検索フィールドの検索基準と一致する患者のリスト

3. 必要な患者を選択し、「患者を選択する」をタップします。

氏名	性別	生年月日	チャート#
Demo, Patient 3	F	01/12/1966	123
Demo, Patient1			
Demo, Patient1	F	20/03/1983	123
Demo, Patient10	F		123
Demo, Patient11			
Demo, Patient111			

図 108: 必要な患者の選択

選択した患者が「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウの「患者」領域に表示されます。

図 109: 「新しいスキャン」ウィンドウの「患者」領域に表示された選択した患者

5.4.3 患者の詳細を編集する

患者を検索して選択した後、または新しい患者を追加した後、患者の詳細を編集できます。

さらに、[Rxの表示](#)説明されているように、患者のプロファイルページからRxを開くときに、患者の詳細を編集できます。

患者の詳細を編集するには:

1. 既存の患者を検索する。詳細は[既存の患者を検索する](#)

患者が「New Scan(新しいスキャン)」ウィンドウに表示されます。

2. 患者 エリアで  をタップします。



図 110: 新しいスキャンウィンドウの患者エリア-患者の編集

「患者情報の修正」ウィンドウが表示されます。

3. 必要に応じて患者の詳細を編集し、「更新する」をタップします。

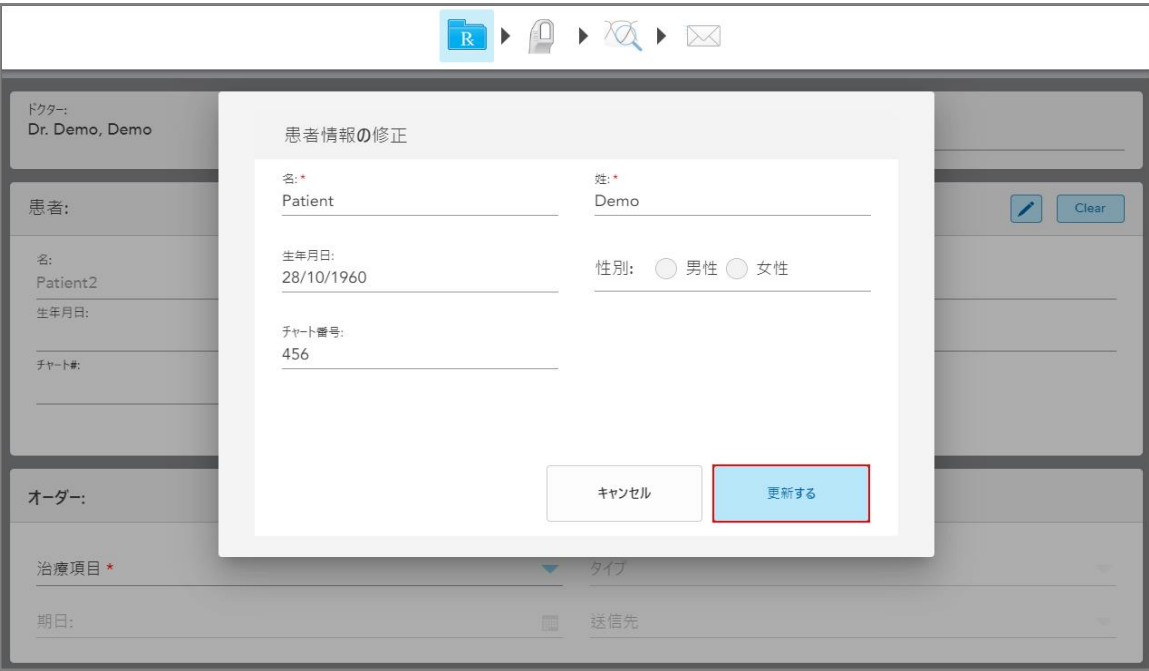


図 111: 患者の編集ウィンドウと更新ボタン

患者の氏名の編集に、既存の患者と同じ詳細を入力すると、それを通知するメッセージが表示されます。

患者情報の修正

名: * Patient

姓: * Demo

生年月日: _____ 性別: 男性 女性

チャート番号: _____

同じ情報を持つ患者が既に存在します:
Demo, Patient

キャンセル 更新する


図 112: 同じ詳細の患者がすでに存在するというメッセージ

同じ詳細を持つ患者を区別するには、「チャート番号」フィールドに一意の識別子を入力します。

5.4.4 新規スキャンウィンドウからの患者の詳細の消去

必要に応じて、現在表示されている患者の詳細を「新しいスキャン」ウィンドウから削除できます。

新規スキャンウィンドウから患者の詳細を消去するには:

1. 患者 エリアで  をタップします。

患者:

名: Patient1

姓: Demo

生年月日: 20/03/1983

チャート#: 123

性別: 男性 女性

Clear

図 113: 患者の詳細ボタンを消去

確認メッセージが表示されます。

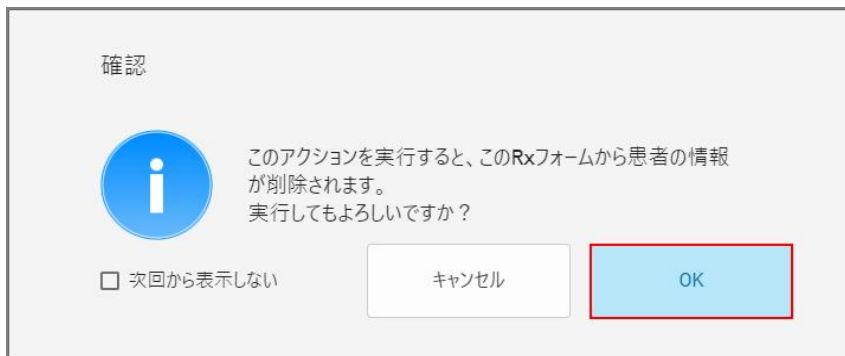


図 114: 消去確認メッセージ

2. **OK** をタップして患者の詳細を消去します。

必要に応じて、「今後表示しない」チェックボックスをオンにします。今後、「**Clear(消去)**」ボタンをタップすると、「新しいスキャン」ウィンドウから患者の詳細が消去されます。

「新しいスキャン」ウィンドウからすべてのデータが消去され、必要に応じて、新しい患者を追加したり、既存の患者を検索したりできるようになります。

5.5 患者のスキャン

Rxを入力したら、ツールバーにある  をタップしてスキャンモードに入ります。「スキャン」ウィンドウが表示され、患者のスキャンを開始できます。

スキャンモードでは、次のアクションを実行できます。

- 追加のスキャンフィードバックの表示。詳細は [追加スキャンに関するフィードバック](#)
- カラーモードとモノクロモードの切り替え。詳細は [カラーの切替](#)

次のようにスキャンを編集することもできます。

- セグメントの削除。詳細は [セグメントの削除](#)
- 選択した領域の削除。詳細は [部分削除](#)
- スキャン不足部位の画像取得。詳細は [スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示](#)
- 3Dモデルのエッジ周辺の余分な組織の表示。詳細は [自動クリーンアップの無効化](#)

患者のスキャンが終了したら、ツールバーにある  をタップして、スキャンの確認ができる**View(表示)**モードに移動します。

5.5.1 スキャンガイダンス

スキャンモードに移行すると、選択したスキャンセグメントの推奨スキャンガイドがスキャナウィンドウの中央に表示されます。しばらくすると自動的に消えますが、画面上の任意の場所をタップして非表示にすることもできます。

最適な結果を得るには、スキャン順序に従うことをお勧めします。

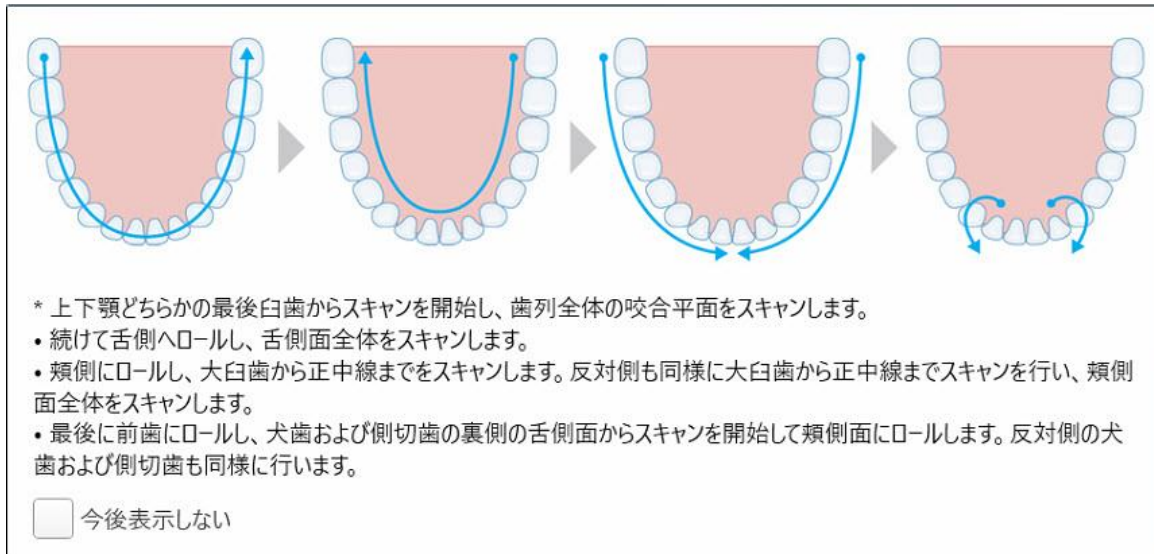


図 115: 推奨スキャンシーケンス - 下顎

注: 「今後表示しない」チェックボックスをオンにすると、今後のスキャンではこのガイダンスは表示されません。「スキャン」設定でガイダンスを有効にすることで再びガイダンスを戻すことができます。詳細は [スキャンの設定](#) を参照してください。

また、両方のワンドボタンを同時に押すと、次のガイダンスが表示されます:

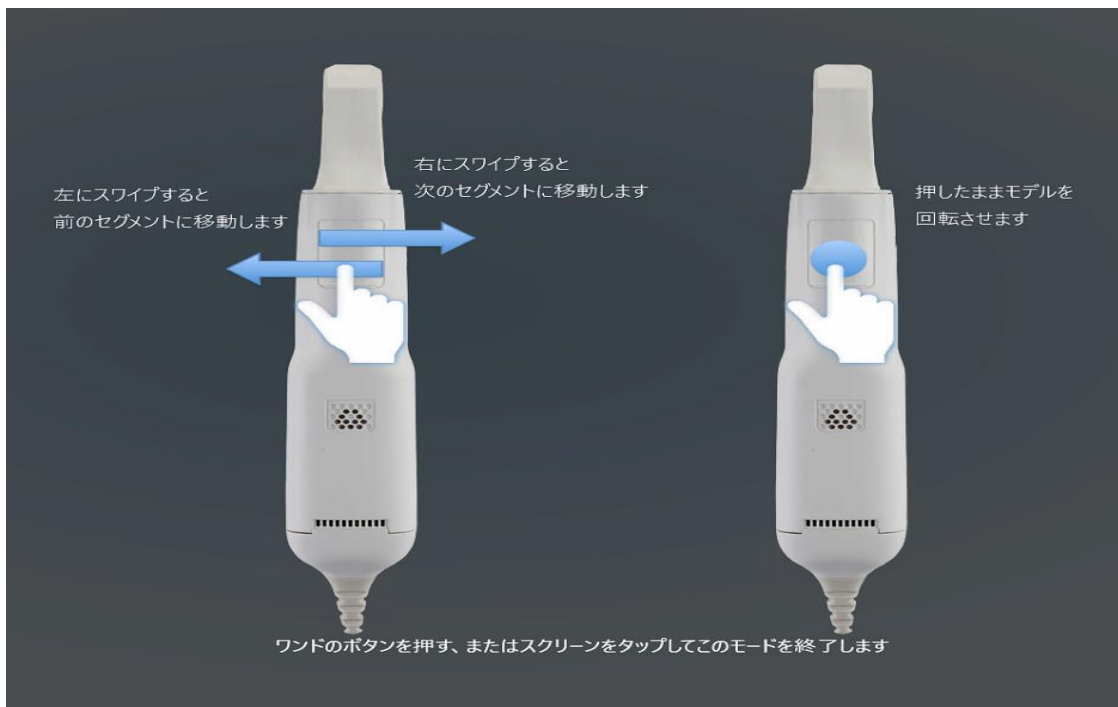


図 116: ワンドガイダンス

いずれかのワンドボタンを押してスキャンを開始します。

5.5.2 スキャンのベストプラクティス

iTeroでは、固定性補綴処置のスキャンに関して次のベストプラクティスを推奨しています：

- 支台歯と周辺領域に破片、唾液、血液汚染がないことを確認します。
- 支台歯は乾燥しており、マージンラインがはっきりしている必要があります。
- 適切なスキャン手法に精通し、過剰なスキャンを避ける必要があります。


5.5.3 スキャンオプション

スキャンモードでは、次のオプションを選択できます：

- 追加のスキャンフィードバック。詳細は [追加スキャンに関するフィードバック](#)
- カラー/モノクロの切り替え。詳細は [カラーの切替](#)
- スキャン画像の編集：
 - セグメントの削除。詳細は [セグメントの削除](#)
 - 選択の削除。詳細は [部分削除](#)
 - スキャン不足領域の画像取得。詳細は [スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示](#)
 - 自動クリーンアップを無効にする。詳細は [自動クリーンアップの無効化](#)

5.5.3.1 追加スキャンに関するフィードバック



「追加スキャンに関するフィードバック」モード  を有効にすることで、追加のスキャンが必要な領域を警告し、スキャン画像全体に影響を及ぼす可能性のある重要な領域を逃さないようにすることができます。

スキャン不足領域は、モノクロモードでスキャンすると赤で強調表示され、カラーモードでスキャンすると紫で強調表示されます。

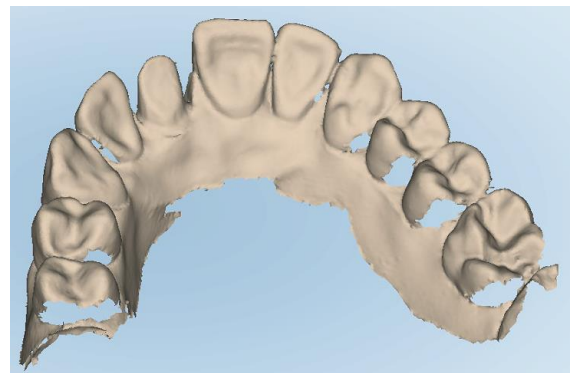
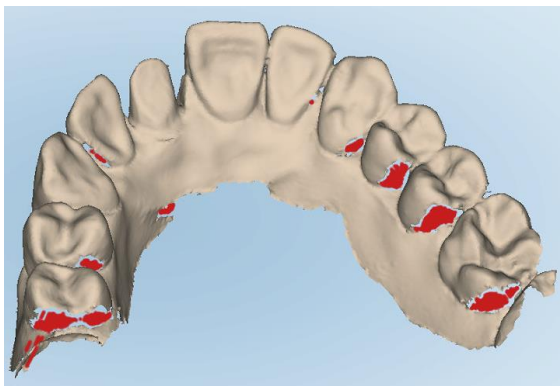


図 117: 追加スキャンに関するフィードバックがある場合とない場合のスキャン不足領域 - モノクロ

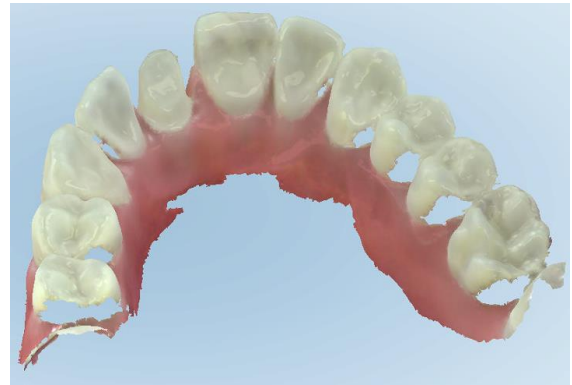
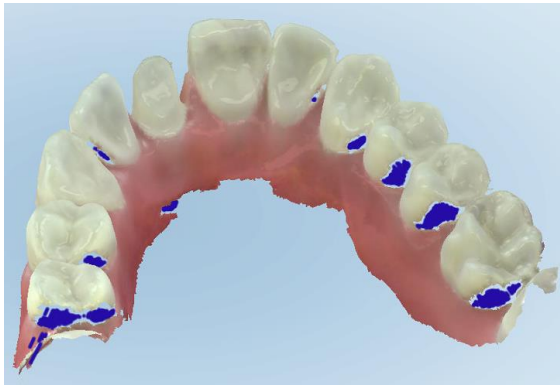




図 118: 追加のスキャンフィールドバックがある場合とない場合のスキャン不足領域 - カラーモード

デフォルトでは、このモードは有効になっていますが、ケースごとに  をクリックするか、スキャン設定でデフォルトを無効にできます。詳細は[スキャンの設定](#)を参照してください。

5.5.3.2 カラーの切替

カラー/モノクロ切替ボタン  を使用すると、カラーモードとモノクロモードを切り替えることができます。これは、すべての手順のスキャンと表示の両方に適用されます。

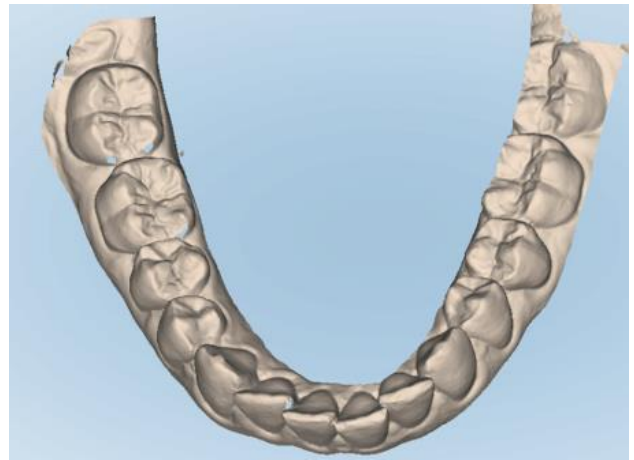
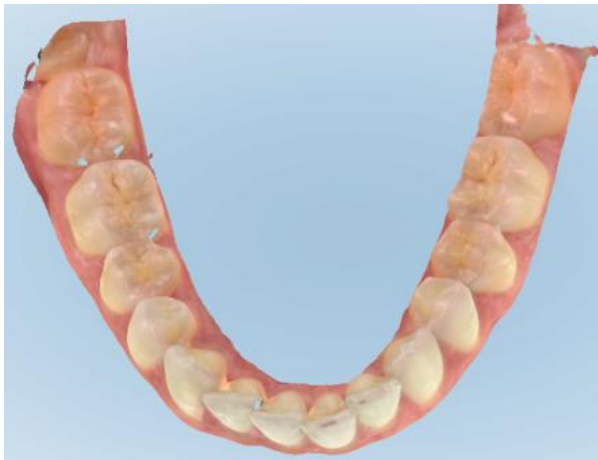


図 119: カラーおよびモノクロモードで表示されるモデル

デフォルトでは、モデルはカラーでスキャンされますが、ケースごとに  をクリックするか、スキャン設定でデフォルトの表示を切り替えることができます。詳細は[スキャンの設定](#)を参照してください。

5.5.3.3 次のスキャンセグメントへの切り替え

スキャン中、ナビゲーションコントロールで現在のセグメントが青で強調表示され、矢印の間のセグメントインジケーターストックにも表示されます。

注: 次のセグメントに移動する前に、ワンドのいずれかのサイドボタンを押して、ワンドのスキャンを停止します。スキャンを停止するときと、スキャンを再開するときに、システムから音が鳴ります。

以下の操作によって次のセグメントに移動できます：

- 関連する歯列弓、支台歯、またはバイトセグメントをタップする
- 矢印をタップする

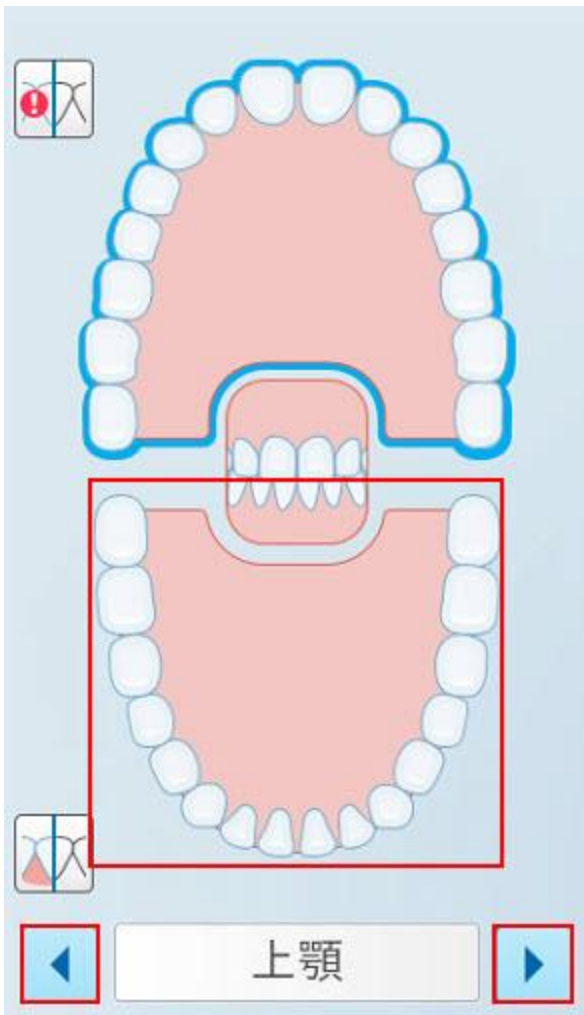


図 120: 反対側の歯列弓をタップするか、矢印をタップして選択します

- ワンドのタッチパッドで左または右にスワイプします。
ワンドタッチパッドを有効にするには、両方のワンドボタンを同時に押して放します。

5.5.4 スキャンを編集する

モデルをスキャンしたら、次のツールを使用してモデルを編集できます：


- セグメント削除ツール。詳細は[セグメントの削除](#)
- 部分削除ツール。詳細は[部分削除](#)
- 穴埋めガイド線表示ツール。詳細は[スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示](#)
- 自動クリーンアップツールを無効にする。詳細は[自動クリーンアップの無効化](#)

編集ツールにアクセスするには、画面を押します。



図 121: 編集ツール

5.6 スキャンの表示


患者のスキャンが済んだら、 をタップして「View(表示)モード」に移動します。後処理段階が完了したら、モデルを高解像度で検査して、十分な解剖学的構造が取り込まれ、モデルが正確かつ完全であることを確認できます。

スキャンセグメントまたは咬合面が不十分な場合、後処理段階の最初にそれを通知するメッセージが表示され、前に戻ってスキャンの欠落部位を追加することができます。詳細については、[スキャンセグメント不十分の通知](#)を参照してください。

スキャンを表示しながら、次のことができます：

- スキャン画像の選択した領域の削除。詳細は[消しゴムツールの使用](#)
- スキャン中に緑のヒントポイントが支台歯の中心にない場合、支台歯の分離を手動で作成。詳細は[支台歯分離ツールの使用](#)

- マージンラインの定義。詳細は[マージンラインツールの操作](#)
- 画像のスクリーンショットをキャプチャ。詳細は[スナップショットツールの使用](#)

スキャンが完了したことを確認したら、ツールバーにある  をタップして、スキャンした画像をラボまたはチェアサイドのソフトウェアに送信します。詳細は[スキャンの送信](#)。

固定性補綴および義歯/取り外し可能な処置向けの注意: スキャンを表示した後、「新しいスキャン」ウィンドウに戻り、入力されていない必須フィールドを入力してください。これらのフィールドは、患者をスキャンする際には必須ではありませんが、スキャンデータを送信する前に入力する必要があります。スキャンデータを送信する際にフィールドが欠落している場合は、メッセージが表示され、「治療情報」領域で赤色で強調表示されているすべての必須フィールドに入力するように求められます。

5.6.1 スキャンセグメント不十分の通知



ボタンをタップした際にスキャンセグメントまたはバイトスキャンが不十分な場合、後処理段階の開始時に通知され、後の手動での修正を減らすために、スキャン画面に戻ってスキャンの欠落部分を追加することができます。

次の場合に通知が表示されます:

- 治療または歯列弓の欠落 – セグメントがスキャンされなかったか、適切につながれなかった
- バイトの問題
- バイトの欠落
- バイトスキャンが片側からのみ
- 左右のバイトスキャンの不一致

さらに、ナビゲーションコントロールのバイトセクションが赤で強調表示されます。

メッセージは一般的なもの、または問題を修正する方法に関するガイダンスを含む、問題に関して非常に具体的なものであることもあります。場合によっては、問題を修正しないとスキャンがラボから返却される可能性を示唆する警告が表示されます。

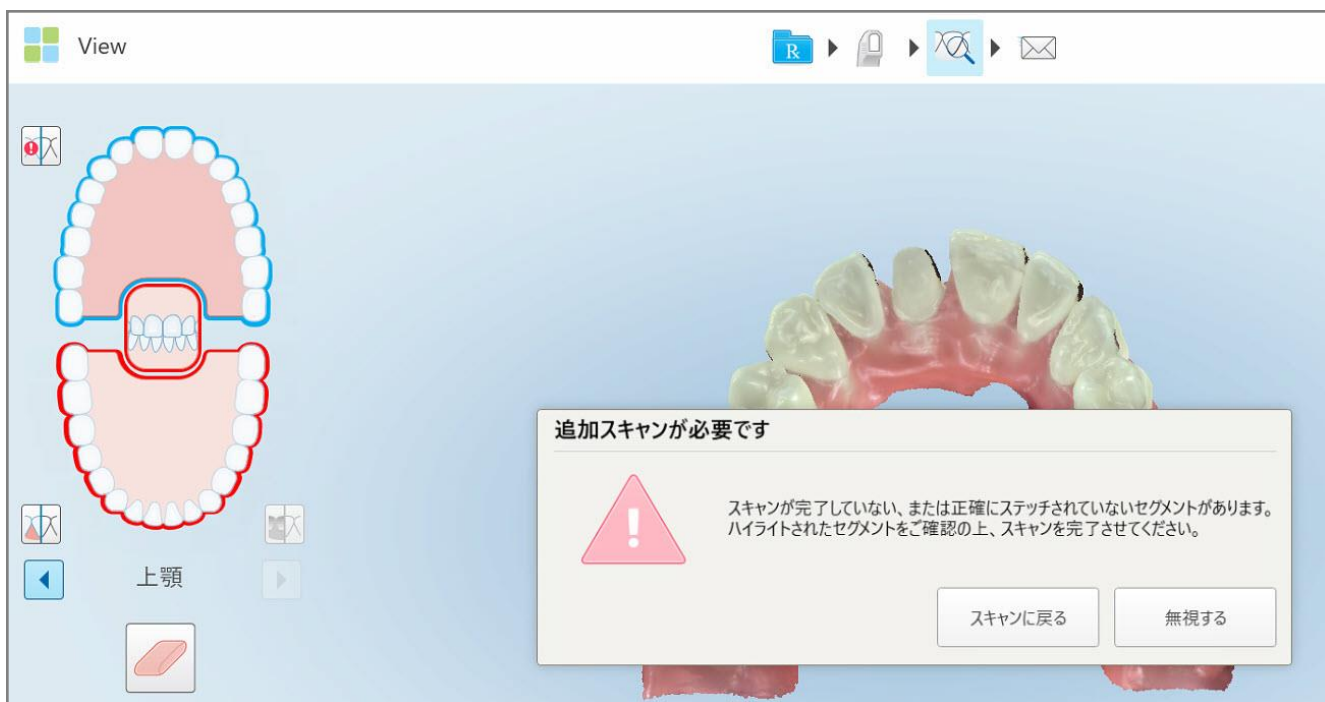


図 122: スキャン欠落メッセージと、赤で強調表示されている欠落セグメント

「スキャンに戻る」をタップすると、スキャンモードに戻り、不足しているセグメントを再スキャンできます。これらのセグメントは、ナビゲーションコントロールで赤で強調表示されます。

5.6.2 スキャンタイマーの使用

スキャンタイマーを使用すると、スキャンにかかった時間を確認できます。

スキャン時間を表示するには:

1. ツールバーにある  ボタンをタップします。
スキャン時間が表示されます。

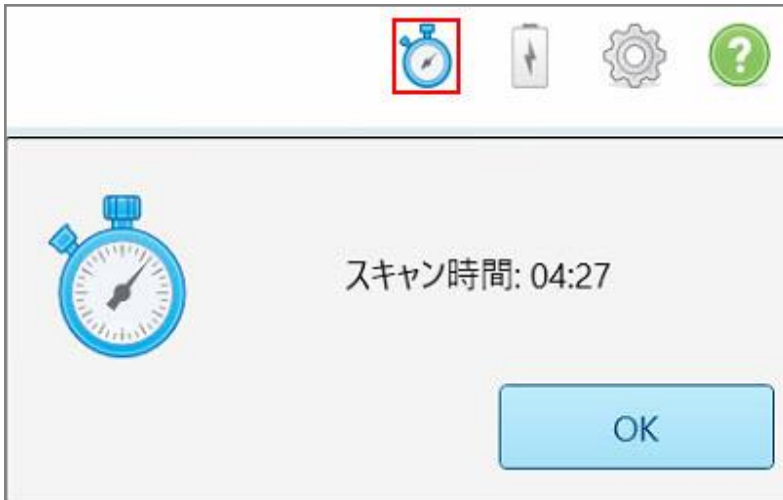


図 123: ツールバーのスキャンタイマーボタンとスキャン時間


2. 「OK」をタップしてウィンドウを閉じます。

5.7 スキャンの送信

患者をスキャンし、Rxのデータに不足がないことを確認したら、手順に応じてスキャンデータをラボ、チェアサイドのミリングマシンまたは、ストレージに送信できます。

注: スキャンを送信する前に、Alignが患者の健康データを収集して処理することについて、患者の同意を得ていることを確認する必要があります。

スキャンを送信するには:

1. ツールバーにある  をタップして、スキャンしたモデルのスクリーンショットを含むスキャンデータを送信します(ある場合)。

固定性補綴および義歯/取り外し可能な処置に関する注意: Rxの一部のフィールドは、患者をスキャンした後にのみ必須になります。必須情報をすべて入力していない場合は、入力漏れのあるフィールドに入力するよう求めるメッセージが表示されます。

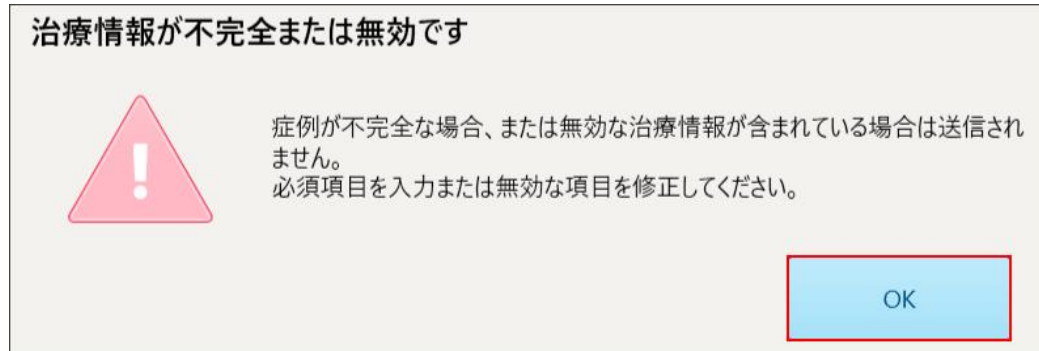



図 124: 治療情報の不足に関する通知

- a. 「OK」をタップして「Rxの詳細」ページを表示すると、必須フィールドの入力漏れごとに治療情報領域に通知が表示されます。

治療情報					
ブリッジ: 14 - 16					
歯牙番号	治療	仕様	マテリアル	ボディシェード	
14	インプラントベース	フルカントップ	-	-	詳細表示
Required fields are missing for treatment					
15	ボンティック	フルカントップ	-	-	詳細表示
Required fields are missing for treatment					
16	インプラントベース	フルカントップ	-	-	詳細表示
Required fields are missing for treatment					

図 125: 治療情報領域で入力漏れのあるフィールドが赤で強調表示

- b. 「詳細を表示」をタップして治療オプションを開き、不足している詳細を入力します。

- c.  をタップして、スキャンデータを送信します。
「送信の確認」ウィンドウが表示されます。

- 署名欄に署名をして、オーダーを承認します。

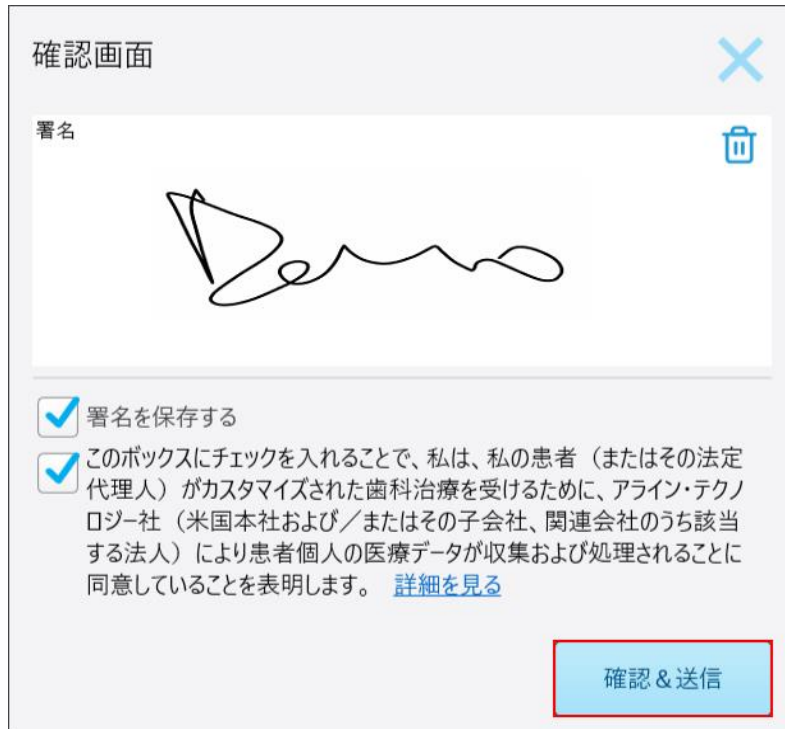


図 126: 送信の確認ウインドウ

- 必要に応じて、「署名を保存する」チェックボックスをオンにして、次回以降のスキャンの送信を承認するために署名を保存します。
- 研究モデル/iRecord処置またはInvisalign Aligners処置タイプをスキャンした場合は、「Invisalign Simulator Proの開始」チェックボックスが表示、選択されます。このオプションを選択したままにすると、シミュレーションが起動します。Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)の詳細については、[Invisalign Outcome Simulator Pro \(アウトカム・シミュレータ・プロ\)](#)を参照してください。

備考:

- シミュレーションを有効にするには、iTeroアカウントがInvisalign Doctor Site (医師専用サイト) アカウントとペアになっていることを確認してください。
 - iTeroエレメントプラスシリーズのスキャナのみ、Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)をサポートしています。
- データを処理してAlignに送信することへの患者の同意を受け取った後、患者の同意チェックボックスが選択されていることを確認します。
 - 「確認 & 送信」をタップしてスキャンを送信します。
画像が送信されていることを示す通知が表示され、その後、オーダーのステータスを示す患者のプロファイルページが表示されます。

Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) シミュレーションの実行を選択した場合、ビューアが表示され、シミュレーションの進行状況が表示されます。

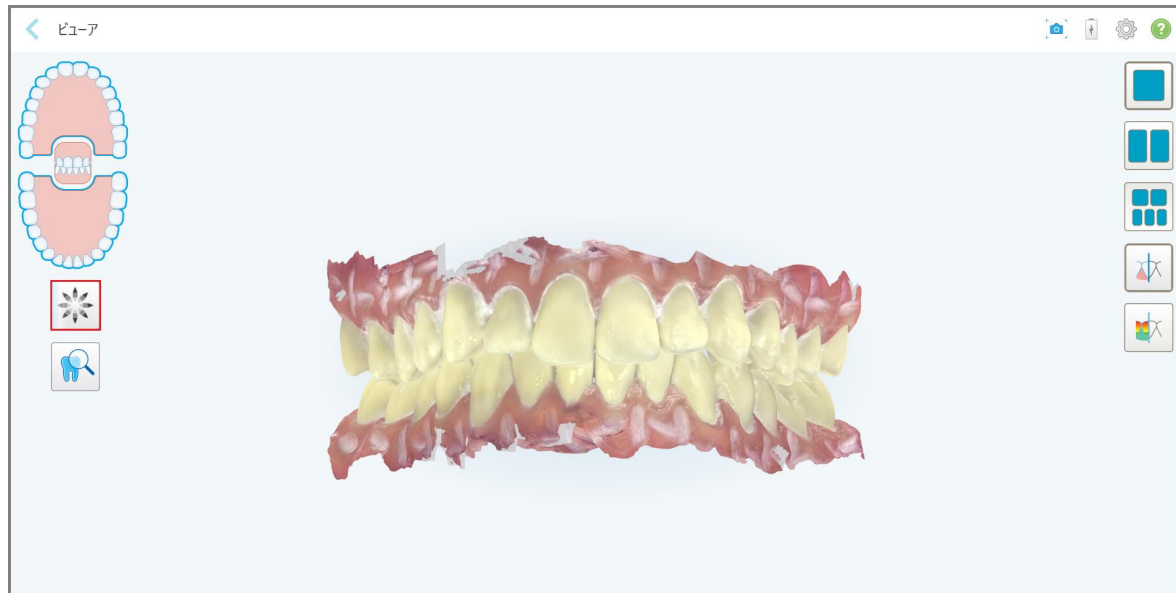


図 127: ビューアに表示されるInvisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) の進行状況

患者のプロファイルページでシミュレーションの進行状況を表示することもできます。

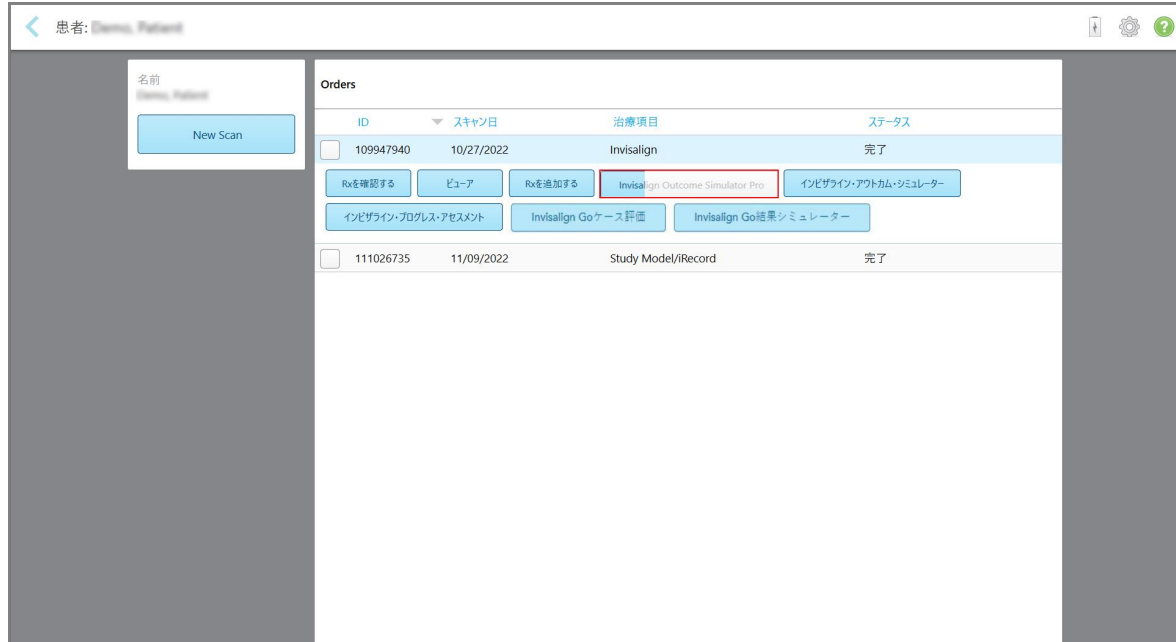


図 128: 患者のプロファイルページに表示されるInvisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) の進行状況

Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) の実行を選択しなかった場合、モデルが送信されていることが通知され、オーダーのステータスが表示された患者のプロファイルページが表示されます。

5.8 Viewer (ビューア) での作業

Viewer(ビューア)は、症例のスキャン画像を表示および操作できるツールです。Viewer(ビューア)で表示できるのは、既送信されたスキャンデータのみです。

Viewer(ビューア)には「Orders(オーダー)」ページの過去のオーダー、または特定の患者のプロファイルページからアクセスできます。



図 129:「オーダー」ページの「過去のオーダー」ページのViewer (ビューア) オプション

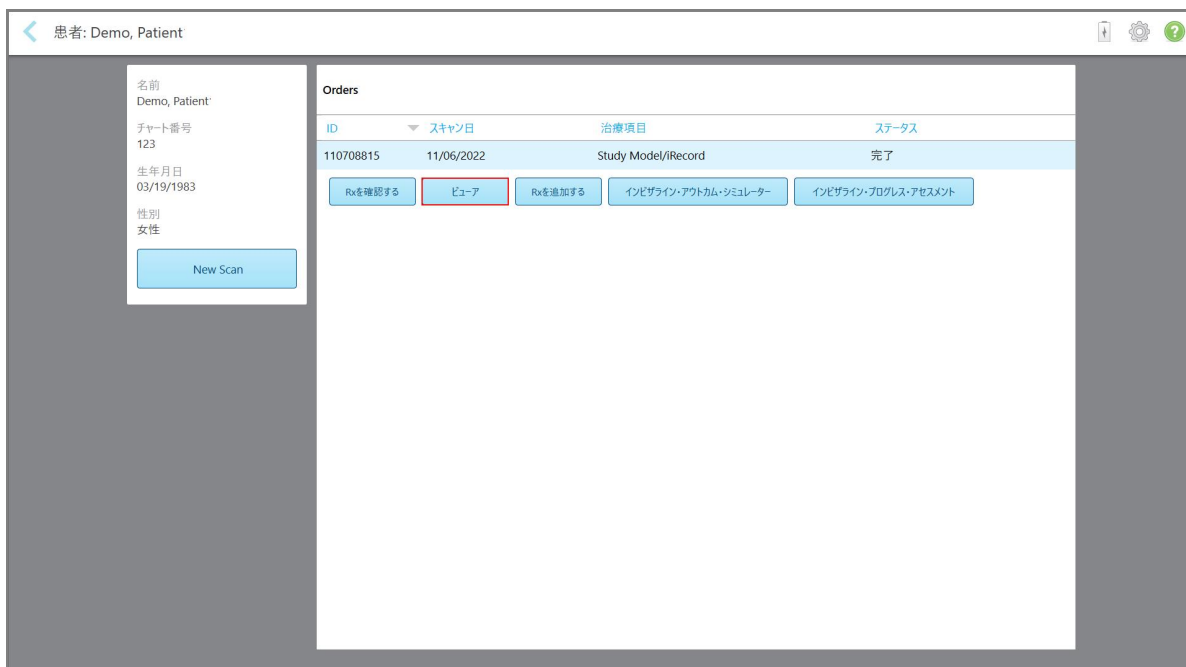


図 130: 患者のプロファイルページのViewer(ビューア) オプション

Viewer(ビューア)では、次をタップして以下のことができます:



上顎の表示/非表示。



下顎の表示/非表示。



両顎を表示。



[Invisalign Outcome Simulator Pro \(アウトカム・シミュレータ・プロ\)](#) で説明されているように、Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) ツールを表示します。研究モデル/iRecord手順およびInvisalign Aligners手順タイプにのみ使用できます。



モデルを1つのウィンドウビューで表示し、上顎と下顎を同じウィンドウに表示します (正面図)。

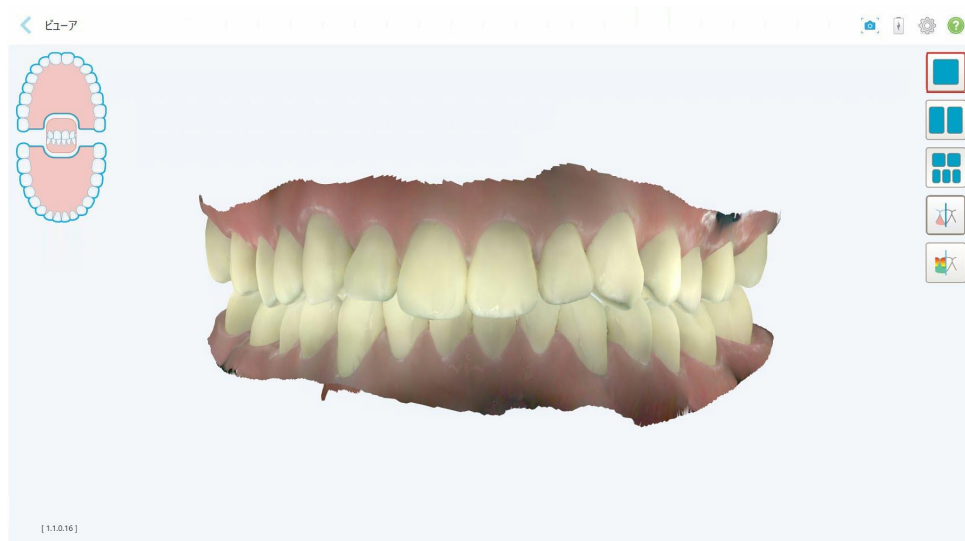


図 131: 1ウィンドウビューでのモデル

歯列矯正処置にのみ関連します。



モデルを2つのウィンドウビューで表示し、上顎と下顎を別々のウィンドウに表示します(咬合面)。より正確な評価のために、各モデルを個別に制御できます。



図 132: 2ウィンドウビューでのモデル

歯列矯正処置にのみ関連します。



上顎と下顎を別々に表示し、両顎を左、中央、および右から5つのウィンドウビューでモデルを表示します(ギャラリービュー)。より正確な評価のために、各モデルを個別に制御できます。

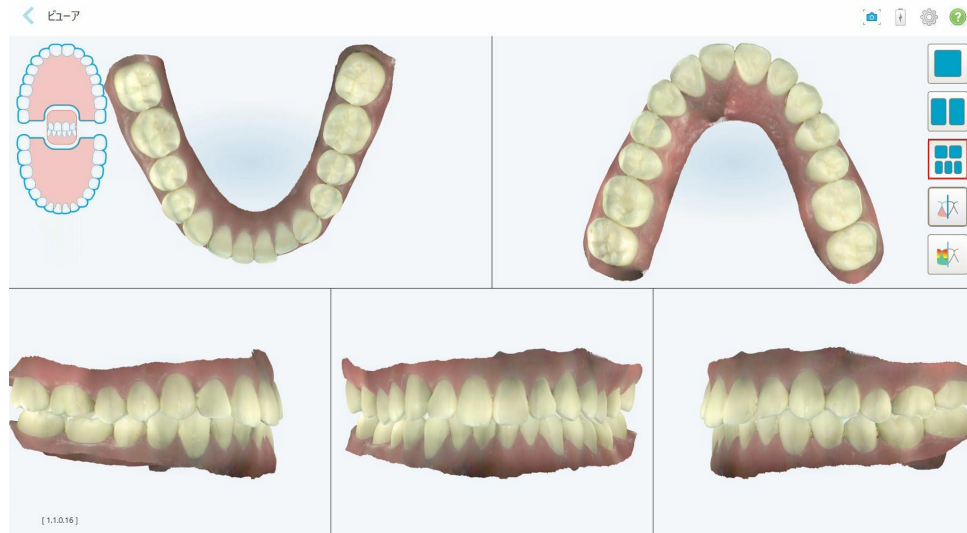


図 133: 5ウィンドウビューでのモデル

歯列矯正処置にのみ関連します。



支台歯のマージンラインを表示/非表示にします。

補綴処置のみに関連します。



モデリングチームが作成した溝の表示/非表示。これは、モデリングフェーズの後でのみ Viewer(ビューア)で有効になります。

補綴処置のみに関連します。



モデルをカラーで表示するかモノクロで表示するかを切り替えます。



[咬合クリアランスツールの使用](#)で説明されているように、対合歯列間の咬合間隙を表示/非表示にします。このオプションは、咬合面をスキャンした場合にのみ有効になります。

注：症例のステータスが **iTerо Modeling** の場合、モデリングの初期段階にあり、マージンラインと支台歯ツールは無効になっています。

モデリングプロセスが完了し、支台歯とマージンラインが編集されると、変更がモデル上に色付きで表示されます。ツールも色付きで表示され、アクティブであることを示します。

5.9 ワンドスリーブの取り外し方

ワンドスリーブは、一人の患者に対して使用することを意図しており、二次汚染を防ぐために各患者への使用後に廃棄・交換する必要があります。

ワンドスリーブを取り外すには：

1. スキャンが完了、または中断する必要がある場合は、スリーブの中央を軽く押しながらスリーブをワンドからゆっくりと取り外して廃棄します。

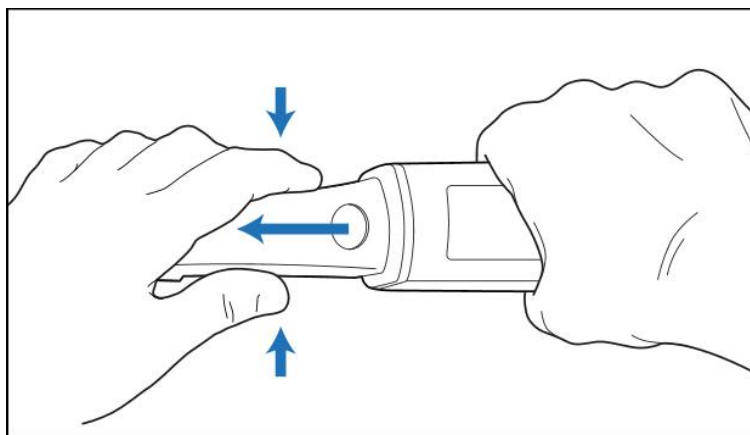


図 134: ワンドスリーブの取り外し方



注意：使用済みスリーブは、汚染された医療廃棄物の処分に関する標準的な取扱手順または地方条例に準じた手順で廃棄してください。

注意：レンズ!

ワンドのレンズには決して手を触れないで下さい。触れると破損の原因となる恐れがあります。[ワンドの洗浄と消毒](#)に記載されているもの以外に追加の清掃が必要な場合は、ワンドスリーブの箱に同梱されている静電気防止クロスを使用します。詳細については、スリーブの箱の指示を参照してください。

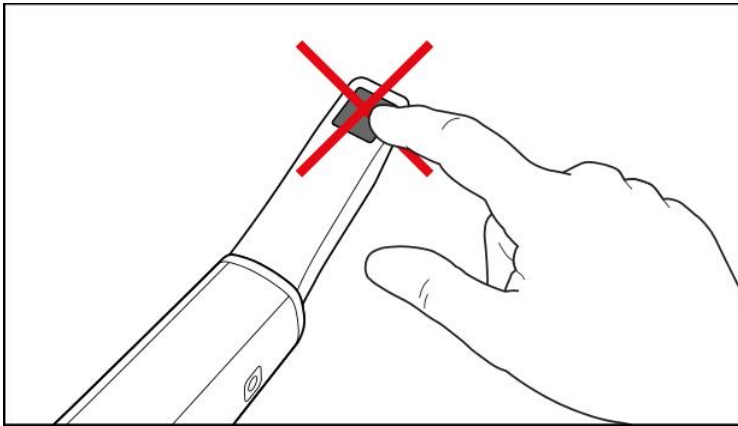


図 135: ワンドのレンズ

2. [ワンドの洗浄と消毒](#)で説明されているように、ワンドを洗浄して消毒します。
3. 新しいスリーブを、ワンドの先端にカチッと音がするところまでゆっくりとスライドさせてはめ込みます。
注：スキャナを洗浄、消毒後すぐに使用しない場合は、青いプロテクトスリーブを取り付けてください。

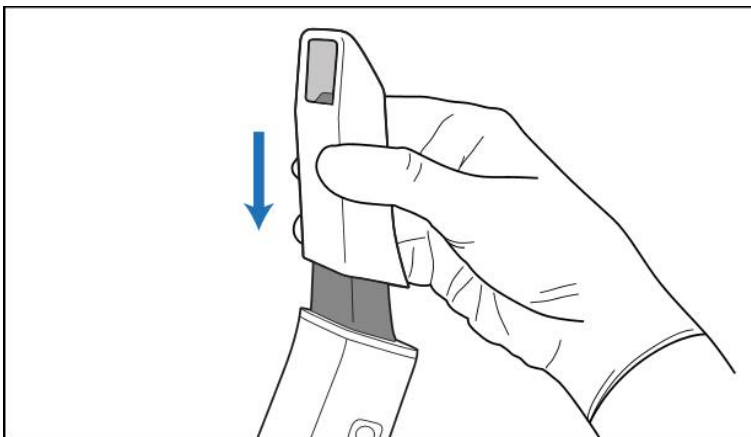


図 136: 新しいスリーブをゆっくりと所定の位置にスライドさせます

6 患者 ページの操作

ホーム画面で、「Patients(患者)」ボタンをタップし「Patients(患者)」ページを表示します。



「Patients(患者)」ページには、iTerоシステムに登録されているすべての患者のリストが表示され、該当する場合は、チャート番号、生年月日、最終スキャン日が表示されます。

患者名	チャート番号	生年月日	最終スキャン日
Generic Patient01			11/06/2022
Generic Patient	123	11/06/1980	11/06/2022
Generic Patient			11/06/2022
Generic Patient02	123	11/11/1980	11/06/2022
Generic Patient	123	01/19/1980	11/06/2022
John, Brad			11/02/2022
Generic Patient	TW4321		10/30/2022
Generic Patient	555	06/01/1980	10/27/2022
Marie, My			10/27/2022
CHOP, Martin			10/25/2022
CHOP, Robert			10/25/2022
CHOP, Kelly			10/25/2022
CHOP, Light			10/25/2022
CHOP, Cliff			10/25/2022
Generic Patient 2	123	11/01/1980	10/19/2022
Generic Patient	103181639		10/19/2022
Test, Test	123	01/01/2022	10/18/2022
Test, World Health Organization			09/28/2022


図 137: 患者 ページ

患者を選択すると、スキャンデータを含む患者のプロファイルページを表示できます。

6.1 患者の検索

必要に応じて、名前またはチャート番号を使用してiTerоデータベースで患者を検索できます。

患者を検索するには:

- 「Patients(患者)」ページで、検索フィールドに患者の名前またはチャート番号(またはその一部)を入力し、検索ボタン  をタップします。

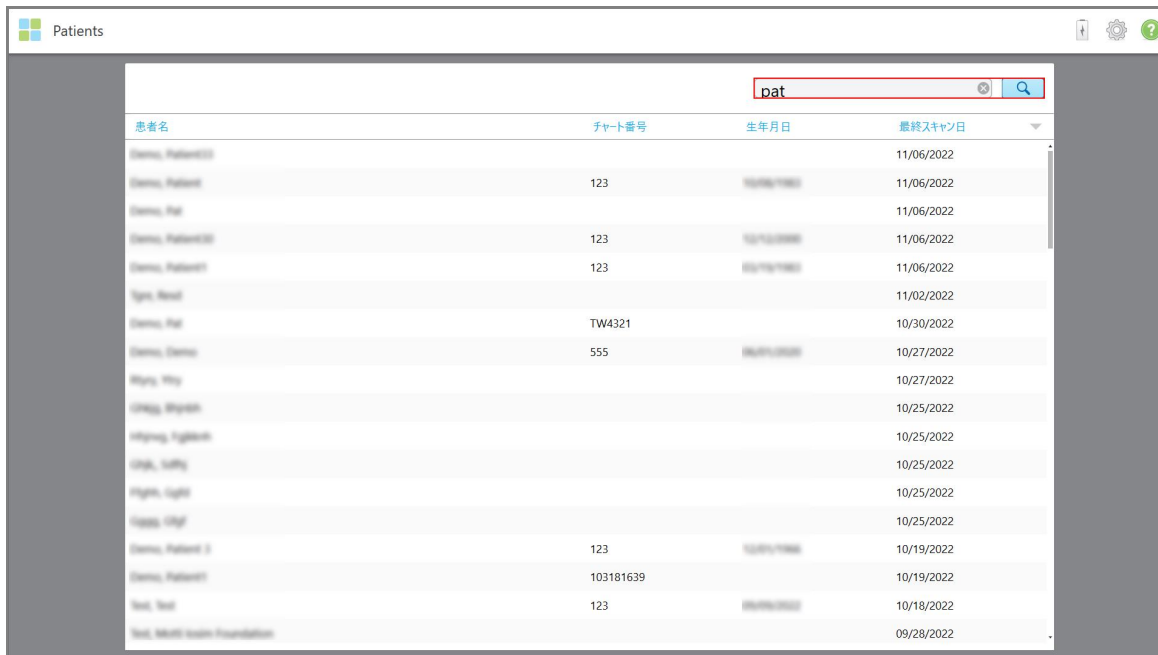


図 138: 患者の検索

検索条件に一致する患者が表示されます。

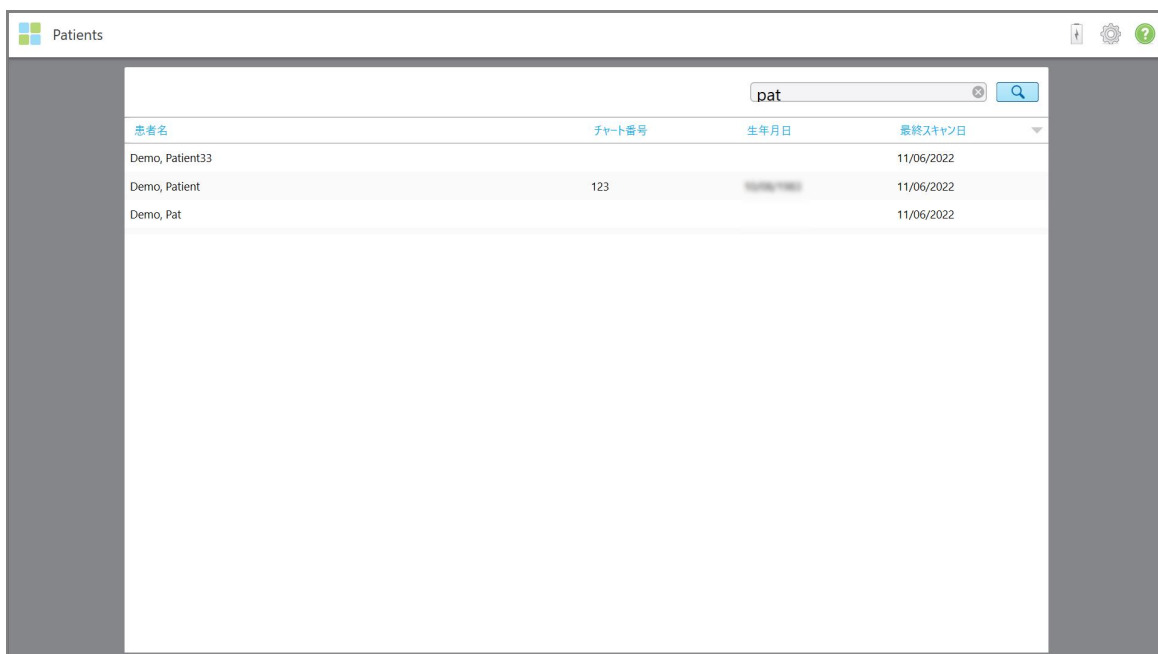


図 139: 検索条件に一致する患者の表示

6.2 患者の詳細の表示

患者のプロファイルページで、患者の以前のすべてのスキャンを含む患者の詳細を表示できます。

患者の詳細を表示するには:

1. ホーム画面の「Patients(患者)」ボタンをタップします。

Patients(患者) ページが表示され、患者のリスト、患者のチャート番号、および最後のスキャンの日付が表示されます。

2. リストから必要な患者を選択します。

選択した患者のプロファイルページが表示されます:

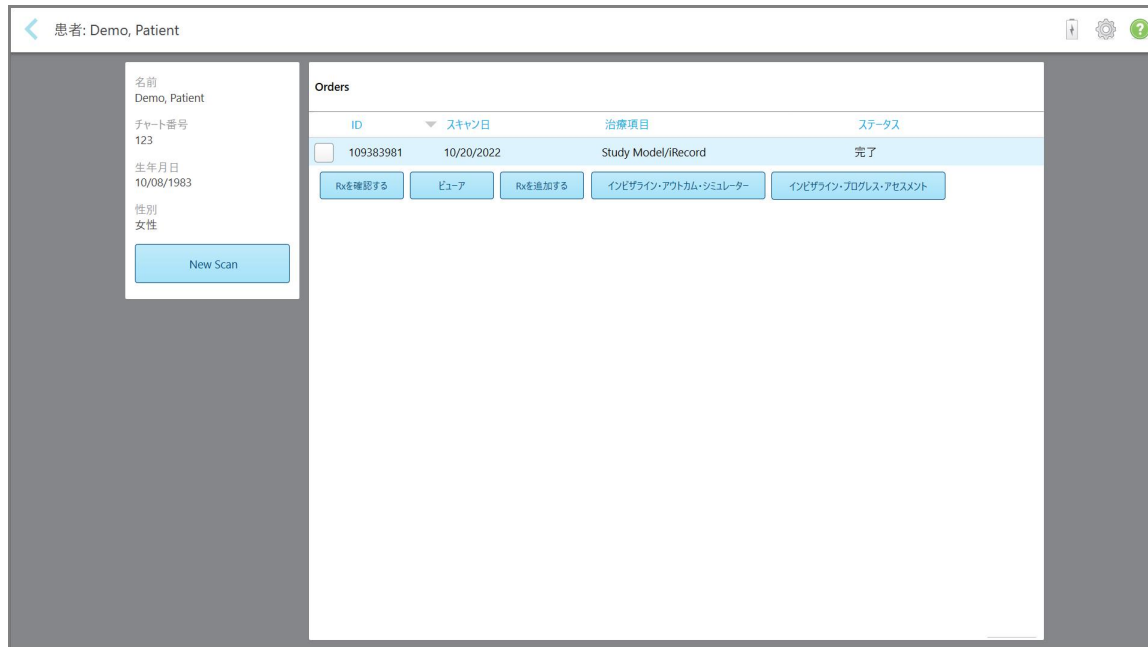


図 140: 患者のプロファイルページ

患者のプロファイルページから、次のことができます:

- 既存患者のNew Scan(新しいスキャン)の作成。詳細は[既存患者の新しいスキャンの作成](#)
- Rxの詳細を表示し、患者の詳細を編集します。詳細は[Rxの表示](#)
- Viewer(ビューア)で患者の過去のスキャンの表示。詳細は[Viewer\(ビューア\)での過去のスキャンの表示](#)
- iTero TimeLapse(タイム・ラプス)テクノロジーを使用して、過去の2つのスキャンを比較。詳細は[iTero TimeLapse\(タイム・ラプス\)を使用した前回のスキャンとの比較](#)
- Invisalign関連のプロセスの表示

6.3 既存患者の新しいスキャンの作成

必要に応じて、既存の患者の新しいスキャンを作成できます。Rxは、患者の詳細情報がすでに入力された状態で開きます。

特定の患者の新しいスキャンを作成するには:

1. 患者のプロファイルページで、「New Scan(新しいスキャン)」をタップします。

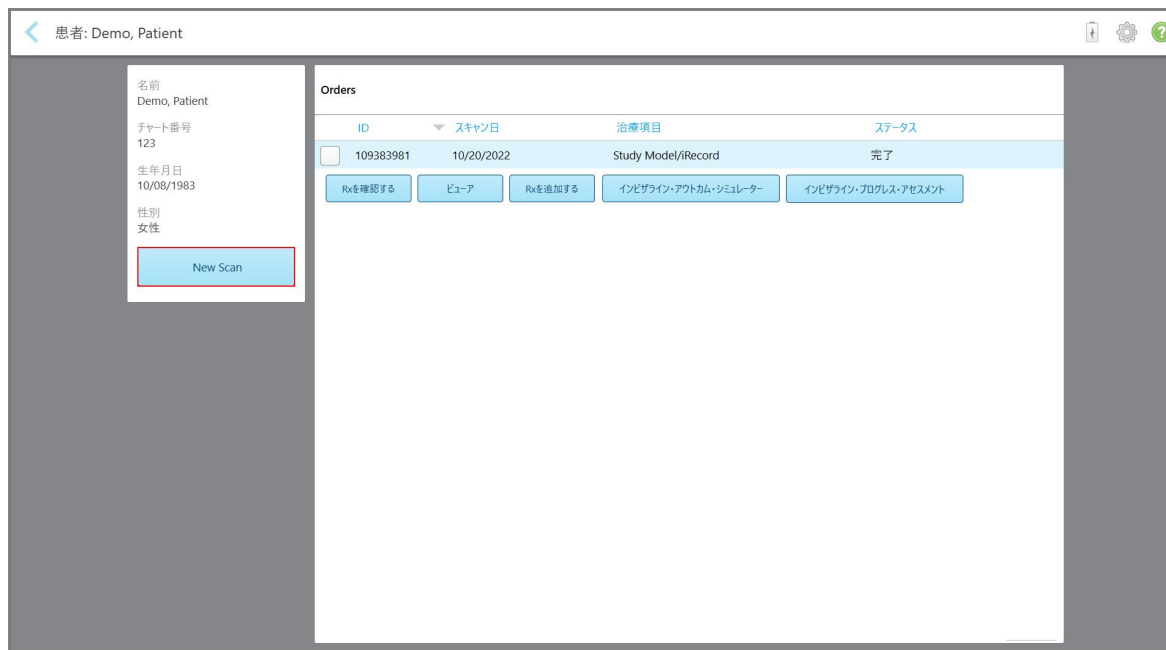


図 141: 患者のプロファイルページ – New Scan(新しいスキャン) オプション

患者の詳細がすでに入力されている「New Scan (新しいスキャン)」ウィンドウが表示されます。

The screenshot shows the 'New Scan' window with the following data:

Doctor	License
Dr. Demo, Demo	12345

Patient	
名:	姓:
Patient	Demo
生年月日:	性別:
08/10/1983	<input type="radio"/> 男性 <input checked="" type="radio"/> 女性
チャート番号:	
123	

オーダー	
治療項目 *	タイプ
期日:	送信先

注記
メモを追加する

図 142: 患者の詳細がすでに入力されたNew Scan(新しいスキャン) ウィンドウ

2. 新しい要件に従って残りのRxの詳細を入力します。

6.4 Rxの表示

必要に応じて、過去にオーダーしたRxを表示できます。

過去のオーダーのRxを表示するには:

1. 患者のプロファイルページで、「Rxを確認する」をタップします。

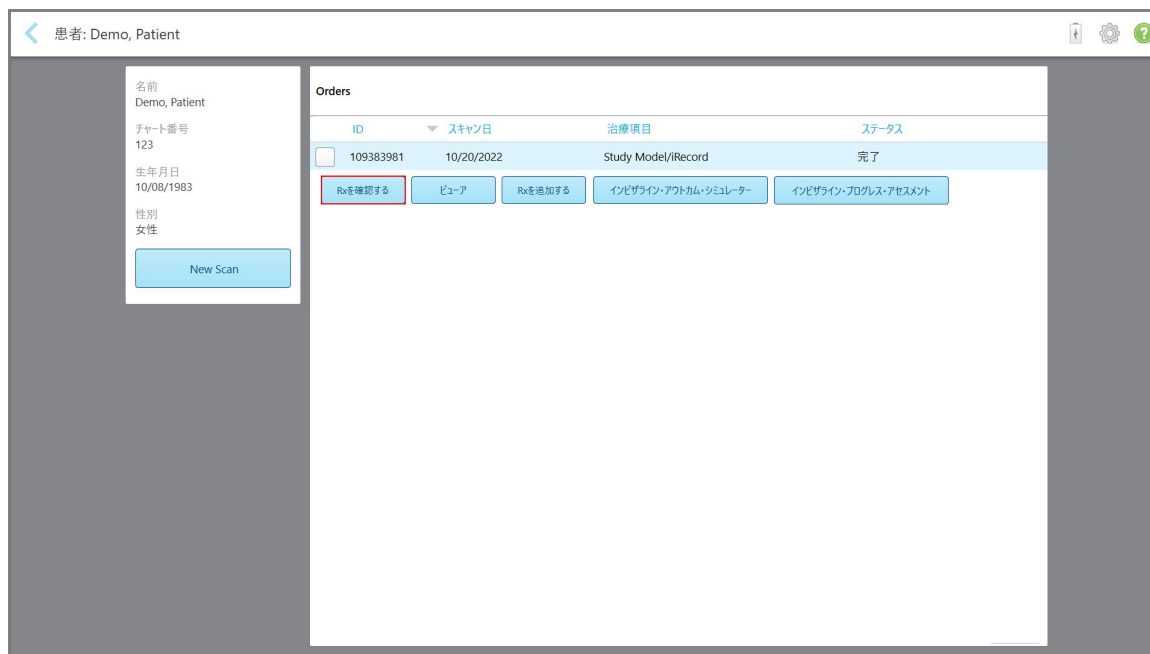


図 143: 患者のプロファイルページ - Rxオプションの表示

「Rxの詳細」ウィンドウが表示されます。

Rxの詳細

This form is read-only.

ドクター:
Dr. Demo, Demo

ライセンス:
123

患者:

名:
Patient

姓:
Demo

生年月日:
08/10/1983

性別: 男性 女性

チャート#:
123

オーダー:

iRecordモードでの全てのスキャンモデルはインビザライン検証が可能です。

治療項目 *
Study Model/iRecord

Ortho Model/iCast

期日:
送優先

スキャンオプション:

マルチバイト:

注記

図 144: Rxの詳細ウィンドウ

2.  をタップして、患者のプロファイルページに戻ります。

6.5 Viewer(ビューア)での過去のスキャンの表示

必要に応じて、過去のスキャンをViewer(ビューア)に表示できます。

Viewer(ビューア)で過去のスキャンを表示するには:

1. 患者のプロファイルページで、Viewer(ビューア)に表示するスキャンをタップし、「Viewer(ビューア)」をタップします。

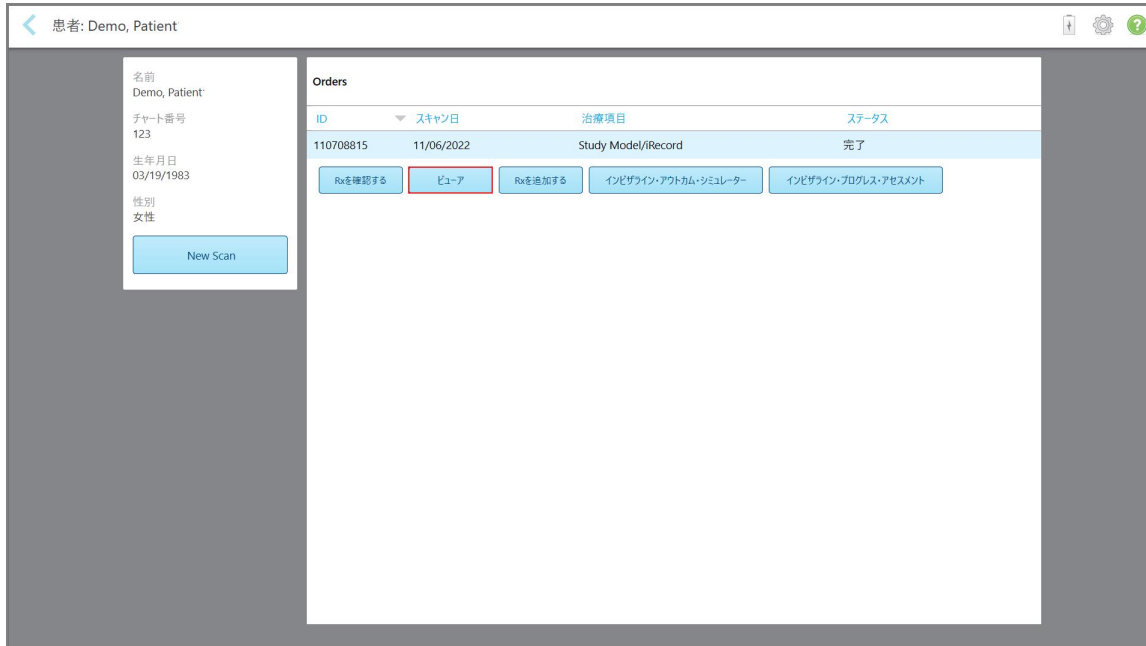


図 145: 患者のプロファイルページ – Viewer(ビューア) オプション

スキャンがViewer(ビューア)に表示されます。

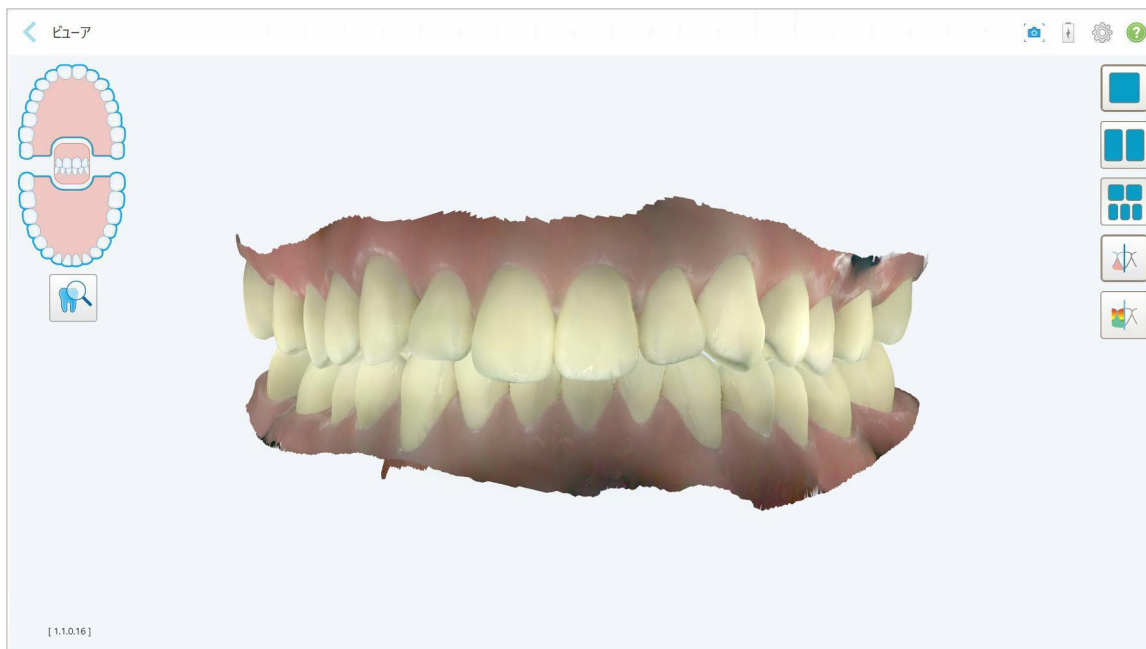
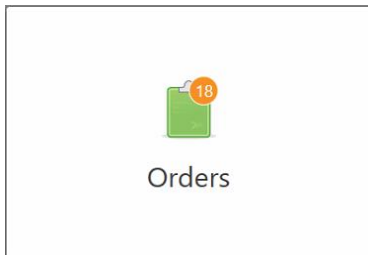


図 146: Viewer(ビューア)に表示されたスキャン画像

Viewer(ビューア)の操作の詳細については、[Viewer\(ビューア\)での作業](#)を参照してください。

7 オーダーページの使用

「Orders(オーダー)」ボタンをタップして、すべてのオーダーのリストを表示します。ボタンには、まだ送信されていないオーダーの数を示す表示が含まれている場合があります。



ラボからオーダーが返品された場合、アラームアイコンバッジとともにボタンは赤で表示されます、詳細は[オーダーページの使用](#)

「Orders(オーダー)」ページは、現在のオーダーと過去のオーダーをリストする2つの領域で構成されています。

各オーダーの次の詳細を表示できます: オーダーID、患者の氏名、チャート番号、スキャン日、手順、およびオーダーのステータス。

オーダーは、手順に応じて、次のステータスのいずれかになります:

- **Rx作成済み:** Rxは入力済みですが、患者はまだスキャンされていません。
- **スキャン中:** スキャンプロセスが進行中です。
- **送信中:** スキャンデータを送信中です。
- **送信済み:** スキャンデータは送信されています。
- **送信に失敗しました:** スキャンデータは送信されませんでした。
- **内部処理:** スキャンデータは内部処理に送信されました。
- **オルソ・モデリング:** スキャンはモデリングのために送信されました。
- **ラボレビュー:** 確認のためにスキャンデータがラボに送信されました
- **返品:** [オーダーページの使用](#) で説明されているように、スキャンデータはラボによって拒否され、再スキャンまたはその他の調整のために返送されました。
- **Alignによる処理:** スキャンデータは内部処理を受けています
- **ドクターサイトへのエクスポート:** スキャンデータはIDSポータルに送られています
- **完了:** フローが完了しました。

ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
Demo, Patient 1		123	11/06/2022 18:45:59	Fixed Restorative	スキャン中
Whitgel, Zedangli		12345		Invisalign	Rxが作成されました
Max, Han				Invisalign	Rxが作成されました
Demo, Demo		555		Fixed Restorative	Rxが作成されました
Demo, Demo		555		Fixed Restorative	Rxが作成されました
WH, Lee				Fixed Restorative	Rxが作成されました
WH, Lee				Invisalign	Rxが作成されました
Demo, Patient		123	10/21/2022 14:52:50	Study Model/Record	スキャン中

ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
79611107	WH, Lee		01/09/2022	Denture/Removable	完了
110709176	Demo, Patient(1)		11/06/2022	Fixed Restorative	完了
110709166	Demo, Patient	123	11/06/2022	Denture/Removable	完了
110709161	Demo, Pat		11/06/2022	Fixed Restorative	完了
110709154	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Study Model/Record	完了
110709135	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Invisalign	完了
110708815	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Study Model/Record	完了

図 147: オーダーページ

オーダーを表示または確認するには:

- ホーム画面の「Orders(オーダー)」ボタンをタップします。
「Orders(オーダー)」ページが表示され、「現在のオーダー」と「過去のオーダー」の2つの領域が表示されます。
 - 現在のオーダー: 送信されていないスキャン。
 - 過去のオーダー: 既に送信されているスキャン。
- 「現在のオーダー」でオーダーをタップして、次のオプションを表示します。

ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
Demo, Patient		123	11/06/2022 18:45:59	Fixed Restorative	スキャン中
Whitgel, Zedangli		12345		Invisalign	Rxが作成されました
Max, Han				Invisalign	Rxが作成されました
Demo, Demo		555		Denture/Removable	Rxが作成されました
Demo, Demo		555		Fixed Restorative	Rxが作成されました
WH, Lee				Fixed Restorative	Rxが作成されました

ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
79611107	WH, Lee		01/09/2022	Denture/Removable	完了
110709176	Demo, Patient(1)		11/06/2022	Fixed Restorative	完了
110709166	Demo, Patient	123	11/06/2022	Denture/Removable	完了
110709161	Demo, Pat		11/06/2022	Fixed Restorative	完了
110709154	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Study Model/Record	完了
110709135	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Invisalign	完了
110708815	Demo, Patient(1)	123	11/06/2022	Study Model/Record	完了

図 148: 現在のオーダーペイン - オプション

- **Rxの表示**: 「Rxの詳細」ウィンドウを開き、このオーダーのRxを表示できます。
 - **スキャン**: 「スキャン」ウィンドウを開き、新しいスキャンを作成するか、患者のスキャンを続行できます。
 - **スキャンの表示**: 「View(表示)」ウィンドウを開き、現在のスキャンを確認できます。
3. 「過去のオーダー」でオーダーをタップして、手順に応じて次のオプションを表示します:

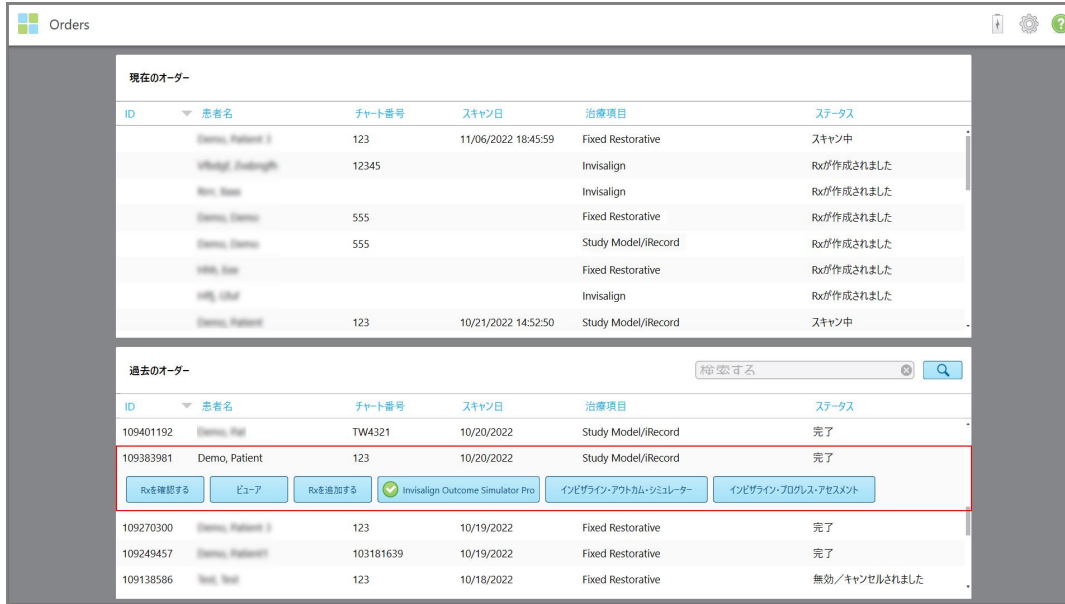


図 149: 過去のオーダーペイン - オプション

- **Rxの表示**: 「Rxの詳細」ウィンドウを開き、このオーダーのRxを表示できます。
- **Viewer (ビューア)**: 「Viewer (ビューア)」ウィンドウを開き、画像を表示および操作できるようにします。Viewer (ビューア)の操作の詳細については、[Viewer \(ビューア\)での作業](#)を参照してください。
- **Rxの追加**: 「新しいスキャン」ウィンドウを開き、このオーダーのRxを追加できるようにします。
注: これは歯列矯正のオーダーにのみ適用され、スキャン後最大21日間利用可能です。
- Invisalignユーザーは、次のInvisalign機能も選択できます:
 - [Invisalign Outcome Simulator Pro \(アウトカム・シミュレータ・プロ\)](#)
 - [Invisalign Outcome Simulator \(アウトカム・シミュレータ\)](#)
 - [Invisalign Progress Assessment \(プログレス・アセスメント\)](#)
 - [Invisalign Goシステム](#)
 - [Invisalign Goシステム](#)

7.1 返品されたオーダーの処理

スキャンが不完全で再スキャンが必要な場合、たとえばスキャンが欠落している場合、咬合面に問題がある場合、またはマージンラインが明確でない場合、ラボが30日以内にオーダーを返品する場合があります。ラボがオーダーを返品した場合、「オーダー」ボタンがアラームアイコンバッジとともに赤で強調表示されます。

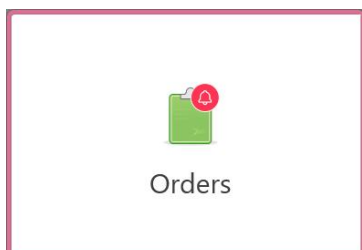


図 150: オーダーの返品を通知するオーダーボタン

返品されたオーダーは、「進行中」ペインの上部に表示され、ステータスは「返品済み」として赤で表示されます。

現在のオーダー					
ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
111304707	Demo, Patient	123	11/13/2022 13:11:49	Appliance	返送されました
	Virtual, Zirconium	12345		Invisalign	Rxが作成されました
	Res, Resin			Invisalign	Rxが作成されました
	Denture, Denture	555		Fixed Restorative	Rxが作成されました
	Ortho, Scan			Fixed Restorative	Rxが作成されました
	Ortho, Lab			Invisalign	Rxが作成されました
	Denture, Patient(1)	123	10/21/2022 15:02:57	Invisalign	スキャン中
	Denture, Patient(1)	103181639		Fixed Restorative	Rxが作成されました

過去のオーダー					
ID	患者名	チャート番号	スキャン日	治療項目	ステータス
79611107	Ortho, Lab		01/09/2022	Study Model/iRecord	完了
111303531	Denture, Denture	555	11/13/2022	Study Model/iRecord	完了
111026735	Denture, Patient	123	11/09/2022	Study Model/iRecord	完了
111022656	Denture, Patient(1)		11/09/2022	Invisalign	完了
110709176	Denture, Patient(1)		11/06/2022	Fixed Restorative	完了
110709166	Denture, Patient	123	11/06/2022	Denture/Removable	完了
110709161	Denture, Lab		11/06/2022	Fixed Restorative	完了

図 151: 「進行中」ペインに表示された返品されたオーダー

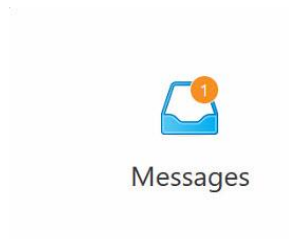
返品されたオーダーを修正するには:

1. 返品されたオーダーを開き、Rxの「メモ」領域にあるラボの指示に従ってスキャンを修正します。
2. オーダーをラボに再送します。

8 メッセージの表示

「Messages(メッセージ)」ページには、製品の更新、今後の教育セッション、インターネット接続の問題など、アライン・テクノロジー社からの通知、更新、およびその他のシステムメッセージが表示されます。

関連する場合は、「Messages(メッセージ)」ボタンに新規または未読のメッセージの数が表示されます。



メッセージを表示するには:

1. ホーム画面の「Messages(メッセージ)」ボタンをタップします。

アライン・テクノロジー社からの通知、更新、およびその他のメッセージのリストが表示されます。

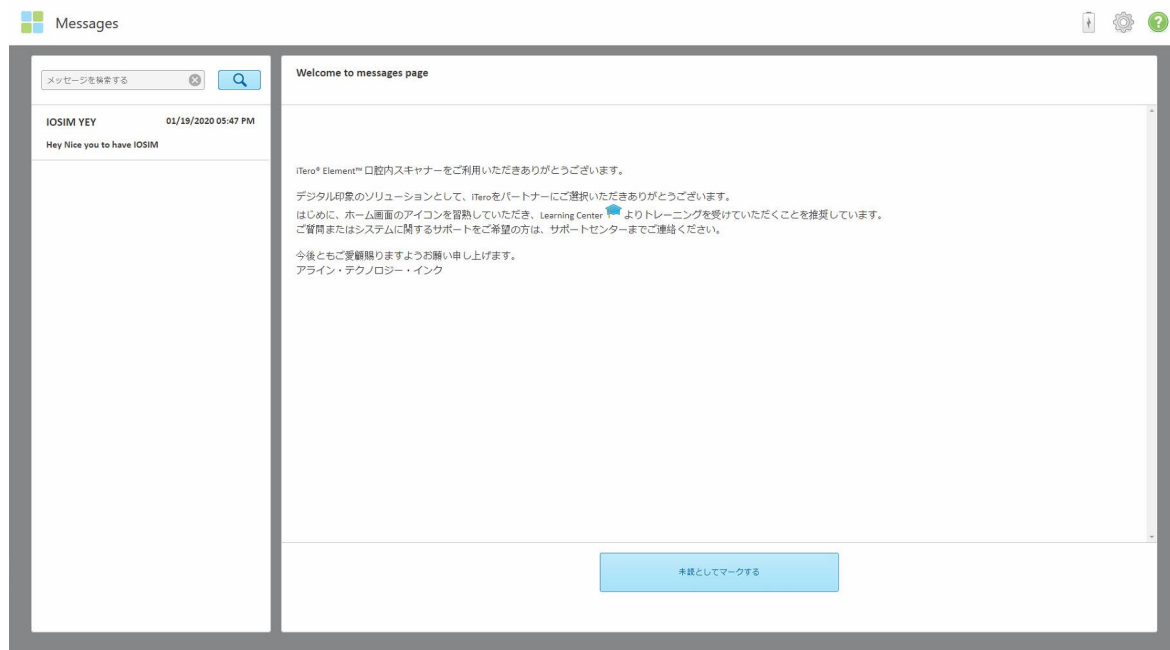


図 152: メッセージページ

2. 左側の領域で、件名で特定のメッセージをすばやく検索するか、ペインを下にスクロールして特定のメッセージを見つけます。
3. メッセージを未読としてマークするには「未読としてマークする」をタップします。

9 MyiTeroでの作業

MyiTeroは、iTeroソフトウェアと同じ見た目と感覚を持つウェブベースのポータルです。ユーザーは、スキャナを占有することなく、サポートされているデバイス(PCやタブレットなど)で新しいRxにデータを入力するなどの管理タスクを実行できます。さらに、スキャナによって作成された3Dモデルを表示し、オーダーを追跡することができます。

10 iTeroスキャナの機能とツール

このセクションでは、以下のiTeroスキャナの機能とツールについて説明します。

- [iTero TimeLapse \(タイム・ラプス\) を使用した前回のスキャンとの比較](#)
- [Invisalign Outcome Simulator Pro \(アウトカム・シミュレータ・プロ\)](#)
- [Invisalign Outcome Simulator \(アウトカム・シミュレータ\)](#)
- [Invisalign Progress Assessment \(プログレス・アセスメント\)](#)
- [Invisalign Goシステム](#)
- [編集ツール](#)
 - [セグメントの削除](#)
 - [部分削除](#)
 - [スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示](#)
 - [自動クリーンアップの無効化](#)
- [スキャンツール](#):
 - [消しゴムツールの使用](#)
 - [咬合クリアランスツールの使用](#)
 - [エッジトリミングツールの使用](#)
 - [支台歯分離ツールの使用](#)
 - [マージンラインツールの操作](#)
 - [で説明されている](#)
 - [スナップショットツールの使用](#)

10.1 iTero TimeLapse (タイム・ラプス) を使用した前回のスキャンとの比較

定期的にはスキャンされた患者は、iTero TimeLapse (タイム・ラプス) を使用してスキャンを分析できます。

iTero TimeLapse (タイム・ラプス) は、以前に取得した2つの患者の3Dスキャンを比較して、データ間における患者の歯牙、歯牙の構造、および口腔軟部組織の変化を視覚化します。例えば、iTero TimeLapse (タイム・ラプス) は、関連する期間の歯牙の摩耗、歯肉の後退、歯牙の動きを表示できます。

注: iTero TimeLapse (タイム・ラプス) は、歯科矯正の手順にのみ使用できます。

iTero TimeLapse (タイム・ラプス) を使用するには:

1. 「患者」ページで、iTero TimeLapse (タイム・ラプス) を作成する患者を選択します。

- 患者のプロファイルページで、比較する2つのスキャンを選択します。スキャンを選択するには、関連するオーダーの横にあるチェックボックスを選択するか、ページの下部にあるタイムライン領域のチェックボックスを選択します。

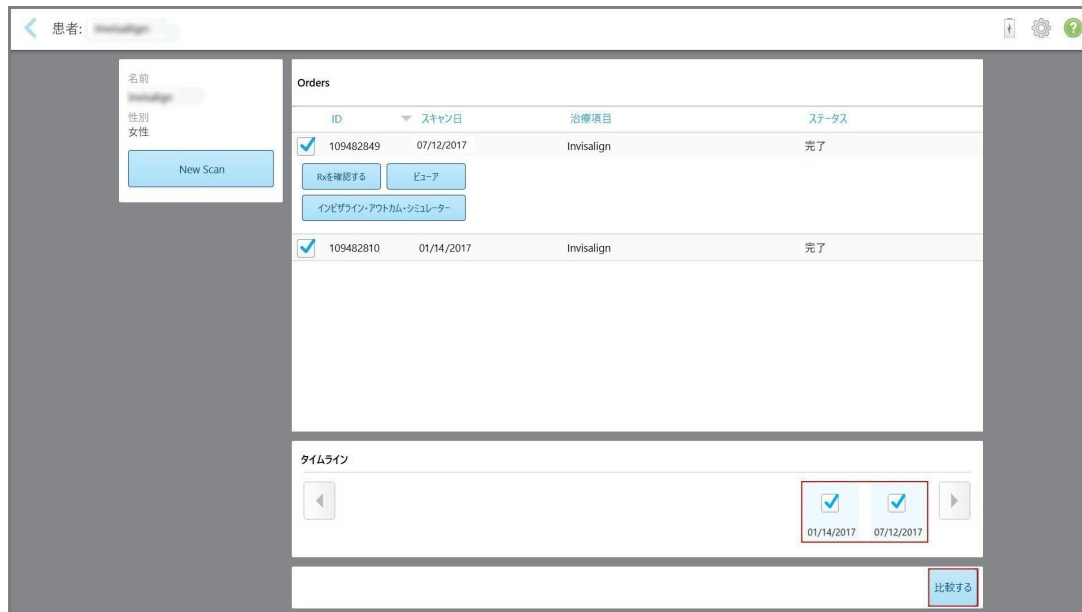


図 153: iTero TimeLapse (タイム・ラプス) – 比較するスキャンデータを選択


- 「比較する」ボタンをタップし、データを比較および分析します。

「iTero TimeLapse (タイム・ラプス)」ウィンドウが表示され、スキャンデータ間で変化のある領域が強調表示されます。一覧に表示されているように、色が濃いほど、スキャンデータ間の変化が大きくなります。



図 154: スキャンデータ間の変化を強調表示で示すiTero TimeLapse (タイム・ラプス) ウィンドウ

注: 変化が強調表示されるのは、スキャンがモノクロモードで表示されている場合のみです。

必要に応じて、 をクリックしてスキャンをデフォルトの咬合面に移動します。iRecordのデフォルト表示では、下部に前歯を備えた下部歯列弓、上部に前歯を備えた上部歯列弓、および両方の歯列弓の正面画像があります。


- ループをスキャンデータ上にドラッグして、アニメーションウィンドウに関心領域と潜在的な治療領域を表示します。アニメーションが表示され、選択したスキャン日と現在の関心領域の歯牙の状態が比較されます。



図 155: アニメーションウィンドウに表示される最初のスキャンの対象領域



図 156: アニメーションウィンドウに表示される2回目のスキャンの対象領域

アニメーションウィンドウで画像を拡大するか、「一時停止」ボタン  をタップしてアニメーションを一時停止できます。

必要に応じて、表示される変化のスケールを変更できます。

a. 一覧で「スケール」をタップします。


一覧が展開され、範囲のリストが表示されます：



図 157: iTero TimeLapse (タイム・ラプス) スケールオプション

b. 必要なスケールを選択します。

変更は新しいスケールに従って表示されます。

5. 必要に応じて、スナップショットツール  をタップして、画像のスクリーンショットをキャプチャします。詳細については、[スナップショットツールの使用](#)を参照してください。

6.  をタップして「iTero TimeLapse (タイム・ラプス)」ウィンドウを終了し、「はい」をタップして終了したことを確認します。


患者のプロファイルページが表示されます。

10.2 Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)

Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) は、患者の顔の画像にInvisalign治療のシミュレーション結果を表示することができる患者との高度なコミュニケーションソフトウェアツールです。このツールは、Invisalign治療を開始するかどうかの決定において患者に追加情報を提供します。

備考:

- iTeroエレメント Plusシリーズの口腔内スキャナのみ、Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) をサポートしています。
- Invisalign Outcome Simulator Pro(アウトカム・シミュレータ・プロ) シミュレーションは、**研究モデル/iRecord**処置および **Invisalign Aligners**処置タイプでのみ使用でき、スキャン送信時に自動的に作動します。
- Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) では、Invisalign Doctor Site (医師専用サイト) アカウントとiTeroアカウントとをペアリングする必要があります。詳細については、iTeroカスタマーサポートにお問い合わせください。

シミュレーションが完了したら、[オーダーページの使用](#) で説明されているように、「ビューア」にある  または「オーダー」ページの「**Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ)**」ボタンをタップします。

Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) の使用の詳細については、Invisalign Outcome Simulator Pro (アウトカム・シミュレータ・プロ) のドキュメントを参照してください。

10.3 Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ)

Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ) は、Invisalign治療のシミュレーション結果を患者に示すことができるソフトウェアツールです。

シミュレーション結果をリアルタイムで調整できます。このツールは、治療を受け入れるかどうかの決定において患者に追加情報を提供します。

Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ) ツールを開くには、スキャンデータを送信した後、[オーダーページの使用](#) で説明されている「オーダー」ページから、または[患者の詳細の表示](#) で説明されているように患者のプロファイルページから [**Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ)**] をタップします。

Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ) ツールの詳細については、*Invisalign Outcome Simulator (アウトカム・シミュレータ)* ユーザーガイド <https://guides.itero.com> を参照してください。

10.4 Invisalign Progress Assessment (プログレス・アセスメント)

プログレス・アセスメントツールには、ユーザーがClinCheck治療計画における患者の進捗状況を追跡し、治療決定をサポートするために、歯の状態を色分けして示すレポートが含まれています。

Invisalign Progress Assessment (プログレス・アセスメント) ツールを開くには、[オーダーページの使用](#) で説明されているように、スキャンデータの送信後、「オーダー」ページの「**Invisalign Progress Assessment (プログレス・アセスメント)**」をタップします。

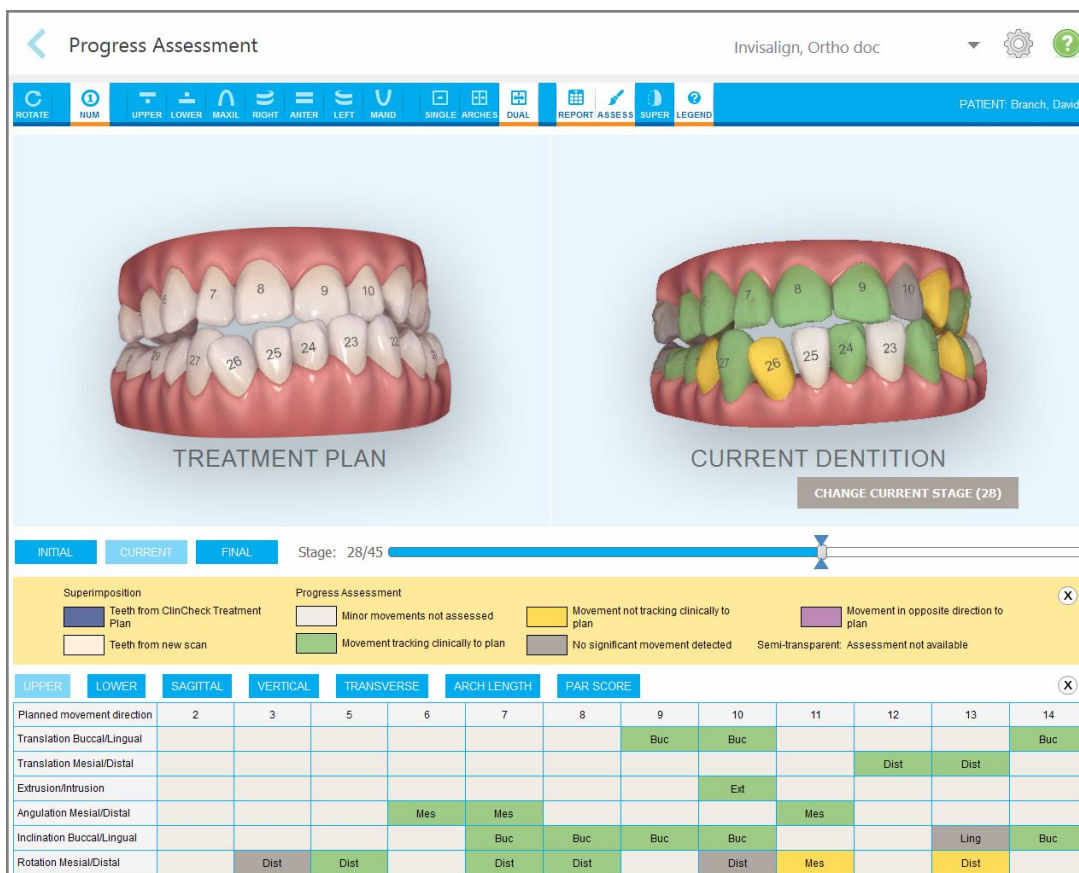


図 158: Progress Assessment (プロGRESS・アセスメント) ウィンドウ

Invisalign Progress Assessment (プロGRESS・アセスメント) ツールの詳細については、*Invisalign Outcome Simulator* (アウトカム・シミュレータ) ユーザーガイド <https://guides.itero.com>のProgress Assessment (プロGRESS・アセスメント) のセクションを参照してください。

10.5 Invisalign Goシステム

Invisalign Goは、わずか数回のタップで患者を評価および治療できる低ステージのアライナー製品であり、それぞれの段階でガイダンスが提供されます。

Invisalign Goシステムの詳細については、Invisalignのドキュメントを参照してください。

10.6 編集ツール

モデルをスキャンしたら、次のツールを使用してモデルを編集できます：

- セグメント削除ツール。詳細は[セグメントの削除](#)
- 部分削除ツール。詳細は[部分削除](#)
- 穴埋めガイド線表示ツール。詳細は[スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示](#)
- 自動クリーンアップツールを無効にする。詳細は[自動クリーンアップの無効化](#)

編集ツールにアクセスするには、画面を押します。

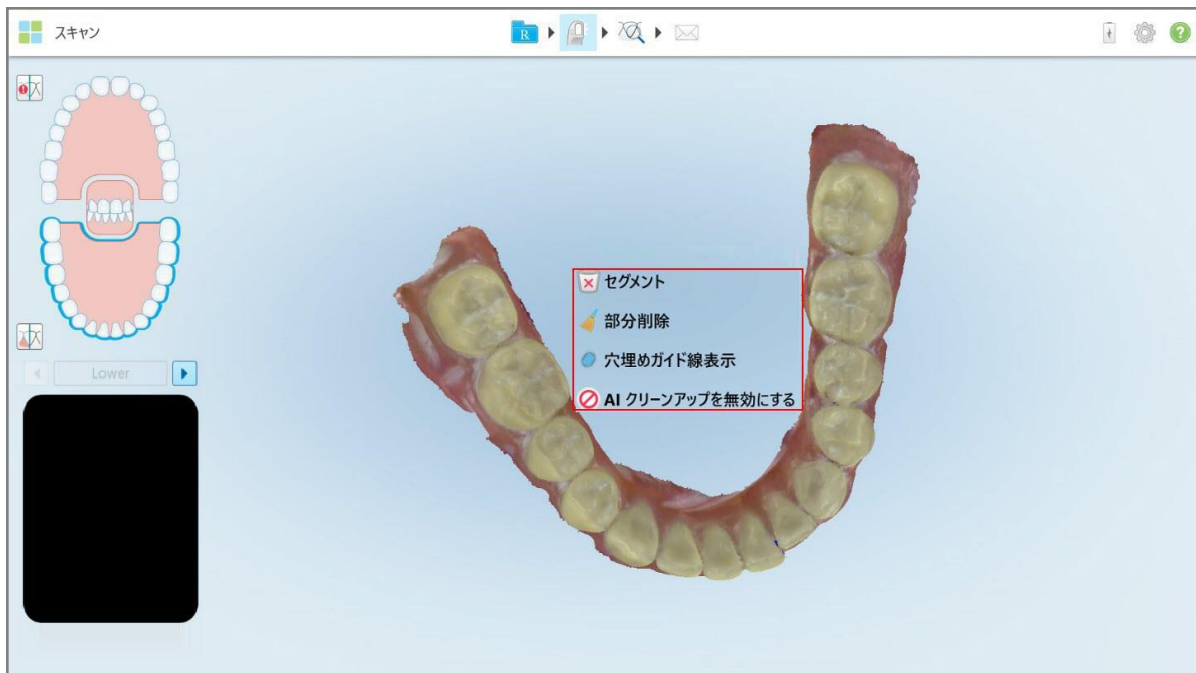



図 159: 編集ツール

10.6.1 セグメントの削除

セグメント削除ツールを使用すると、スキャンしたセグメント全体を削除できます。

セグメントを削除するには：

1. 画面を押して編集ツールを表示します。

2. セグメント削除 ツール  をタップします。

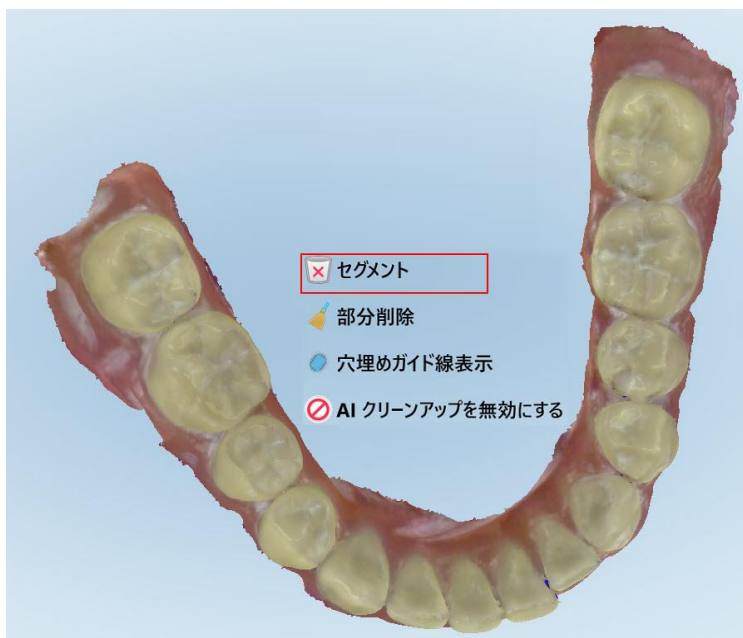


図 160: セグメント削除ツール


確認メッセージが表示されます。

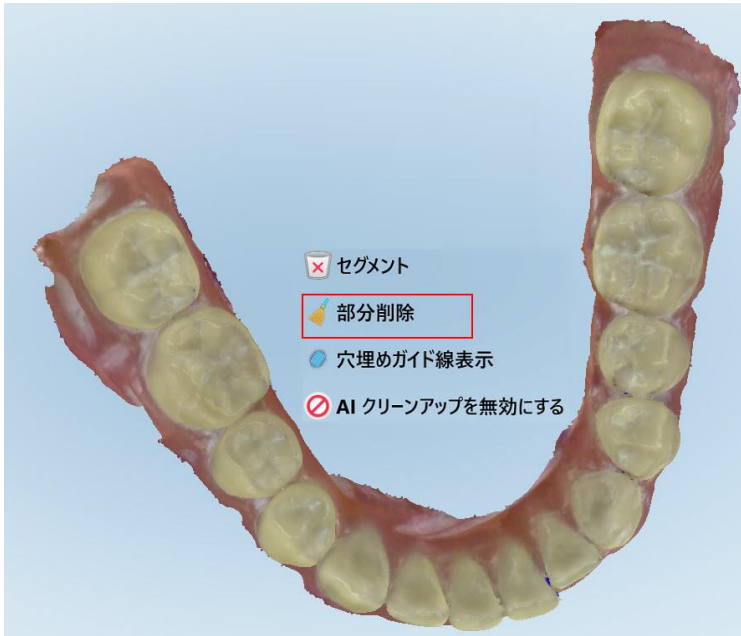
3. 「OK」をタップして削除を確認します。
スキャンされたセグメント全体が削除されます。

10.6.2 部分削除

部分削除ツール  を使用すると、スキャンの選択した範囲を削除して再スキャンすることができます。

部分削除するには:

1. 画面を押して編集ツールを表示します。
2. 部分削除ツール  をタップします。



部分削除ツールが展開され、モデルがモノクロで表示されます。

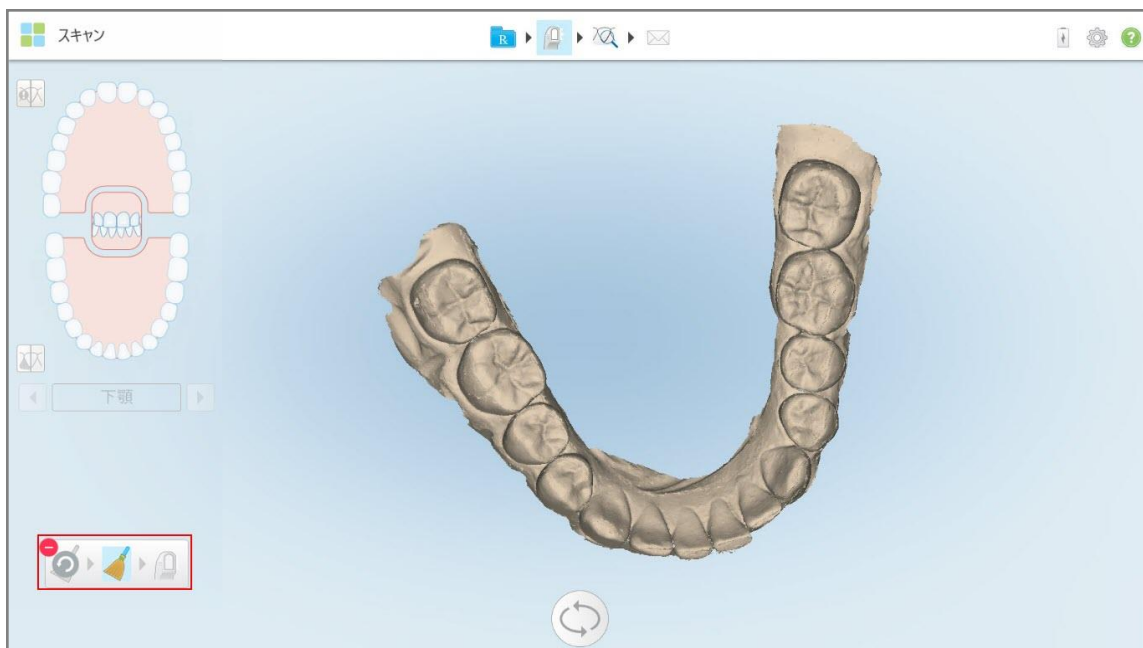


図 162: 展開された部分削除ツール

3. 削除したい領域をタッチします。
選択した範囲が削除されます。

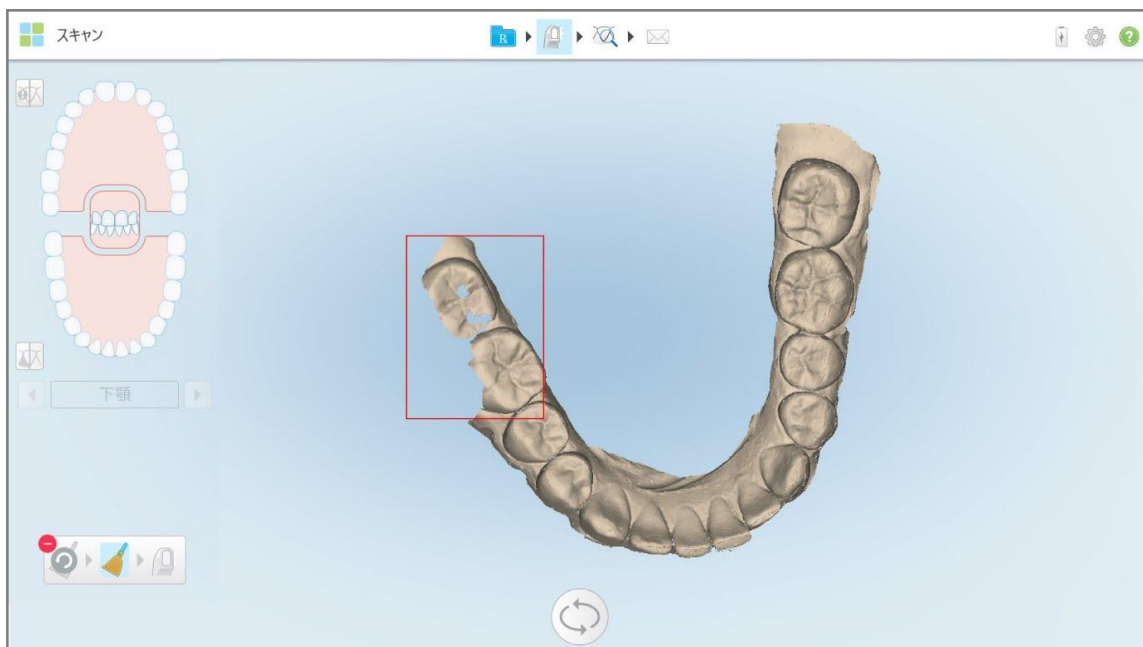





図 163: 選択領域の削除


- 必要に応じて、 をタップして変更を元に戻します。
-  をタップして、削除した領域を再スキャンします。

10.6.3 スキャン不足部位の穴埋めガイド線表示

時折、何度スキャンしてもキャプチャできずスキャンが不足している領域が生じることがあります。これらの領域は、解剖学的形態(唇、頬、および舌)の干渉またはスキャンセグメントの水分によって引き起こされる場合があります。

穴埋めガイド線表示ツール  はこれらの領域を強調表示し、強調表示された領域のみをスキャンして、オーバースキャンを防ぎます。

穴埋めガイド線表示ツールを使用するには:

- 画面を押して編集ツールを表示します。
- 穴埋めガイド線表示 ツール  をタップします。

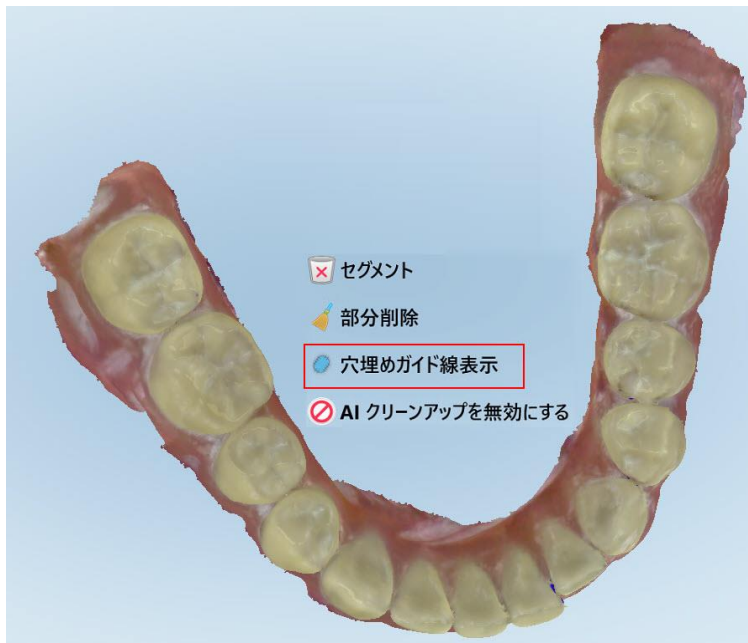


図 164: 穴埋めガイド線表示ツール

スキャンが必要な領域は赤で強調表示されます。

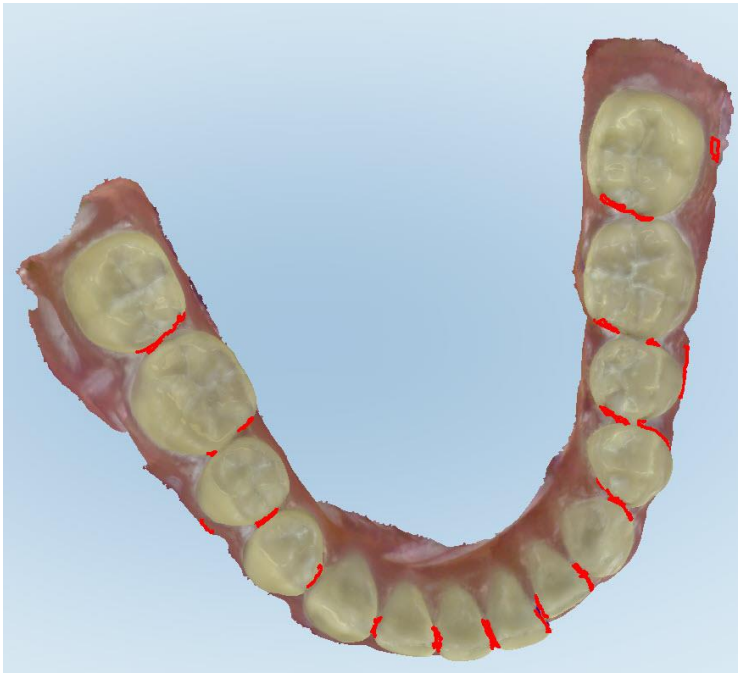


図 165: スキャンが必要な領域は赤で強調表示 - 穴埋めガイド線表示ツール

3. 患者を再スキャンします。

オーバースキャンを防ぐために、強調表示された領域のみがスキャンされ、スキャン不足部位のみが穴埋めされません。

10.6.4 自動クリーンアップの無効化

デフォルトでは、スキャン中に3Dモデルのエッジ周辺から余分な組織が削除されます。必要に応じて、現在のスキャンでこの機能をオフにすることができます。

備考:

- このツールは無歯顎ではサポートされていません。
- 自動クリーンアップの無効化は、現在のスキャンにのみ実施されます。デフォルトにより、次回のスキャンでは余分な画像が削除されます。

自動クリーンアップを無効にするには:

1. 画面を押して編集ツールを表示します。

2. 「A.I. クリーンアップを無効にする」ツールをタップします。

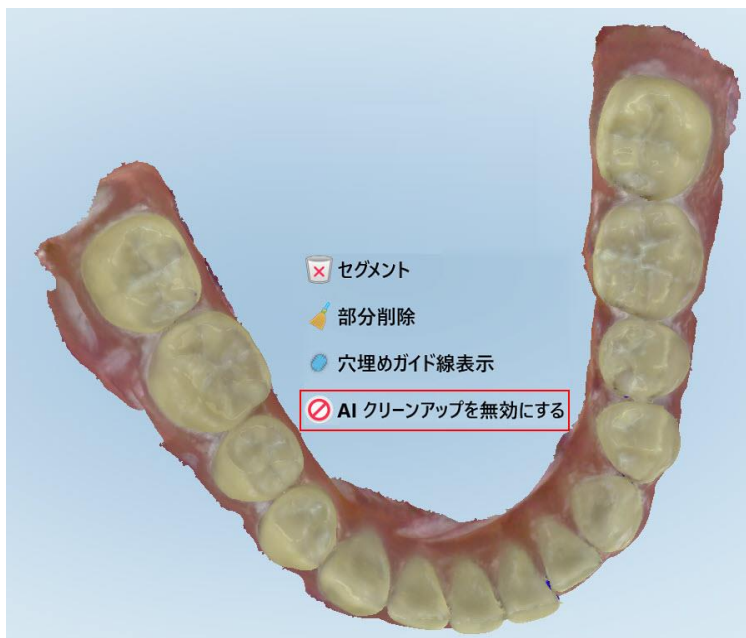


図 166: 自動クリーンアップツール


余分な画像を含むスキャン画像が表示されます。



図 167: 余分な画像を含むスキャン画像

3. 余分な組織を元に戻すには、画面を押して編集オプションを表示し、「A.I. クリーンアップを有効にする」をタップします。


10.7 消しゴムツールの使用

消しゴムツール  を使用すると、スキャンした画像の選択した領域を消去してから、消去したエリアのみを再スキャンできます。

例：

- マージンを覆っている湿気や、血液や唾液などの水分やアーティファクトを除去できます。
- 支台歯が咬合間隙の一覧に赤色の領域を示している場合、支台歯を切削し、スキャン画像上の領域を消去してから、以下で説明するように再スキャンできます。

スキャンの一部を消去するには：

1. 「View (表示)」ウィンドウで、の消去したいセクションにいることを確認してから、消しゴムツール  をタップします。

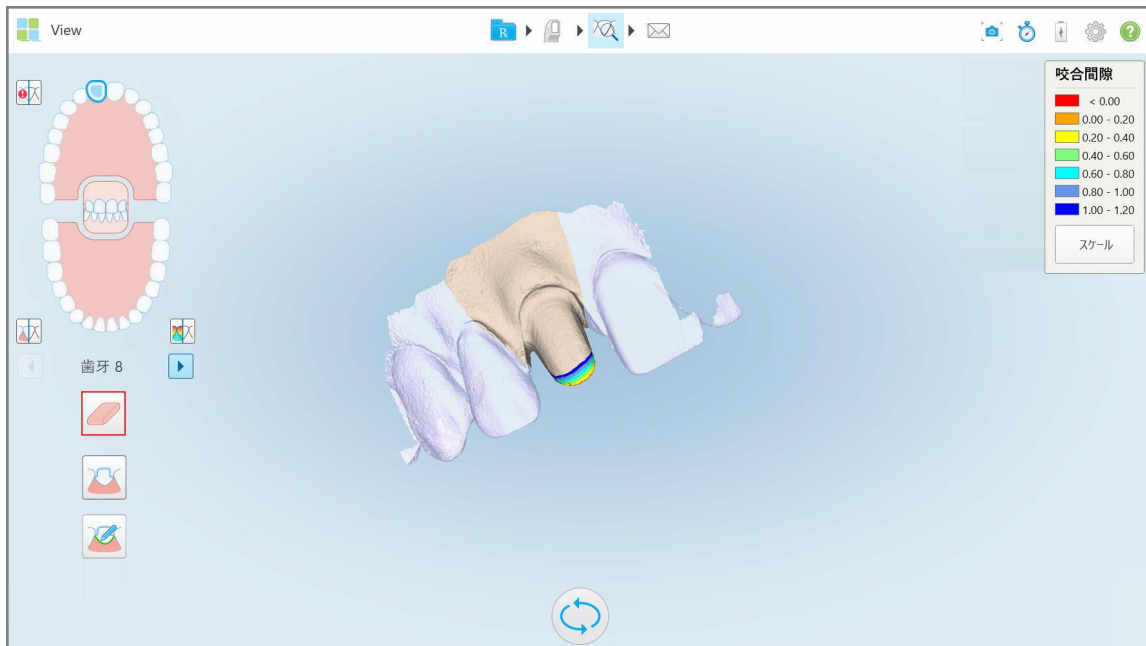


図 168: 消しゴムツール

消しゴムツールが展開され、次のオプションが表示されます：



図 169: 消しゴムツールのオプション

2. 指で、修正する領域を囲みます。

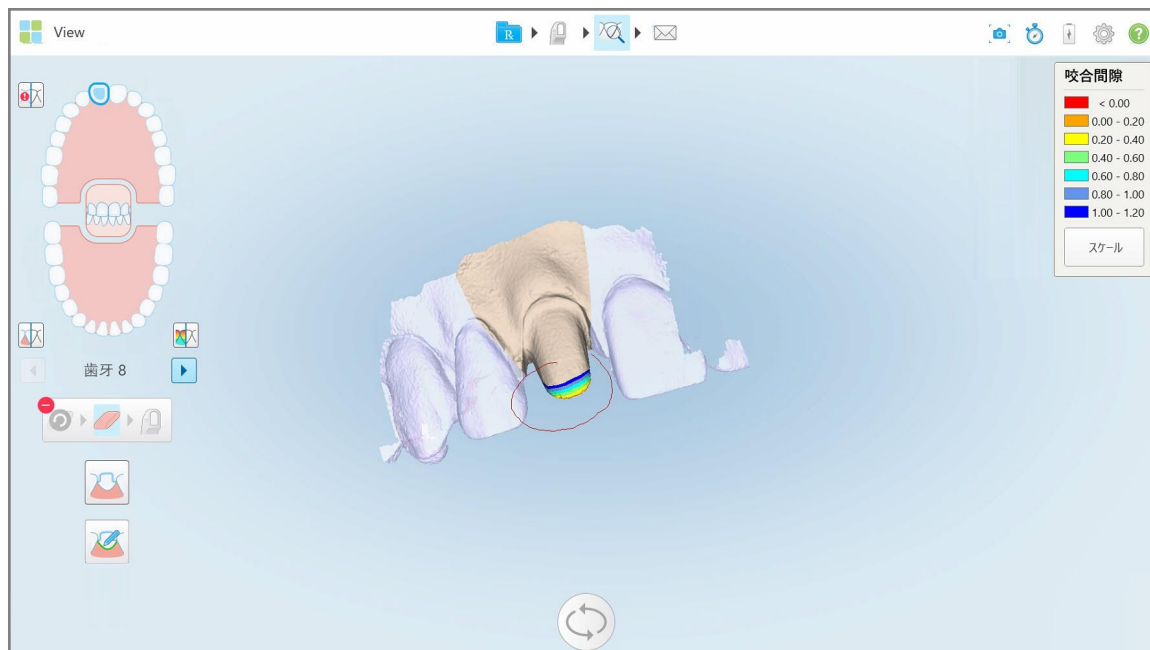



図 170: 修正する領域をマーク

指を離すとすぐに、選択した領域が削除され、スキャンツール  が有効になります。

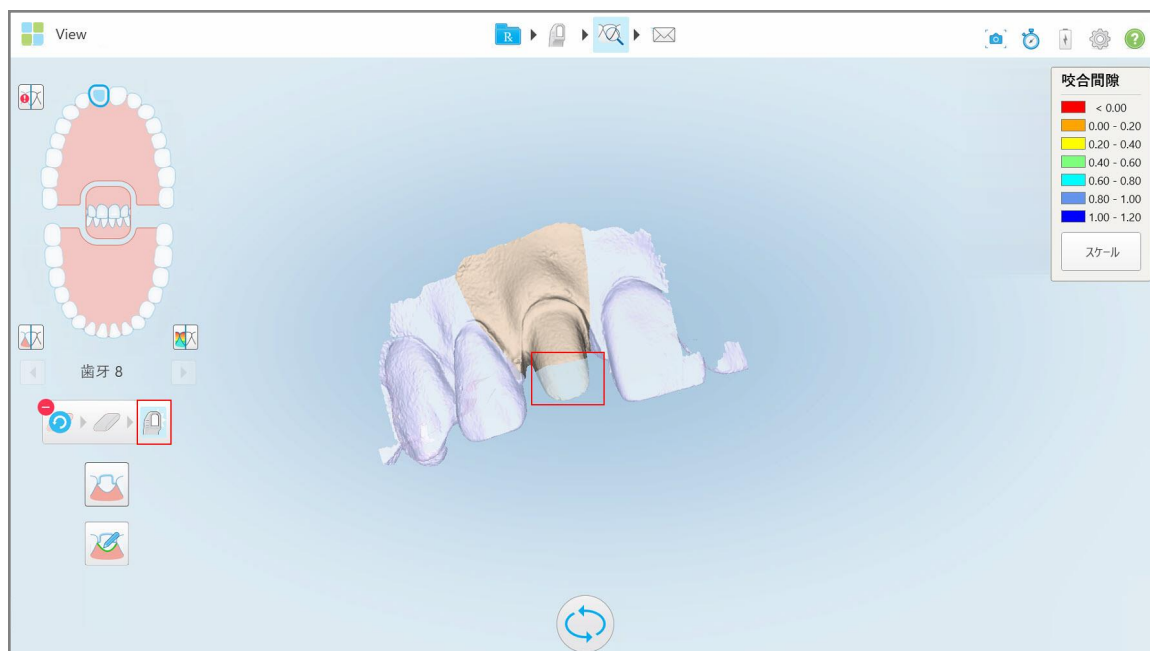




図 171: 選択した領域が削除され、スキャンツールが有効化

- 必要に応じて、 をタップして削除を元に戻します。
- 患者の歯牙の間隙を調整した後、 をタップしてスキャンモードに戻り、削除された領域を再スキャンします。削除された領域は赤でマークされます。

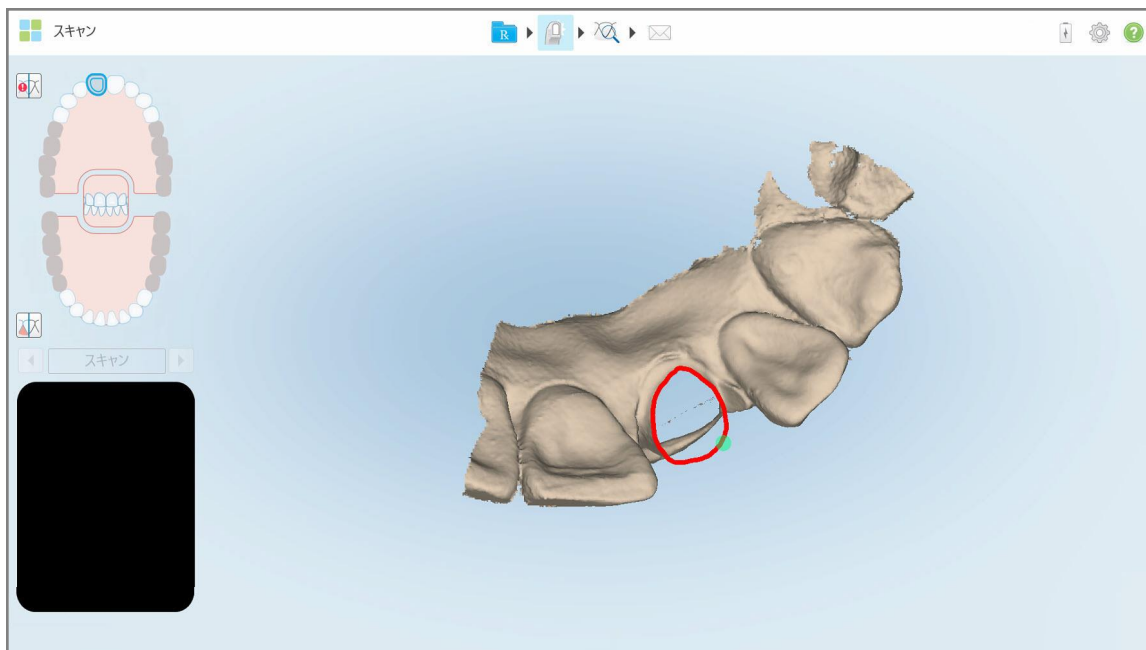




図 172: 赤でマークされた削除済みエリア

- 咬合間隙ツール  をタップして、支台歯が十分に切削されたことを確認します。


10.8 咬合クリアランスツールの使用

咬合クリアランスツール  を使用すると、対合歯列の接触と距離を表示して、例えば、支台歯がRxで選択された材料において、十分なスペースになっていることを確認できます。

咬合クリアランスツールには、表示モードおよびViewer(ビューア)からアクセスできます。

注: 咬合クリアランスツールは、上顎と下顎、および咬合面をスキャンした後にのみ表示されます。

表示モードで咬合クリアランスを表示するには:

1. 「View(表示)」ウィンドウで、咬合クリアランスツール  をタップします。
対合歯列との間の咬合間隙が表示されます。

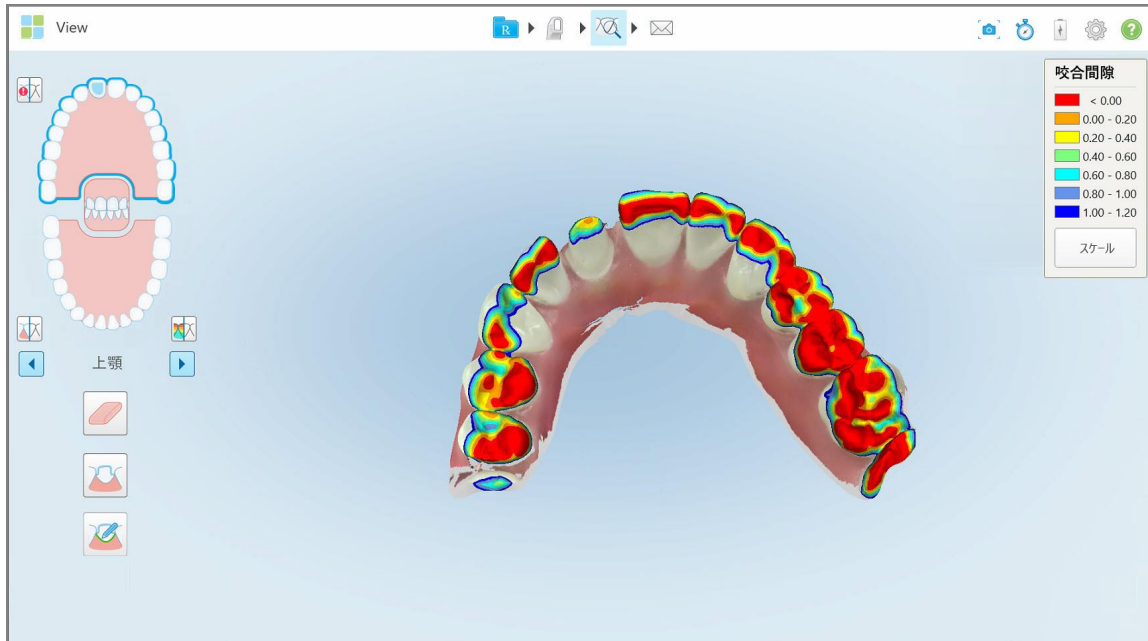


図 173: 対合歯間の咬合間隙

2. 必要に応じて、[消しゴムツールの使用](#)の説明にあるように、支台歯を切削し、領域を再スキャンします。
3. 必要に応じて、対合歯列に表示される咬合値を変更できます。

- a. 一覧で「スケール」をタップします。
 一覧が展開され、範囲オプションのリストが表示されます。

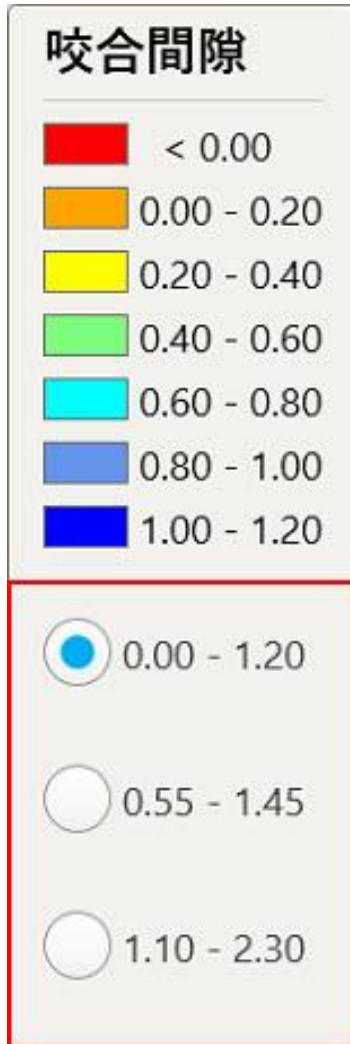




図 174: 咬合間隙範囲オプション

- b. 必要なスケールを選択します。
 c. 咬合間隙は、新しいスケールに従って表示されます。
4. 必要に応じて、 をタップして咬合間隙のスクリーンショットを撮ります。スクリーンショットのキャプチャと注釈の追加の詳細については、[スナップショットツールの使用](#)を参照してください。

Viewer (ビューア)から咬合間隙を表示するには:

1. 「Orders(オーダー)」ページで特定の患者の過去のオーダーを開くか、特定の患者のプロフィールページから「Viewer(ビューア)」をタップしてビューアを表示します。

- Viewer(ビューア)で  をタップします。
- 咬合間隙を表示する歯列弓を選択します。
対合歯列との間の咬合間隙と、スケールを示す一覧が表示されます。

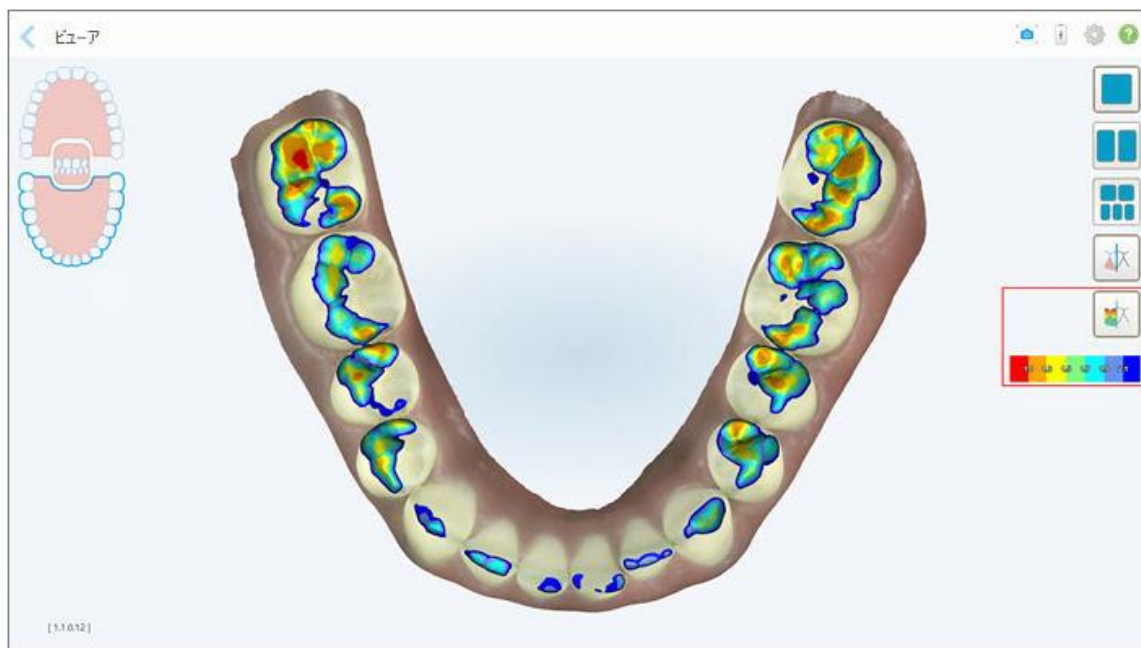




図 175: Viewer (ビューア)に表示される咬合間隙ツールと一覧

- 必要に応じて、 をタップして咬合間隙のスクリーンショットを撮ります。スクリーンショットのキャプチャと注釈の追加の詳細については、[スナップショットツールの使用](#)を参照してください。

10.9 エッジトリミングツールの使用

エッジトリミングツール  を使用すると、スキャンから頬や唇の歯列弓アーティファクトなどの余分な軟部組織を取り除くことができます。このツールは、歯列矯正の手順にのみ使用できます。

余分な画像をトリミングするには:

1. 「View(表示)」ウィンドウで、エッジトリミングツール  をタップします。



図 176: エッジトリミングツール

エッジトリミングツールが展開され、次のオプションが表示されます:



図 177: エッジトリミングツールオプション

2. 指で、トリミングしたい領域を囲みます。

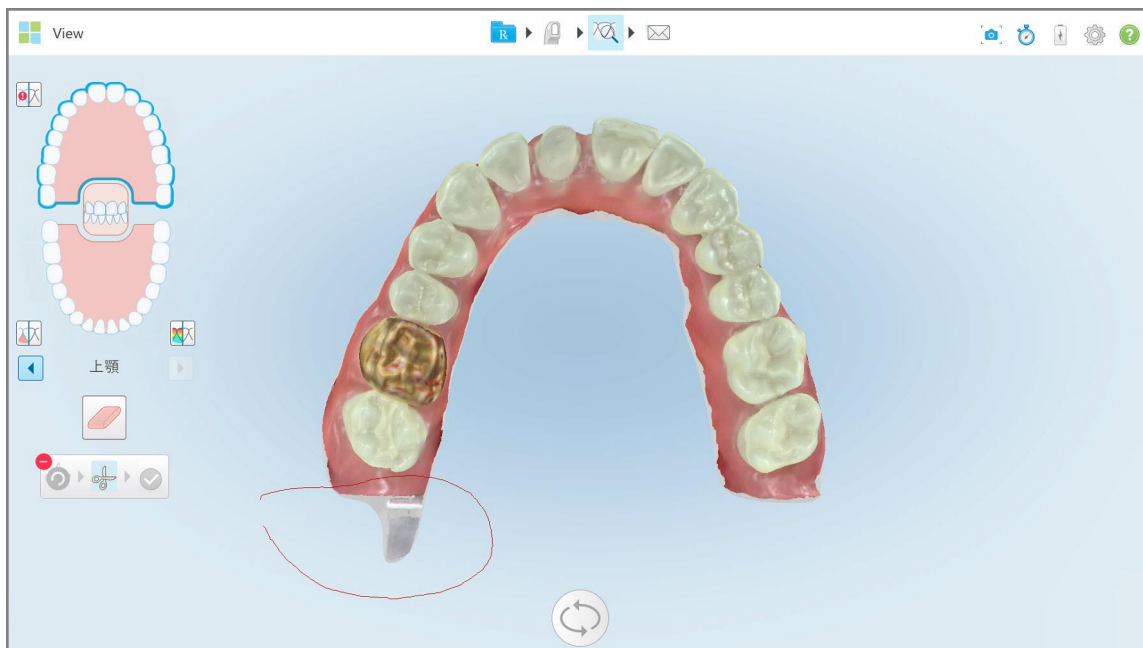


図 178: トリミングする領域をマーク

トリミングする領域が強調表示され、確認アイコンが有効になります。

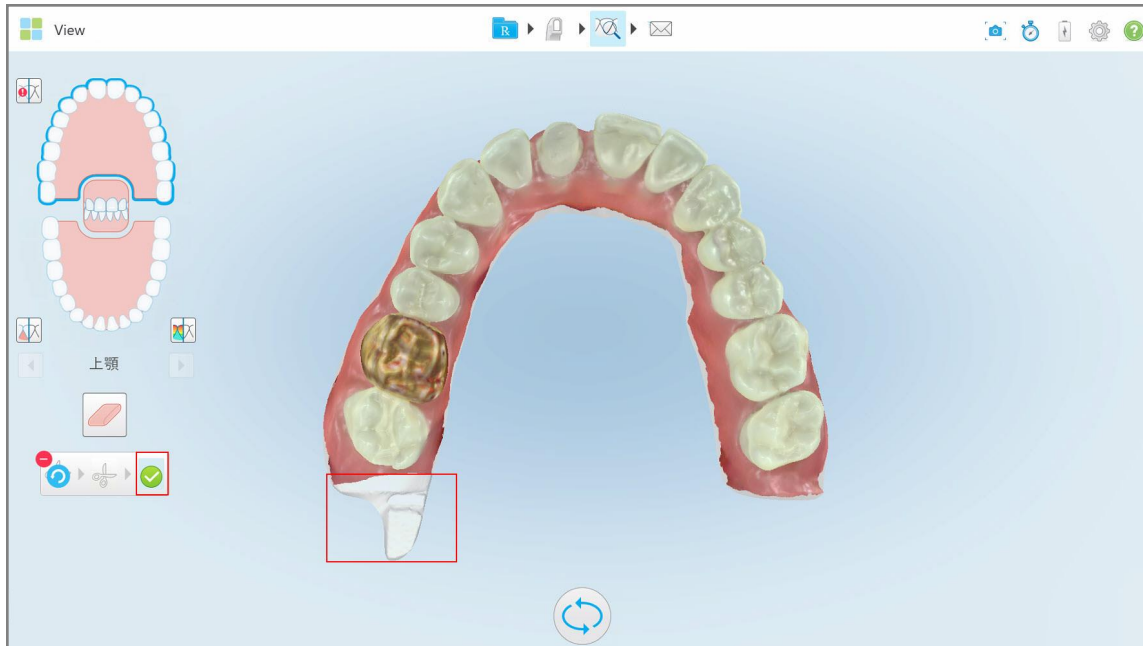




図 179: 選択した領域が強調表示され、確認アイコンが有効化

3. 必要に応じて、 をタップしてトリミングを元に戻すことができます。
4.  をタップして、トリミングを確認します。
選択した領域が削除されます。

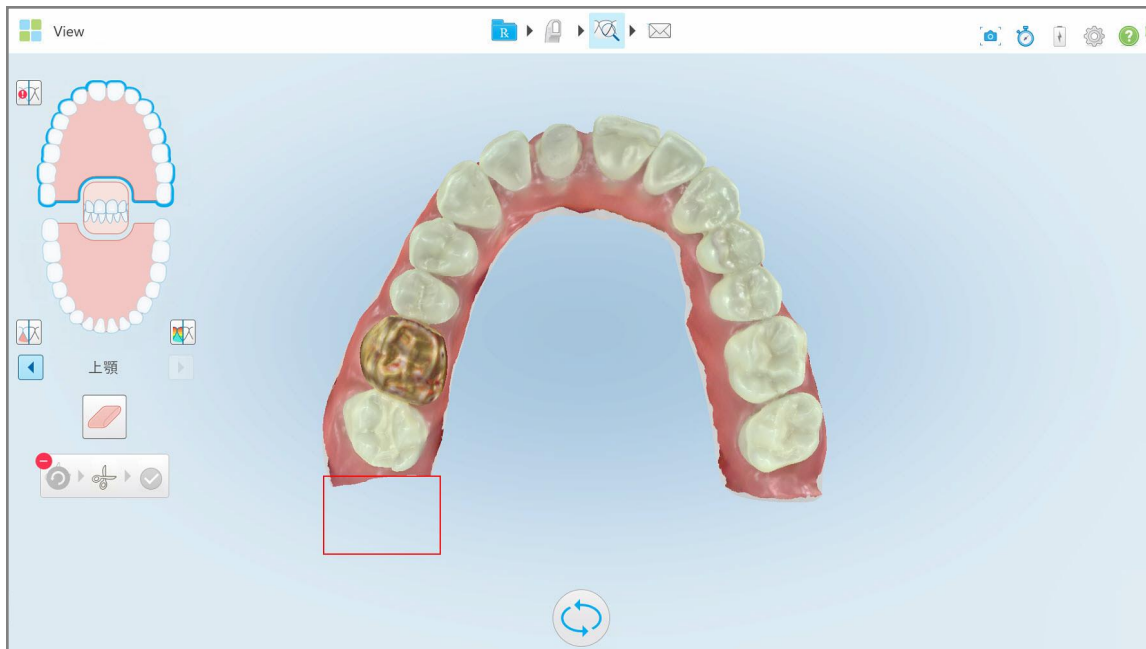


図 180: 選択した領域を削除

10.10 支台歯分離ツールの使用

緑のヒントポイントの位置に従って、支台歯分離が自動的に作成されます。緑のヒントポイントは、スキャン後に支台歯の中心に配置する必要があります。

必要に応じて、支台歯分離領域を手動で編集または作成できます。

支台歯分離を表示するには:

1. 支台歯をスキャンした後、緑色のヒントポイントが準備された支台歯の中心にあることを確認します。必要に応じて、手動で移動します。

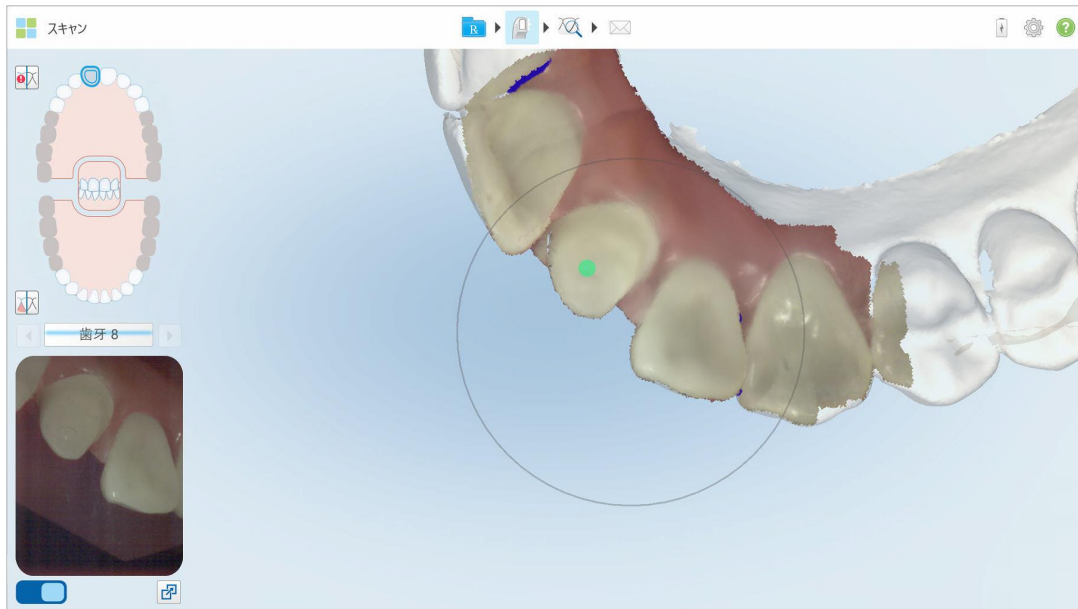




図 181: 支台歯の中心にある緑色のヒント

2. ツールバーにある  をタップして、「View(表示) モード」に移動します。
3. 「View(表示)」ウィンドウで、「支台歯分離ツール」 をタップします。
支台歯分離は高解像度で表示されます。

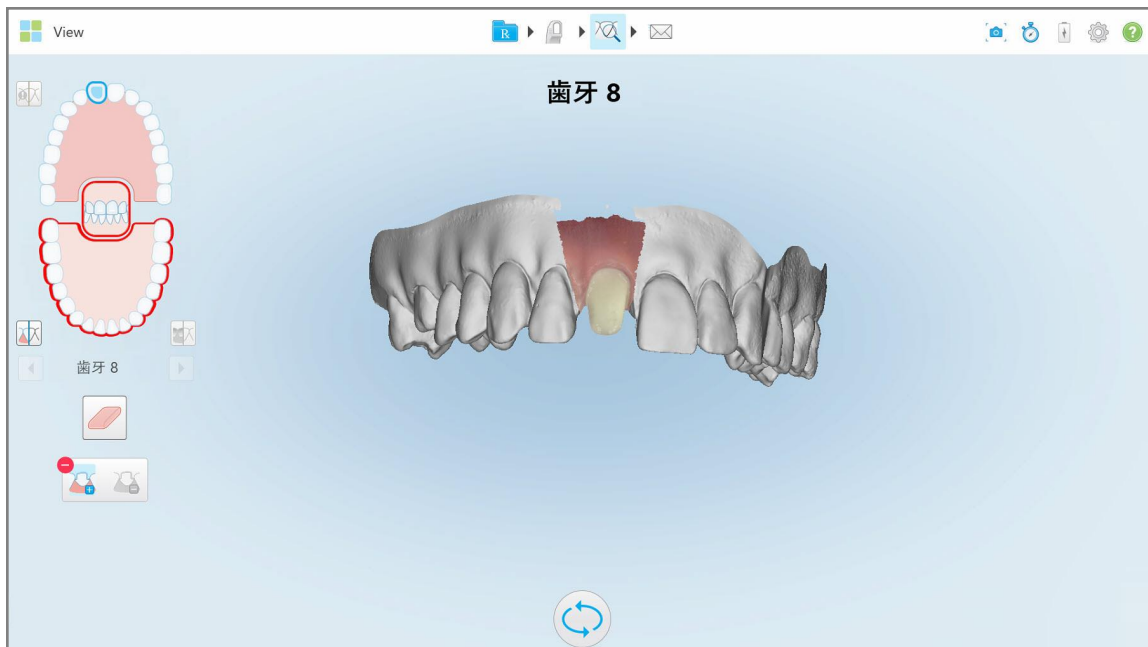



図 182: 支台歯分離は高解像度で表示

支台歯分離を手動で作成するには:

1. 「View(表示)」ウィンドウで、「支台歯分離ツール」 をタップします。
ツールが展開され、次のオプションが表示されます:

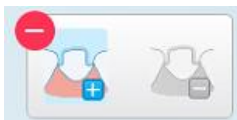



図 183: 支台歯分離ツールのオプション

2.  をタップしてセグメント全体を指でマークします。
スキャンは低解像度で表示されます。

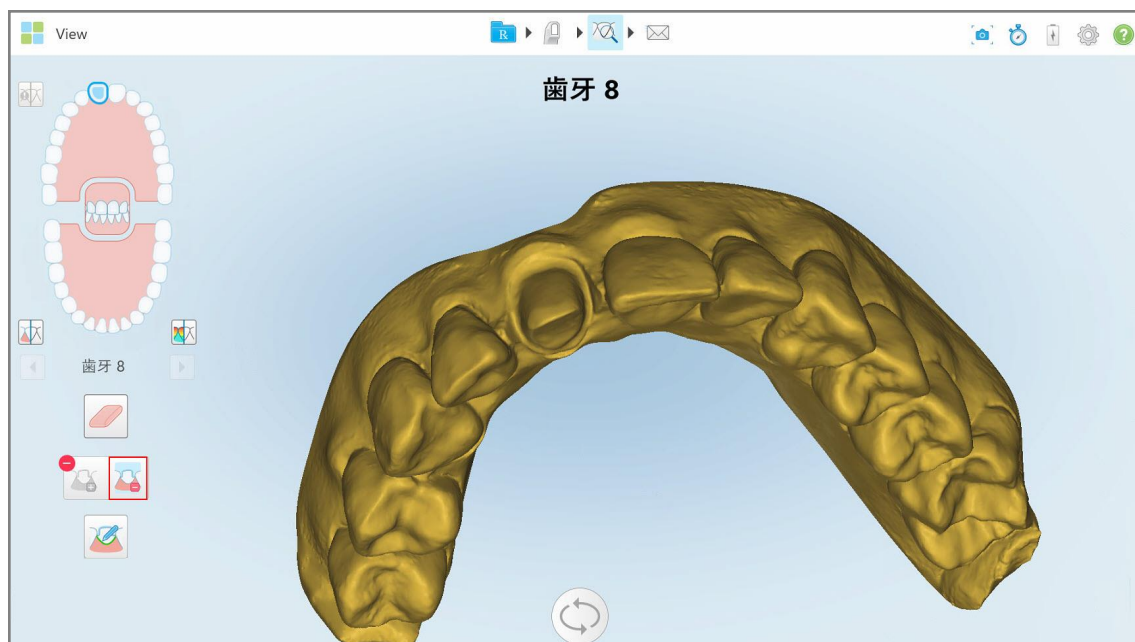


図 184: スキャンを低解像度で表示

3.  をタップして、支台歯を高解像度でマークします。

モデルは次のように表示されます：

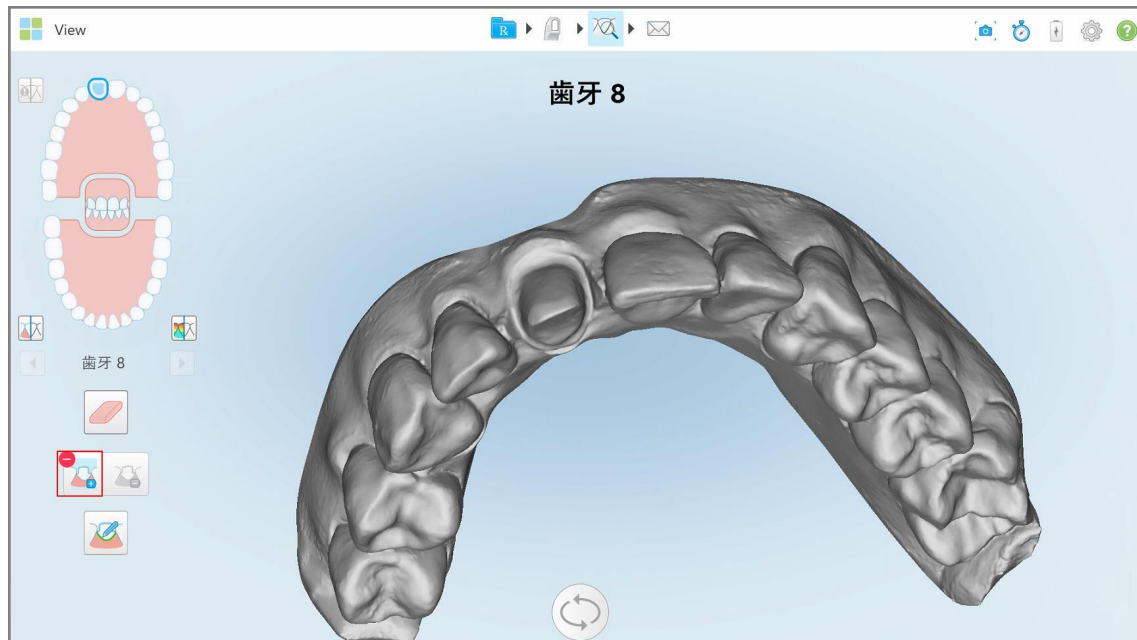


図 185: 支台歯分離を選択する前に

4. 支台歯分離の領域を選択します。
選択した領域が高解像度で表示されます。



図 186: 支台歯は高解像度で表示

10.11 マージンラインツールの操作



マージンラインツールは、クラウンを必要とする固定性補綴処置のマージンラインを自動的に検出してマークを付けます。必要に応じて、他の表示のために手動でマークを付けることができます。マージンラインが作成されたら、それを微調整するか、削除されている場合は再度作成できます。

10.11.1 マージンラインを自動的に定義する

マージンラインツールは、クラウンを必要とする固定性補綴処置のマージンラインを自動的に検出してマークを付けます。

注: 次の場合、マージンラインが自動的に作成されない場合があります。

- 支台歯が正しくスキャンされていない。
- 間違った支台歯の分離が使用された – スキャン中に緑の点が支台歯の中心にない場合 – スキャンの一部が支台歯の分離領域内にはないということになります。

マージンラインを自動的に作成できない場合は、それを通知するメッセージが表示されます。[マージンラインを手動で設定する](#)で説明されているように、マージンラインを手動で定義することができます。

マージンラインを自動的に定義するには:

1. 「View(表示)」ウィンドウで、ナビゲーションコントロールの支台歯をタップします。
3Dモデル表示が咬合の表示に移動し、支台歯を拡大します。

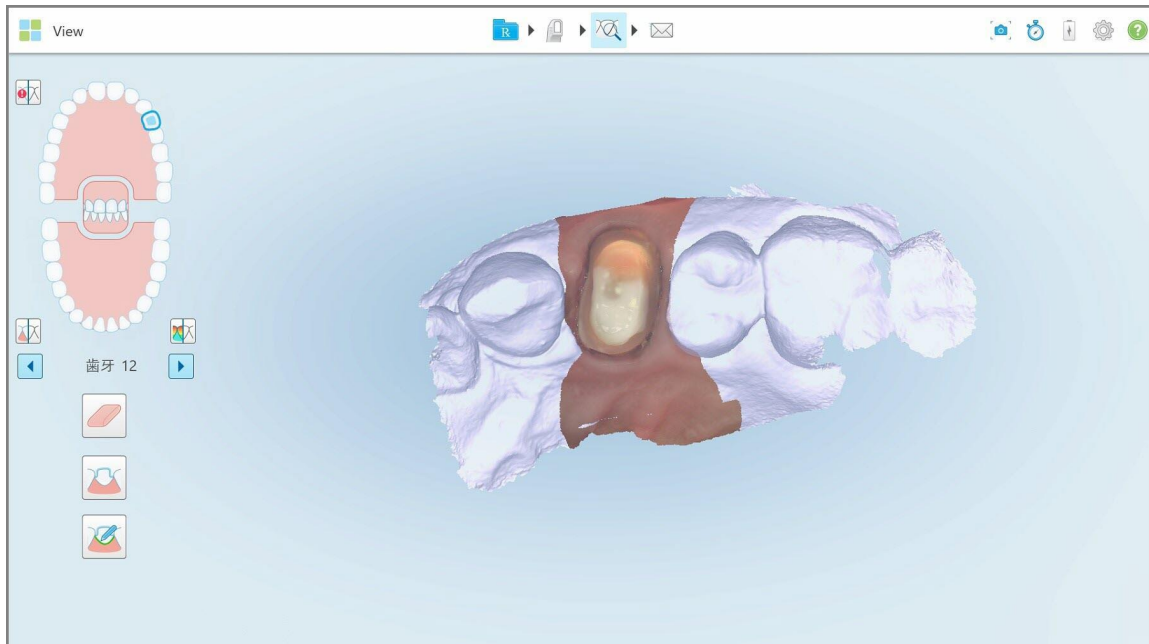


図 187: モデル表示が咬合の表示に移動し、支台歯を拡大します

2. マージンラインツール  をタップします。
マージンラインツールが展開され、次のオプションが表示されます：



図 188: マージンラインツールオプション

自動AIベースのマージンラインが検出されている間、待機するように求めるメッセージが表示されます。数秒後、支台歯にマージンラインが自動的に付けられます。支台歯に隣接する歯は透明に見え、マージンラインの先端を確認できます。

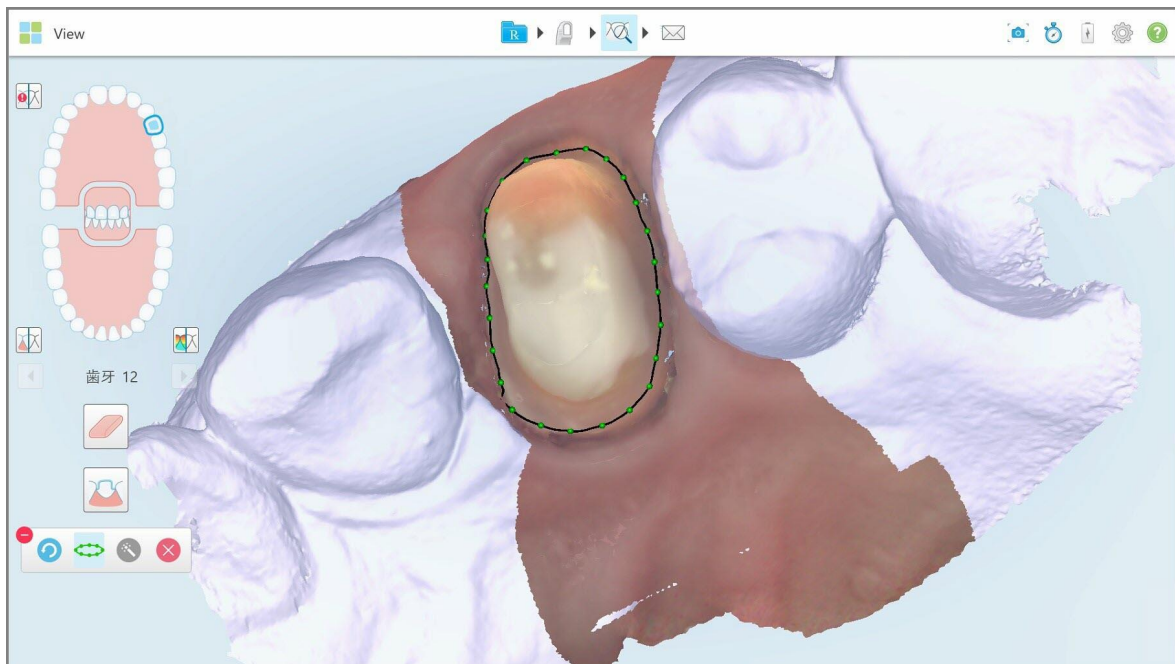





図 189: 支台歯にマージンラインが付けられています

3. 必要に応じて、緑色のコントロールポイントのいずれかをドラッグして、マージンラインを微調整します。
4. 必要に応じて、 をクリックして最後のアクションを元に戻します。ボタンをクリックすると、最後の50のアクションまで元に戻すことができます。
5. 必要に応じて、 をクリックしてマージンラインを削除します。
6. 必要に応じて、 をクリックして削除されたマージンラインを再表示します。

10.11.2 マージンラインを手動で設定する

マージンラインを自動的に設定できない場合は、手動で設定できます。

マージンラインを手動で設定するには:

1. 「View(表示)」ウィンドウで、ナビゲーションコントロールの支台歯をタップします。
3Dモデル表示が咬合の表示に移動し、支台歯を拡大します。




2. マージンラインツール  をタップします。

マージンラインツールが展開され、次のオプションが表示されます:



図 190: マージンラインツールオプション

3.  をタップしてから支台歯の周辺をタップして、少なくとも6~8つの点の、点と点の間の線を描きます。

注: マージンラインは必ず閉じてください。マージンラインを完成させずにスキャンデータを送信しようとすると、マージンラインの一部が削除されるという通知が届きます。戻ってマージンラインを完成させることができます。

10.12 スナップショットツールの使用

スナップショットツールを使用すると、スキャンした画像のスクリーンショットをキャプチャできます。これらのスクリーンショットは患者のエクスポートパッケージの一部になり、後でMyiTeroからダウンロードできます。さらに、これらのスクリーンショットは、MyiTero内に作成されたiTeroスキャンレポートに追加できます。

画像をキャプチャ後、必要に応じて注釈を追加できます。

デフォルトでは、スナップショットツールをタップするたびに、次のような画像がキャプチャされ、別のフォルダに保存されます。フォルダ名にはスクリーンショットのオーダーID、および日時が含まれます:

- 表示ウィンドウ全体
- 3D画像
- 2Dカラービューファインダー画像 (ループが3D画像にドラッグされている場合)

スクリーンショットの各セットは個別のフォルダに保存され、MyiTeroから圧縮ファイルとしてダウンロードできる患者の名前のついたフォルダに保存されます。



スクリーンショットは、スキャナのツールバーのスナップショットツール  を含むどのウィンドウからもキャプチャできます。

スキャンした画像のスクリーンショットをキャプチャするには:

1. 表示モードで、ツールバーのスナップショットツールをタップします。

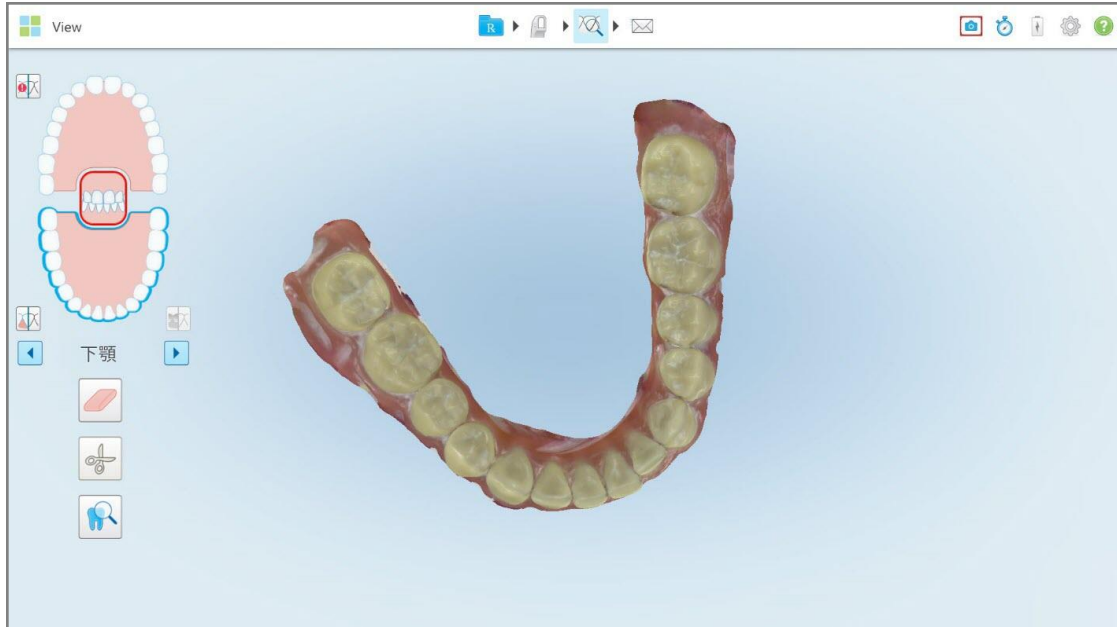


図 191: 表示モード – スナップショットツールを使用

画面が点滅し、スクリーンショットがキャプチャされたことを示します。スクリーンショットのサムネイルがウィンドウの左下に表示され、7秒間表示されます。

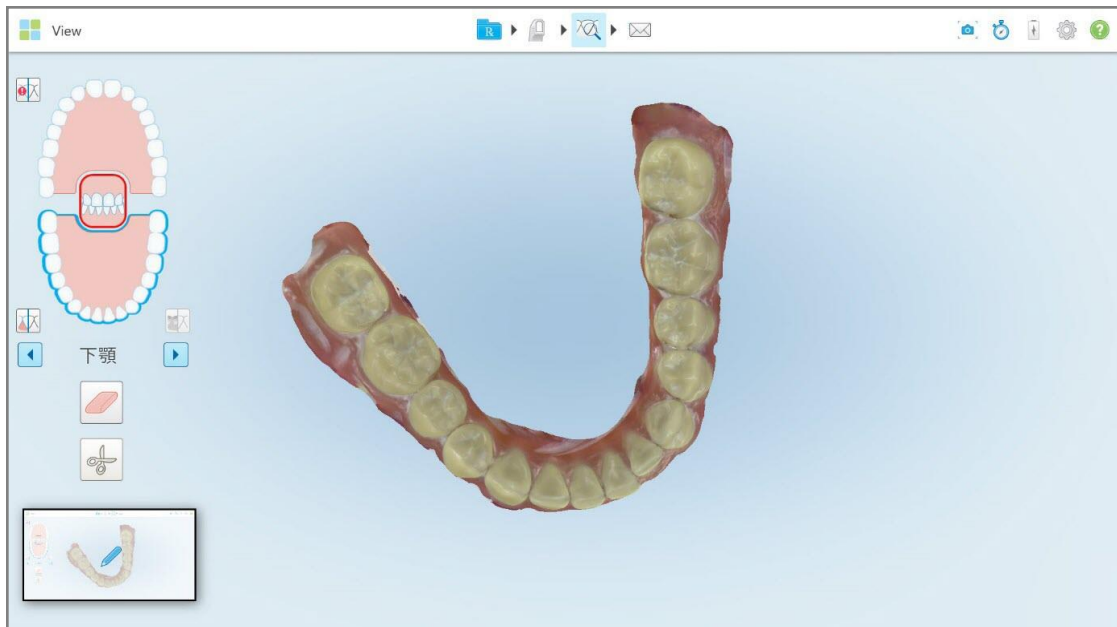


図 192: スクリーンをキャプチャすると、スクリーンキャプチャのサムネイルが表示される

2. スクリーンショットに注釈を追加する場合は、サムネイルをタップします。
「描画」ウィンドウが表示され、上部に注釈ツールバーのあるウィンドウ全体のスクリーンショットが表示されます。

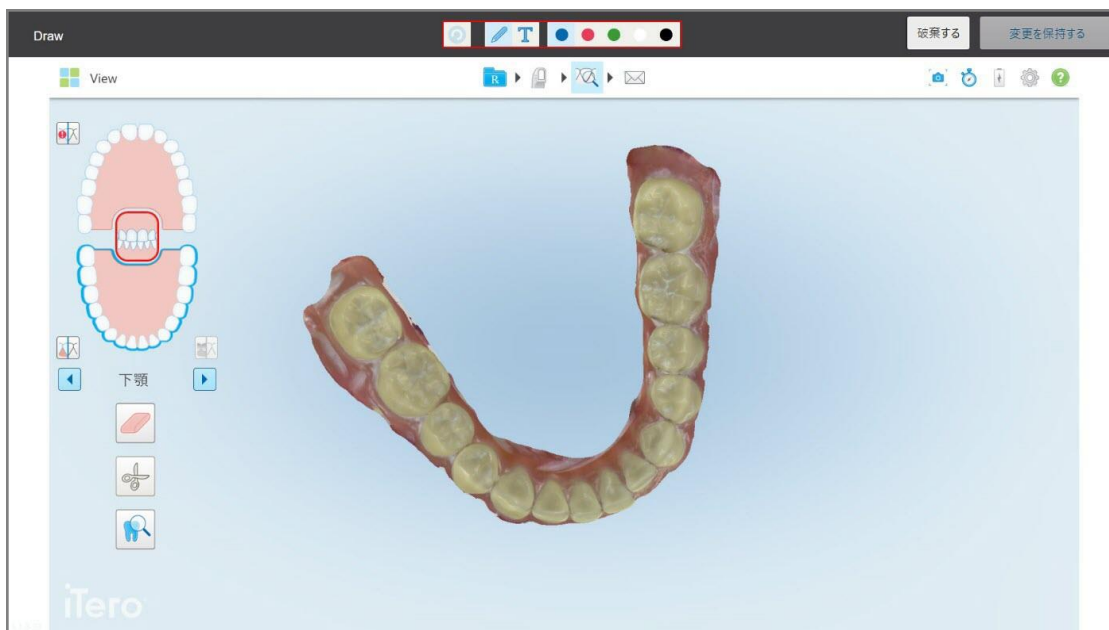


図 193: 注釈ツールバーのスクリーンショット



図 194: 注釈ツールバー

注釈ツールバーには、次のボタンがあります。



タップすると前の注釈を元に戻します。




タップするとスクリーンショット上に線を描きます。




タップするとスクリーンショットにテキストを入力します。



線とテキストの色をタップして選択できます。デフォルトでは、これらは同じ色になります。

3. 必要なツールと色をタップしてから、注釈を追加します。テキストを追加したら、 をタップして、選択した色でテキストを保存します。

注: テキストを入力した後に  をタップしない場合、次の注釈に別の色を選択すると、テキストの色が変更されます。

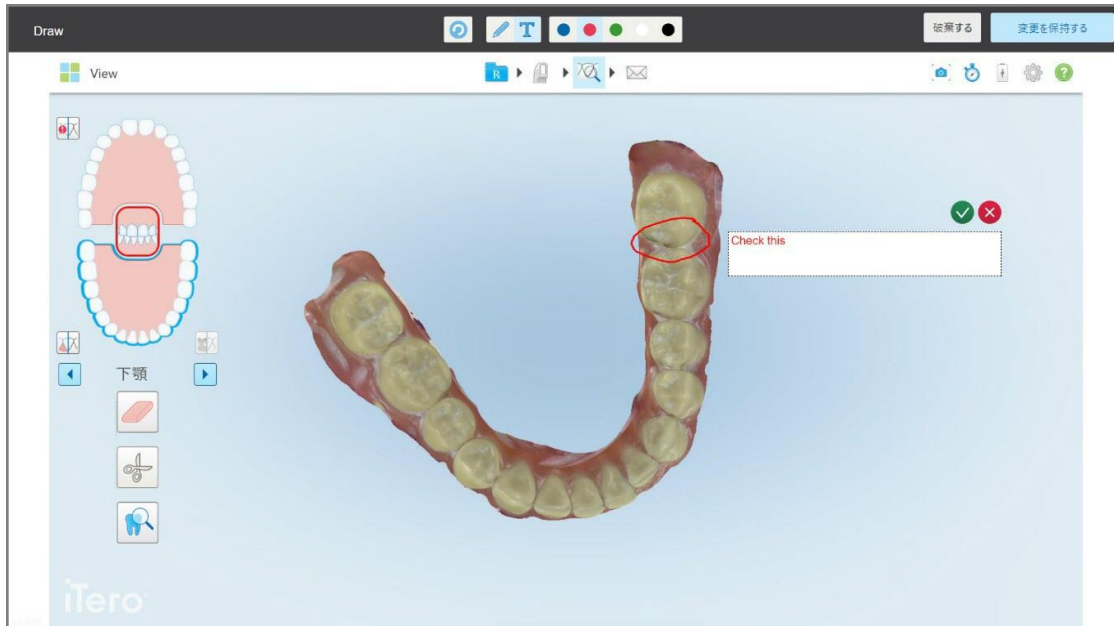


図 195: スクリーンショットにテキストを追加

4. スクリーンショットを注釈とともに保存するには、「注釈を保持」をタップします。

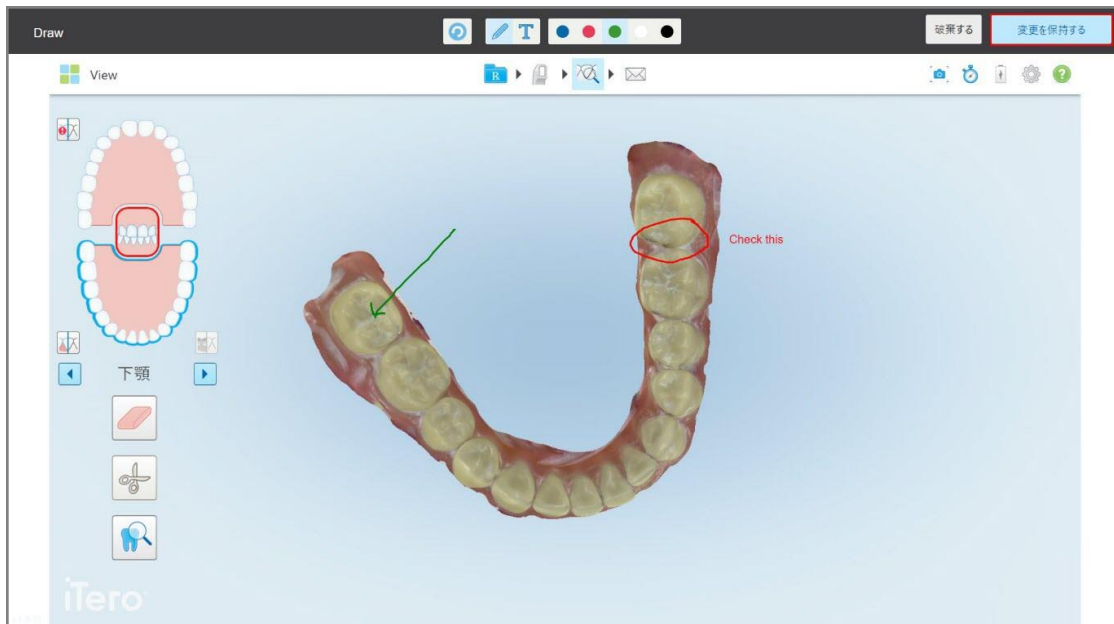


図 196: 注釈付きのスクリーンショット

画面の下部にポップアップメッセージが表示され、スクリーンショットと注釈がMyiTeroにアップロードされ、そこでアクセスできることが通知されます。

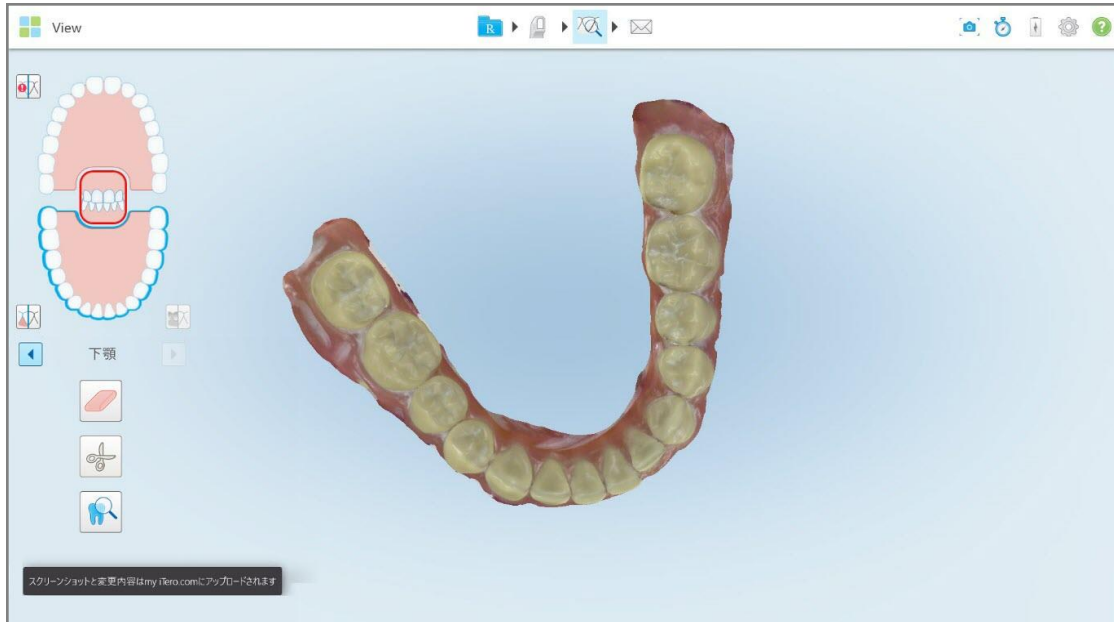


図 197: スクリーンショットと注釈がMyiTeroにアップロードされることの通知

5. 注釈なしでスクリーンショットのみを保存するには、「破棄」をタップします。確認メッセージが表示されます。

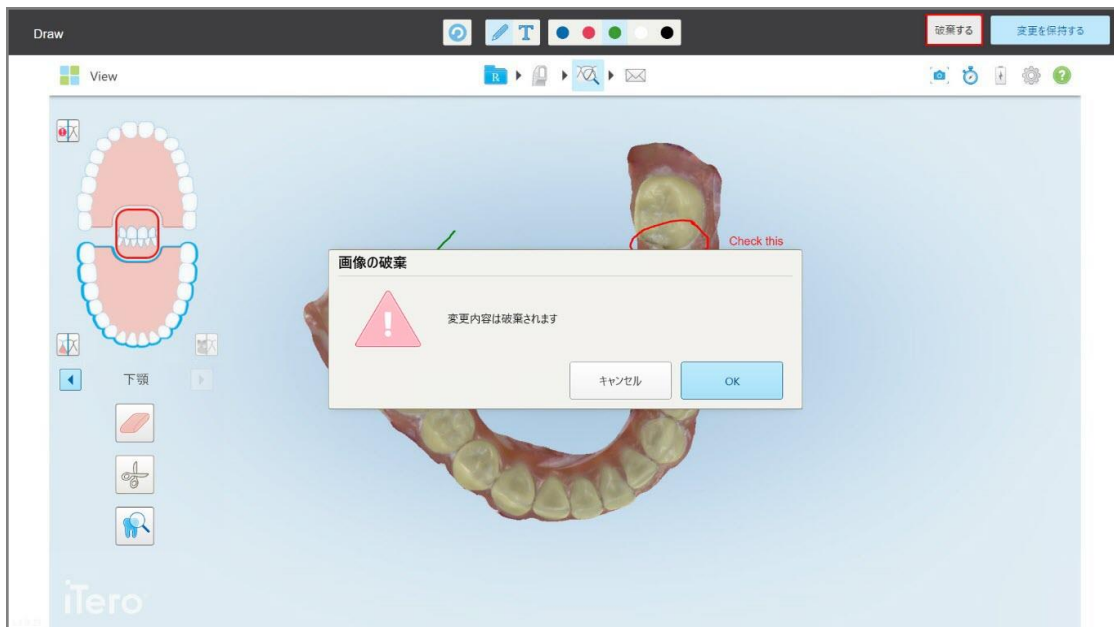


図 198: 注釈の破棄に関する確認

a. 「OK」をタップして続行します。

スクリーンショットがMyiTeroにアップロードされることを通知するポップアップメッセージが表示されます。

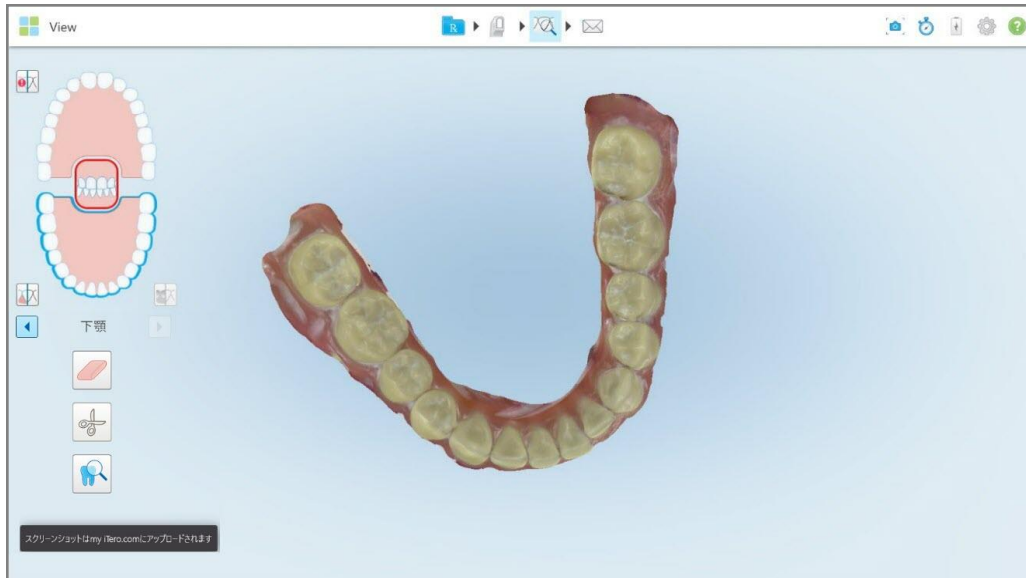


図 199: スクリーンショットがMyiTeroにアップロードされることの通知

スクリーンショットは、MyiTero、「オーダー」ページまたはビューアからダウンロードできるようになりました。

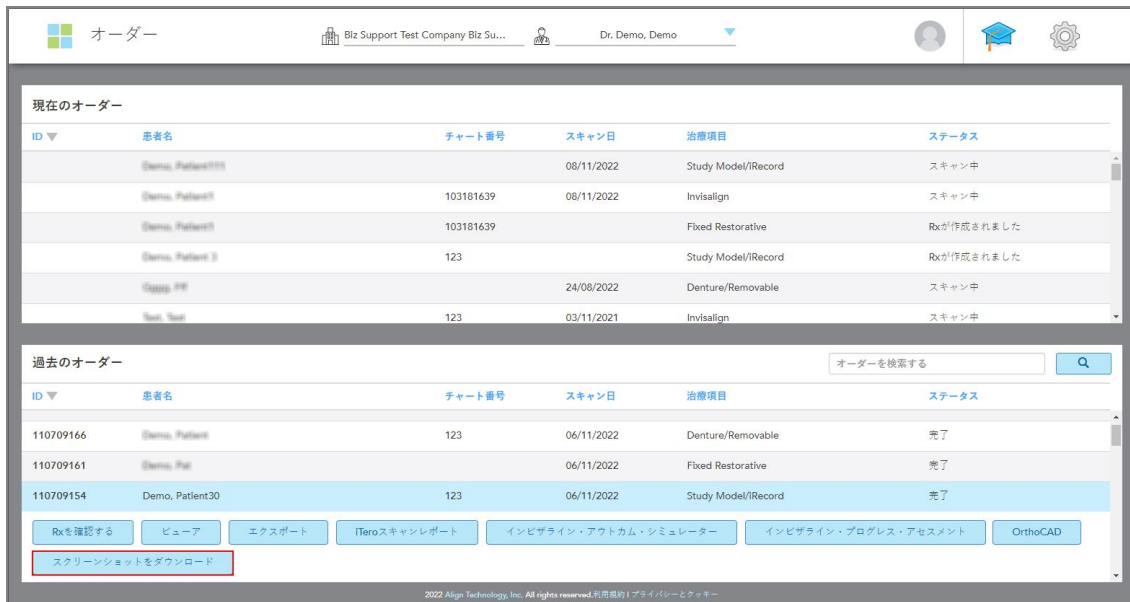


図 200: MyiTeroの「オーダー」ページからスクリーンショットをダウンロードするオプション

11 お手入れとメンテナンス

オフィス内で噴霧やスプレーを含む衛生手順を実行する場合は、iTeroスキャナが室内にないことを確認してください。

二次汚染を防ぐため、次に示す内容を必ず行ってください：

- 次のセクションで説明されているように、スキャナコンポーネントを洗浄して消毒します。
- [ワンドスリーブを装着する](#)セクションワンドスリーブで説明されているように、各患者セッションの前に、を交換してください。
- ワンドスリーブは、汚染された医療廃棄物の処分に関する標準的な取扱手順または地方の法規則に準じた手順で廃棄してください。
- 各患者の処置の後に手袋を取り外して交換します。
- 破れたり、汚れたり、一旦使用した手袋は廃棄してください。

11.1 ワンドおよびケーブルの取り扱い

ワンドにはデリケートな構成部品が含まれていますので、取扱いの際は十分注意して下さい。

ワンドは、使用時以外は青いプロテクトスリーブを取り付け、クレードル内に置くようにしてください。ラップトップパソコンまたはモバイル設定スキャナの場合、ワンドは保護スリーブを取り付けて、付属のキャリーケースまたは運搬用ケースに収納してください。

使用のたびに、ワンドケーブルに負荷がかからないよう、ねじれや結び目ができないように調整してください。ケーブルキャップがワンドから外れている場合は、慎重に取り付け直します。

11.2 ワンドの洗浄と消毒

iTeroワンドは、洗浄と消毒のために以下のセクションの手順を必要とします。

これらの手順を、以下の時に実行してください。

- スキャナの組み立て後、初回使用前
- ある患者から別の患者の治療に移る時

警告：身体的な危険を防ぐために、推奨される洗浄および消毒プロセスから逸脱したり、推奨されている製品を変更または置き換えたりしないでください。

ワンドが適切に再処理され、使用する準備ができていることを確認するには、以下のすべての洗浄および消毒手順に従う必要があります。

11.2.1 洗浄と消毒前の準備

1. 洗浄および消毒手順中のワンドの誤動作を防止するために、スキャンデータを送信するか、もしくはホーム画面に戻り、スキャンを完全に終了します。
2. ワンドのレンズに触れないように、ワンドスリーブを取り外します。

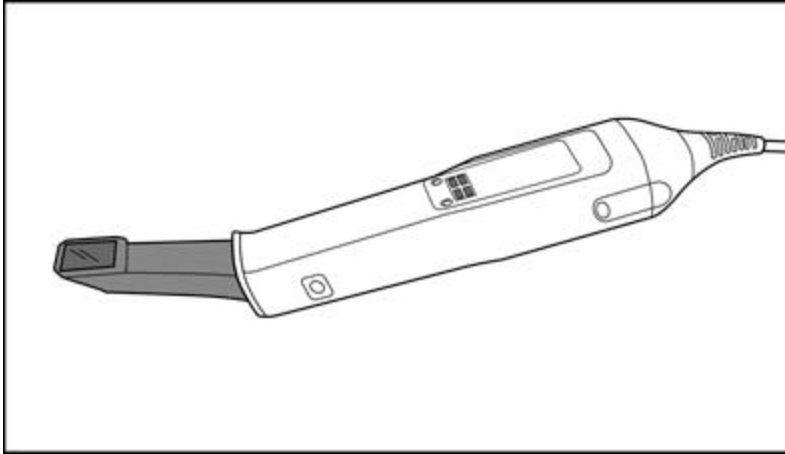


図 201: スリーブ右のものを装着していないワンド:

3. ワンドを目視検査し、腐食、変色、孔食、亀裂のような劣化など、目立った破損がないことを確認します。
警告: 破損が見つかった場合は、ワンドを洗浄、消毒、または使用しないでください。詳細については、iTerоカスタマーサポートにお問い合わせください。
4. 以下を準備します。
 - 必要な洗浄および消毒用品:
 - CaviWipes1(または、代替用品。そのリストと必要な消毒時間については、[承認済みの洗浄および消毒用品](#)を参照)
 - 70% イソプロピルアルコール(IPA)
 - 糸くずの出ない乾いた布
 - 柔らかい毛ブラシ(Healthmarkトランペットバルブブラシの細い方の先端[直径1mm] カタログ# 3770または同等のもの)
 - 個人用防護具(PPE)と作業環境
 - 洗浄および消毒用品の製造元の指示に従ってください。

注: 目に見える破損または汚れがある場合は、洗浄および消毒用品(ブラシ/ワイブ)を交換してください。

洗浄および消毒手順を開始する前に、PPEを着用してください。

11.2.2 ワンドの洗浄と消毒

ワンドを洗浄および消毒する前に、スリーブが取り外されていることを確認してください。

洗浄

1. CaviWipes1で少なくとも1分間、ワンド本体とワンドの先端のすべてのゴミを取り除きます。

注：代替の消毒剤を使用する場合、必要な接触時間については [承認済みの洗浄および消毒用品](#) を参照してください。

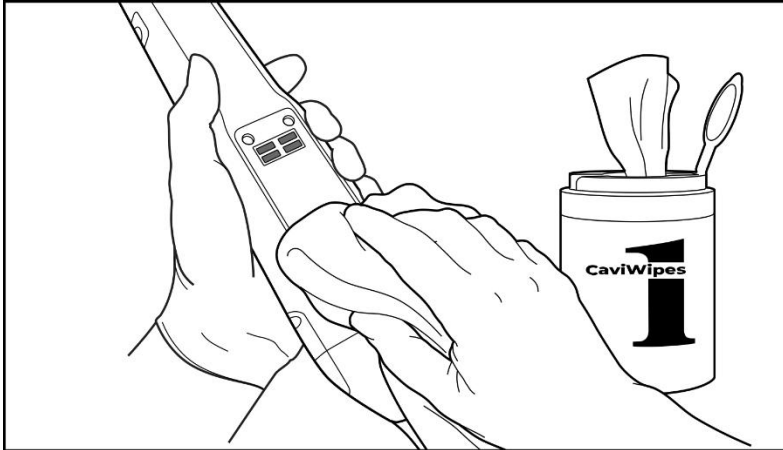


図 202: CaviWipes1を使用してゴミを取り除く

2. 柔らかい毛ブラシを使用し、溝、へこんだ部分、継ぎ目、通気口などに特に注意しながら、ワンド本体とワンドの先端の残留物や汚れを取り除きます。外見が清潔になるまでブラシをかけます。

注意：ワンドの破損を防ぐため、レンズにブラシを使用しないでください。

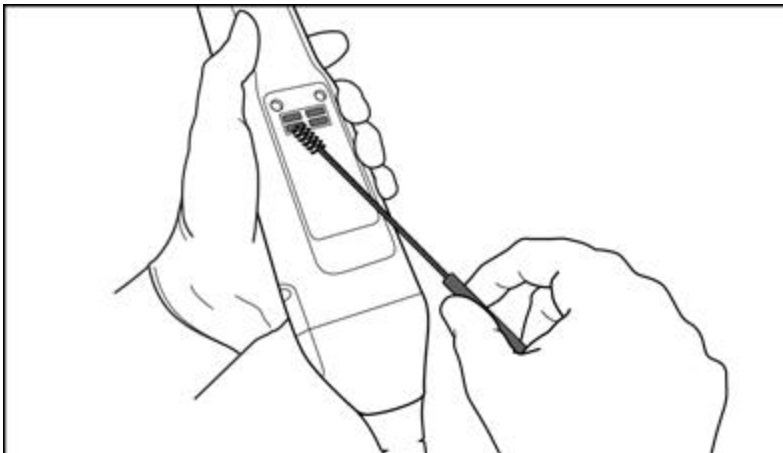


図 203: 柔らかい毛のブラシを使用して汚れやシミを取り除く

3. CaviWipes1を使用して、ワンド本体とワンドの先端の残留物を取り除きます。
4. 明るい場所でデバイスを目視検査し、すべての表面が外見的に清潔であることを確認します。

消毒

1. CaviWipes1を使用し、レンズを含むワンド本体とワンドの先の外面すべてを完全に湿らせ、最低でも1分間その状態を保ちます。

注：必要に応じて、複数の新しいワイプを使用し、ワンドの表面を1分間完全に湿った状態にします。

3. 70%のイソプロピルアルコール(IPA)で(液が滴らない程度に)湿らせた糸くずの出ない布を使用し、ワンドのレンズの外見がきれいになるまで徹底的に拭きます。

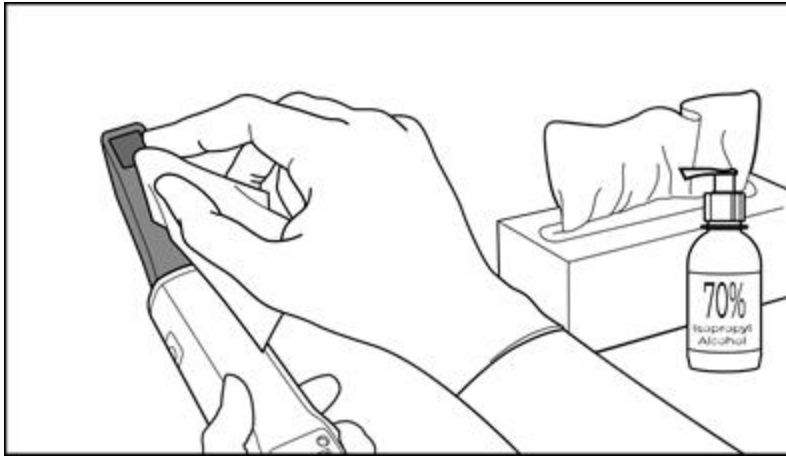


図 204: IPAでワンドのレンズを拭く

4. レンズが乾くまで待ちます(約5～10秒)。
5. 糸くずの出ない乾いた布を使用し、レンズから残留物をすべて取り除きます。

11.2.3 乾燥 - ワンド本体

消毒したワンドを、風通しの良い場所で室温で乾かします。

11.2.4 保管とメンテナンス

1. ワンドを目視検査し、腐食、変色、孔食、亀裂のような劣化など、目立った破損がないことを確認します。レンズには特別な注意を払い、清潔に保つようしてください。

警告：損傷が検出された場合は、ワンドを使用しないでください。詳細については、iTeroサポートにお問い合わせください。

2. 青いプロテクトスリーブをワンドの先端に取り付けます。
3. 以下の[クレードルの洗浄と消毒](#)で説明されている方法で、洗浄および消毒したクレードルにワンドを納めます。
4. ラップトップパソコンまたはモバイル設定のスキャナの場合、使用していない時には、付属のキャリーケースまたは運搬用ケースにワンドを保管してください。

11.3 クレードルの洗浄と消毒

ワンドクレードルは、洗浄と消毒のために以下のセクションの手順を必要とします。

これらの手順を、以下の時に実行してください。

- スキャナの組み立て後、初回使用前
- ある患者から別の患者の治療に移る時

警告: 身体的な危険を防ぐために、推奨される洗浄および消毒ガイドラインから逸脱したり、推奨されている製品を変更または置き換えたりしないでください。

クレードルが適切に再処理され、使用する準備ができていることを確認するには、以下のすべての洗浄および消毒手順に従う必要があります。

11.3.1 洗浄と消毒前の準備

1. クレードルを目視検査して、変色、孔食、亀裂のような劣化など、目立った破損がないことを確認します。

注意: 破損が見つかった場合は、クレードルを洗浄、消毒、または使用しないでください。詳細については、iTeroカスタマーサポートにお問い合わせください。

2. 以下を準備します。

◦ 必要な洗浄および消毒用品:

- CaviWipes1(または、代替用品。そのリストと必要な消毒時間については、[承認済みの洗浄および消毒用品](#)を参照)
- 柔らかい毛ブラシ(Healthmarkトランペットバルブブラシの細い方の先端[直径1mm]、カタログ番号3770またはそれと同等のもの)

◦ 個人用防護具(PPE)と作業環境

- 洗浄および消毒用品の製造元の指示に従ってください。

注: 目に見える破損または汚れがある場合は、洗浄および消毒用品(ブラシ/ワイブ)を交換してください。

洗浄および消毒手順を開始する前に、PPEを着用してください。

11.3.2 クレードルの洗浄と消毒

洗浄

1. CaviWipes1で少なくとも1分間、クレードル上のすべてのゴミを取り除きます。

注：代替の消毒剤を使用する場合、必要な接触時間については[承認済みの洗浄および消毒用品](#)を参照してください。

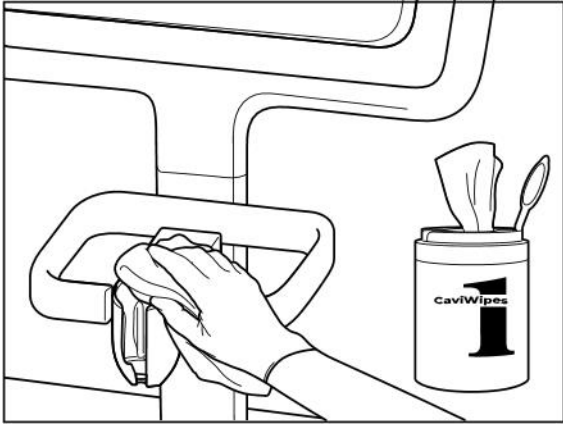


図 205:iTerоエレメント 2クレードルを拭く

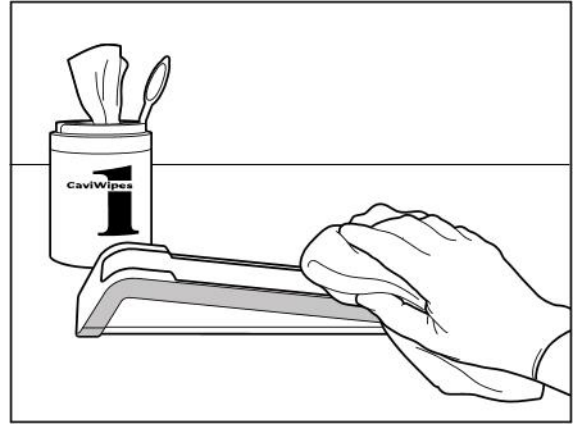


図 206:iTerоエレメント フレックスクレードルを拭く

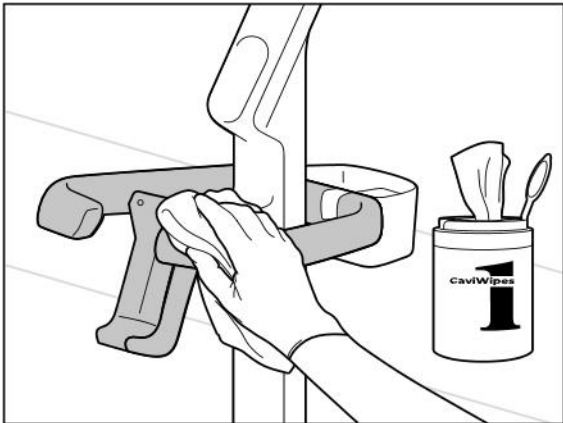


図 207:iTerоエレメント2プラスカート設定クレードルを拭く



図 208:iTerоエレメント2プラスモバイル設定クレードルを拭く

2. 柔らかい毛ブラシを使用して、溝、へこんだ部分、継ぎ目などに特に注意を払いながら、クレードルの残留物や汚れを取り除きます。

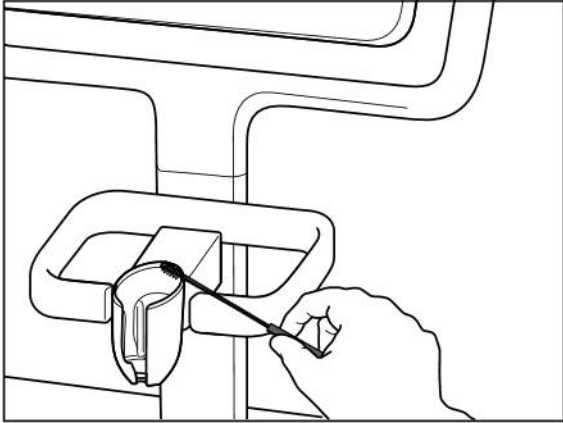


図 209: iTeroエレメント 2クレードルにブラシをかける

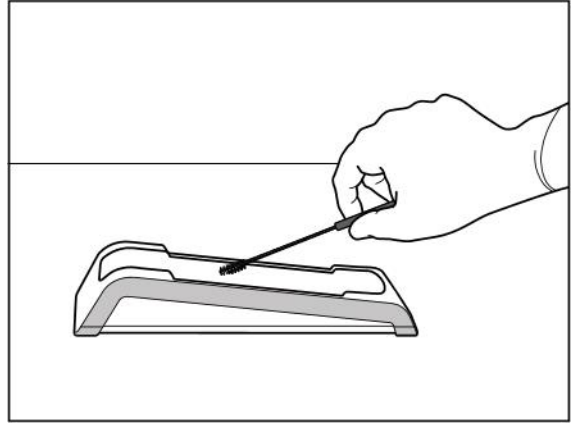


図 210: iTeroエレメント フレックスクレードルにブラシをかける

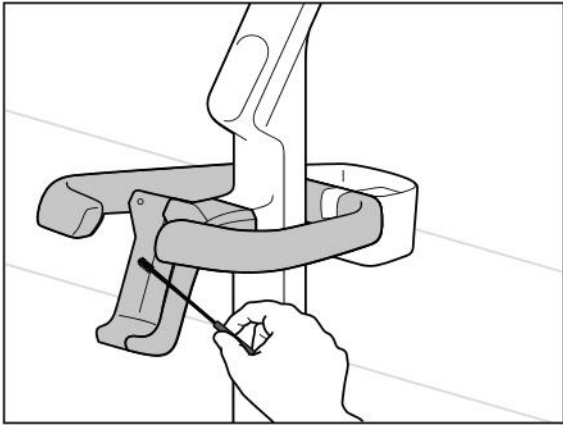


図 211: iTeroエレメント2プラスカート設定クレードルにブラシをかける

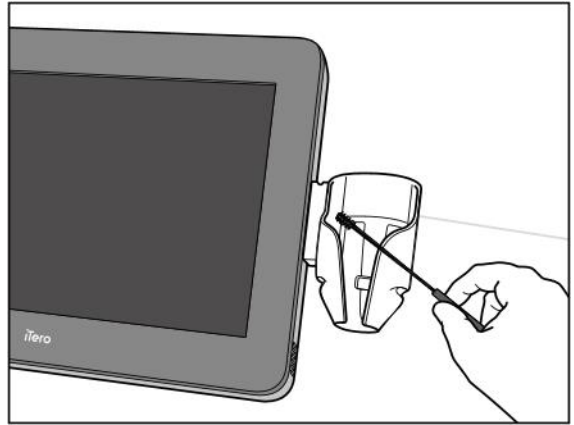


図 212: iTeroエレメント2プラスモバイル設定クレードルにブラシをかける

3. CaviWipes1を使用して、クレードルの残留物を取り除きます。
4. 明るい場所でクレードルを目視検査し、すべての表面が外見的に清潔であることを確認します。

消毒

- CaviWipes 1を使用して、クレードルの外面すべてを完全に湿らせ、最低でも1分間その状態を保ちます。
注: 必要に応じて、複数の新しいワイプを使用して、クレードルの表面を1分間完全に湿った状態にします。

11.3.3 乾燥 – クレードル

消毒したワンドを風通しの良い場所で室温で乾かします。

11.3.4 保管とメンテナンス

クレードルを目視検査して、変色、孔食、亀裂のような劣化など、目立った破損がないことを確認します。

警告： 損傷が検出された場合は、クレードルを使用しないでください。詳細については、iTeroカスタマーサポートにお問い合わせください。

iTeroエレメント フレックスクレードルは、使用していない時には、付属のキャリーケースに保管してください。

11.4 スキャナのタッチスクリーンとホイールスタンドのハンドルの洗浄と消毒

スキャナのタッチスクリーンとホイールスタンドのハンドルは、患者の治療ごとに、次のようにクリーニングする必要があります：

1. 承認済みの消毒用ワイプ、または承認済みの消毒剤を糸くずのない清潔な布に塗布し、すべての外面を清掃し、製造元の指示に従ってください。承認されているもののリストについては、[承認済みの洗浄および消毒用品](#)を参照してください。
2. 清潔な布で残留液体消毒剤を除去して下さい。

注意： 研磨剤入りの洗剤や腐食性の洗浄剤、または酸、塩基、酸化剤、溶剤を含む消毒剤は使用しないでください。

11.5 通常の洗浄

上記に記載されていないすべてのスキャナ部品およびアクセサリーは、標準の操作手順または地域の規制に従って洗浄する必要があります。

上記のプロセスに加えて、国の基準および規制要件が適用される場合があります。

11.6 承認済みの洗浄および消毒用品

以下の表は、Alignが推奨する洗浄および消毒用品、および必要な最小消毒時間を示しています。

液体の消毒剤を使用する場合は、清潔で滅菌した糸くずの出ない布を液体に浸し、湿り気を含む程度まで絞り、本書に記載されている洗浄と消毒の手順に従ってください。

製品	有効成分	接触時間(分)
CaviWipes1 / CaviCide1	第四級アンモニウム化合物 - アルコール	1
CaviWipes / CaviCide	第四級アンモニウム化合物 - アルコール	3
Clorox HPワイプ	1.4% 過酸化水素	5
Oxivir®1ワイプ	AHP過酸化水素	1
Clinellユニバーサルレンジワイプ	50% 以下の過酢酸	2

注: 推奨される代替消毒剤がお住まいの地域で利用できない場合は、お住まいの地域の同等の消毒製品を保持する地域のサプライヤーに相談してください。同等の製品は、地域の規制要件を満たし、同じ有効成分を含む必要があり、さらに、少なくとも肝炎と結核を消毒できるものでなければなりません。

A LANネットワークのガイドライン

A.1 はじめに

スキャナは、iTeroクラウド間とのファイル転送をサポートするために無線LANに接続することができます。他のワイヤレスデバイスへの接続はサポートされていません。

以下は、良好なWi-Fi接続のため、いくつかの役に立つガイドラインです：

Wi-Fiインターネット接続のレベル



非常に良好

>-50 dBm



良好

-50 ~ -60 dBm



適正

-60 ~ -70 dBm



弱い

<-70 dBm

重要： iTero スキャナの性能を最大限に引き出せるよう、Wi-Fiの受信強度が「非常に良好」または少なくとも「良好」に達していることを確認してください。

警告： 感電を防ぐために、LANケーブルをスキャナに接続しないでください。

A.2 準備

- 必要なモデム/ルーターは、パスワードを含む、WPA2セキュリティ基準を使用して設定する必要があります。
- スキャナの設置が予定されている時、IT担当者が確実に対応できるようにしておいてください。
- Wi-Fi SSIDの認証情報が使用可能であることを確認してください：ログインとパスワード。
- 上記のように、システムの最小Wi-Fi強度信号は少なくとも3つのラインを表示する必要があります。
- 以下は、iTeroスキャナへのアクセスやiTeroスキャナとの接続における問題を防ぐために考慮すべき、IT担当者向けの留意事項です。
- ポート443を聞いているAlignサービスに関連する推奨ホスト名 説明は [推奨されるAlignホスト名](#)。
- スキャナは特定の種類のファイル(.3dsおよび.3dc/.3dm)を送信するため、FTP通信を妨げないでください。
- TCP/IPを介したデータ通信用のプロキシクライアントを無効にします。
- スキャナをドメイングループに追加しないでください。
- 正常に機能しなくなる可能性があるため、スキャナでグループポリシーを実行しないでください。

A.3 ルーターのガイドライン

最低規格 : 802.11N / 802.11AC

A.4 インターネット 接続ガイドライン

iTero スキャナの性能を最大限に引き出せるよう、インターネット 接続アップロード速度が少なくともスキャナ1台につき1Mbpsであることを確認してください。また、スキャナと並行してインターネットに接続されている他のデバイスは、スキャナの性能に影響を与える可能性があるという点に注意してください。

A.5 ファイアウォール

次のポートを開きます(ファイアウォールの場合) :

- 443 - HTTPS - TCP

A.6 Wi-Fiのヒント

Wi-Fiルーターを使用すると、基本的には無線ネットワークの範囲内のどこからでもWi-Fi接続を使用してインターネットシステムにアクセスできます。しかしながら、壁、天井、その他の仕切りの数、深さ、位置によって、信号の強度や範囲が制限される可能性があります。通常、信号は、家の中や職場での環境や背景のRF(無線周波数)ノイズによって異なります。

- ルーターと他のネットワークデバイスとの間には、壁と天井の数を最小限にするようにしてください。1つ障壁があると、アダプタの範囲が1〜3メートル(3〜9フィート)減る恐れがあります。
- ネットワークデバイス間には、仕切りがない直線のスペースを確保してください。薄く見える壁であっても、角度が2度傾いていると、1メートル(3フィート)の信号を遮ることがあります。受信強度をできるだけ上げるためには、Wi-Fiの電波が壁や仕切りを(斜めにではなく)直進するようにすべてのデバイスを配置してください。
- 建材によっても違いが生じます。硬い金属製のドア、またはアルミ製の釘は非常に緻密であり、Wi-Fi信号に悪影響を及ぼす可能性があります。信号が乾式壁または開いた戸口を通るように、アクセスポイント、ワイヤレスルーター、およびコンピュータを配置してください。ガラス、スチール、金属、断熱壁、水の入ったタンク(水槽)、鏡、ファイルキャビネット、レンガ、コンクリートなどの物質や物体は、無線信号を減退させることがあります。
- スキャナを、RFノイズを発生する電気機器または電気器具から(少なくとも3〜6フィートまたは1〜2メートル)離してください。
- 2.4GHzのコードレス電話またはX-10(シーリングファン、リモートライト、およびホームセキュリティシステムなどのワイヤレス製品)を使用している場合は、ワイヤレス接続が著しく低下したり、完全に落ちる可能性があります。多くのワイヤレスデバイスのベースは、デバイスが使用されていなくてもRF信号を送信します。他のワイヤレス機器は、スキャナとルーターからできるだけ離れた場所に配置してください。
- お住まいの場所では、複数のアクティブなワイヤレスネットワークが存在している可能性があります。各ネットワークは1つ以上のチャンネルを使用しています。チャンネルがシステムのチャンネルの近くにあると、通信が徐々に低下することがあります。IT部門に調査を依頼し、必要に応じてネットワークで使用されているチャンネル番号を変更して下さい。

A.7 推奨されるAlignホスト名

Alignは絶えずその製品とサービスを改善しており、特定のIPアドレスではなくホスト名を使用しています。

以下のホスト名リストは、Alignのスキャナに適切な操作機能を提供し、スキャナのパフォーマンスと高度な機能をすべて利用できるようにするために作成されました。

推奨されるAlignホスト名：

ホスト名	ポート
Mycadent.com	443
Myaligntech.com	443
Export.mycadent.com	443
Cbserver.mycadent.com	443
Matstore3.invisalign.com	443
Matstoresg.invisalign.com	443
Matstorechn.invisalign.com.cn	443
AWS IP範囲 - AmazonグローバルCDNサービス - IPアドレス範囲はスキャナの場所によって異なります。	443
cloud.myitero.com	443
https://itero-scanner-speed-test-prd.s3-accelerate.amazonaws.com/	443
alignapi.aligntech.com	443
https://www.google.com	443
https://www.microsoft.com	443
https://www.yahoo.com	443
iterosec.aligntech.com	443
storage.cloud.aligntech.com	443
http://*.trendmicro.com	443
https://*.trendmicro.com	8080, 21112

B EMC表示

B.1 EMC表示 – iTeroエレメント 2およびiTeroエレメント フレックス

IEC 60601-1-2エディション4.0(2014)

医療用電気機器 - 第1-2部: 基本的安全性と本質的性能のための一般要件 - 担保規格: 電磁妨害 - 要件と試験。

CFR 47 FCC

規制および規則:
Part 15。無線周波デバイス。
サブパートB: 意図しない放射器 (2015)

ETSI EN 301 489-1, ETSI EN 301 489-17 (iTero エレメント 2にのみ関連)

無線装置及びサービスの電磁的両立性(EMC)規格; パート1: 共通技術要求事項

用途の環境

プロフェッショナルヘルスケアおよび在宅医療施設の環境

iTeroエレメント 2およびiTeroエレメント フレックス口腔内スキャナの基本性能は次のとおりです:

- タッチスクリーンに干渉せずにビューファインダーと3Dイメージングを表示します。
- 保存されたスキャンデータはアクセス可能であり、表示できます。

注: 電磁妨害により、場合によっては、画像が消えて、タッチスクリーンに非通信メッセージが表示されます。ユーザーの介入後または自動回復により、スキャナを操作モードに戻すことができます。

以下は、iTeroエレメント 2 およびiTeroエレメント フレックススキャナのEMC試験結果の概要です:

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
エミッション (IEC 60601-1-2 セクション 7)			
伝導放射 周波数範囲: 150kHz~ 30MHz	CISPR 11	230、220、120および100 VAC電源 @ 50 Hzのグループ1クラスB。220 VAC電源 @ 60 Hz	準拠
放射妨害波 周波数範囲: 30~ 1000MHz	CISPR 11	グループ1クラスB	準拠
高調波電流放射検査	IEC 61000-3-2	230 VAC 電源 @ 50 Hz 及び220 V @ 50 Hz & 60 Hz	準拠
電圧変化、電圧変動及びブ リッカー試験	IEC 61000-3-3	230 VAC 電源 @ 50 Hz 及び220 VAC 電源 @ 50 Hz	準拠

電磁波耐性 (IEC 60601-1-2 セクション 8)

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
静電気放電(ESD)に対する耐性	IEC 61000-4-2	8 kV 接触放電及び 15 kV 気中放電	準拠
放射電磁界からの耐性	IEC 61000-4-3	10.0 V/m; 80 MHz ÷ 2.7 GHz, 80% AM、1 kHz	準拠
無線通信機器からの近接場からの耐性	IEC 61000-4-3	周波数リスト 9V/mから28V/mまで、 PM(18Hzまたは217Hz)、FM1kHz	準拠
電気的高速過渡現象(EFT)に対する耐性	IEC 61000-4-4	230 VAC @ 50 Hzで±2.0 kV; 及び220 VAC 電源@ 60 Hz Tr/Th – 5/50 ns, 100 kHz	準拠
サージに対する耐性	IEC 61000-4-5	230VAC主電源では±2.0 CM /±1.0 kV DM 50 Hz、及び220 VAC 主電源@ 60 Hz に て Tr/Th – 1.2/50 (8/20) ms	準拠
無線周波数場による誘導妨害からの耐性	IEC 61000-4-6	230 VAC主電源@ 50 Hzで3.0、6.0 VRMS 及び220 VAC主電源@ 60 Hz & ワンド ケーブル; 0.15÷ 80 MHz, 80% AM @ 1 kHz	準拠
電圧降下、短時間中断および電圧変動からの耐性	IEC 61000-4-11	230 VAC 及び 100 VAC 主電源@ 50 Hz で: 0% ~ 0.5サイクル及び1サイクル; 70% ~ 25サイクル; 0% ~ 250サイクル; 220 VAC主電源@ 60 Hz: 0%-0.5サイク ル& 1サイクル; 70%-30サイクル; 0%-300 サイクル	準拠

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
放射 (ETSI EN 301 489-1、ETSI EN 301 489-17あたり)			
(iTeroエレメント 2のみに関連)			
周波数の主電源端子での伝導性放出範囲150 kHz ~ 30 MHz	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 55032	グループ1クラスB 230 VAC電源	準拠
放射電界 周波数範囲30 ~ 6000 MHz	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 55032	クラスB	準拠
高調波電流試験	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 61000-3-2	230 VAC電源	準拠
フリッカー試験	ETSI EN 301 489-1; EN 61000-3-3	230 VAC電源	準拠
耐性 (ETSI EN 301 489-1、ETSI EN 301 489-17による)			
(iTeroエレメント 2のみに関連)			
静電気放電 (ESD) に対する耐性	EN 61000-4-2	4 kVの接触放電 8 kVの空気放電	準拠
放射電磁界からの耐性	EN 61000-4-3	3.0 V/m、 80 MHz、6.0 GHz、 80% AM、1 kHz	準拠
電気的高速過渡現象 (EFT) に対する耐性	EN 61000-4-4	AC電源: ±1.0 kV; Tr/Th – 5/50 ns, 5 kHz	準拠
サージに対する耐性	EN 61000-4-5	AC主電源: ±1.0 kV DM / ±2.0 kV CM、 Tr/Th – 1.2/50 (8/20) ms	準拠
無線周波数場による誘導妨害からの耐性	EN 61000-4-6	AC電源: 3.0 VRMS; 0.15+80 MHz, 80% AM @ 1 kHz	準拠
電圧中断からの耐性	EN 61000-4-11	AC電源: 0% ~ 0.5サイクル及び1サイクル; 70% ~ 25サイクル; 0% ~ 250サイクル	準拠

B.2 EMC表示 – iTeroエレメント2プラス

IEC 60601-1-2エディション 4.0
(2014)/EN 60601-1-2 (2015)

医療用電気機器 - 第1-2部: 基本的安全性と本質的性能のための一般要件 - 担保規格: 電磁妨害 - 要件と試験。

CFR 47 FCC

規制および規則:
Part 15. 無線周波デバイス。
サブパートB: 意図しない放射器 (2020)

ETSI EN 301 489-1, ETSI EN 301 489-17

無線装置及びサービスの電磁的両立性 (EMC) 規格

用途の環境

プロフェッショナルヘルスケアおよび在宅医療施設の環境

iTerоエレメント2プラス口腔内スキャナの基本性能は次のとおりです:

- タッチスクリーンに干渉せずにビューファインダーと3Dイメージングを表示します。
- 保存されたスキャンデータはアクセス可能であり、表示できます。

注: 電磁妨害により、場合によっては、画像が消えて、タッチスクリーンに非通信メッセージが表示されます。ユーザーの介入後または自動回復により、スキャナを操作モードに戻すことができます。

以下は、iTerоエレメント2プラススキャナのEMC試験結果の概要です:

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
エミッション (IEC60601-1-2 / EN 60601-1-2セクション7.1および7.2)			
伝導放射 周波数範囲: 150kHz ~ 30MHz	CISPR 11 / EN 55011	グループ1クラスB: - AC電源 (240 V、230 V、120 V、100 V; 220 V @ 60 Hz)	準拠
放射妨害波 周波数範囲: 30 ~ 1000MHz	CISPR 11 / EN 55011	グループ1クラスB	準拠
高調波電流放射検査	IEC 61000-3-2 / EN 610003-2	AC電源 (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz)	準拠
電圧変化、電圧変動及びフリッカー試験	IEC 61000-3-3 / EN 610003-3	AC電源 (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 50 Hz)	準拠
電磁波耐性 (IEC 60601-1-2 / EN 60601-1-2セクション8.9および8.10)			
静電気放電 (ESD) に対する耐性	IEC 61000-4-2 / EN 61000-4-2	8kVの接触放電および15kVの気中放電 (ACモード (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz) およびバッテリーモード)	準拠

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
放射電磁界からの耐性	IEC 61000-4-3 / EN 61000-4-3	10.0 V/m; 80 MHz ÷ 2.7 GHz, 80% AM、1 kHz (ACモード(230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz) およびバッテリーモード)	準拠
無線通信機器からの近接 場からの耐性	IEC 61000-4-3 / EN 61000-4-3	周波数リスト 9V/mから28V/mまで、 PM(18Hzまたは217Hz)、FM1kHz	準拠
電気的高速過渡現象 (EFT)に対する耐性	IEC 61000-4-4 / EN 61000-4-4	AC主電源では±2.0kV (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz); Tr/Th – 5/50 ns, 100 kHz	準拠
サージに対する耐性	IEC 61000-4-5 / EN 61000-4-5	AC主電源では±2.0 CM /±1.0 kV DM (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz); Tr/Th – 1.2/50 (8/20) μs	準拠
無線周波数場による誘導 妨害からの耐性	IEC 61000-4-6 / EN 61000-4-6	AC主電源では6.0VRMS (230 V @ 50 Hz & 220 V @ 60 Hz) および患者ケーブル; 0.15÷ 80 MHz, 80% AM, 1 kHz	準拠
電力周波数磁界からの耐 性	IEC 61000-4-8 / EN 61000-4-8	30 A/m @ 50 Hz & 60 Hz (ACモードとバッテリーモード)	準拠
電圧降下、短時間中断およ び電圧変動からの耐性	IEC 61000-4-11 / EN 61000-4-11	ACモード (240 V @ 50 Hz, 100 V @ 50 Hz): 0% - 0.5 サイクル及び 1 サイクル; 70% ~ 25サイクル; 0% ~ 250サイクル; ACモード (220 V @ 60 Hz): 0% ~ 0.5サイクル及び1サイクル; 70% ~ 30サイクル; 0% ~ 300サイクル	準拠
放射 (ETSI EN 301 489-1、ETSI EN 301 489-17あたり)			
周波数の主電源端子での 伝導性放出範囲150 kHz ~ 30 MHz	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 55032	グループ1クラスB 230 VAC電源	準拠
放射電界 周波数範囲30 ~ 6000 MHz	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 55032	クラスB	準拠

試験	標準	クラス/深刻度レベル	試験結果
高調波電流試験	ETSI EN 301 489-1; ETSI EN 301 489-17 / EN 61000-3-2	230 VAC電源	準拠
フリッカー試験	ETSI EN 301 489-1; EN 61000-3-3	230 VAC電源	準拠
耐性 (ETSI EN 301 489-1、ETSI EN 301 489-17による)			
静電気放電(ESD)に対する耐性	EN 61000-4-2	4 kVの接触放電 8 kVの空気放電	準拠
放射電磁界からの耐性	EN 61000-4-3	3.0 V/m、 80 MHz、6.0 GHz、 80% AM、1 kHz	準拠
電気的高速過渡現象(EFT)に対する耐性	EN 61000-4-4	AC電源: ±1.0 kV; Tr/Th – 5/50 ns, 5 kHz	準拠
サージに対する耐性	EN 61000-4-5	AC主電源: ±1.0 kV DM / ±2.0 kV CM、 Tr/Th – 1.2/50 (8/20) ms	準拠
無線周波数場による誘導妨害からの耐性	EN 61000-4-6	AC電源: 3.0 VRMS; 0.15+80 MHz, 80% AM @ 1 kHz	準拠
電圧中断からの耐性	EN 61000-4-11	AC電源: 0% ~ 0.5サイクル及び1サイクル; 70% ~ 25サイクル; 0% ~ 250サイクル	準拠

C iTeroエレメント 製品 セキュリティホワイトペーパー

このホワイトペーパーは、iTeroエレメントのファミリー製品に適用されます。ご使用になる製品のバージョンによっては、製品の機能に違いがある場合があります。さらに、このホワイトペーパーは特定の時点で作成されたため、製品セキュリティエコシステムの進化と成熟に応じて、アライン・テクノロジー社製品のセキュリティ対策に変更が加えられる可能性があります。

私達はライフサイエンスおよびヘルスケアを理解し、組織全体のセキュリティに取り組んでいます。

ライフサイエンスおよびヘルスケア製品に対するサイバー攻撃の脅威は常に進化しています。これを念頭に置いて、当社は、製品に関連するセキュリティリスクを最小限に抑えることに焦点を当てた製品セキュリティプログラムを積極的に確立し、新たな脅威への警戒を緩めず、製品を継続的に改善しています。

私達はセキュリティとプライバシーの考慮事項を設計によって、弊社製品のライフサイクル全体に組み込むことの重要性を認識しています。これを達成するために、エンジニアリング/ソフトウェア開発、セキュリティ、法律/プライバシー、情報技術、および品質の代表者を含む、部門を超えた製品セキュリティチームを設立しました。



堅牢なリスク管理プロセスを使用して、セキュリティリスクを特定します。

アライン・テクノロジー社は、当社が設計、開発、および保守する製品のセキュリティおよびプライバシーのリスクに対処し、最小限に抑えることに取り組んでいます。製品開発の最初に適切なリスク軽減策を実施できるように、製品の詳細な評価を実施しています。製品のリスクレベルと製品の機能に基づいて、以下の方法が適用されています。

製品セキュリティリスク管理プログラム: アライン・テクノロジー社は、iTeroエレメントファミリー製品についてプログラムを実施しました。方法には、計画と情報収集、製品エコシステムの調査、製品セキュリティリスク評価の実行、脅威と脆弱性の分析、適用可能なセキュリティ管理の評価、および特定されたギャップの残余リスクレーティングの計算が含まれます。評価の一環として検討されるセキュリティおよびプライバシーのリスクおよび管理は、AAMI TIR57、NIST CSF、IEC/TR 80001-2-2、および米国FDAによる医療機器サイバーセキュリティのための販売前申請に関するドラフトガイダンスを含む業界をリードするプラクティスのセキュリティリスクフレームワークを活用しますが、これに限定されるものではありません。

製品のセキュリティおよびプライバシー機能。

私たちは、製品の設計とメンテナンスを通じて、データと患者を保護することを目指しています。製品開発に対するセキュリティおよびプライバシーバイデザインのアプローチの結果として、iTeroエレメントのファミリー製品に以下の非網羅的なセキュリティ管理を実装しました。



- 保存データの暗号化:** スキャナは、AES-256を使用して暗号化データベースに個人識別情報(PII)を保存し、Microsoft暗号化ファイルシステム(EFS)を使用して暗号化フォルダに口腔内スキャン画像を保存します。この暗号化技術により、攻撃者がスキャナに保存されている患者情報を取得するのを防ぐことができます。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- 転送中データの暗号化:** AlignサーバーにバックアップされたPIIおよび口腔内スキャン画像は、信頼できる証明書を使用してトランスポート層セキュリティ(TLS) 1.2暗号化を介して送信されます。これは、攻撃者が転送中に患者の情報を取得するのを防ぐのに役立ちます。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- マルウェア対策保護を実施:** スキャナには、システム上の悪意のあるファイルをチェックするTrend Microアンチウイルスソフトウェアがプリインストールされています。ウイルス対策ソフトウェアの定義は頻繁に更新され、デバイスのスキャンは毎日実行されるようにスケジュールされています。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- 許可なくリモートメンテナンスの実施不可:** デバイスはTeamViewerを使用してリモートセッションを確立します。TeamViewerソフトウェアに接続するには、Alignサービス担当者にユーザーIDとパスワードを提供する必要があります。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- オペレーティングシステムとソフトウェアの変更への制限:** スキャナは、ユーザーがオペレーティングシステムとソフトウェアコンポーネントに不要な変更を加えることを防ぐキオスクモードを実装しています。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- ユーザーアクセス管理制御の適用:** スキャナを使用するには、ユーザーアカウントとパスワードが必要です。これにより、スキャナへのアクセスを保護し、不正使用から保護します。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能
- 職務分離を適用:** スキャナは、異なる役割を持つ複数のユーザーアカウントを1つのスキャナに登録する機能を提供しています。医師、アシスタント、およびサポート技術者といった役割設定があります。これにより、個々のユーザーが行ったアクティビティを追跡し、デバイスをより適切に保護できるようになります。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能

顧客のセキュリティとプライバシーの責任。

評価の一環として、製品の使用方法に依存するリスクを特定しました。私たちがお客様に提供する製品の安全確保は、すべての利害関係者がその責任を共有しています。iTerio@エレメント™光学印象システムシリーズで実施された評価に基づいて、製品を保護するために以下のセキュリティ対策を講じることが望まれます。

- 製品およびその動作環境を物理的に保護する:** 製品の物理的セキュリティを保護し、安全な方法で操作することは、お客様の責任です。iTerio@エレメント™フレックスシステムの場合、セキュリティカメラやセキュリティバッジなどのメカニズムを使用して、アプリケーションをホストするプラットフォームへの物理アクセスを制御および監視します。また、使用されていないネットワーク機器の物理ポートをシャットダウンして、アプリケーションへの不正アクセスを防止します。

iTerioエレメント、iTerioエレメント 2、iTerioエレメント フレックス、iTerioエレメント 5D、iTerioエレメント 5Dラップトップ設定、iTerioエレメント 2プラス、iTerioエレメント 5Dプラス、iTerioエレメント 5D プラススライトに適用可能

- **ネットワークを安全に操作および保護する:** 特に公共インターネットに公開する場合、適切に強化されたネットワーク/アプリケーションファイアウォールや、ネットワークのセグメンテーションを使用したネットワーク侵入検知および防止メカニズムを使用して、ネットワークを保護するのは、お客様の責任です。さらに、データは適切な方法で廃棄し、地域のすべての法律および規制を遵守してください。

iTeroエレメント、iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、iTeroエレメント 5D、iTeroエレメント 5Dラップトップ設定、iTeroエレメント 2プラス、iTeroエレメント 5Dプラス、iTeroエレメント 5D プラスサイトに適用可能

- **悪意のあるモバイルコードを検出する:** iTero®エレメント™フレックスホストマシンのウイルス対策/マルウェア対策保護を選択して実装するのはお客様の責任です。本ソフトウェアの実行によるパフォーマンスの低下を防ぐために、必要に応じてCPUおよびメモリリソースを追加する必要があります。

iTeroエレメント フレックスおよびiTeroエレメント 5D ラップトップ設定に適用可能

- **強力なパスワードを作成し、ログイン資格情報を保護する:** スキャナにアクセスしてシステムを調整するために強力なパスワードを設定するのはお客様の責任です。特殊文字と組み合わせる文字数が多いほど、強力になります。個人情報なしでパスフレーズを使用することは、90日ごとにパスワードを変更するとともに、強力なパスワードを確実に取得する最も簡単な方法の1つです。スキャナとAlignシステムにアクセスするためのユーザー名とパスワードのログイン認証情報は誰とも共有せず、安全な環境で作業を行うことによりこれを保護してください。

iTeroエレメント、iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、iTeroエレメント 5D、iTeroエレメント 5Dラップトップ設定、iTeroエレメント 2プラス、iTeroエレメント 5Dプラス、iTeroエレメント 5D プラスサイトに適用可能

- **職務分離を適用し、使用しないスタッフアカウントは直ちに削除する:** お客様がスキャナにアクセスできる複数のユーザーアカウントを作成している場合、お客様の責任においてそれらの複数のユーザーアカウントを医師、アシスタント、またはサポート技術者の適切な役割分担で登録してください。これにより、個々のユーザーが行ったアクティビティを追跡し、デバイスをより適切に保護できるようになります。さらに、スタッフがスキャナへのアクセスを必要としなくなった場合、お客様の責任においてユーザーアカウントを削除してください。

iTeroエレメント、iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、iTeroエレメント 5D、iTeroエレメント 5Dラップトップ設定、iTeroエレメント 2プラス、iTeroエレメント 5Dプラス、iTeroエレメント 5D プラスサイトに適用可能

- **現在のデータバックアップを確認し、最新のソフトウェアバージョンを維持する:** お客様の責任において、スキャナがAlignシステムに接続された状態でのPIIと口腔内スキャンイメージのAlignサーバーへのバックアップ、および必要に応じて最新のスキャナ更新が適用されるための再起動を行ってください。

iTeroエレメント、iTeroエレメント 2、iTeroエレメント フレックス、iTeroエレメント 5D、iTeroエレメント 5Dラップトップ設定、iTeroエレメント 2プラス、iTeroエレメント 5Dプラス、iTeroエレメント 5D プラスサイトに適用可能

- **暗号化されていないエクスポートデータ:** お客様の責任において、デジタル署名やリムーバブルメディアの暗号化などのメカニズムを使用して、口腔内画像などのエクスポートされたデータを保護してください。

iTeroエレメント フレックスおよびiTeroエレメント 5D ラップトップ設定に適用可能

記載されているリスクについて質問や不明点がある場合は、ご遠慮なくTRM@aligntech.comまたは[privacy@aligntech.com](https://www.aligntech.com/privacy)までご連絡ください。

D システム仕様

本セクションには、次のシステムの仕様について記載されています。

- [iTeroエレメント 2 システム仕様](#)
- [iTeroエレメント フレックスシステムの仕様](#)
- [iTeroエレメント2プラスシステム仕様](#)

D.1 iTeroエレメント 2 システム仕様

モニター	21.5インチフルHD (1920x1080) タッチスクリーン	
ワンド	<ul style="list-style-type: none"> ワンドは、赤色レーザー光 (680nmクラス1) と白色LED光、を放射します。 ワンドの動作電力: 15VDC 	
無線LAN	LANカードは、ワイヤレス接続によってローカルネットワーク通信を提供します。	
セキュリティ	iTeroエレメント製品セキュリティホワイトペーパー を参照してください。	
動作電力	100-240 VAC- 50/60 Hz- 200VA (最大)	
動作温度	18° ~ 26°C / 64.4° ~ 78.8°F	
保管/輸送温度	-5°C ~ 50°C / 23°F ~ 122°F	
動作圧力と高度	圧力: 520 mmHg ~ 771 mmHg (-69 kPa ~ -103 kPa) 高度: -400フィートから10,000フィート	
保管/輸送圧力と高度	圧力: 430mmHg ~ 760mmHg (約57kPa ~ 約101kPa) 高度: 0フィート ~ 15,000フィート	
相対湿度	稼働時: 40% ~ 70% 保管: 30% ~ 90%	
寸法	iTeroフルHD タッチスクリーンコンピューティングユニット: <ul style="list-style-type: none"> 高さ: 356 mm (約14インチ) 幅: 552 mm (約21.7インチ) 奥行き: 65 mm (約2.5インチ) ワンド: <ul style="list-style-type: none"> 長さ: 338.5 mm (約13インチ) 幅: 53.5 mm (約2インチ) 奥行き: 69.8 mm (約3インチ) 	ホイールスタンド: <ul style="list-style-type: none"> 高さ: 1280 mm (約50インチ) 幅: 645 mm (約25インチ) 奥行き: 625 mm (約24.5インチ)
正味重量	モニター: 8.3 kg (約18.3ポンド) ワンド: 0.47 kg (約1.0 ポンド)、ケーブルを除く ホイールスタンド: 約13.6 kg (約30ポンド)	

D.2 iTeroエレメント フレックスシステムの仕様

モニター	ラップトップパソコンのスクリーン	
ワンド	<ul style="list-style-type: none"> ワンドは、赤色レーザー光(680nmクラス1)と白色LED光、を放射します。 ワンドの動作電力:15VDC 	
セキュリティ	<p>アライン・テクノロジー社は、お客様とその患者のデータを保護する責任を負っています。すべての患者データは暗号化されたTLSチャンネルを介して送信され、通信と情報は安全に保存されるため、患者データを保護するための合理的な手段を取ることができます。</p>	
動作電力	100 ~ 240VAC ~ 50/60Hz ~ 40VA(最大)	
動作温度	18° ~ 26°C / 64.4° ~ 78.8°F	
保管/輸送温度	-5° ~ 50°C / 23° ~ 122°F	
動作高度	高度:0フィート ~ 10,000フィート	
保管/輸送高度	高度:0フィート ~ 15,000フィート	
相対湿度	稼働時:40% ~ 70%	
	保管:30% ~ 90%	
寸法	<p>iTerоエレメント フレックスハブ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ:206 mm(約8インチ) 幅:94 mm(約3.7インチ) 深さ:36.5 mm(約1.4インチ) <p>iTerоエレメント ワンド:</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ:338.5 (~ 13インチ) 幅:53.5 mm(~ 2インチ) 奥行き:69.8 mm(約3インチ) 	<p>iTerоエレメント フレックスクレードル:</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ:262 mm(約10インチ) 幅:89 mm(~ 3.5インチ) 深さ:52 mm(約2インチ) <p>キャリーケース:</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さ:326.5 mm(約13インチ) 幅:455 mm(~ 18インチ) 奥行:184 mm(約7インチ)
正味重量	<p>iTerоエレメント フレックスハブ:約0.5 kg(約1ポンド)</p> <p>iTerоエレメント フレックス ワンド:0.47 kg(~ 1ポンド)</p> <p>キャリーケースのみの重量: ~ 2 kg(~ 4.5 lbs)</p>	
配送重量	~ 8 kg(約17.6ポンド)	

D.3 iTeroエレメント2プラスシステム仕様

	カート設定	モバイル設定
モニター	21.5インチフルHD(1920x1080) タッチスクリーン	15.6インチフルHD(1920x1080) タッチスクリーン
ワンド	<ul style="list-style-type: none"> ワンドは、赤色レーザー光(680nmクラス1)と白色LED光、を放射します。 ワンドの動作電圧:15VDC 	
無線LAN	LANカードは、ワイヤレス接続によってローカルネットワーク通信を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz、5 GHz 802.11ac 	
セキュリティ	iTeroエレメント製品セキュリティホワイトペーパー を参照してください。	
	カート設定	モバイル設定
動作電力	100-240 VAC- 50/60 Hz- 300 VA (最大)	100-240 VAC- 50/60 Hz- 250 VA (最大)
動作環境条件		
• 温度	18° ~ 26°C / 64.4° ~ 78.8°F	
• 相対湿度	40% ~ 70% (結露しない)	
• 高度	-400フィート ~ 10,000フィート	
輸送環境条件		
• 温度	-5°C ~ 50°C / 23°F ~ 122°F	
• 相対湿度	30% ~ 90%(結露なし)	
• 高度	-400フィート ~ 15,000フィート	
保管環境条件		
• 温度	-5°C ~ 50°C / 23°F ~ 122°F	
• 相対湿度	30% ~ 90%(結露なし)	
• 高度	-400フィート ~ 15,000フィート	

物理的特性

• ワンド	<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 338.5 mm(約13インチ) 幅: 53.5 mm(約2インチ) 奥行き: 69.8 mm(約3インチ) 	
• iTerоフルHDタッチスクリーンコンピューティングユニット	<p>カート設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さ: 356 mm(約14インチ) 幅: 544 mm(約21.5インチ) 奥行き: 60.5 mm(約2.3インチ) 	<p>モバイル設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さ: 275 mm(約10.8インチ) 幅: 419 mm(約16.5インチ) 奥行き: 41.5mm(約1.6インチ)
• ホイールスタンド	<p>カート設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さ: 1279 mm(約50.3インチ) 幅: 544 mm(約21.4インチ) 奥行き: 562 mm(約22.1インチ) 	なし
• ケーブルの長さ	<p>カート設定</p> <p>ワンドケーブル: 1.8 m</p> <p>電源ケーブル: 3000 mm</p>	<p>モバイル設定</p> <p>ワンドケーブル: 1.8 m</p> <p>電源ケーブル: 1600mmまたは3000mm</p>
• 正味重量	<p>カート設定</p> <p>コンピューティングユニット: 10.5 kg(約23.1ポンド)</p> <p>ワンド: 0.47 kg(約1.0ポンド)、ケーブルを除く</p> <p>ホイールスタンド: 約12.5 kg(約27.5ポンド)</p>	<p>モバイル設定</p> <p>クレードルとワンドを含むコンピューティングユニット: 約5.5 kg(約12.0ポンド)</p> <p>運搬用ケースに梱包されたシステム: 約11 kg(約24.0 lbs。)</p> <p>ワンド: 0.47 kg(約1.0ポンド)、ケーブルを除く</p>
CPU仕様	インテル®Core™i7	
GPU仕様	Nvidia	
バッテリー	<p>プラグインや再起動することなく、中断のないスキャンを実現し、オフィスでのポータビリティを容易にする統合バッテリー。性能は以下の通り:</p> <ul style="list-style-type: none"> 30分(カート設定)および10分(モバイル設定)以上持続可能な連続スキャン 2.5時間以内にフル充電 	
スキャナとワンドの二次汚染防止	<ul style="list-style-type: none"> 1回使用の使い捨てスリーブ 	
アクセス可能なポート	USBタイプAおよびC	

スキャン技術

並列共焦点技術

スキャンのプロパティ

- ホバリング不要 – スキャンは0 mmの距離で実行できます
- フィールド校正不要
- フレキシブルなスキャンプロトコル(どこからでも開始、自動ステッチング)
- レンズの曇りを避けるためのワンド先端の自動加温

スキャン時間

口腔内全体を、わずか60秒で完了します。

クラウドストレージ

クラウドストレージとMyiTero Webポータルを使用して、Webにデータを保存し、アクセスすることができます。

align™

Align Technology, Inc.
410 North Scottsdale Road,
Suite 1300, Tempe,
Arizona 85281
USA

© 2022 Align Technology, Inc. 無断転載複製禁止 Align、Invisalign、および iTero Element は、Align Technology, Inc. またはその子会社や関連会社の商標またはサービスマークであり、米国およびその他の国々で登録されています。219899 改訂A

